

令和4年度  
多摩区区民意識アンケート調査  
報 告 書

令和5年2月



川崎市多摩区



## 目 次

I. 調査概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の方法	3
3 調査の項目	3
4 回収状況	3
5 この報告書の見方	3
II. 調査回答者の属性	5
III. 調査結果	15
1 生活環境の満足度について	17
(1) 多摩区の長所・魅力	17
(2) 住みやすさ	19
(3) 定住意向	22
(4) 区外転居意向の理由	24
(5) 多摩区に対する愛情や誇り	26
(6) 多摩区的生活環境	32
(7) 市政についてよくやっていると思うもの	45
(8) 市政について今後特に力を入れてほしいもの	47
(9) 市の施策や事業の総合満足度	50
2 市政への参加、地域でのボランティア活動などについて	52
(10) 地域活動の状況	52
(11) 行っている地域活動の分野	54
(12) 地域活動をする上で支援を受けたいと思うもの	56
(13) 地域活動を行っていない理由	58
(14) 地域活動への関心分野	60
(15) 地域活動への取組意向	62

(16) 地域活動を始めるために必要な機会や場 .....	64
(17) 町内会・自治会への加入状況 .....	66
(18) 町内会・自治会に加入していない理由 .....	69
(19) 区民と行政が協働して取り組んだ方が効果的だと思うもの .....	71
3 区役所が推進する主な取組について .....	73
(20) 多摩区の見どころ .....	73
(21) 区の観光振興やイメージ、地域ブランド向上を目指す取組の認知状況 .....	75
(22) 地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組 .....	77
(23) 「地域包括ケアシステム」の認知状況 .....	79
(24) 「地域包括ケアシステム」における自助・互助の活動状況 .....	81
(25) 「地域包括ケアシステム」における自助・互助として行ってみたい活動内容 .....	83
(26) 健康づくり推進のため、重要だと思う取組 .....	85
(27) 日々の健康づくりとして意識していること .....	87
(28) 高血圧に関する健康状態 .....	96
(29) 近所付き合いの程度 .....	98
(30) 自分と世代が異なる人との付き合いの状況 .....	100
(31) 近所に手助けを頼める人の有無 .....	102
(32) 近所に手助けを頼めると思うこと .....	104
(33) 「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向 .....	106
(34) 知っている3大学関連イベント .....	108
(35) 「多摩区ソーシャルデザインセンター」の認知度 .....	111
(36) 「多摩区ソーシャルデザインセンター」の取組の認知度 .....	113
(37) 「多摩区ソーシャルデザインセンター」の取組の利用・参加経験 .....	116
(38) 多摩区におけるソーシャルデザインセンターが力を入れて取り組むべきこと .....	118
(39) 区役所が力を入れて取り組むべき施策 .....	121
IV. 調査票 .....	125

# I . 調查概要



# I. 調査概要

## 1 調査の目的

区民が日頃、多摩区について感じていることや、区民の地域活動に関する意識、多摩区役所が推進する主な取組に関する意識などを調査することで、多摩区役所が区民に身近な総合行政機関として、地域の課題解決や、地域の魅力を活かした取組を効果的に推進していくための参考とすることを目的として実施した。

## 2 調査の方法

- (1) 調査の対象者 …… 多摩区在住の 18 歳以上の男女個人（外国人を含む）
- (3) 標 本 数 …… 2,000 サンプル
- (4) 標本抽出方法 …… 住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出
- (5) 調査方法 …… 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- (6) 調査期間 …… 令和 4 年 9 月 12 日(月)～令和 4 年 10 月 11 日(火)
- (7) 調査委託機関 …… 株式会社 CCN グループ

## 3 調査の項目

- (1) 生活環境の満足度について
- (2) 市政への参加、地域でのボランティア活動などについて
- (3) 区役所が推進する主な取組について

## 4 回収状況

- (1) 標本数 2,000 票
- (2) 有効回収数 870 票（有効回収率 43.5%）

## 5 この報告書の見方

- (1) 図表中の「n」（number of case の略）は各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。
- (2) 集計は百分率とし、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても 100.0%にならない場合がある。
- (3) 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- (4) 標本誤差は回答者数と得られた結果の比率によって異なるが、無作為抽出法による場合の誤差（信頼度 95%）は次の式によって得られる。

＜標本誤差算出式＞

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差（無作為抽出法の場合） N = 母集団全体 n = 比率算出の基数（サンプル数） P = 回答の比率
---

今回の調査結果の誤差及び信頼の範囲は下表のとおりである。

【例】ある設問の回答者数が 870 人で、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は±3.32 である

＜標本誤差早見表＞（信頼度：95%）

回答比率(P) n	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
870	± 2.03	± 2.71	± 3.11	± 3.32	± 3.39
700	± 2.27	± 3.02	± 3.46	± 3.70	± 3.78
500	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
300	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
100	± 6.00	± 8.00	± 9.17	± 9.80	± 10.00

（注）上表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  として算出した。

（５）クロス集計時に、基数（n）が小さい数字になる場合は誤差が大きいのので注意が必要である。

（６）クロス集計について、分析の軸となる設問の回答の「無回答」は表示していない。ただし、全体の件数には含めているので、分析軸に表記した回答者数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。

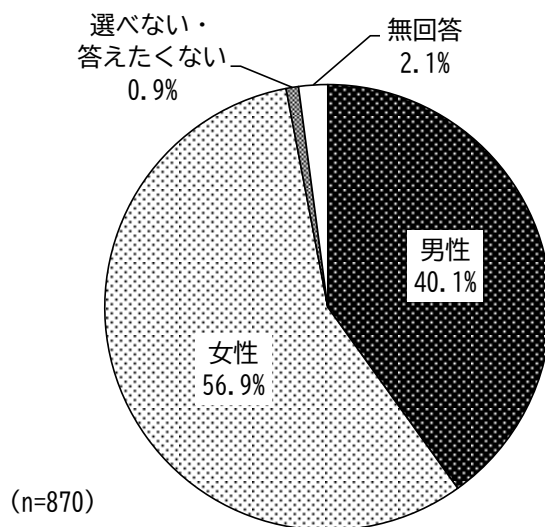


## Ⅱ．調査回答者の属性

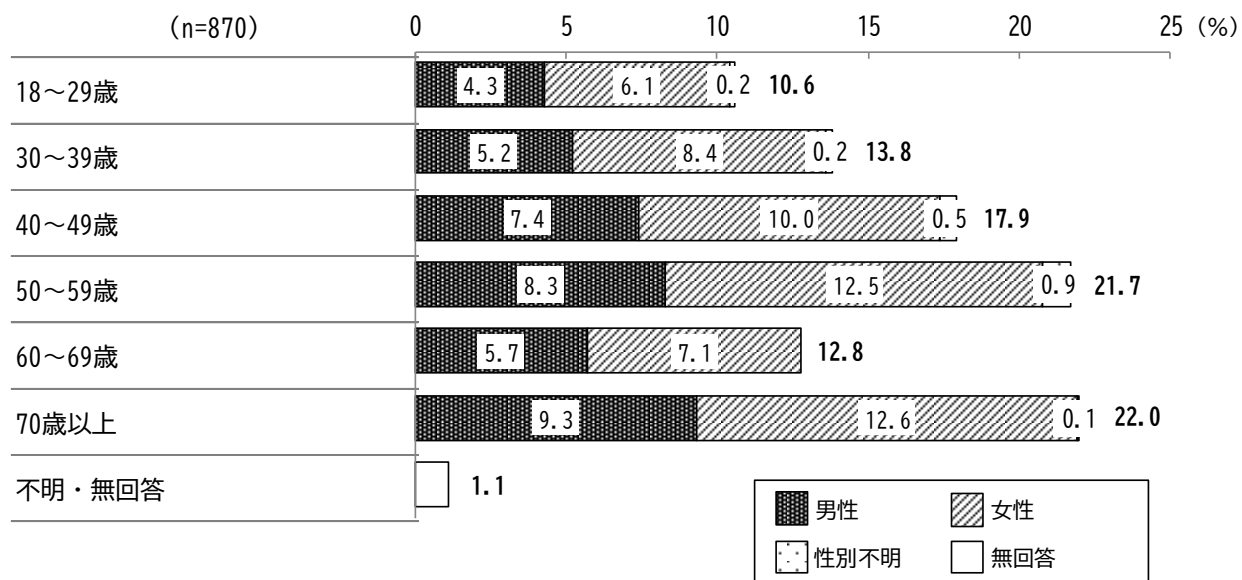


## Ⅱ. 調査回答者の属性

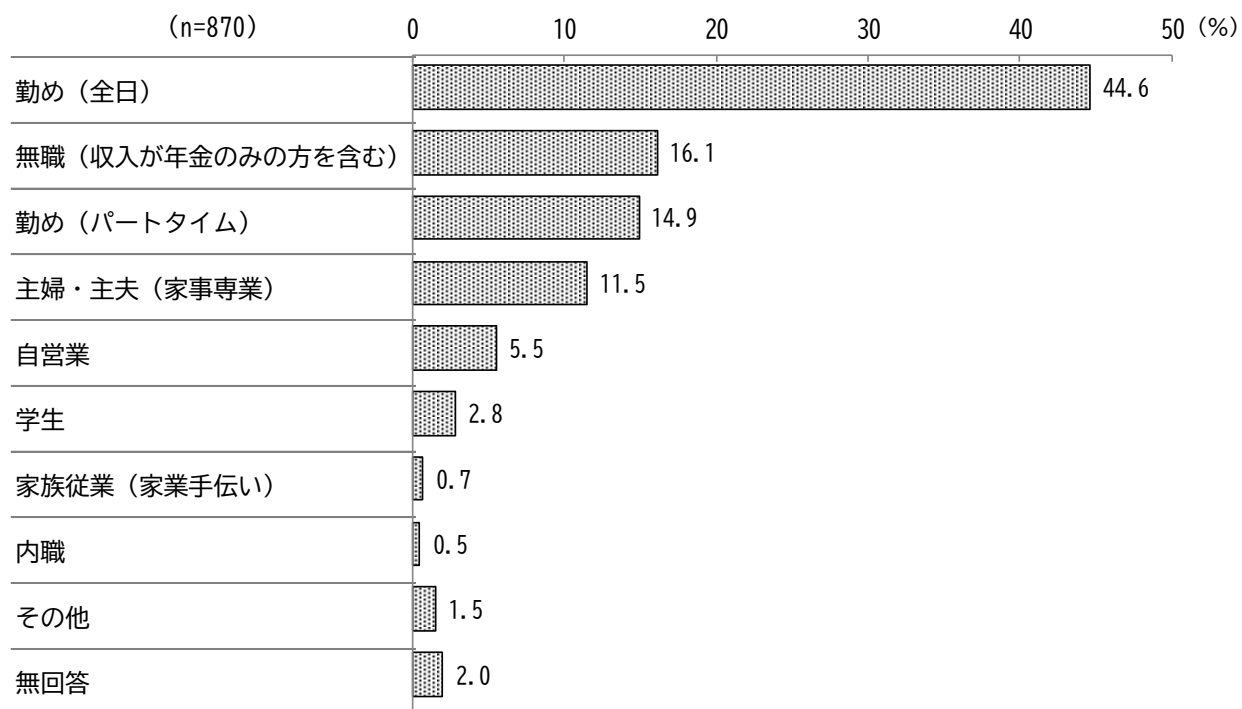
### 問 32 性別



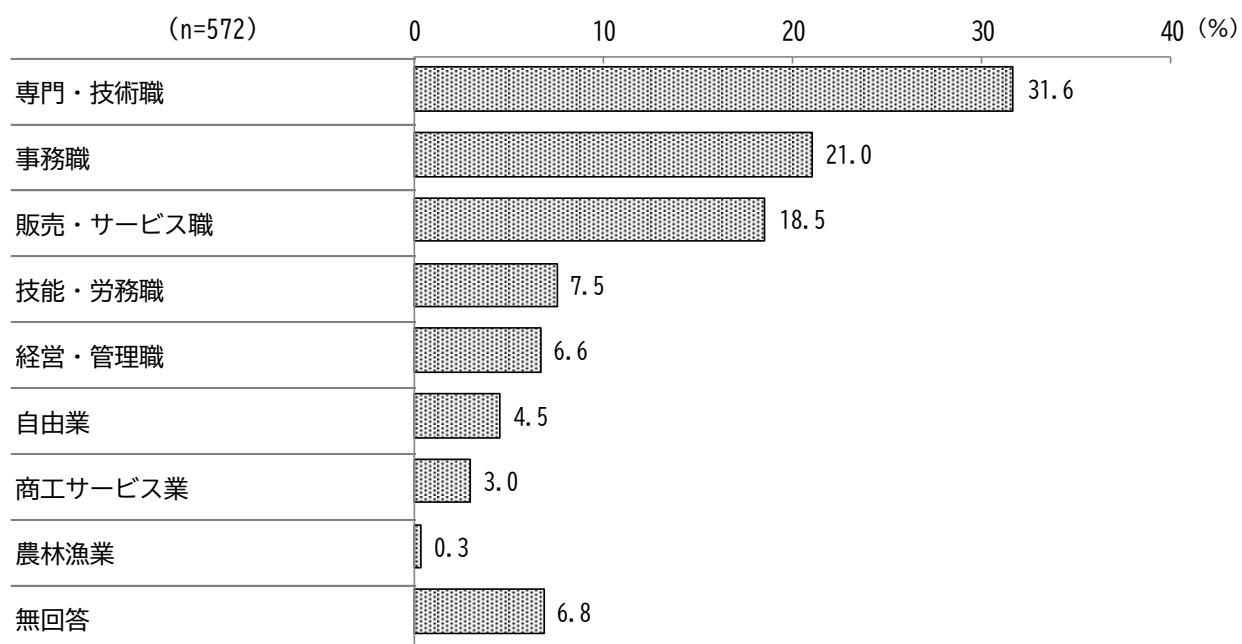
### 問 33 年齢



# 問 34 職業

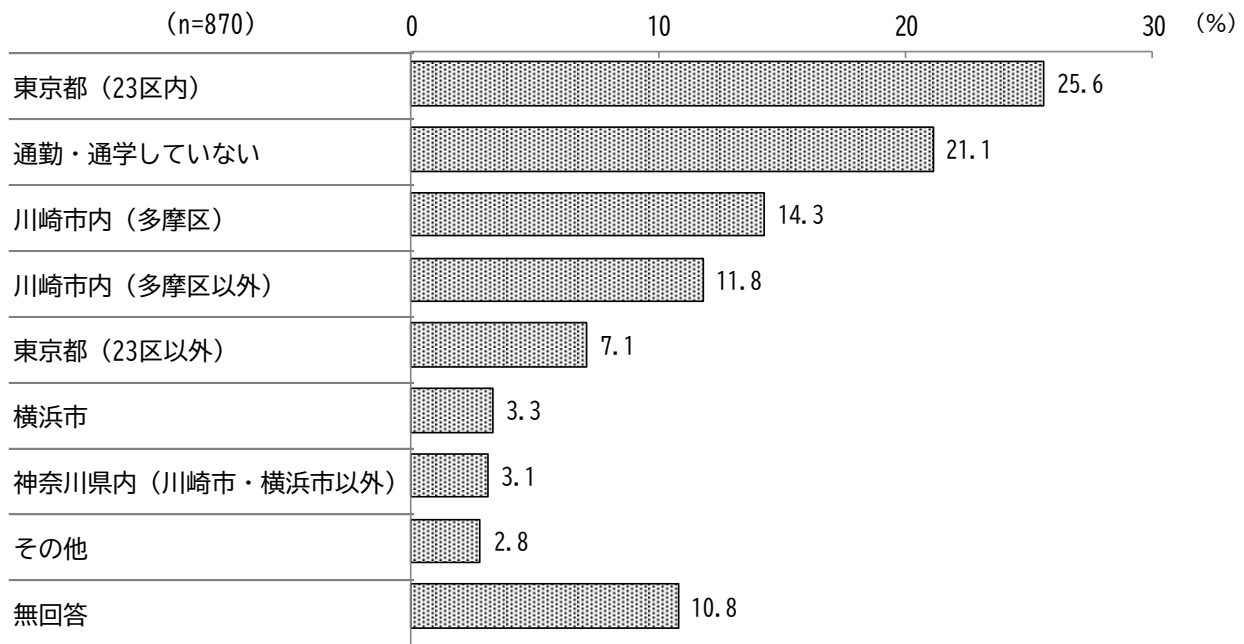


## 問 34-2 業種・職務

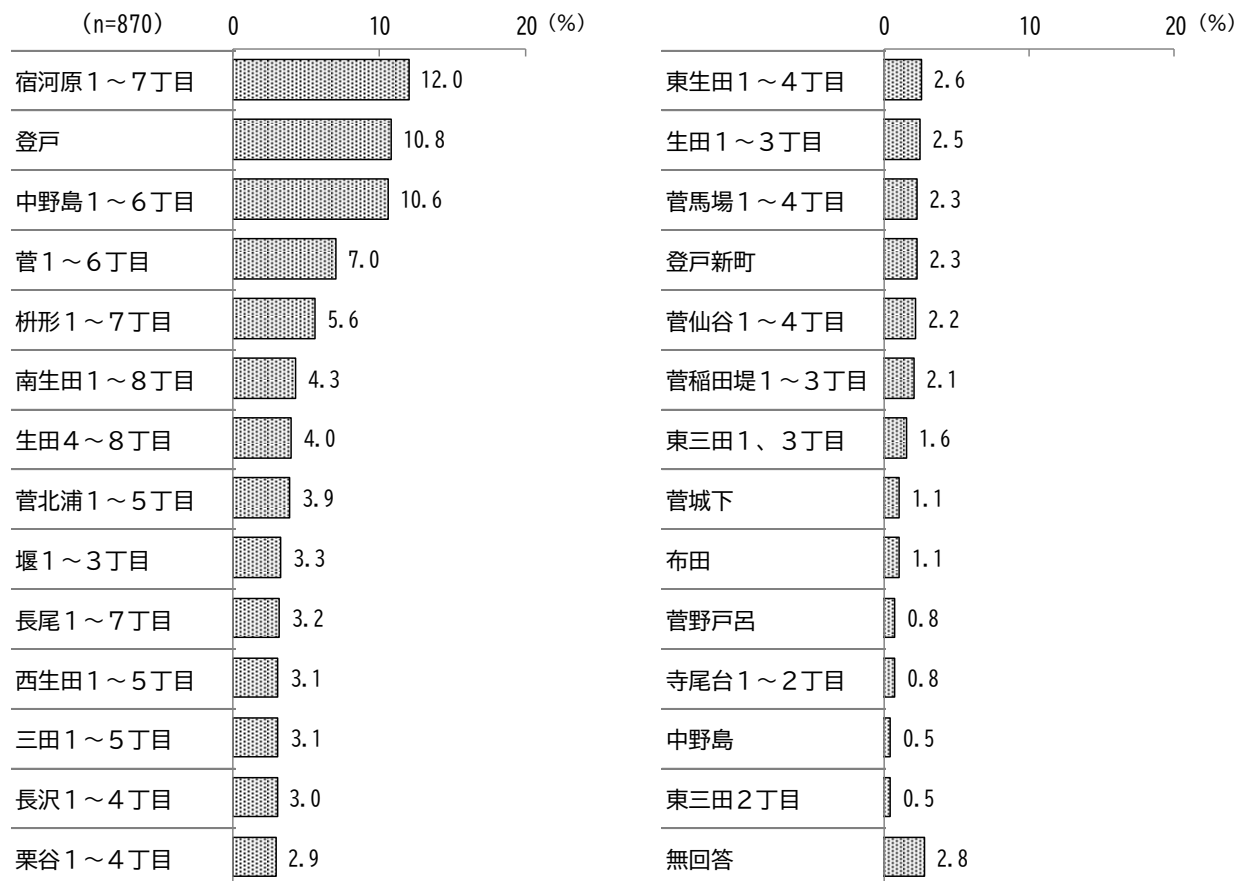


※問 34 で「自営業」、「家族従業（家業手伝い）」、「勤め（全日）」、「勤め（パートタイム）」と選択した人のみ回答

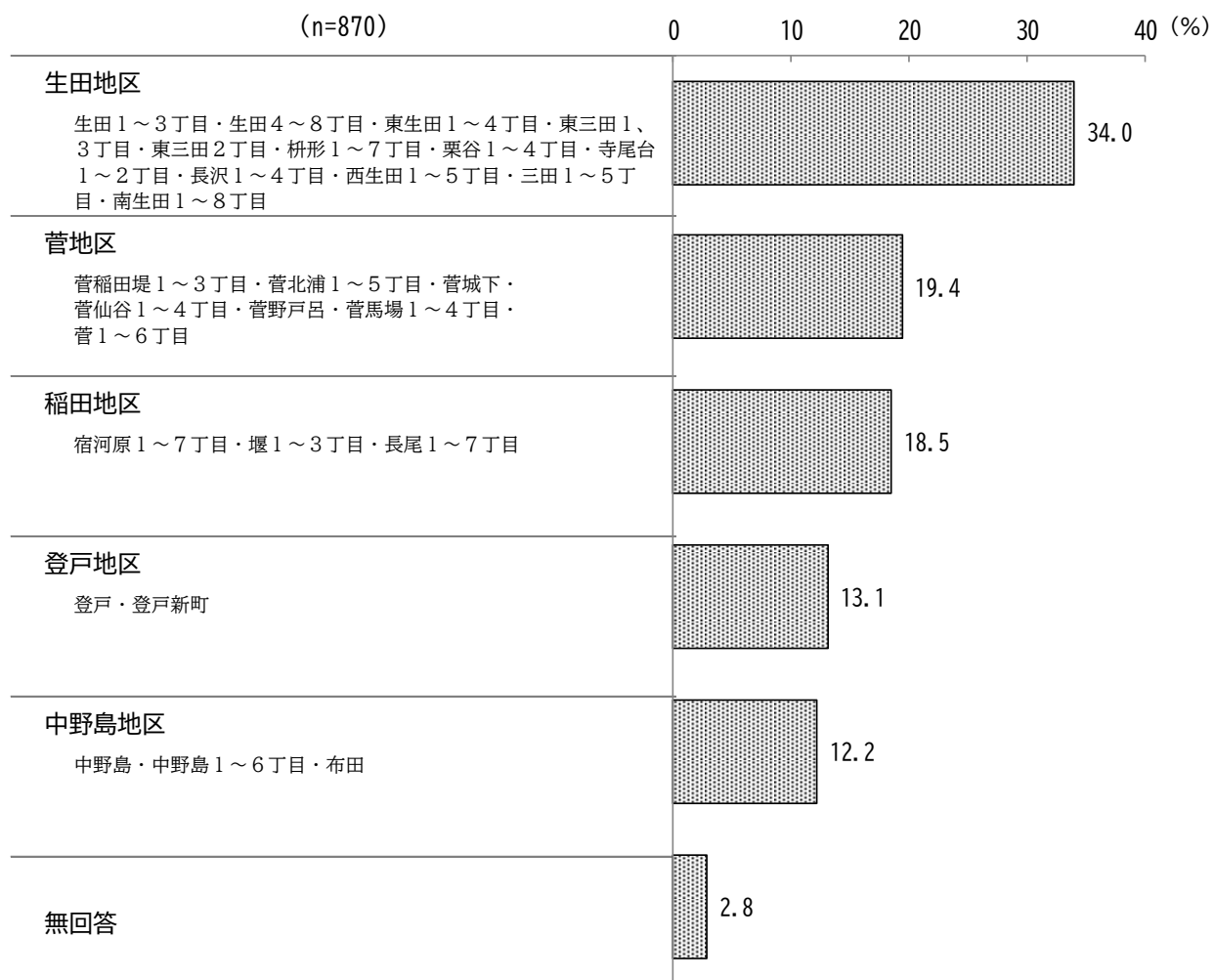
問 35 通勤・通学先



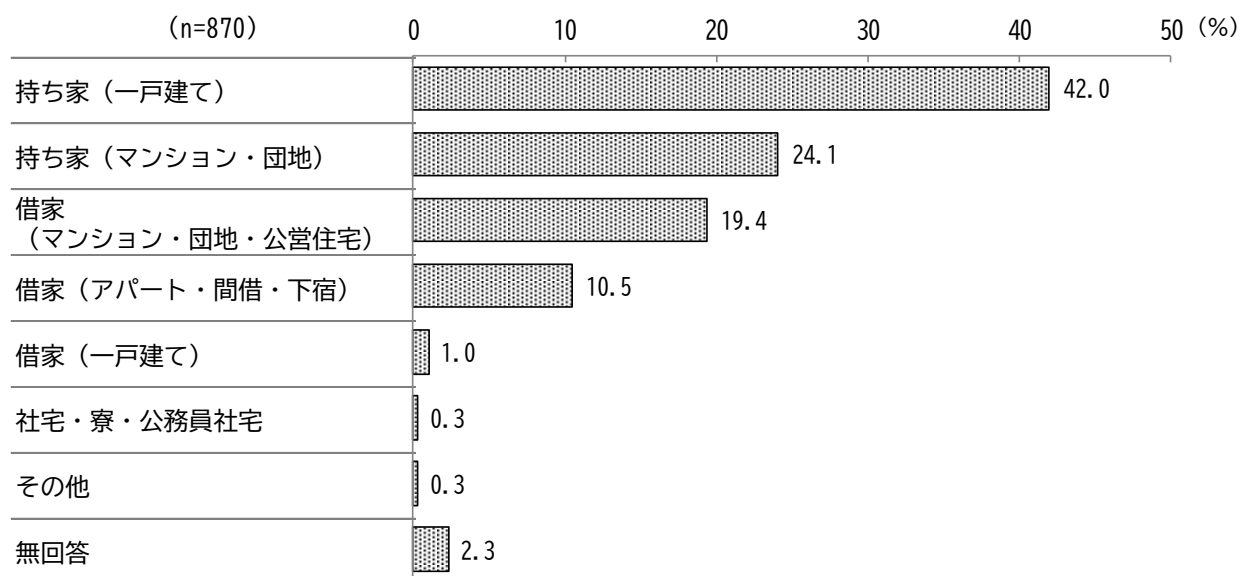
問 36 居住地



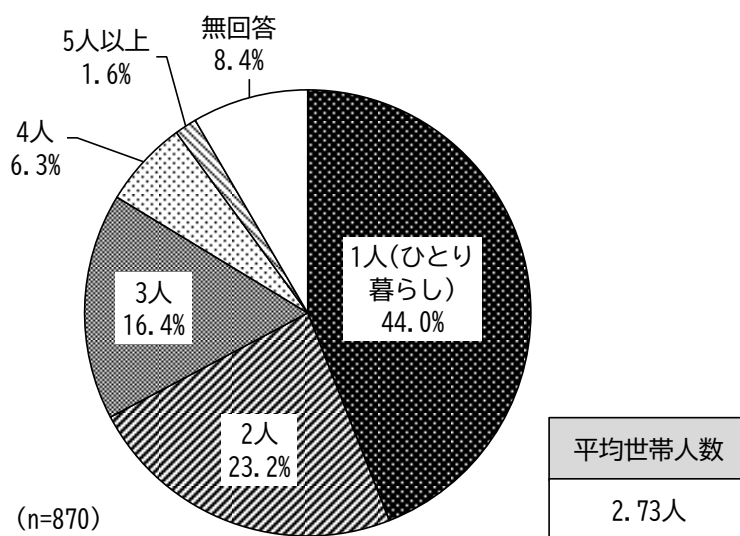
## 居住地(地区別)



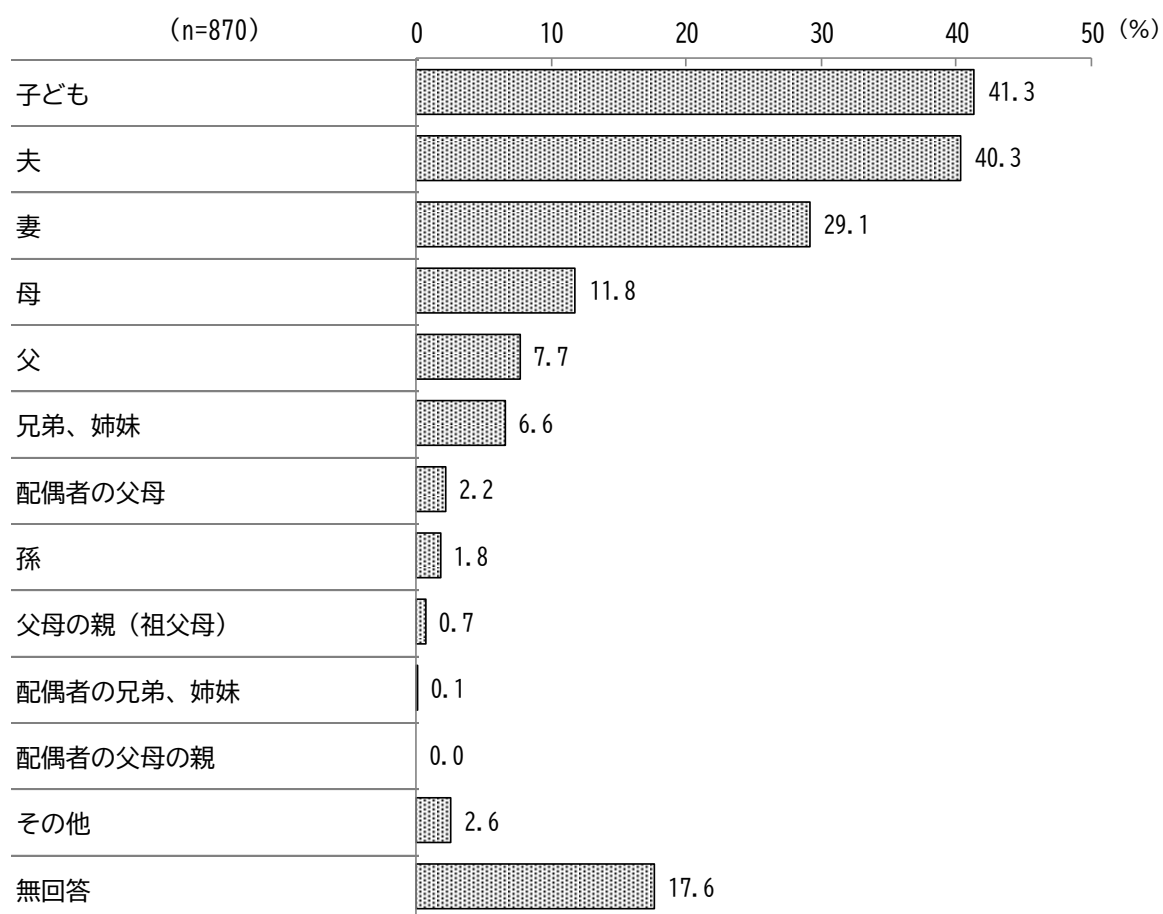
## 問 37 住居形態



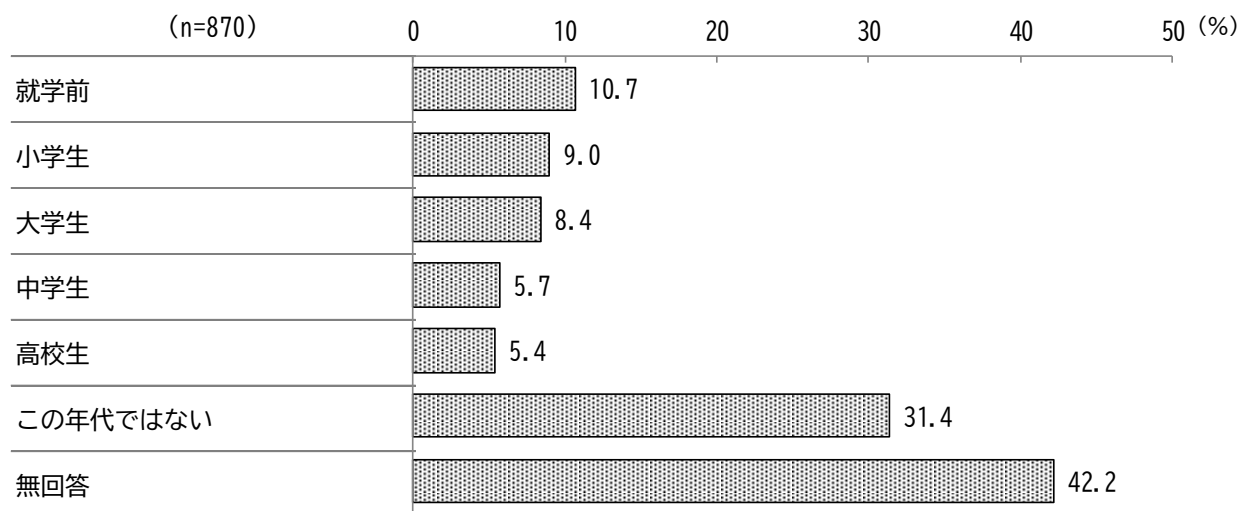
問 38 世帯人数



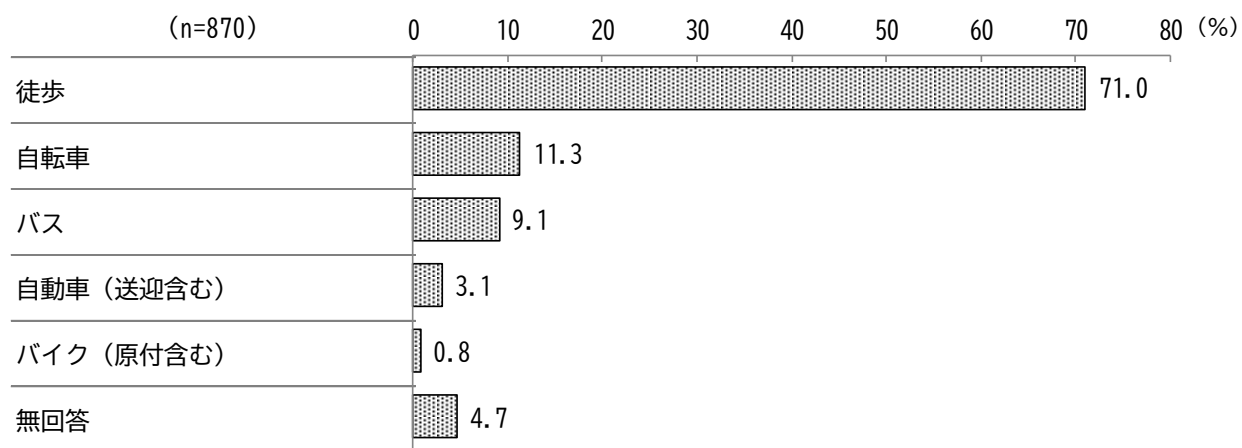
同居家族



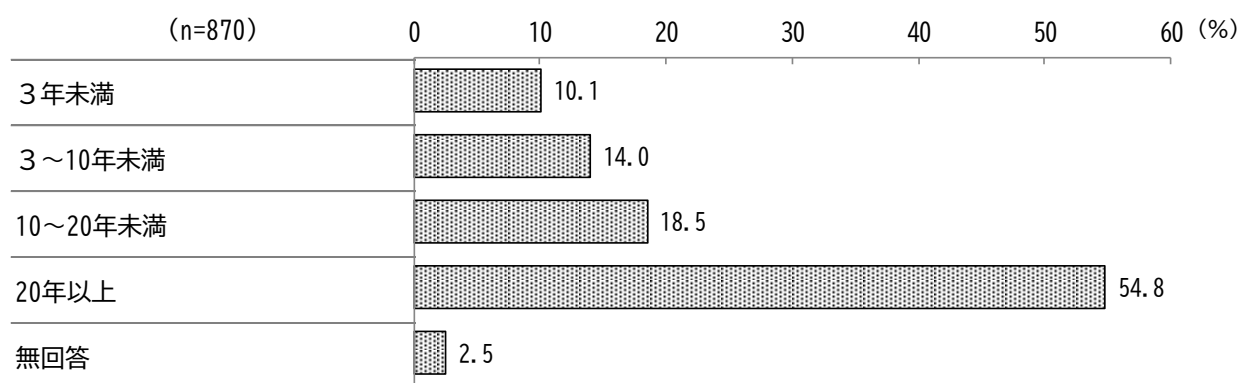
問 39 子どもの年代



問 40 最寄り駅までの交通手段

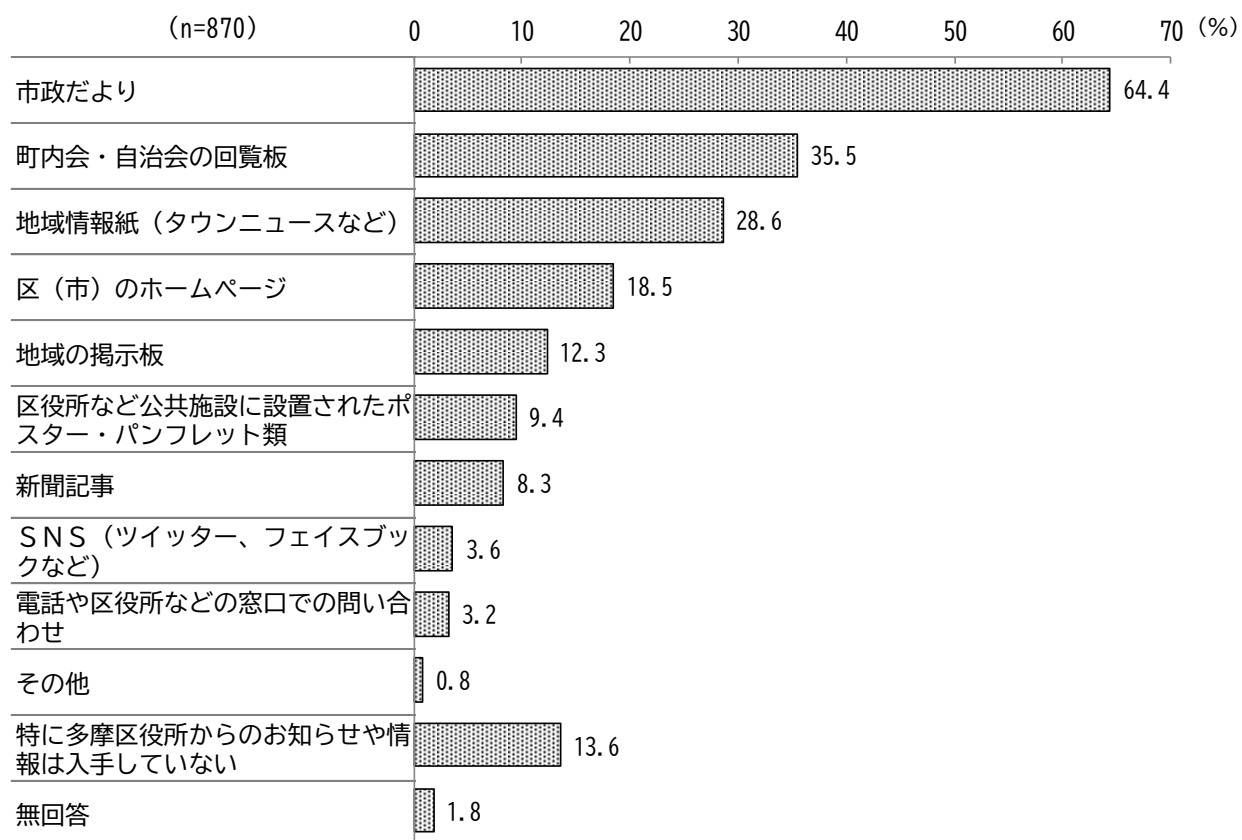


問 41 居住年数





問 42 区の知らせや情報の入手手段





## Ⅲ. 調査結果

※設問によっては回答者の居住地区別の集計を行っているが、各地区の範囲は次のとおりである。

登戸地区-----登戸・登戸新町

菅地区-----菅稲田堤 1～3 丁目・菅北浦 1～5 丁目・菅城下・菅仙谷 1～4 丁目・菅野戸呂・  
菅馬場 1～4 丁目・菅 1～6 丁目

中野島地区----中野島・中野島 1～6 丁目・布田

稲田地区-----宿河原 1～7 丁目・堰 1～3 丁目・長尾 1～7 丁目

生田地区-----生田 1～3 丁目・生田 4～8 丁目・東生田 1～4 丁目・東三田 1、3 丁目・  
東三田 2 丁目・枳形 1～7 丁目・栗谷 1～4 丁目・寺尾台 1～2 丁目・  
長沢 1～4 丁目・西生田 1～5 丁目・三田 1～5 丁目・南生田 1～8 丁目



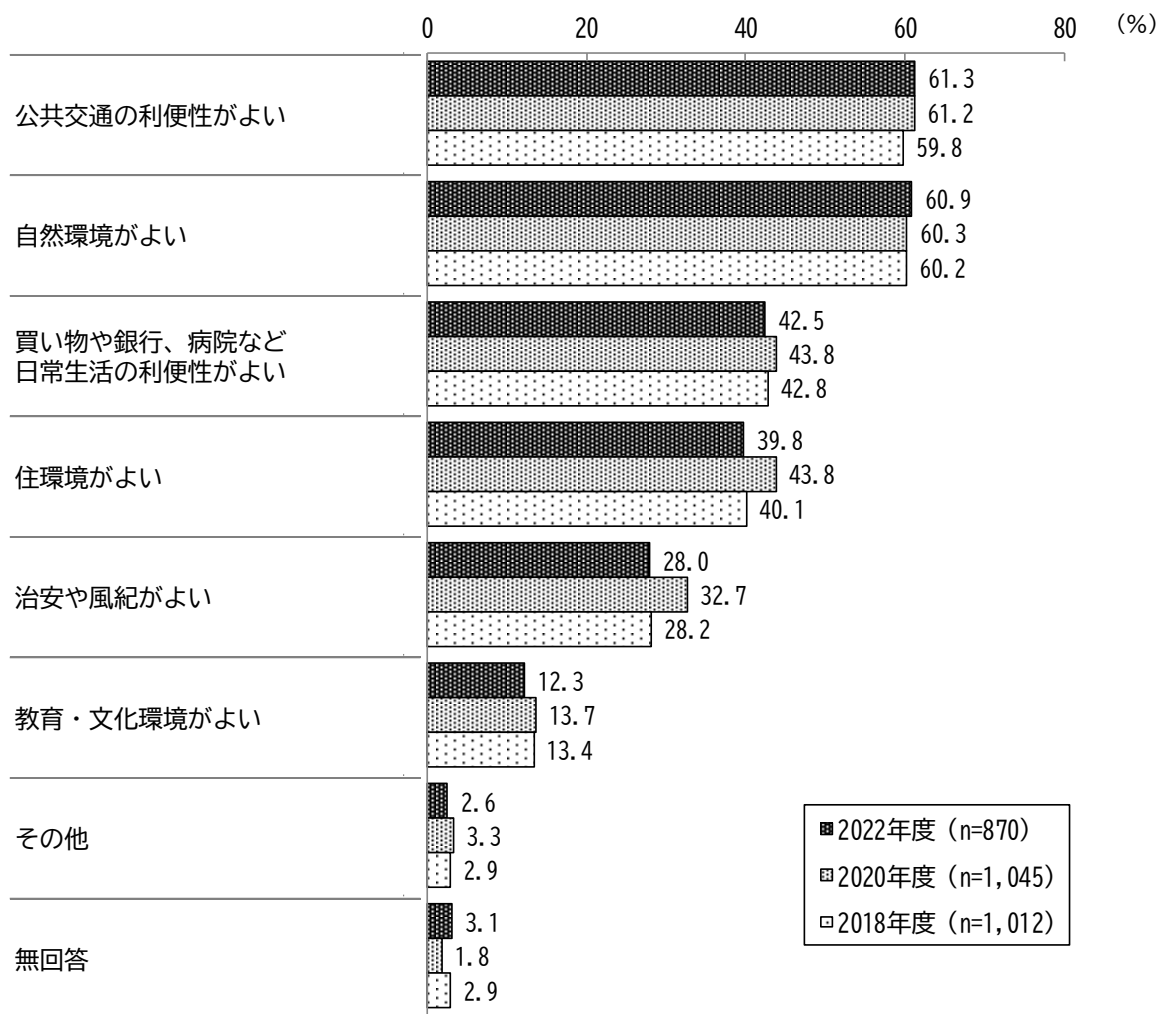
### Ⅲ. 調査結果

#### 1 生活環境の満足度について

##### (1) 多摩区の長所・魅力

問1 多摩区の長所・魅力と思っているものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

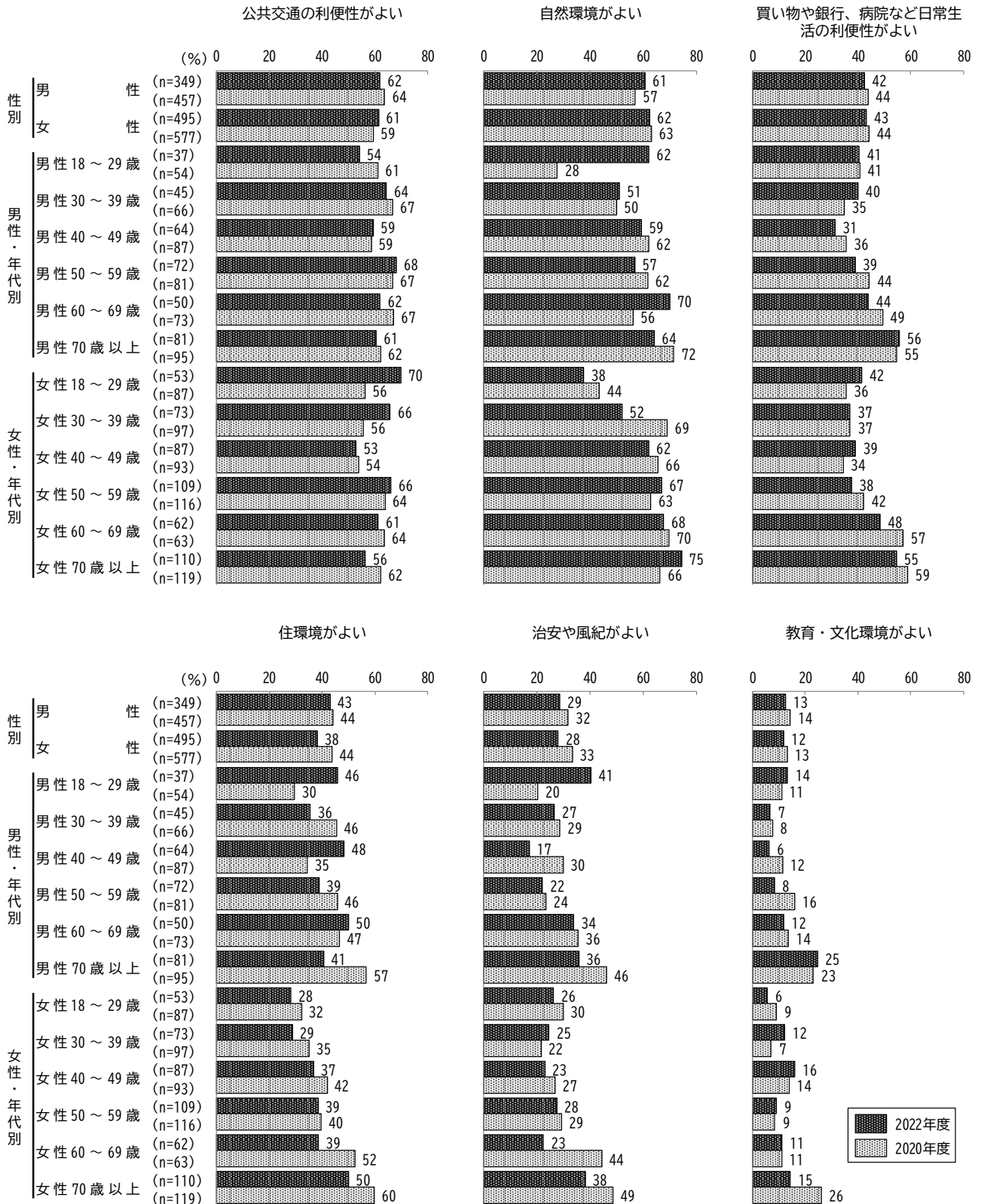
図表 1－1 多摩区の長所・魅力



「多摩区の長所・魅力」について聞いたところ、「公共交通の利便性がよい」（61.3%）が最も高い結果となり、次いで「自然環境がよい」（60.9%）、「買い物や銀行、病院など日常生活の利便性がよい」（42.5%）となっている。

2020年度も「公共交通の利便性がよい」、「自然環境がよい」、「買い物や銀行、病院など日常生活の利便性がよい」が上位3項目となっており、同じ傾向となった。

図表 1-2 多摩区の長所・魅力(性別・性年代別)

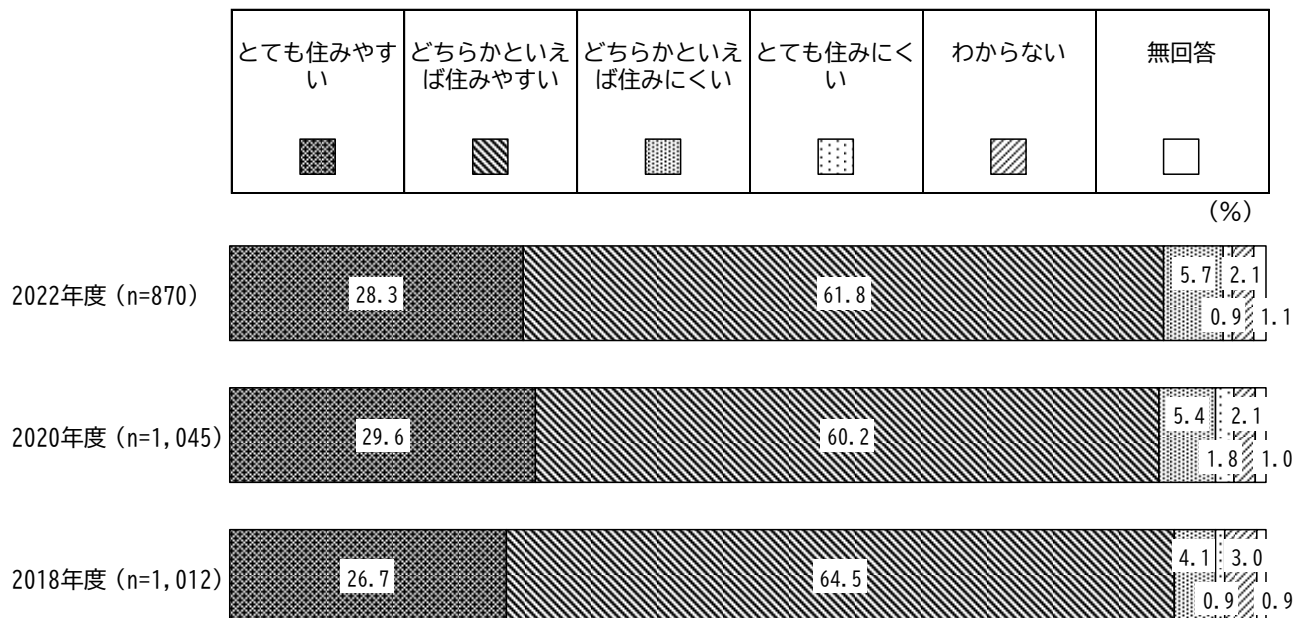


性年代別で見ると、「公共交通の利便性がよい」は女性 18～29 歳(70%)、「自然環境がよい」は女性 70 歳以上(75%)、「治安や風紀がよい」は男性 18～29 歳(41%)、「教育・文化環境がよい」は男性 70 歳以上(25%)が最も高くなっている。

## (2) 住みやすさ

問2 あなたにとって多摩区はどの程度住みやすいですか。(○は1つだけ)

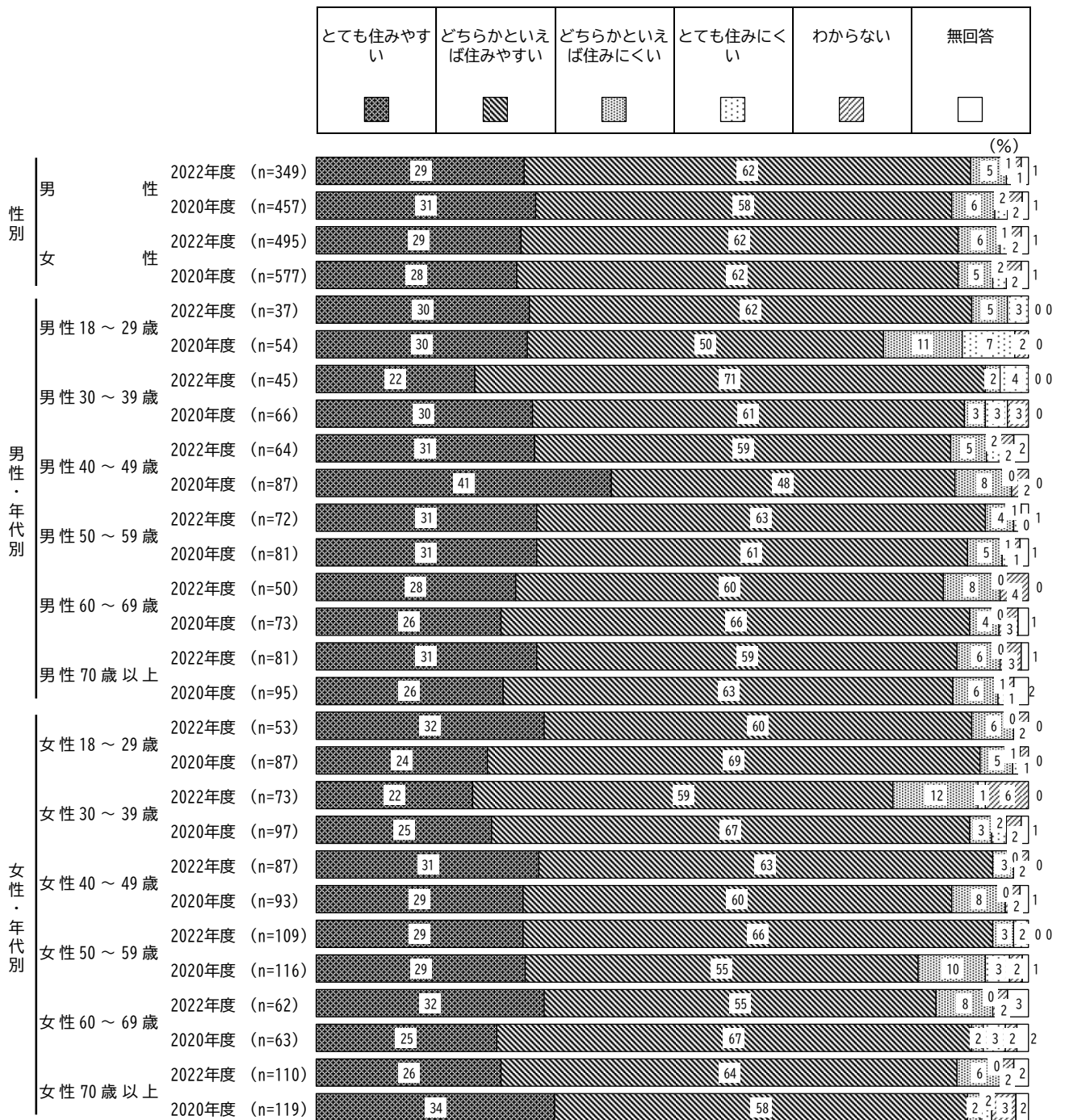
図表2-1 住みやすさ



「住みやすさ」について聞いたところ、「どちらかといえば住みやすい」(61.8%)、「とても住みやすい」(28.3%)の順となり、「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい計』は90.1%となっている。

2020年度との比較では全体的に大きな差はみられない。

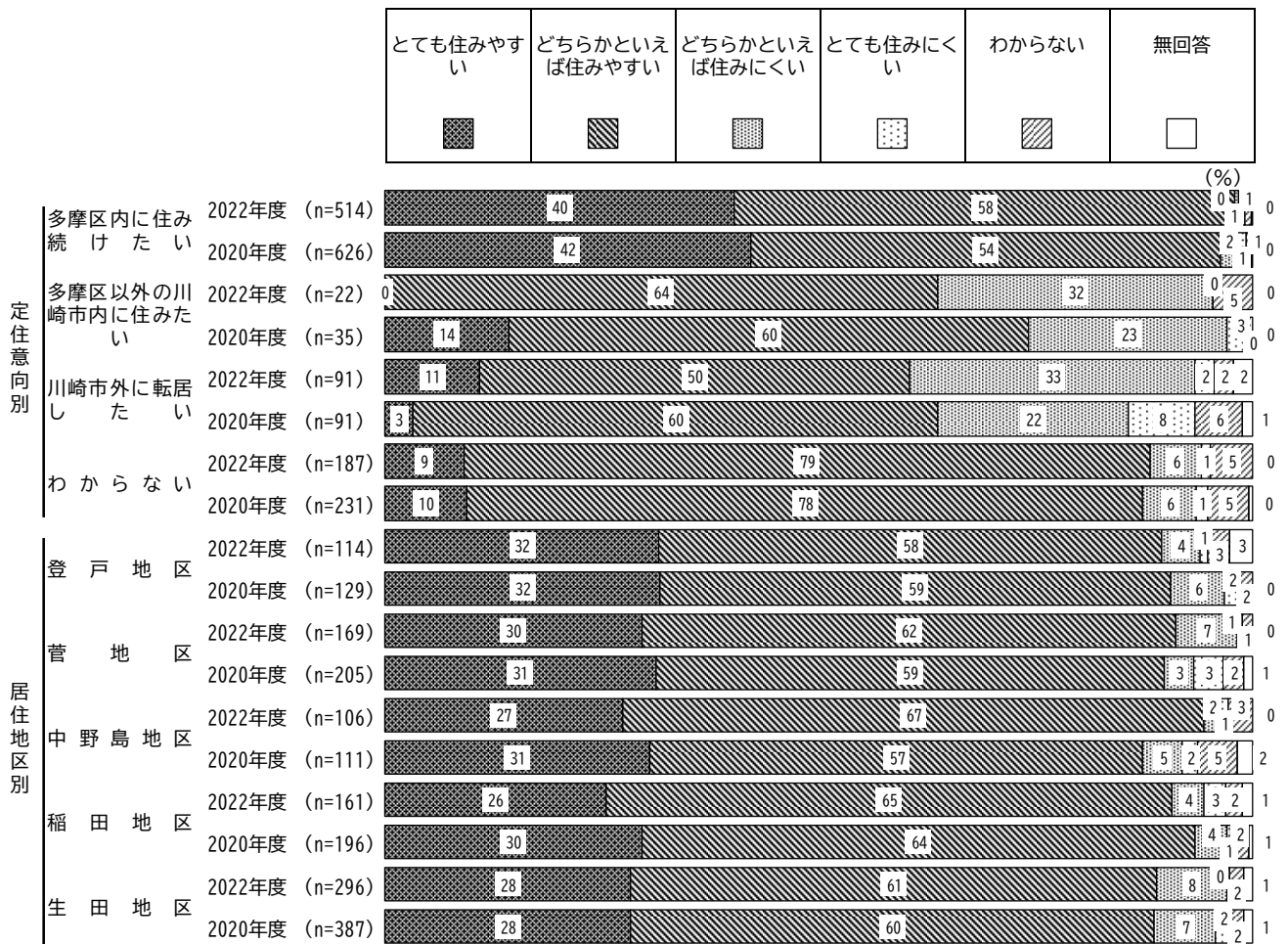
図表 2-2 住みやすさ(性別・性年代別)



「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい計』では、性別、性年代別でいずれも8割を超える高い結果となった。



図表 2-3 住みやすさ(定住意向別・居住地区別)








「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい計』では、居住地区別でいずれの地区も8割を超える高い結果となった。

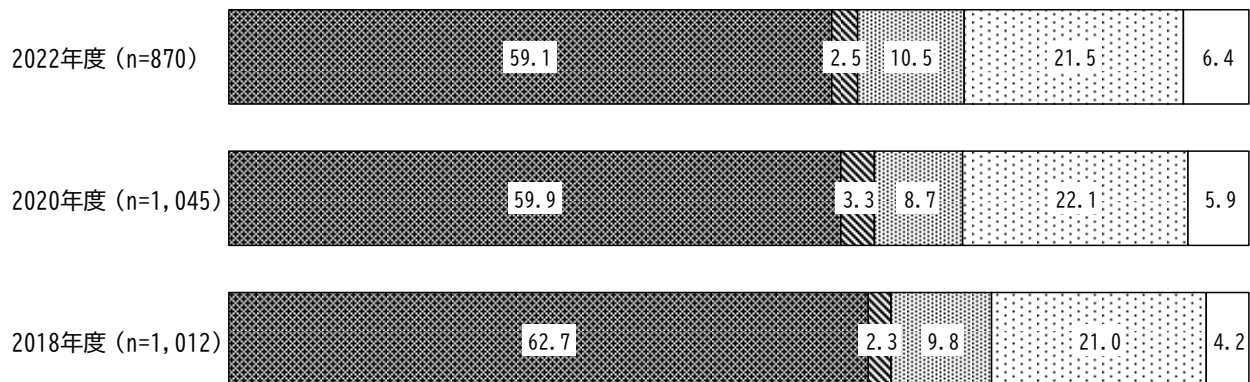
### (3) 定住意向

問3 多摩区に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

図表3-1 定住意向

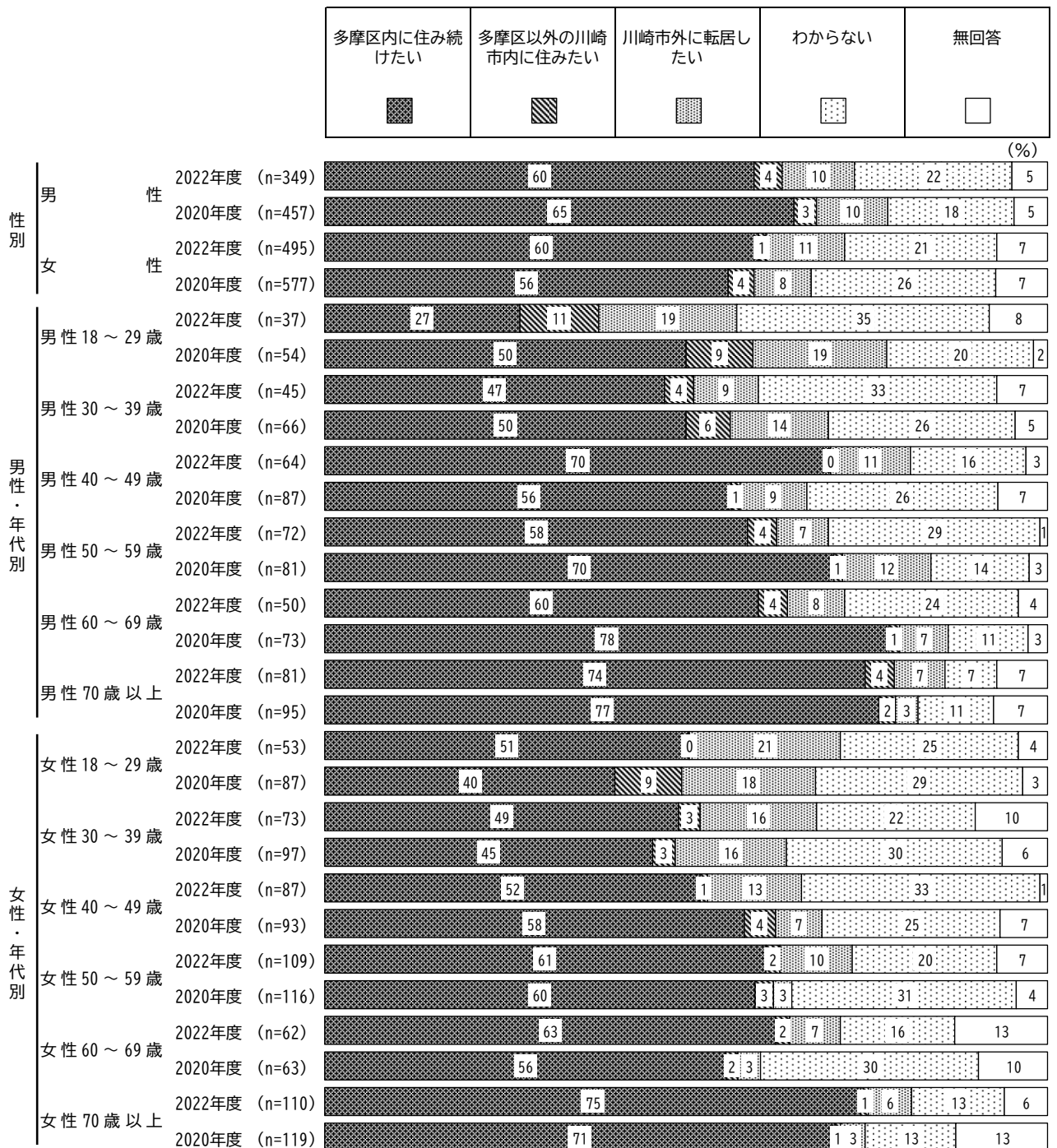
多摩区内に住み続けたい	多摩区以外の川崎市内に住みたい	川崎市外に転居したい	わからない	無回答
				

(%)



「定住意向」について聞いたところ、「多摩区内に住み続けたい」(59.1%)が最も高い結果となった。過去2回の調査結果と比較すると、「多摩区内に住み続けたい」の割合が減少傾向になっている。また、「川崎市外に転居したい」は、2020年度より1.8ポイント増加している。

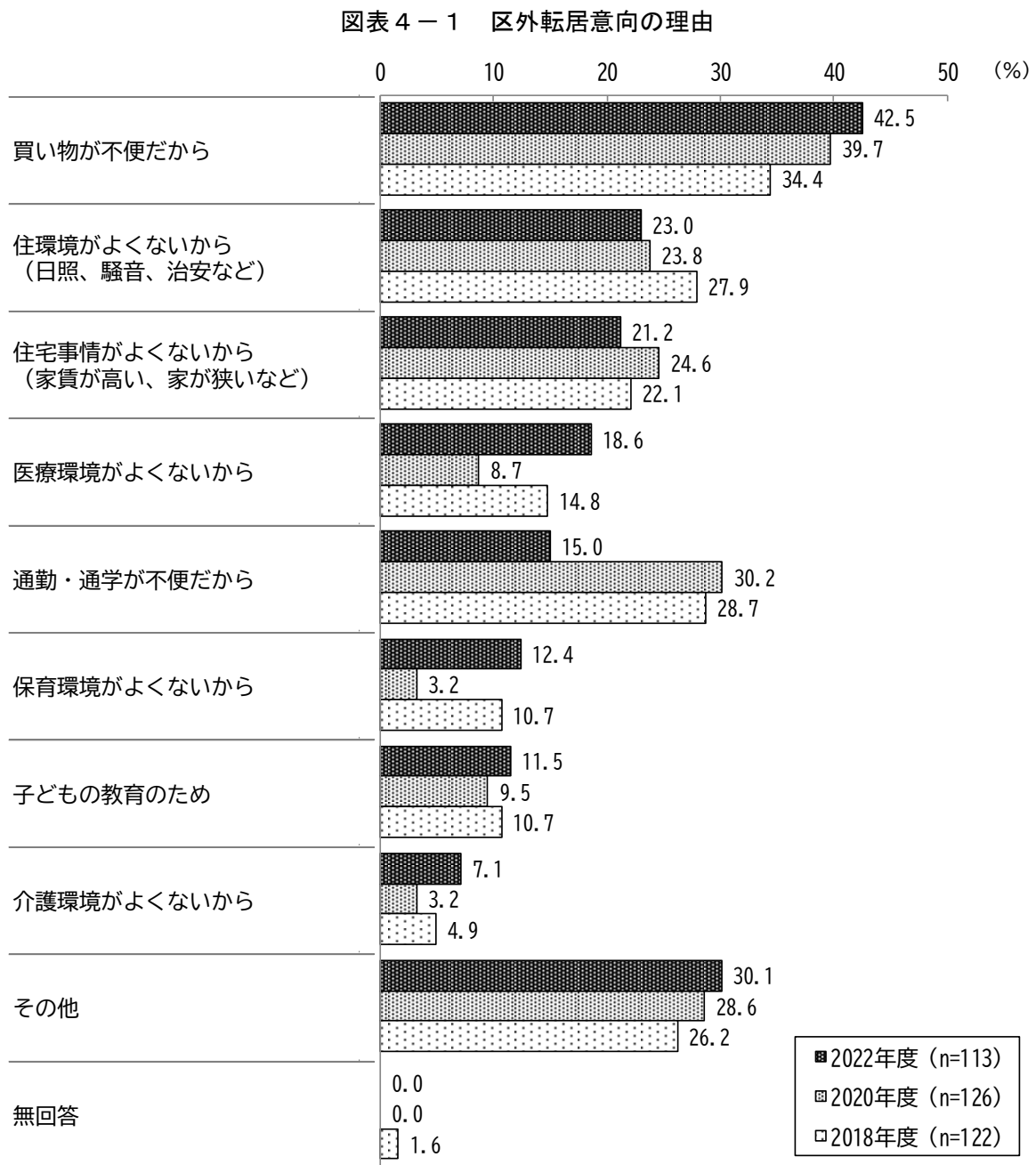
図表 3－2 定住意向（性別・性年代別）



性年代別で見ると、「多摩区内に住み続けたい」は男性 40～49 歳(70%)、男性 70 歳以上(74%)、女性 70 歳以上(75%)で 7 割を超えている。

#### (4) 区外転居意向の理由

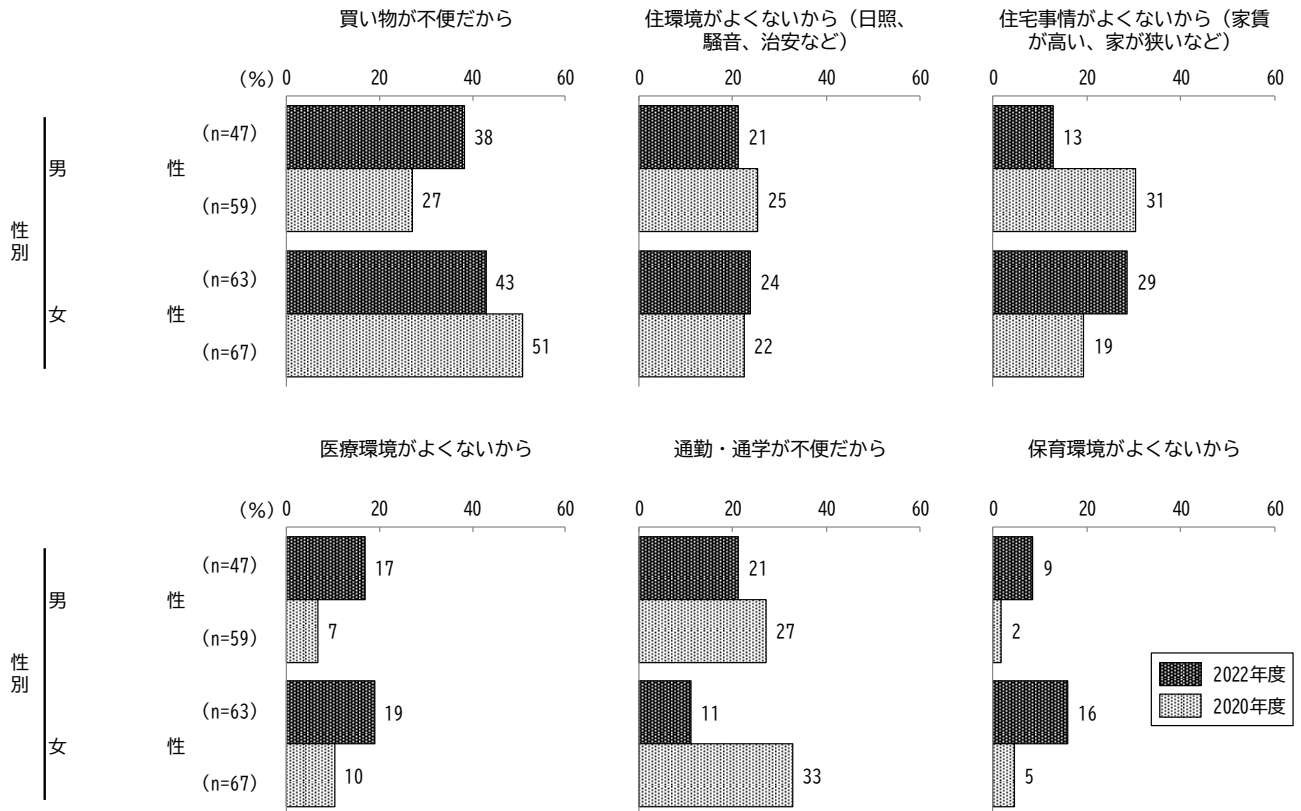
問3-2 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



「定住意向」で、「多摩区以外の川崎市内に住みたい」「川崎市外に転居したい」と回答した人に、「区外転居意向の理由」について聞いたところ、「買い物が不便だから」(42.5%)が最も高く、次いで「住環境がよくないから(日照、騒音、治安など)」(23.0%)、「住宅事情がよくないから(家賃が高い、家が狭いなど)」(21.2%)の順となっている。

2020年度と比較すると、「通勤・通学が不便だから」は、15.2ポイント減少しているが、「医療環境がよくないから」が9.9ポイント、「保育環境がよくないから」が9.2ポイント上昇する結果となった。

図表 4－2 区外転居意向の理由(性別)



性別で見ると、「住宅事情がよくないから(家賃が高い、家が狭いなど)」は女性の方が 16 ポイント高く、「通勤・通学が不便だから」は男性の方が 10 ポイント高くなっている。

2020 年度と比較すると、男性で見ると「買い物が不便だから」が 11 ポイント、「医療環境がよくないから」が 10 ポイント上昇する結果となった。

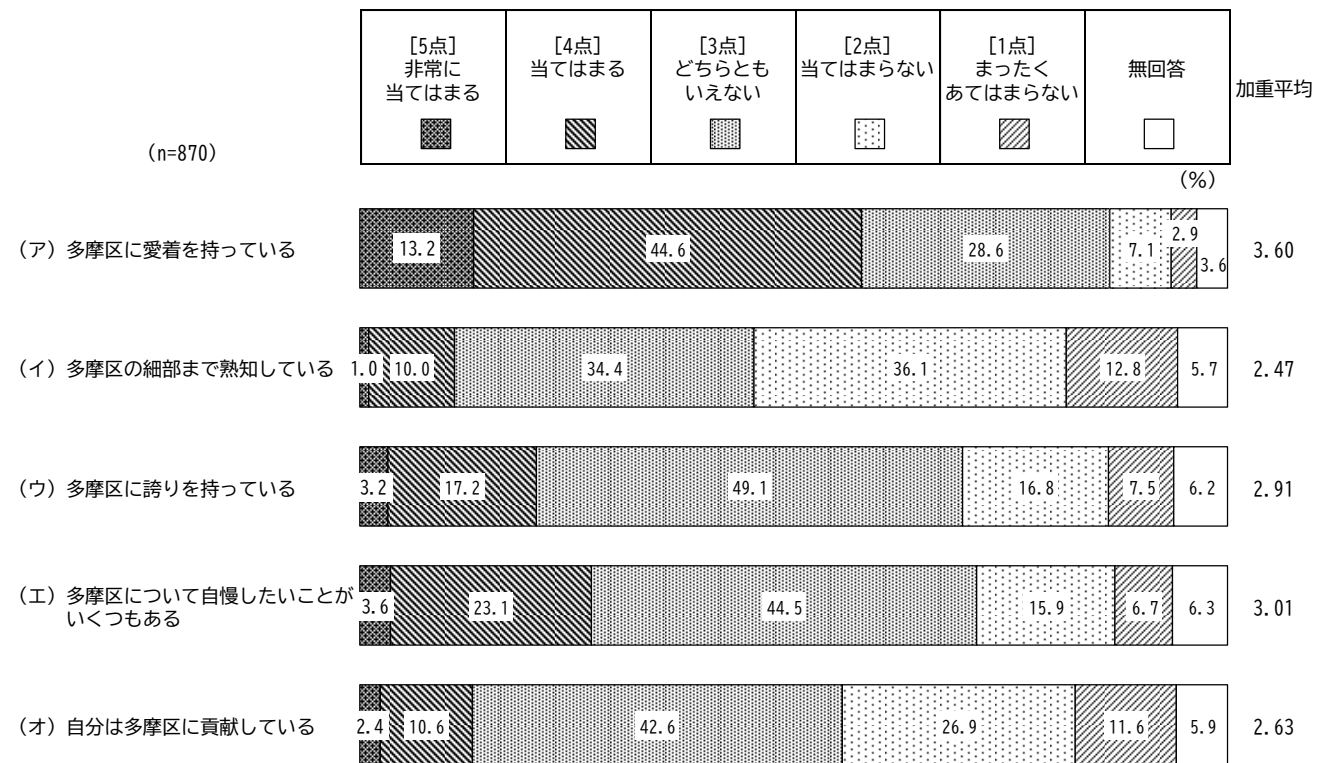
女性で見ると「保育環境がよくないから」が 11 ポイント、「住宅事情がよくないから(家賃が高い、家が狭いなど)」が 10 ポイント、「医療環境がよくないから」9 ポイント上昇する結果となった。

(5) 多摩区に対する愛情や誇り

問4 あなたにとって多摩区は、以下の項目に関してどの程度あてはまりますか。

(○は各項目で1つだけ)

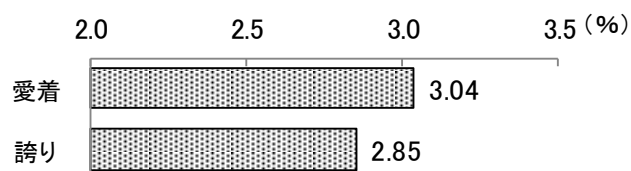
図表5-1 多摩区に対する愛情や誇り



「多摩区に対する愛情や誇り」について聞いたところ、「非常に当てはまる」と「当てはまる」を合わせた『当てはまる計』では、他の項目に比べ、「(ア)多摩区に愛着を持っている」(57.8%)が最も高くなっている。

一方、「まったく当てはまらない」と「当てはまらない」を合わせた『当てはまらない計』では「(イ)多摩区の細部まで熟知している」(48.9%)が最も高くなっている。

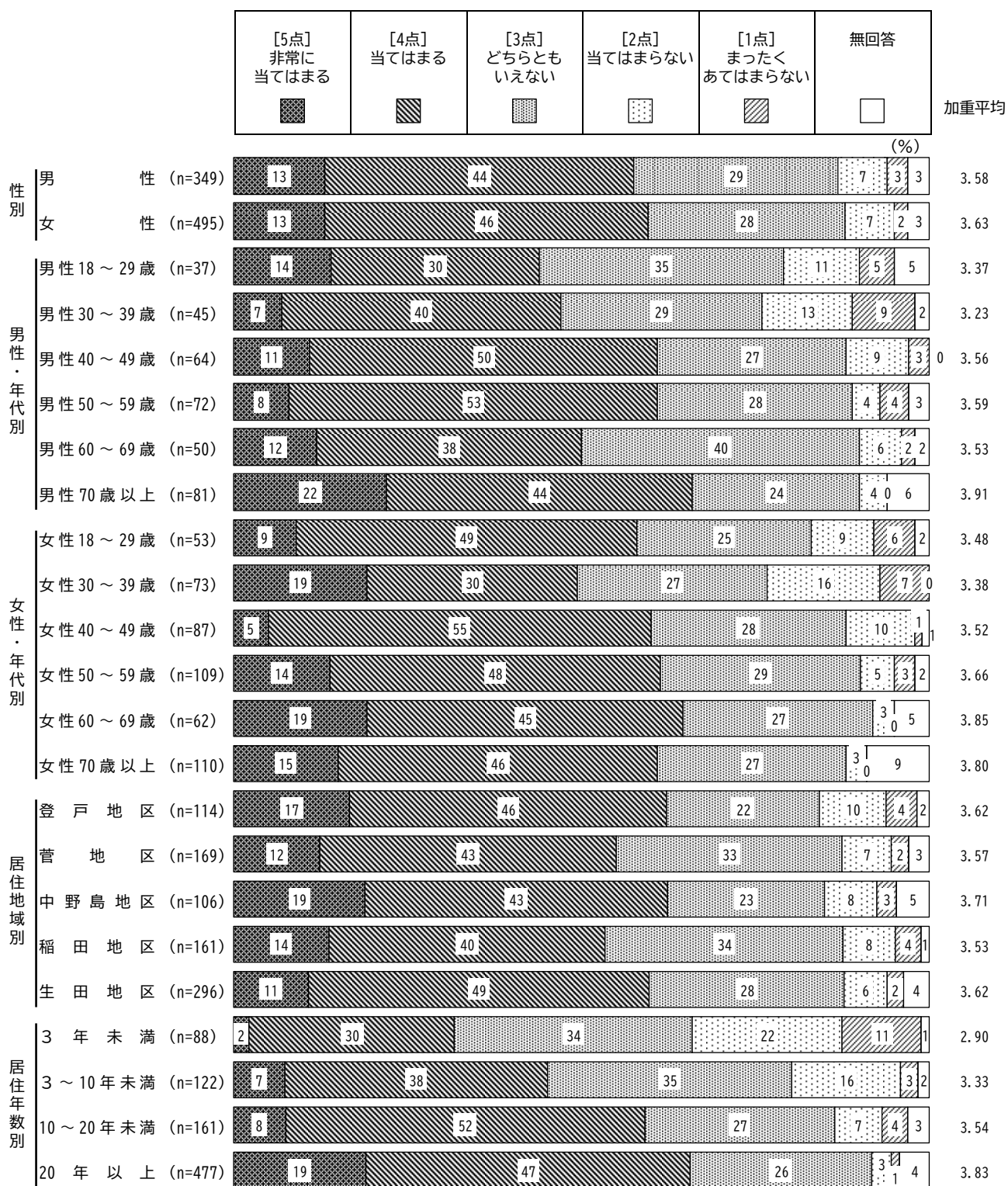
図表5-2 シビックプライド指標



シビックプライド指標とは、自分の住んでいるまちに対する愛着や誇りを表す概念のこと。多摩区では、質問(ア)、(イ)を「愛着」、質問(ウ)、(エ)、(オ)を「誇り」の指標として、それぞれの質問項目の平均値から算出した。

図表 5－3 多摩区に対する愛情や誇り(性別・性年代別・居住地区別・居住年数別)

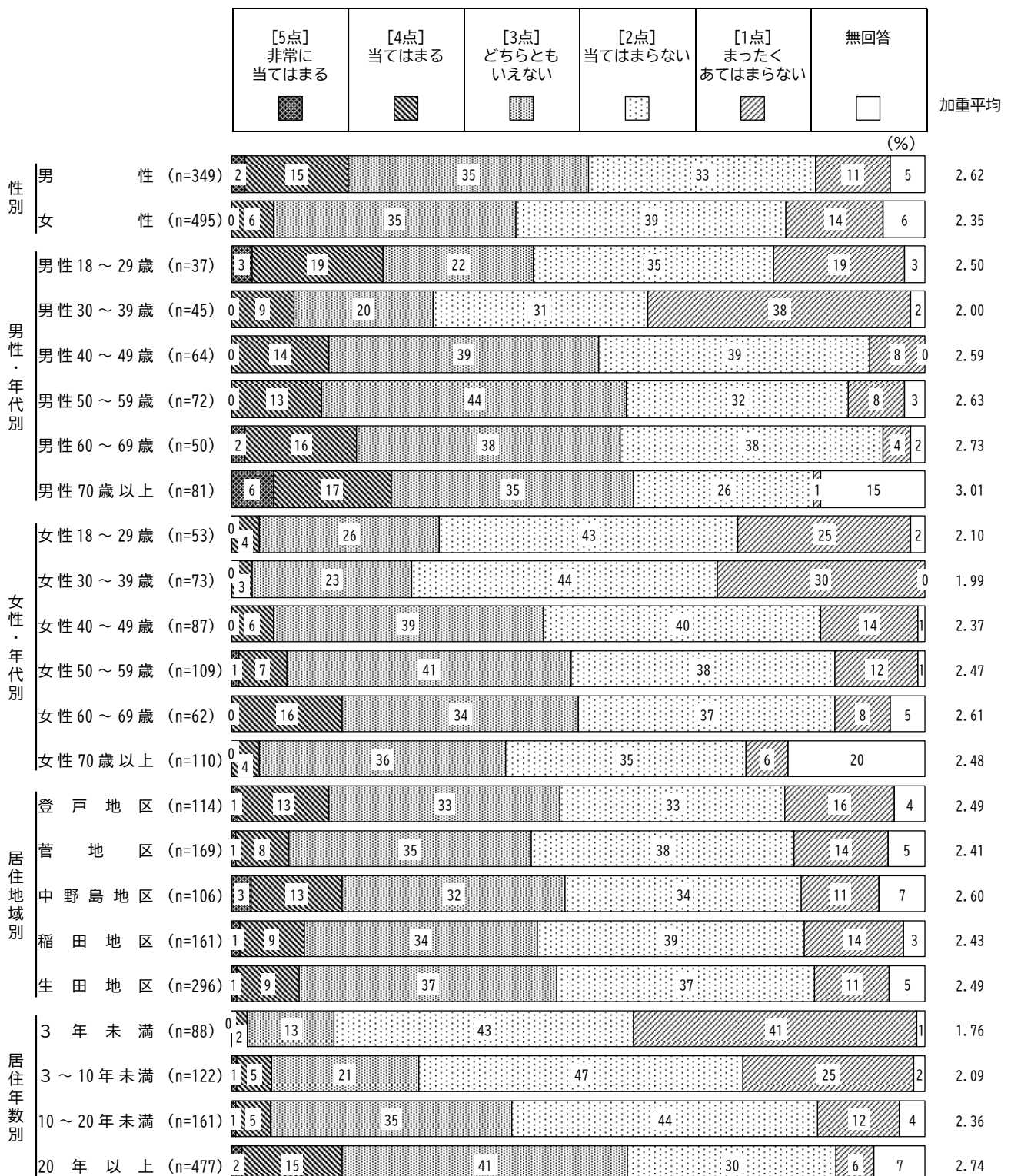
問 4. (ア) 多摩区に愛着を持っている



「多摩区に愛着を持っている」を性年代別で見ると、「非常に当てはまる」と「当てはまる」を合わせた『当てはまる計』の割合は、男性 70 歳以上が 66%となり、加重平均でも 3.91 点と最も高い結果となった。また、居住年数が長くなるほど『当てはまる計』の割合は高くなる傾向となった。

図表 5 - 4 多摩区に対する愛情や誇り(性別・性年代別・居住地区別・居住年数別)

問 4. (イ) 多摩区の細部まで熟知している

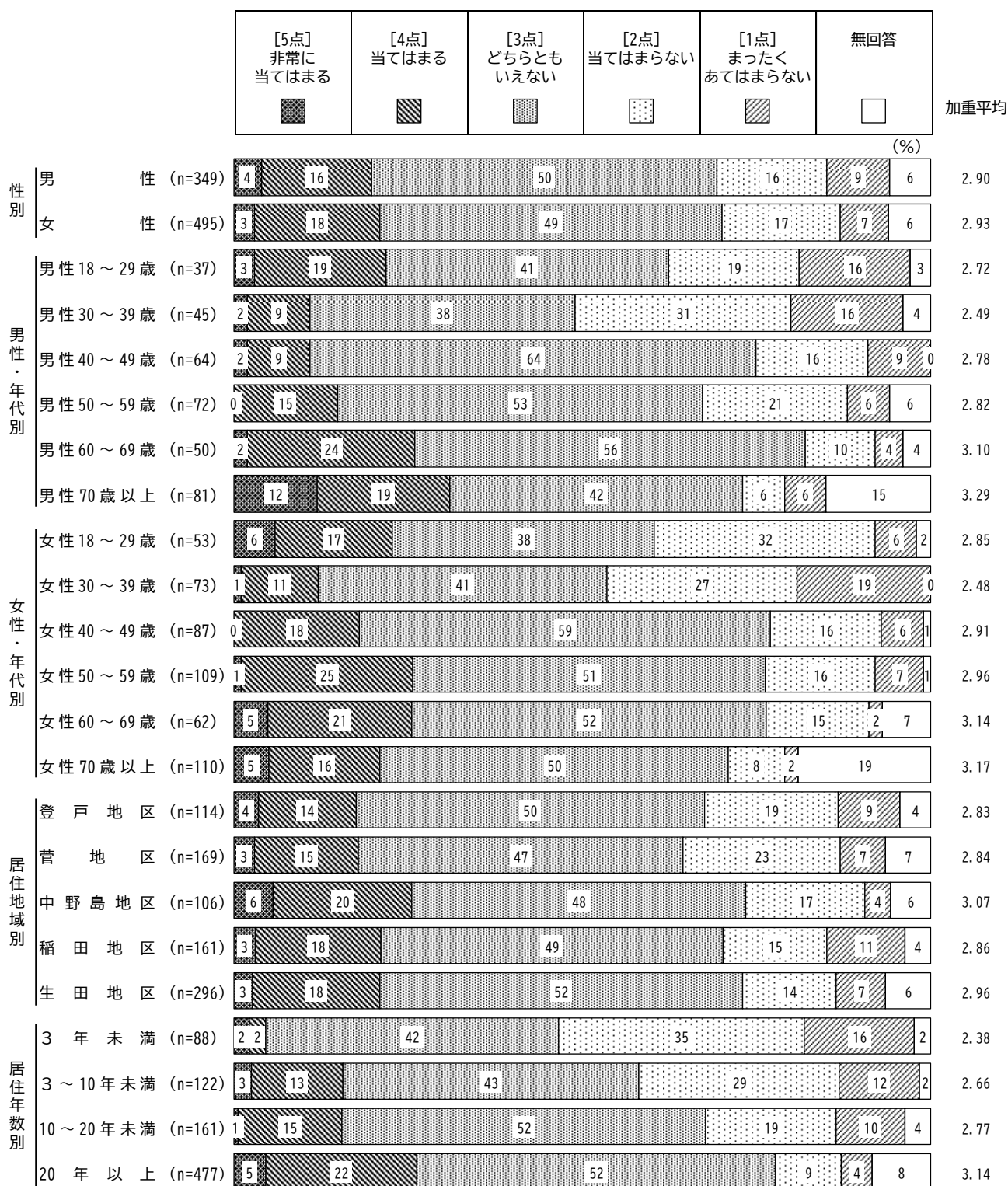


「多摩区の細部まで熟知している」を性年代別で見ると、男性 70 歳以上が、加重平均で 3.01 点と最も高い結果となった。また、居住年数が長くなるほど加重平均が高くなる傾向となった。



図表 5-5 多摩区に対する愛情や誇り(性別・性年代別・居住地区別・居住年数別)

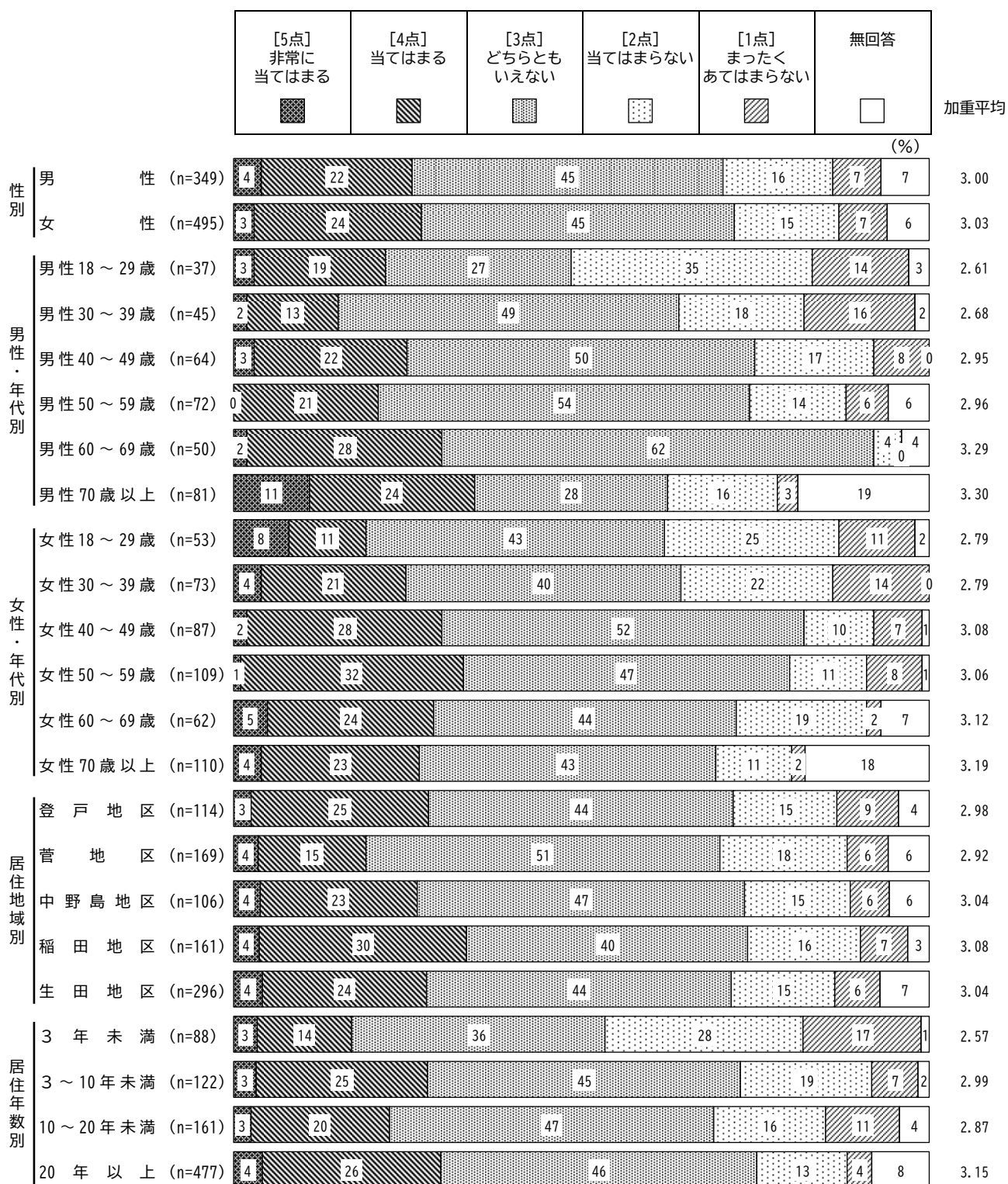
問 4. (ウ) 多摩区に誇りを持っている



「多摩区に誇りを持っている」を性年代別で見ると、「非常に当てはまる」と「当てはまる」を合わせた『当てはまる計』の割合は、男性 70 歳以上が 31%となり、加重平均でも 3.29 点と最も高い結果となった。また、居住年数が長くなるほど『当てはまる計』の割合は高くなる傾向となった。

図表 5－6 多摩区に対する愛情や誇り(性別・性年代別・居住地区別・居住年数別)

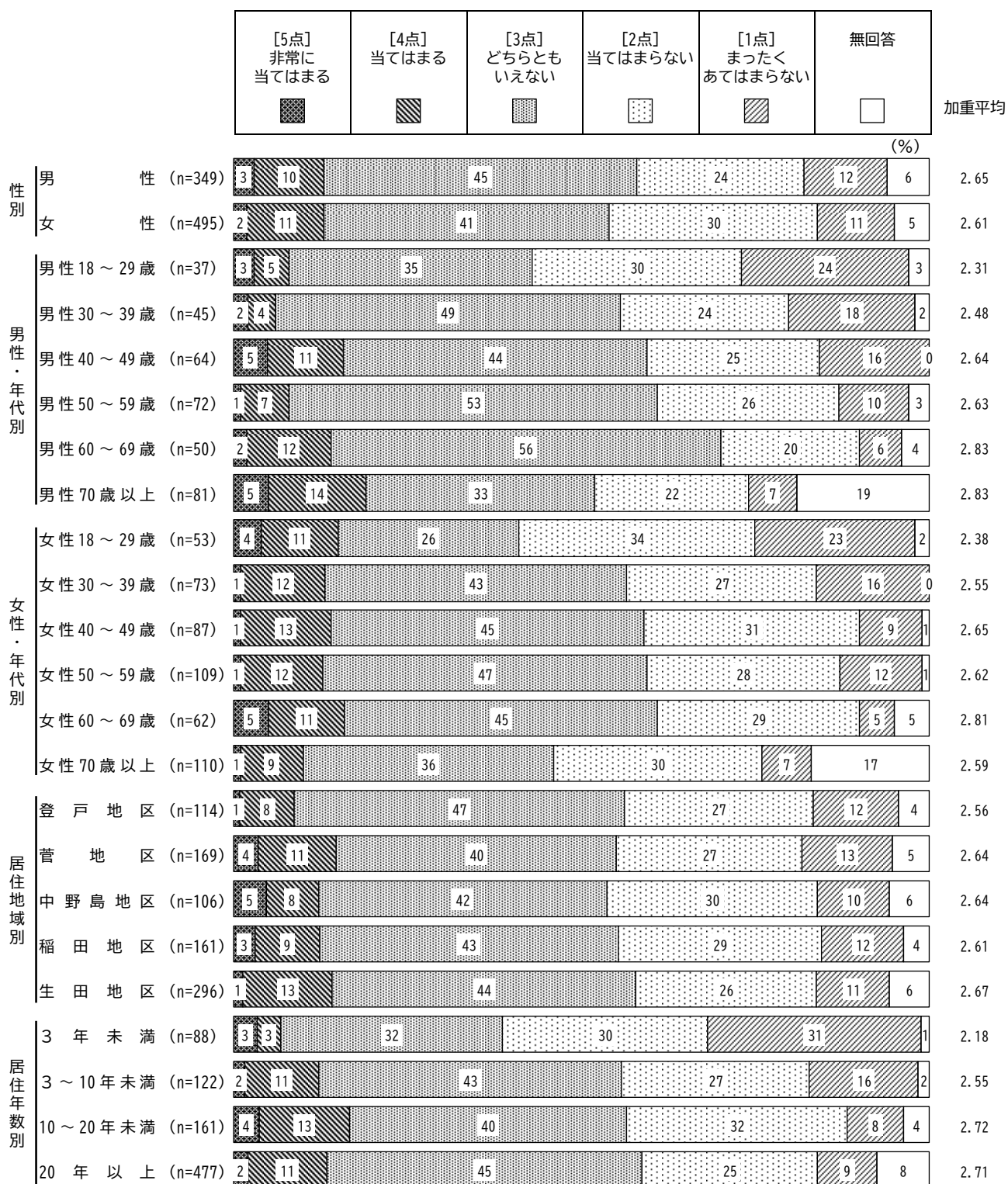
問4. (エ) 多摩区について自慢したいことがいくつもある



「多摩区について自慢したいことがいくつもある」を性年代別で見ると、加重平均は、男性は年齢が上がるにつれて高くなる傾向となった。

図表 5－7 多摩区に対する愛情や誇り(性別・性年代別・居住地区別・居住年数別)

問4. (才) 自分は多摩区に貢献している

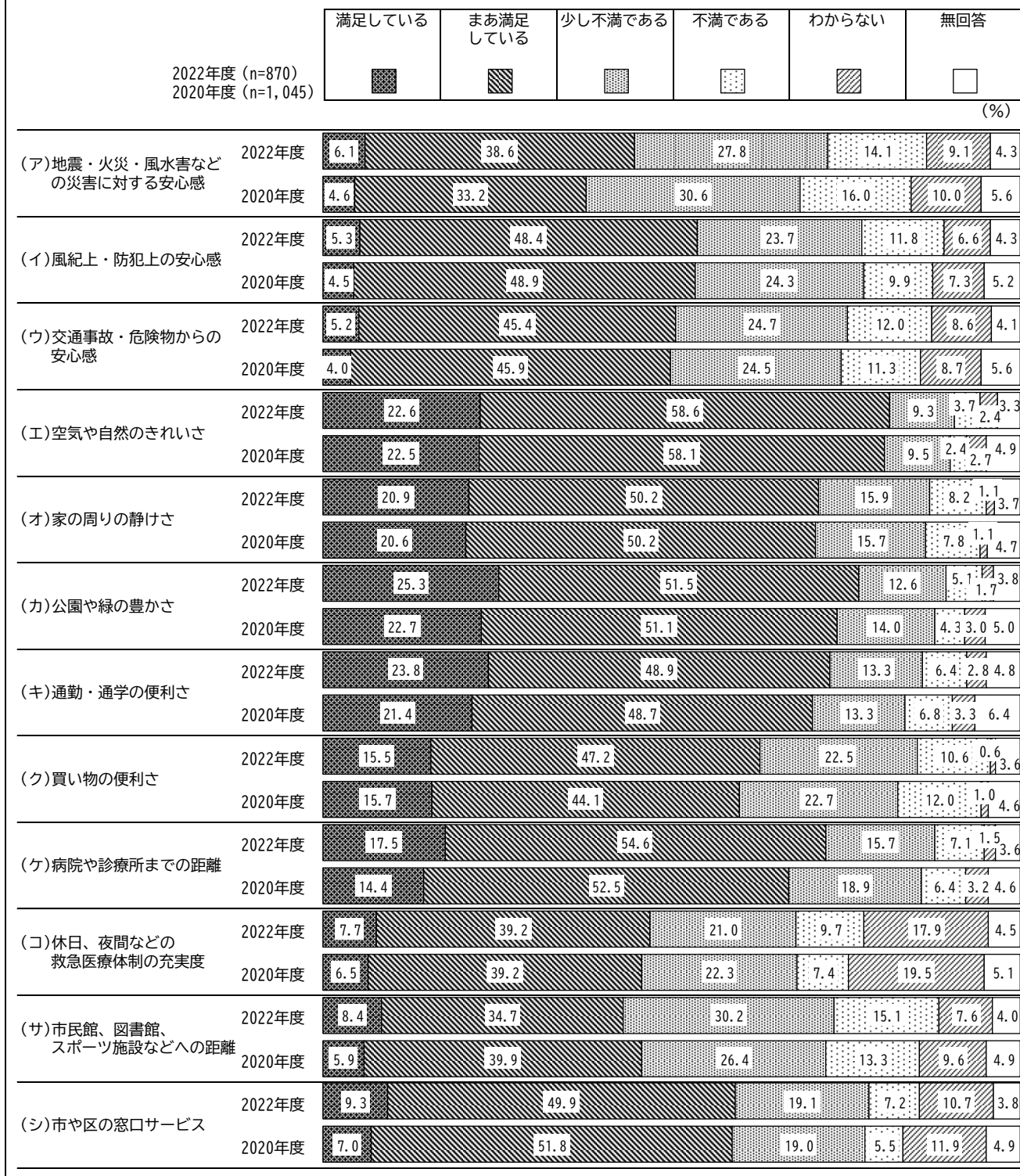


「自分は多摩区に貢献している」を性年代別で見ると、加重平均は男性 60～69 歳、男性 70 歳以上が 2.83 点と最も高い結果となった。

(6) 多摩区の生活環境

問5 多摩区の生活環境についてお伺いします。次にあげる項目についてどの程度満足していますか。  
(○はそれぞれ1つつつ)

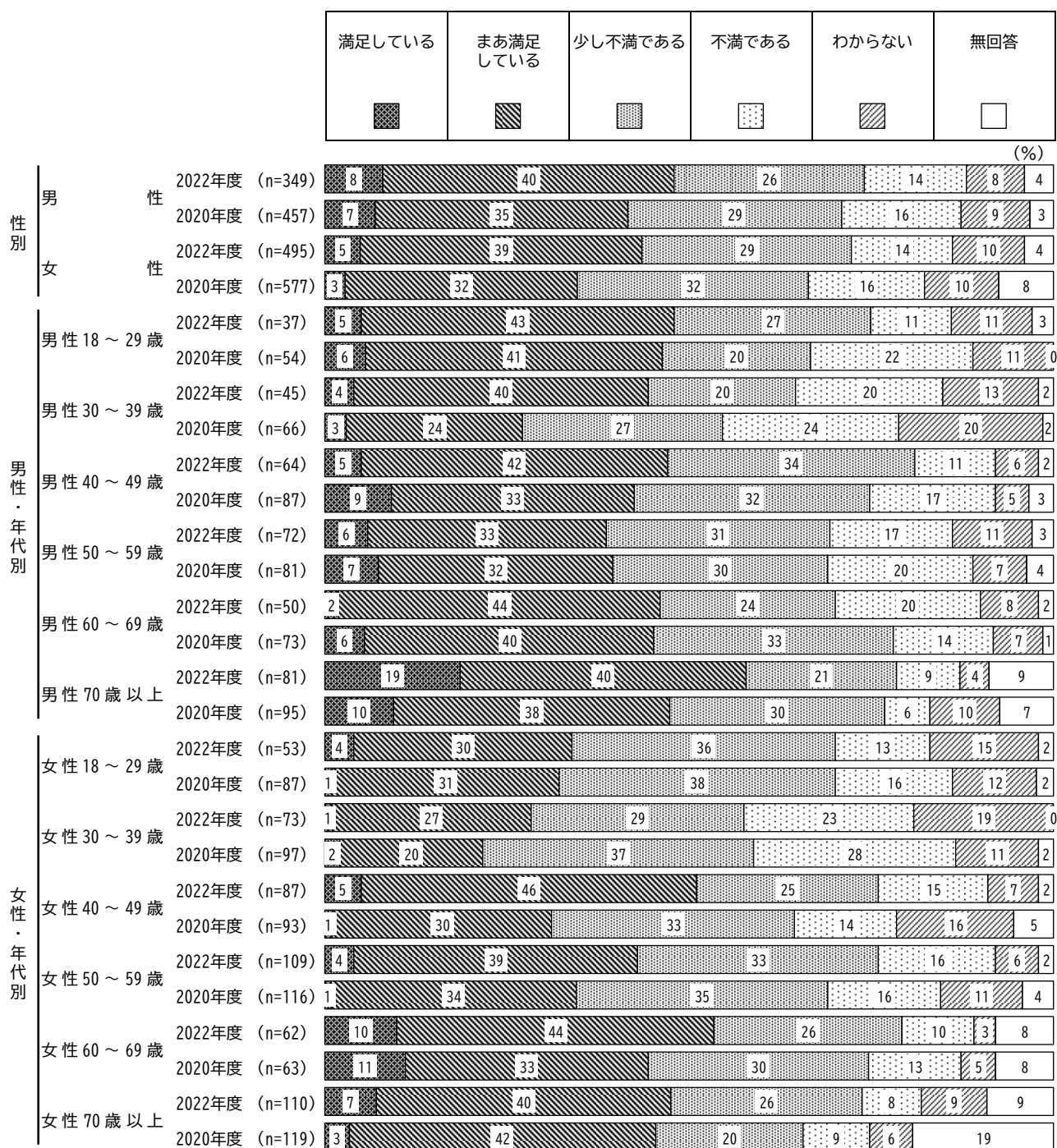
図表6-1 多摩区の生活環境



「多摩区の生活環境」について聞いたところ、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、「空気や自然のきれいさ」(81.2%)が最も高く、2020年度と同じ結果となった。

図表 6－2 多摩区の生活環境(性別・性年代別)

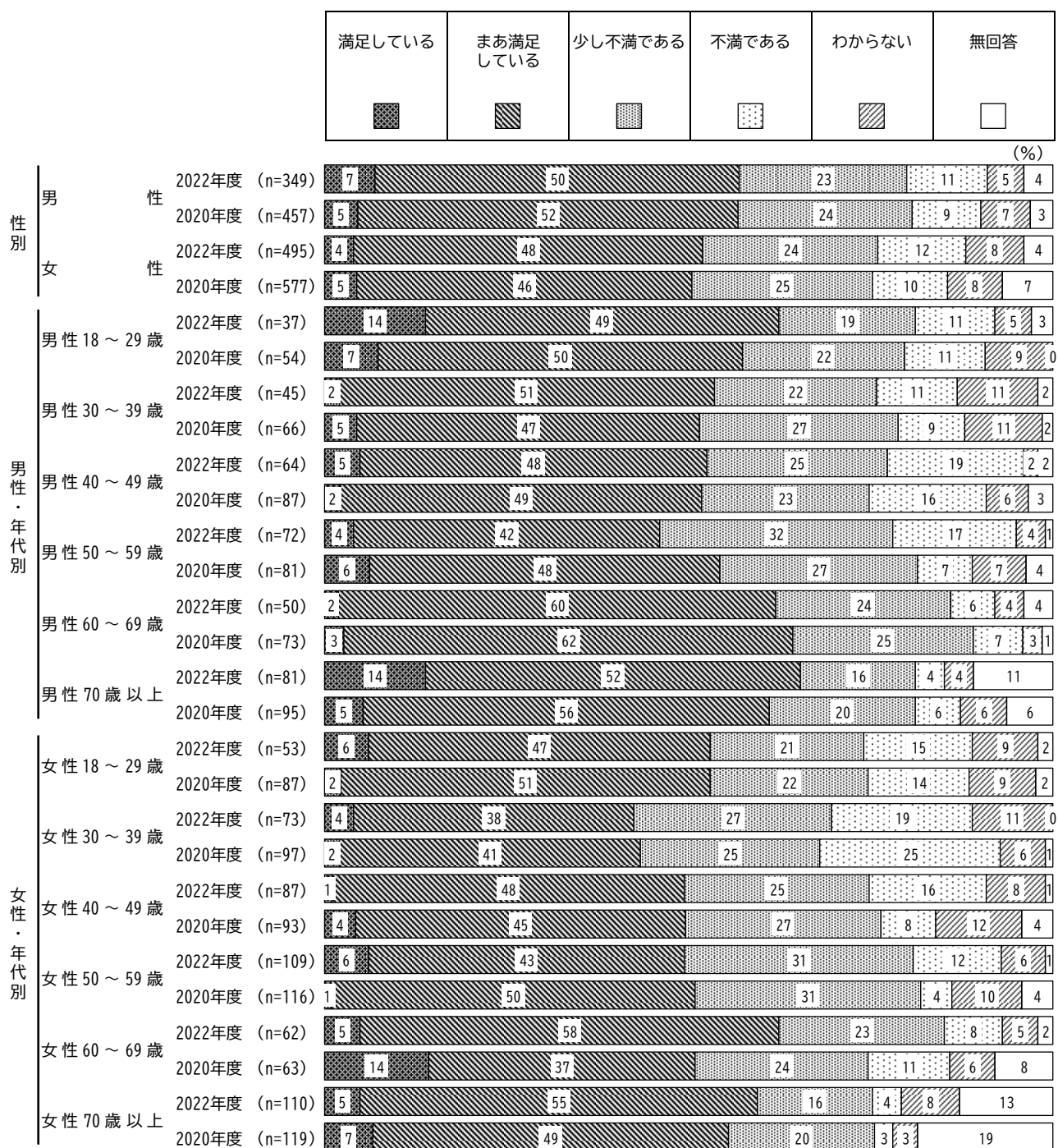
問 5. (ア) 地震・火災・風水害などの災害に対する安心感



性年代別で見ると、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性 70 歳以上、女性 40～49 歳、女性 60～69 歳で 50%を超える高い結果となった。

図表 6－3 多摩区の生活環境(性別・性年代別)

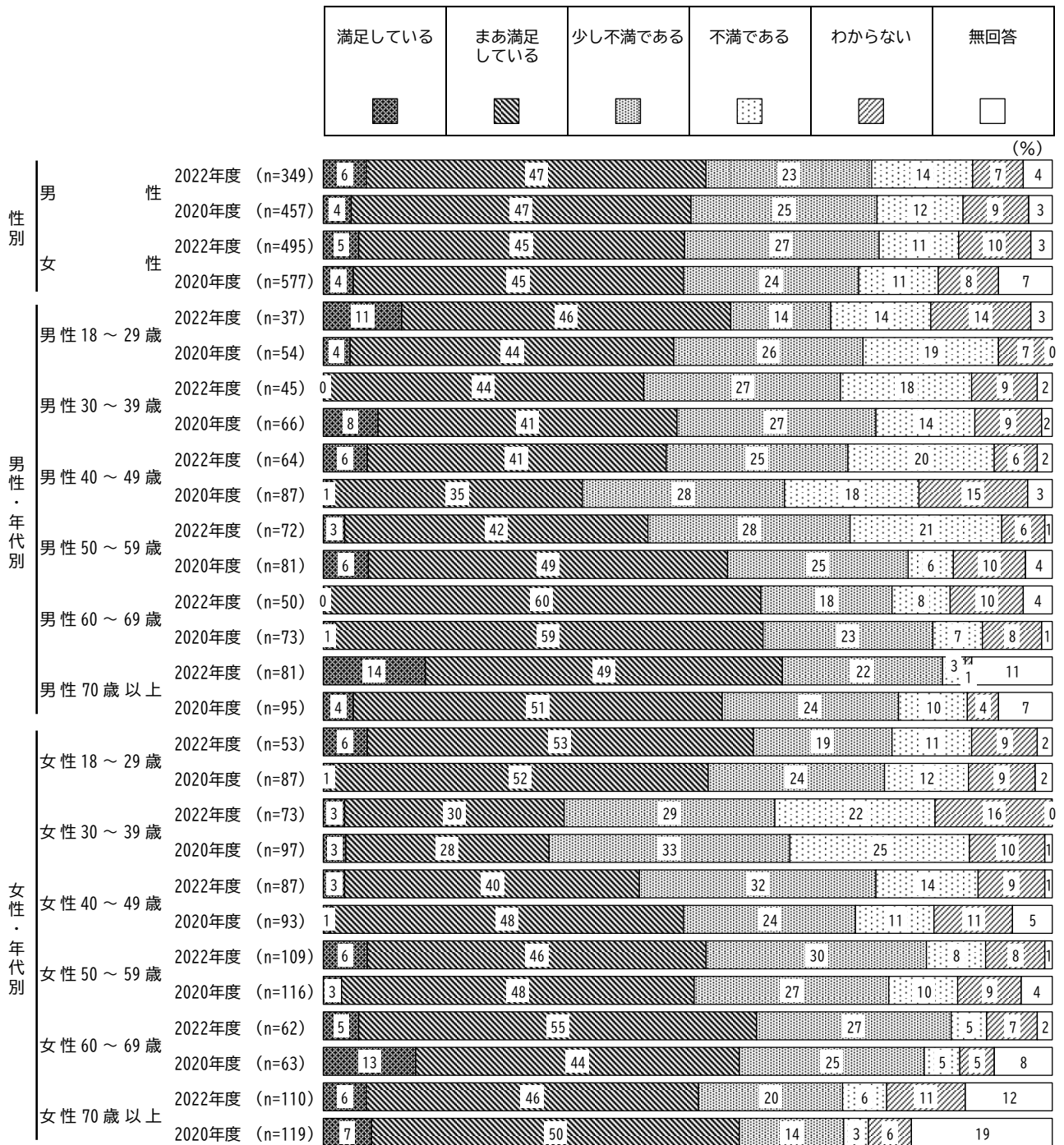
問 5. (イ) 風紀上・防犯上の安心感



性年代別で見ると、「風紀上・防犯上の安心感」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性 18～29 歳、男性 60～69 歳、男性 70 歳以上、女性 60～69 歳、女性 70 歳以上で 60%を超える高い結果となった。

図表 6-4 多摩区の生活環境(性別・性年代別)

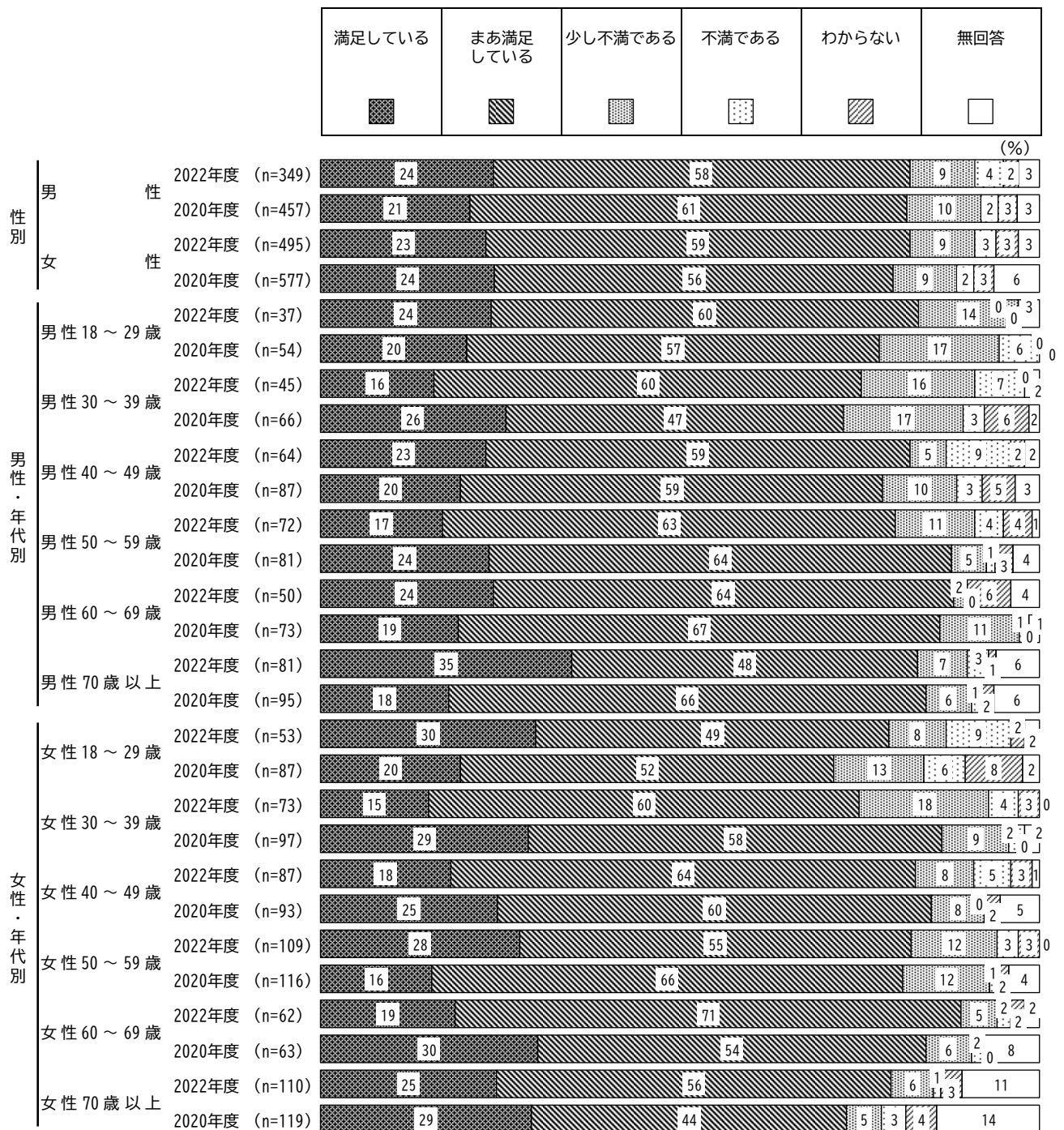
問 5. (ウ) 交通事故・危険物からの安心感



性年代別で見ると、「交通事故・危険物からの安心感」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性 60～69 歳、男性 70 歳以上、女性 60～69 歳で 60%を超える高い結果となった。

図表 6－5 多摩区の生活環境(性別・性年代別)

問5. (エ) 空気や自然のきれいさ

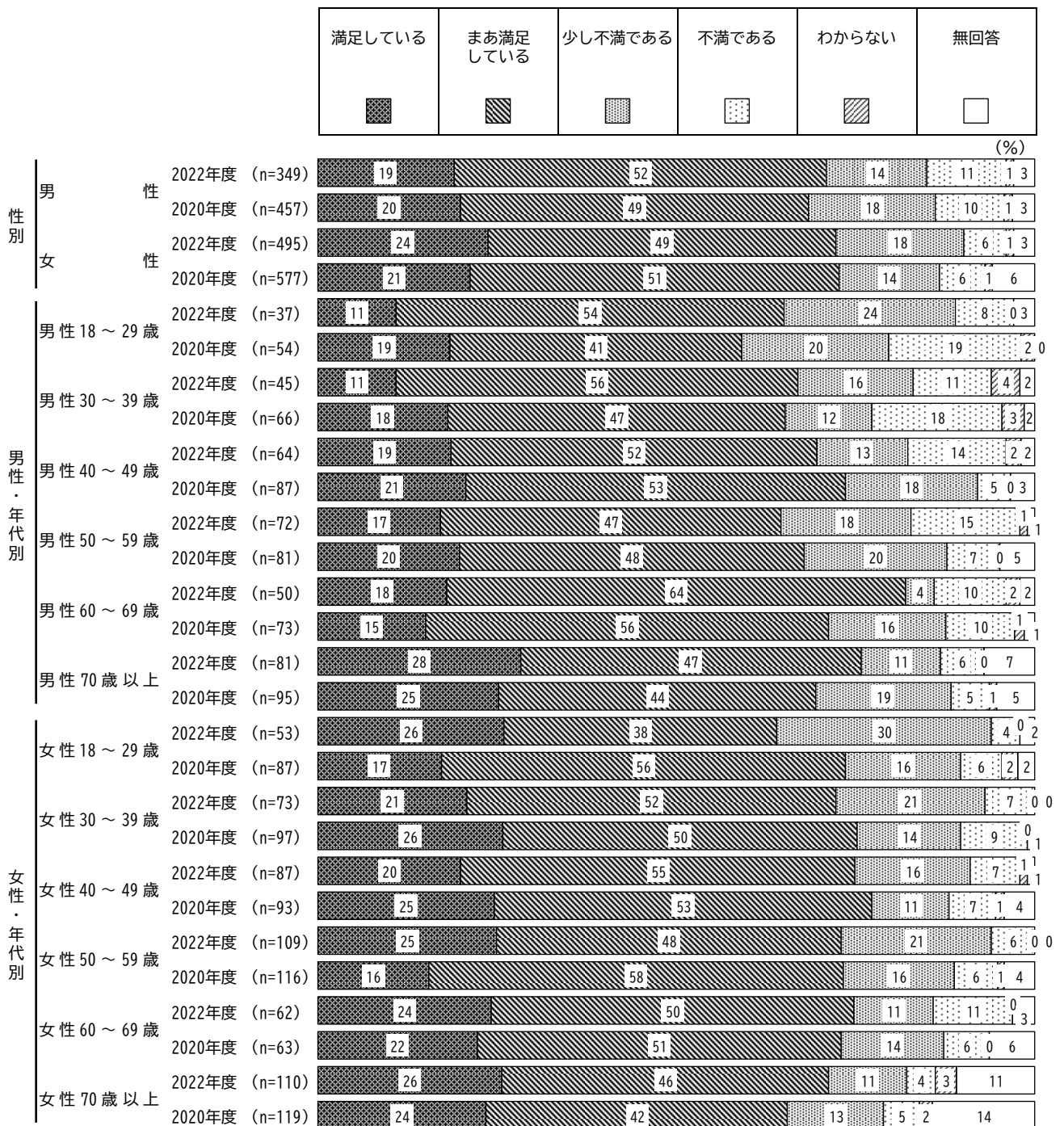


性年代別で見ると、「空気や自然のきれいさ」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性 30～39 歳、女性 18～29 歳、女性 30～39 歳以外で 80% 超える高い結果となった。また、その中でも女性 60～69 歳で 90% と最も高い結果となった。



図表 6－6 多摩区の生活環境(性別・性年代別)

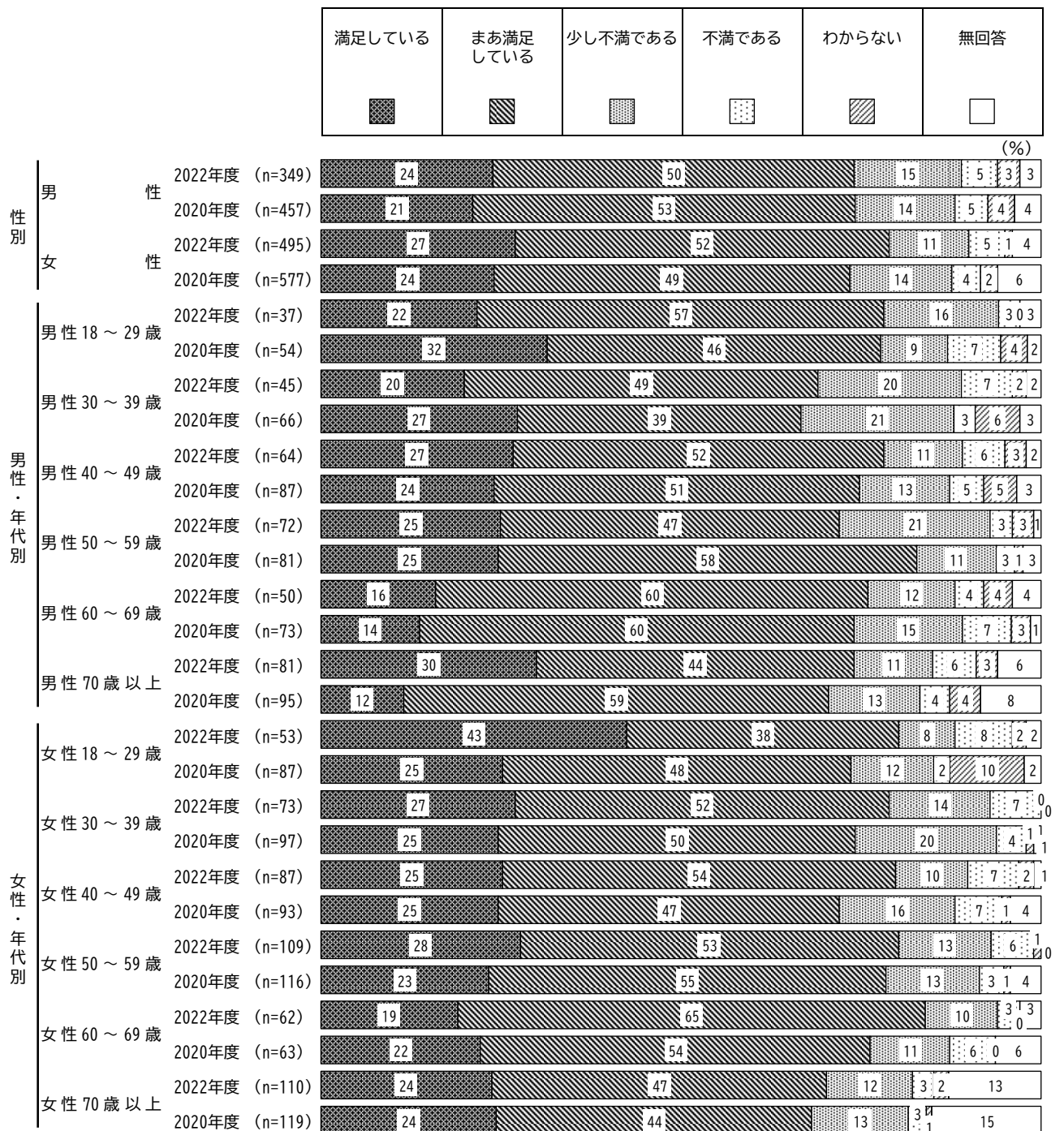
問 5. (オ) 家の周りの静けさ



性年代別で見ると、「家の周りの静けさ」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性 60～69 歳で 80%を超える高い結果となった。

図表 6－7 多摩区の生活環境(性別・性年代別)

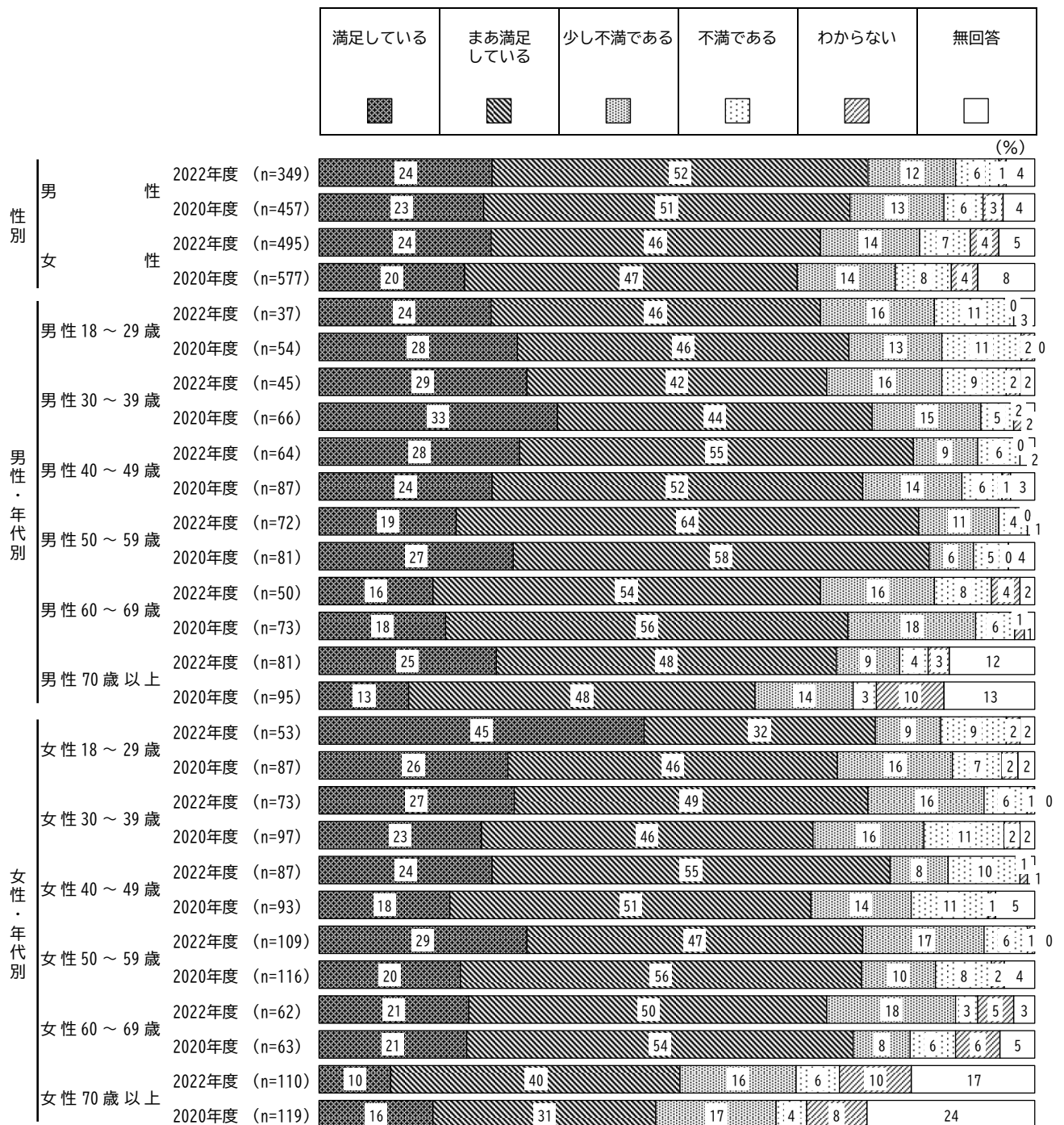
問 5. (カ) 公園や緑の豊かさ



性年代別で見ると、「公園や緑の豊かさ」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、女性 18～29 歳、女性 50～59 歳、女性 60～69 歳 で 80%を超える高い結果となった。

図表 6－8 多摩区の生活環境(性別・性年代別)

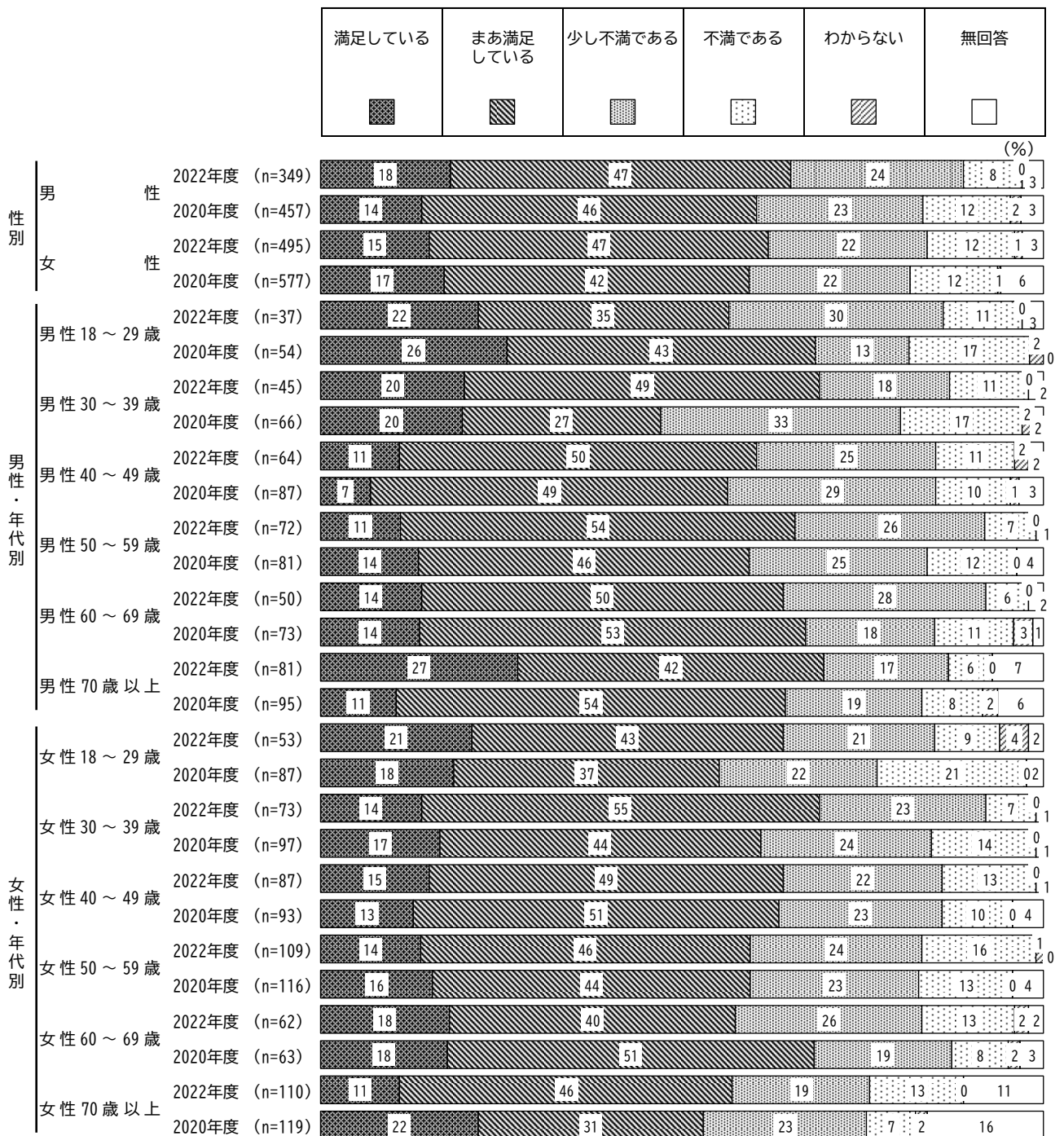
問5. (キ) 通勤・通学の便利さ



性年代別で見ると、「通勤・通学の便利さ」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性 40～49 歳、男性 50～59 歳で 80%を超える高い結果となった。

図表 6－9 多摩区の生活環境(性別・性年代別)

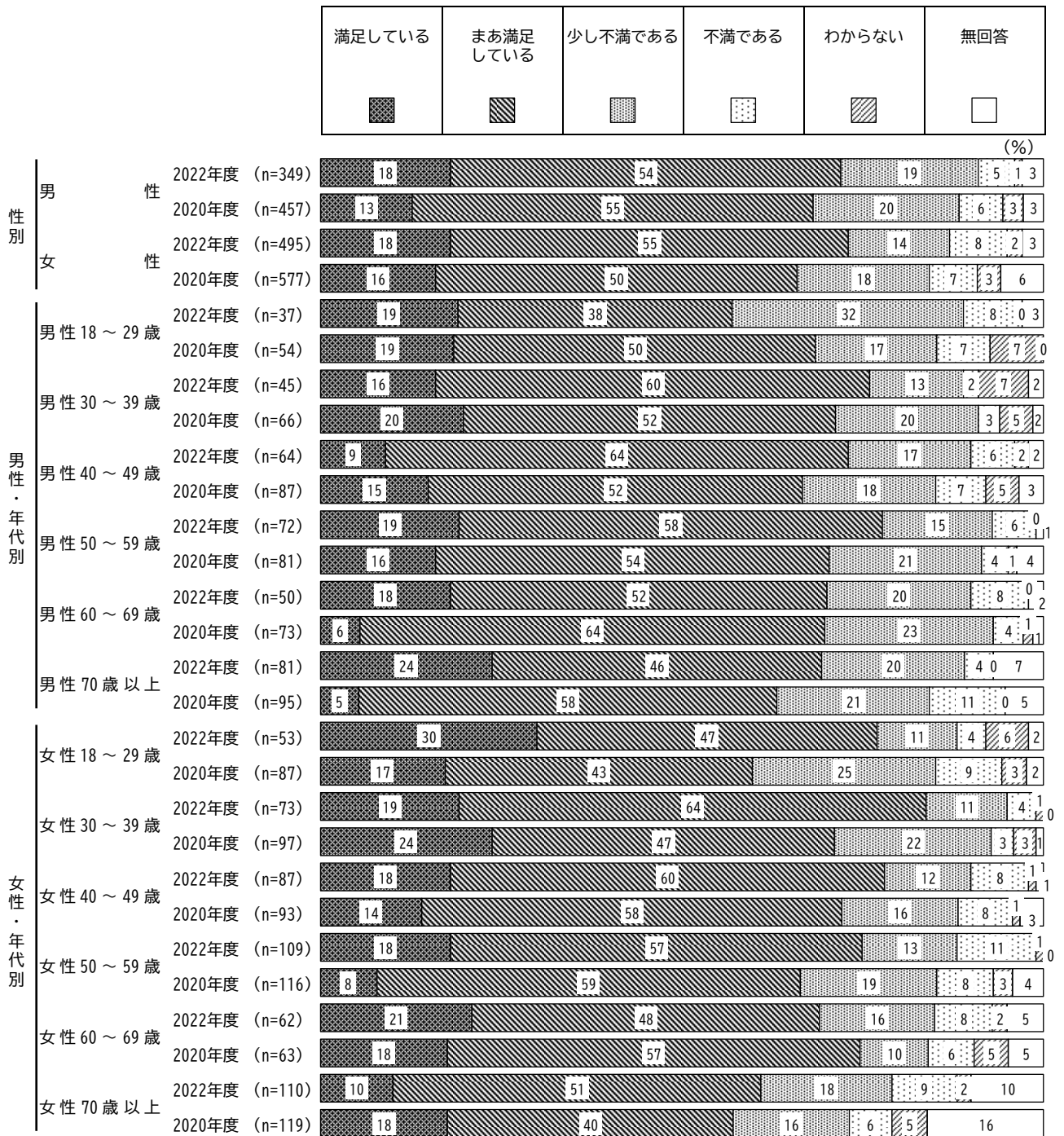
問 5. (ク) 買い物の便利さ



性年代別で見ると、「買い物の便利さ」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、全ての性年代で 50%を超える高い結果となった。

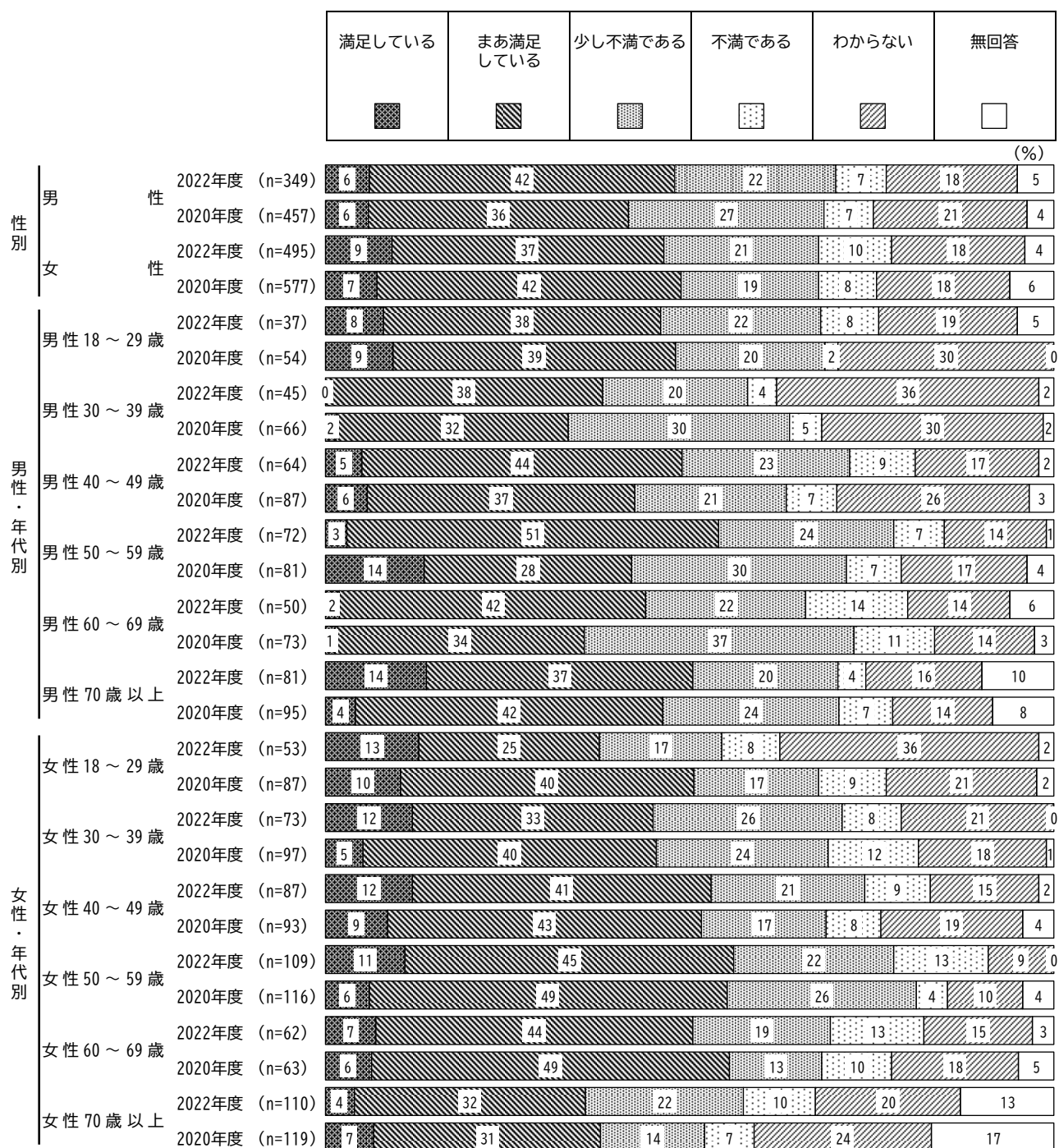
図表 6－10 多摩区の生活環境(性別・性年代別)

問5. (ケ) 病院や診療所までの距離



性年代別で見ると、「病院や診療所までの距離」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性 18～29 歳を除き、すべての性年代で 60%を超える高い結果となった。

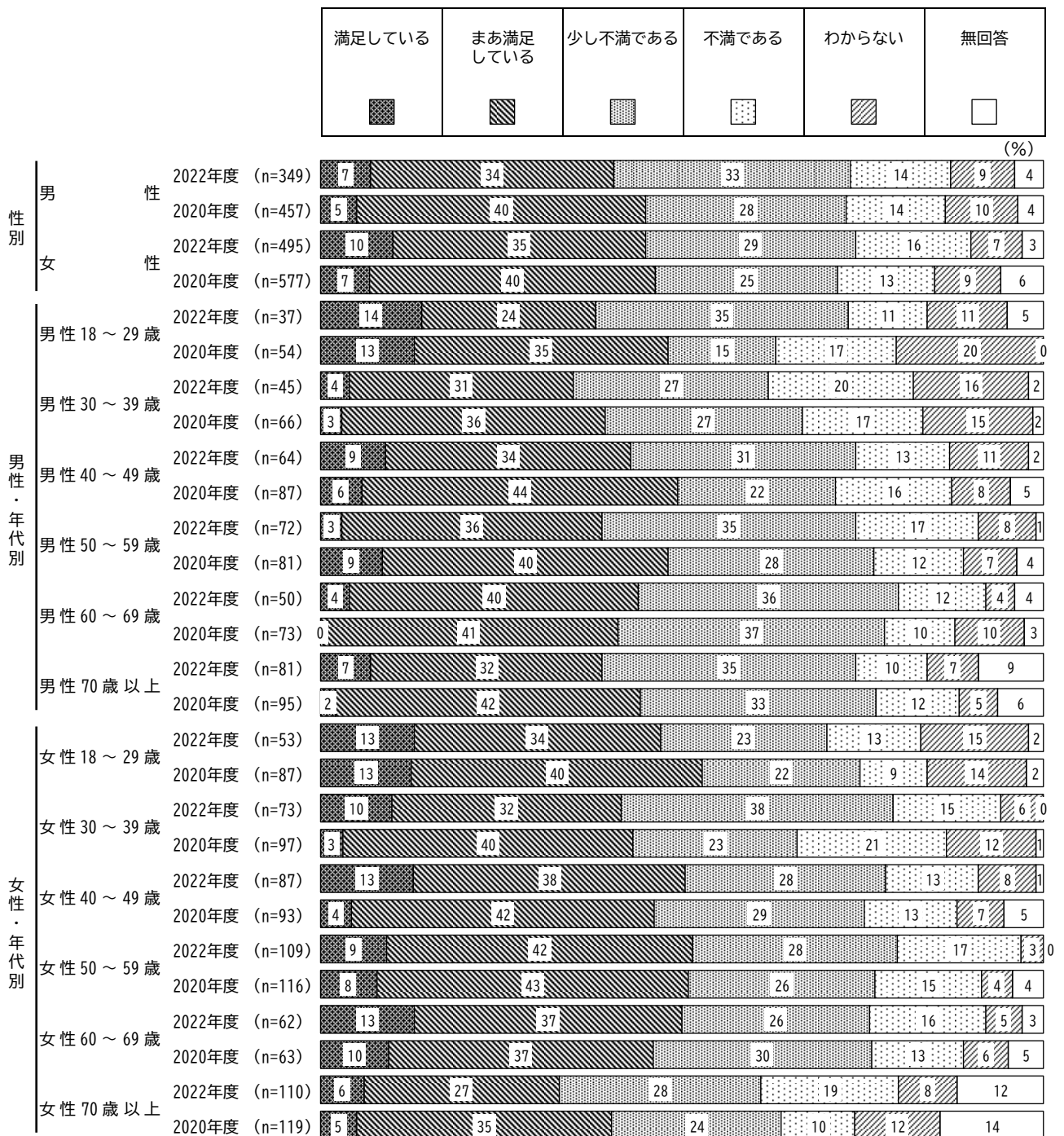
図表 6－11 多摩区の生活環境(性別・性年代別)  
問5. (コ) 休日、夜間などの救急医療体制の充実度



性年代別で見ると、「休日、夜間などの救急医療体制の充実度」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性 30～39 歳、女性 18～29 歳、女性 70 歳以上を除く性年代で 40%を超える結果となった。

図表 6-12 多摩区の生活環境(性別・性年代別)

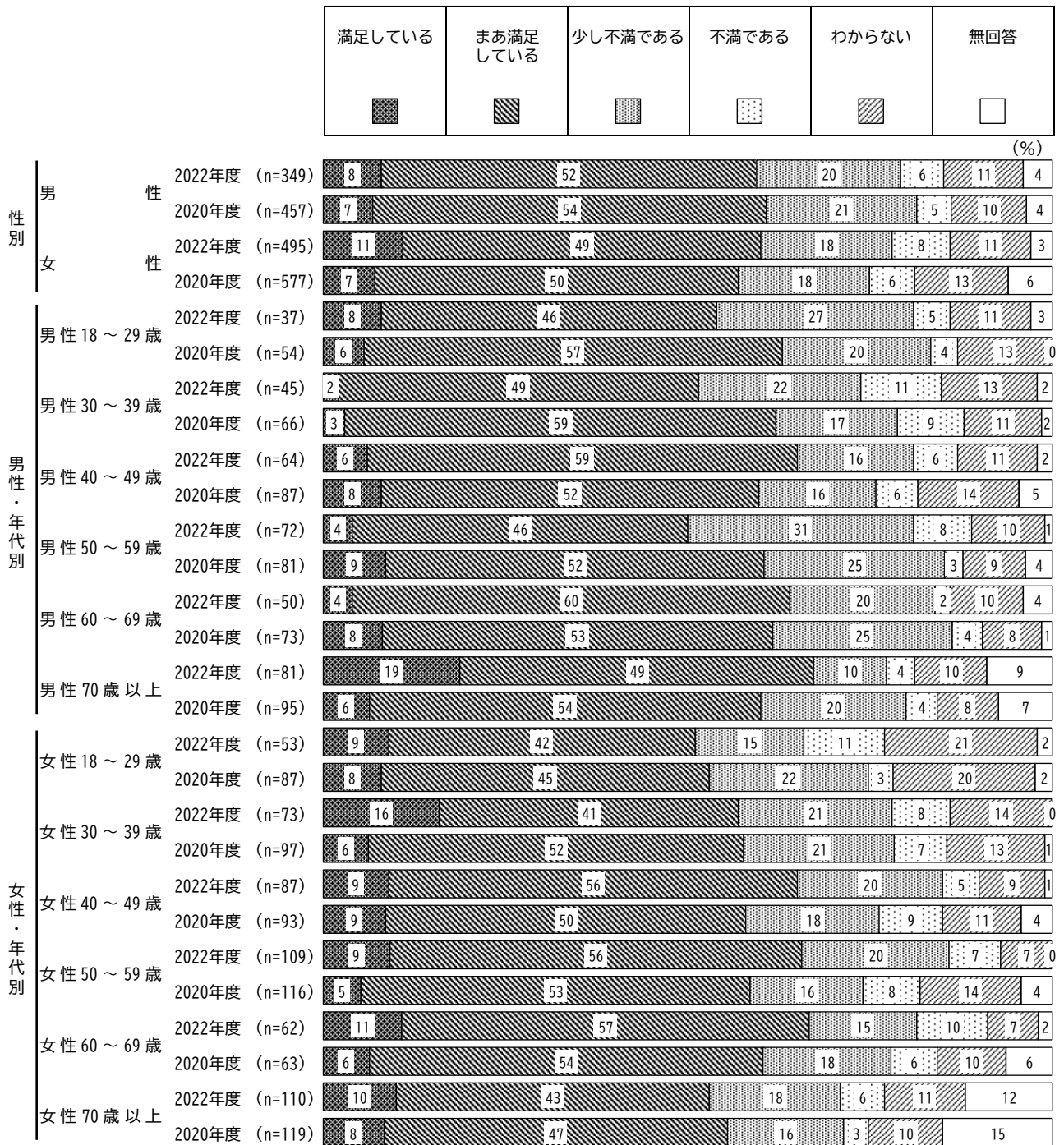
## 問 5. (サ) 市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離



性年代別で見ると、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、女性 40～49 歳、女性 50～59 歳、女性 60～69 歳で 50% を超える高い結果となった。

図表 6－13 多摩区の生活環境(性別・性年代別)

## 問5. (シ) 市や区の窓口サービス



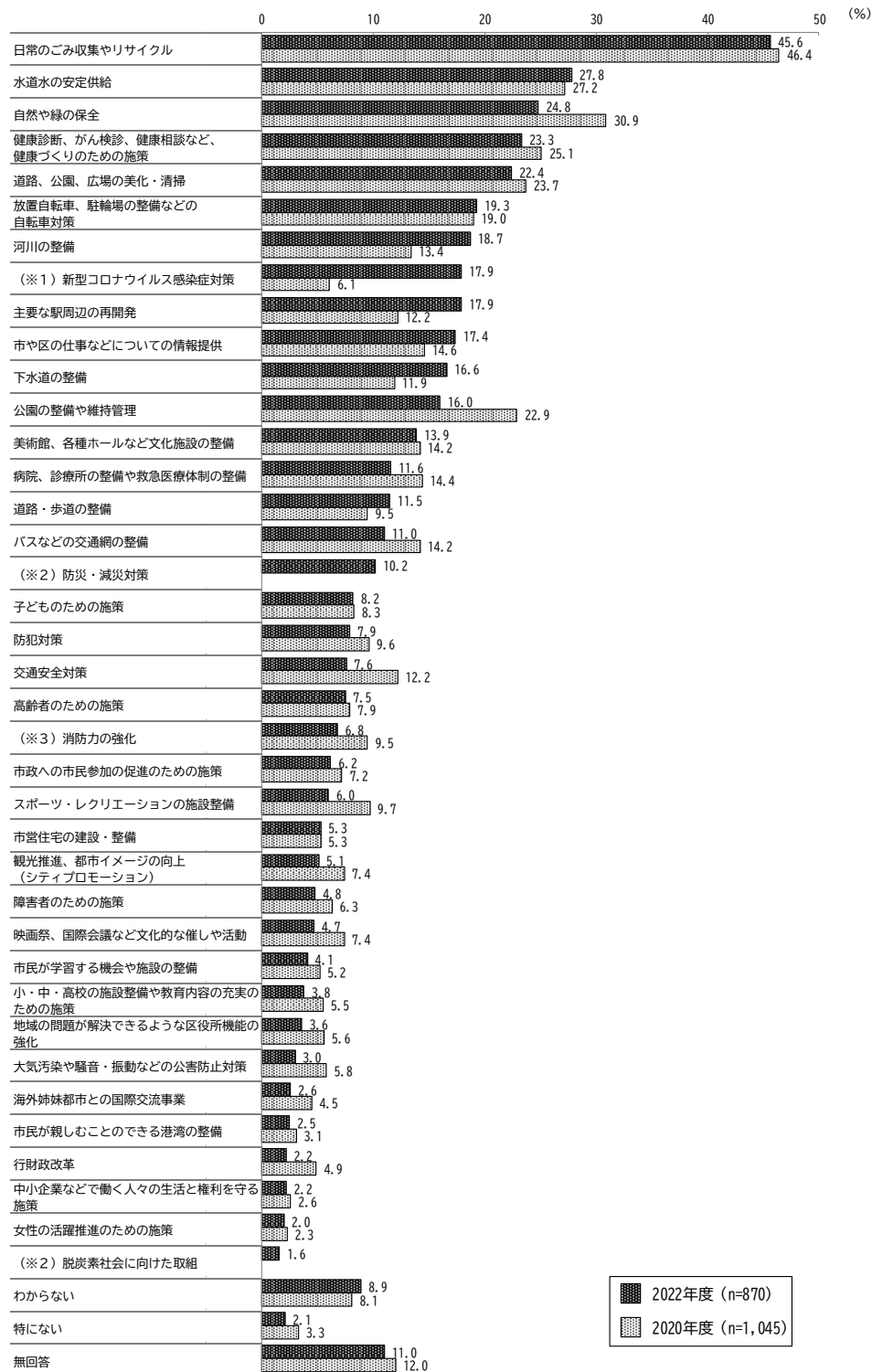
性年代別で見ると、「市や区の窓口サービス」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性 70 歳以上、女性 60～69 歳で 68%と高い結果となった。



(7) 市政についてよくやっていると思うもの

問6 川崎市政について総合的に伺います。次にあげる施策の中で、よくやっていると思われるものは、どれですか。(あてはまるものすべてに○)

図表7-1 市政についてよくやっていると思うもの



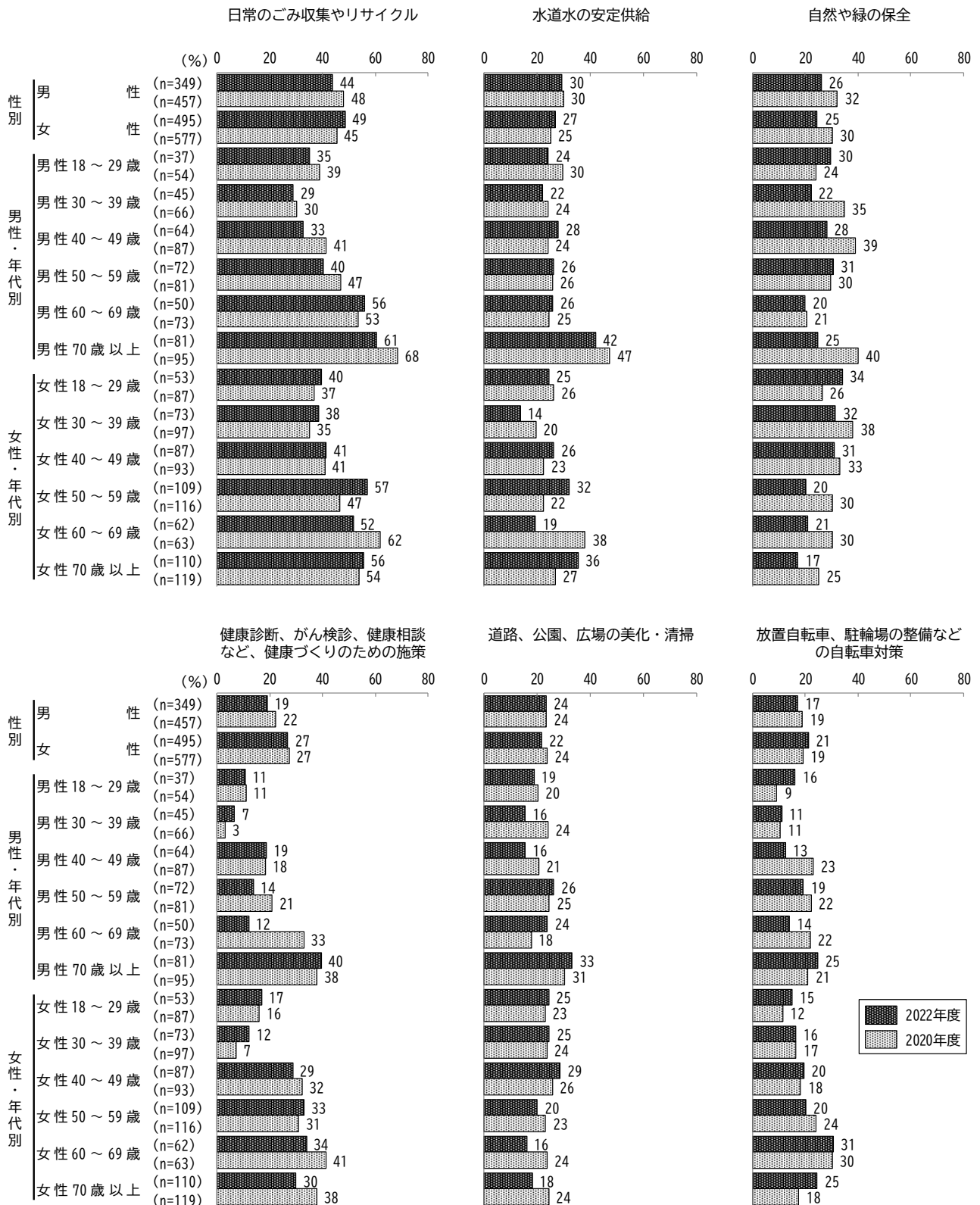
※1 「新型コロナウイルス感染症対策」は2020年度では「検査体制、電話相談、情報提供などの新型コロナウイルス感染症対策」として聴取

※2 2022年度からの新規項目

※3 「消防力の強化」は2020年度では「消防力の強化や防犯体制の整備」として聴取

「市政についてよくやっていると思うもの」について聞いたところ、「日常のごみ収集やリサイクル」(45.6%)が最も高く、次いで「水道水の安定供給」(27.8%)、「自然や緑の保全」(24.8%)の順となった。

図表 7-2 市政についてよくやっていると思うもの(性別・性年代別)＜上位 6 項目＞

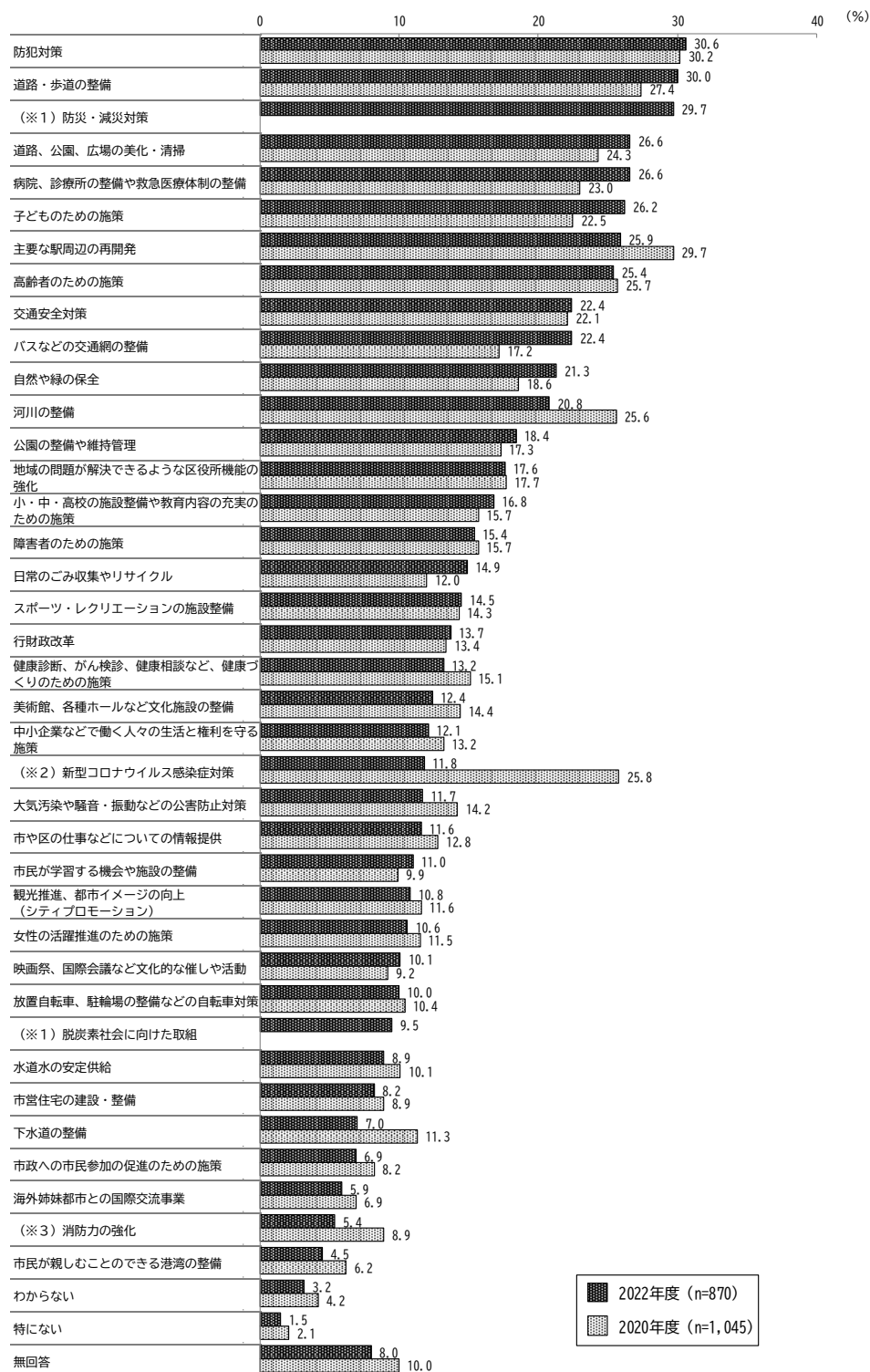


性年代別で見ると、「日常のごみ収集やリサイクル」は男性の年齢が上がるにつれて、おおむね高くなる傾向となった。一方、「自然や緑の保全」は女性の年齢が上がるにつれて、おおむね低くなる傾向となった。

(8) 市政について今後特に力を入れてほしいもの

問7 今後特に力を入れてほしいとお考えのものは、どれですか。(あてはまるものすべてに○)

図表8-1 市政について今後特に力を入れてほしいもの



※1 2022年度からの新規項目

※2 「新型コロナウイルス感染症対策」は2020年度では「検査体制、電話相談、情報提供などの新型コロナウイルス感染症対策」として聴取

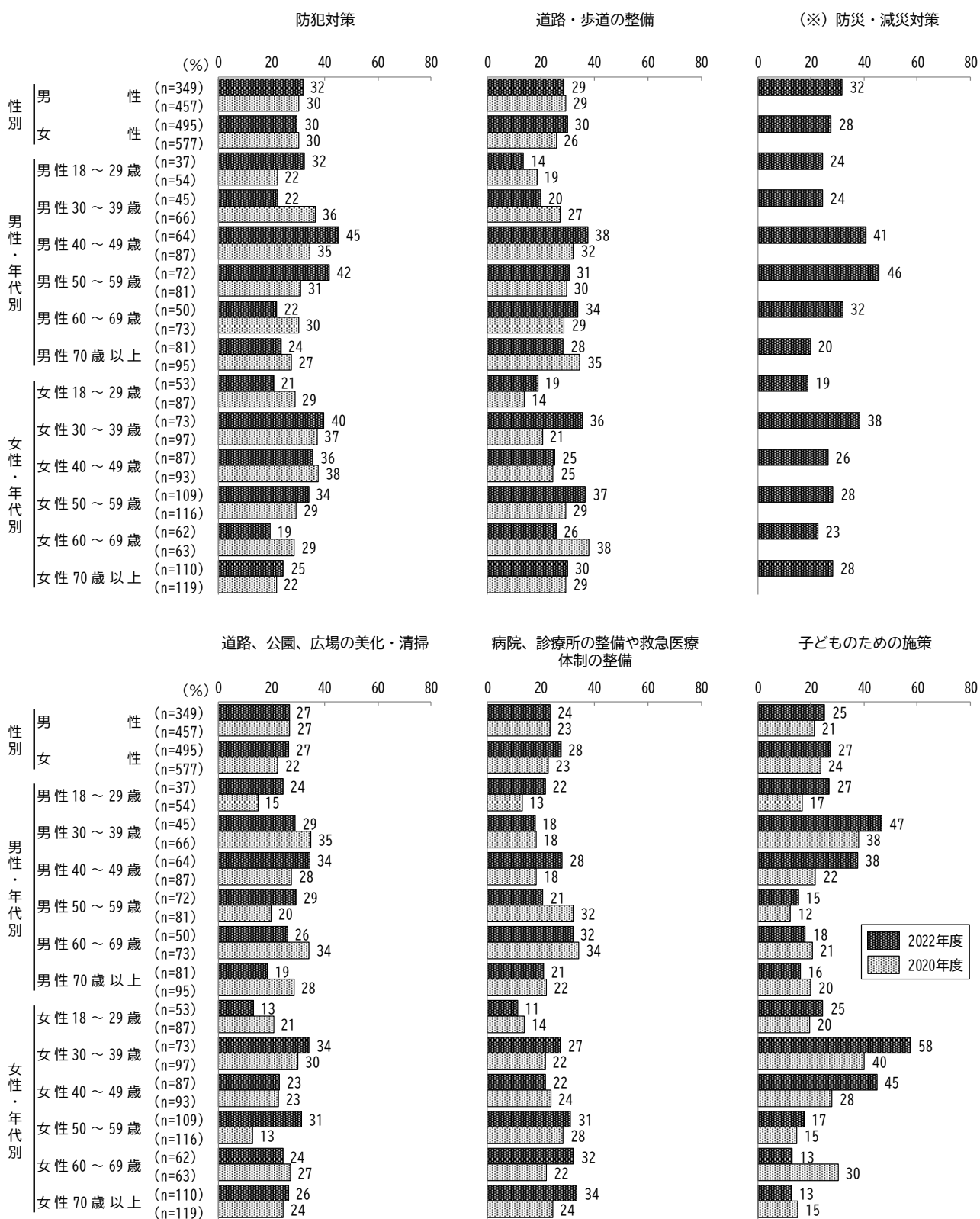
※3 「消防力の強化」は2020年度では「消防力の強化や防災体制の整備」として聴取

「市政について今後特に力を入れてほしいもの」について聞いたところ、「防犯対策」(30.6%)が最も高く、次いで「道路・歩道の整備」(30.0%)、「防災・減災対策」(29.7%)の順となった。

2020年と比較すると、「新型コロナウイルス感染症対策」は14.0ポイント減少する結果となった。

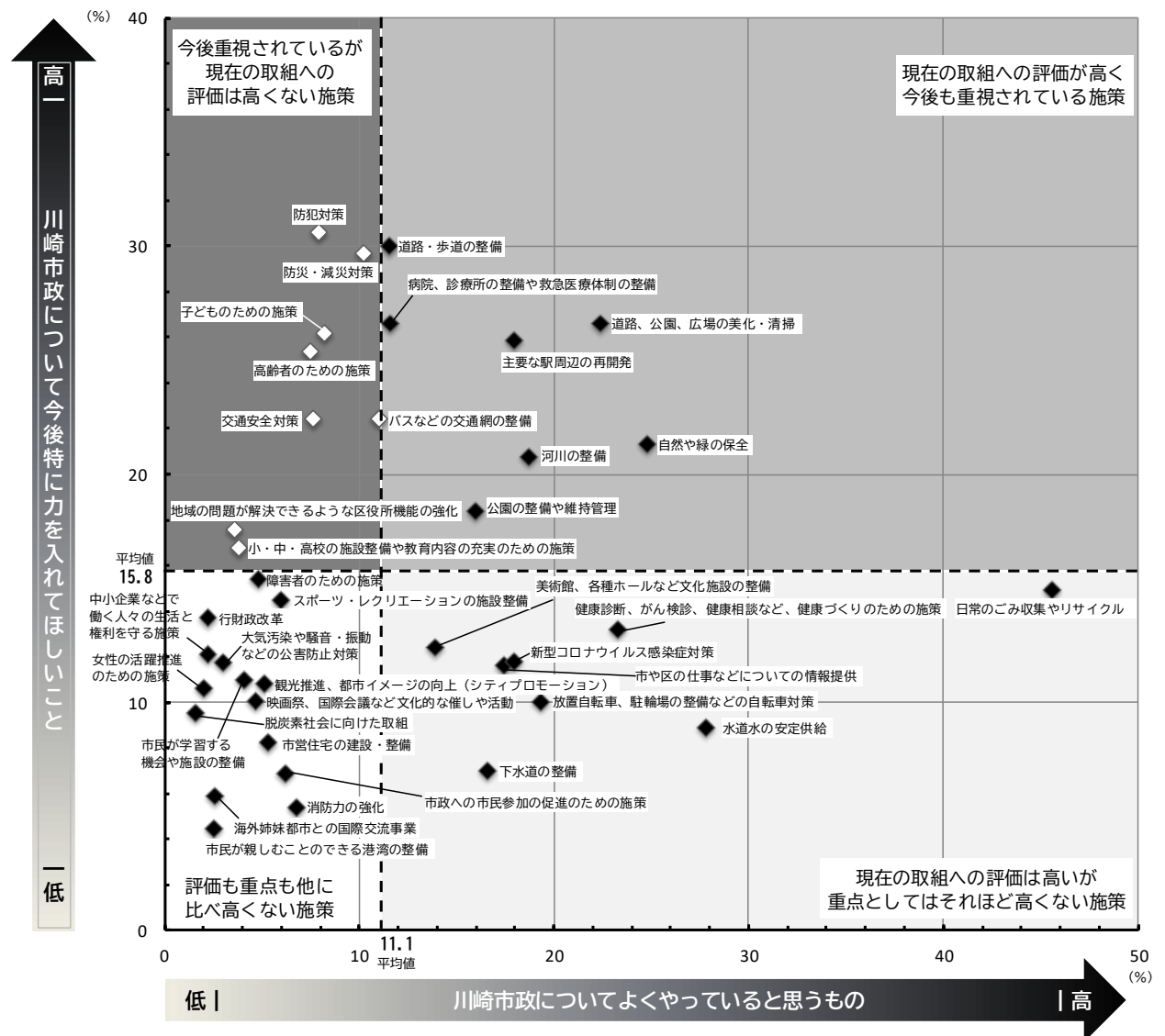
図表 8－2 市政について今後特に力を入れてほしいもの(性別・性年代別)＜上位 6 項目＞

(※) 2022 年度からの新規項目



性年代別で見ると、「子どものための施策」は女性 30～39 歳 (58%) と最も高く、次いで男性 30～39 歳 (47%)、女性 40～49 歳 (45%) となっている。

図表 8-3 市政について今後特に力を入れてほしいもの  
市政についての評価と今後の意向に関するクロス分析(全体)



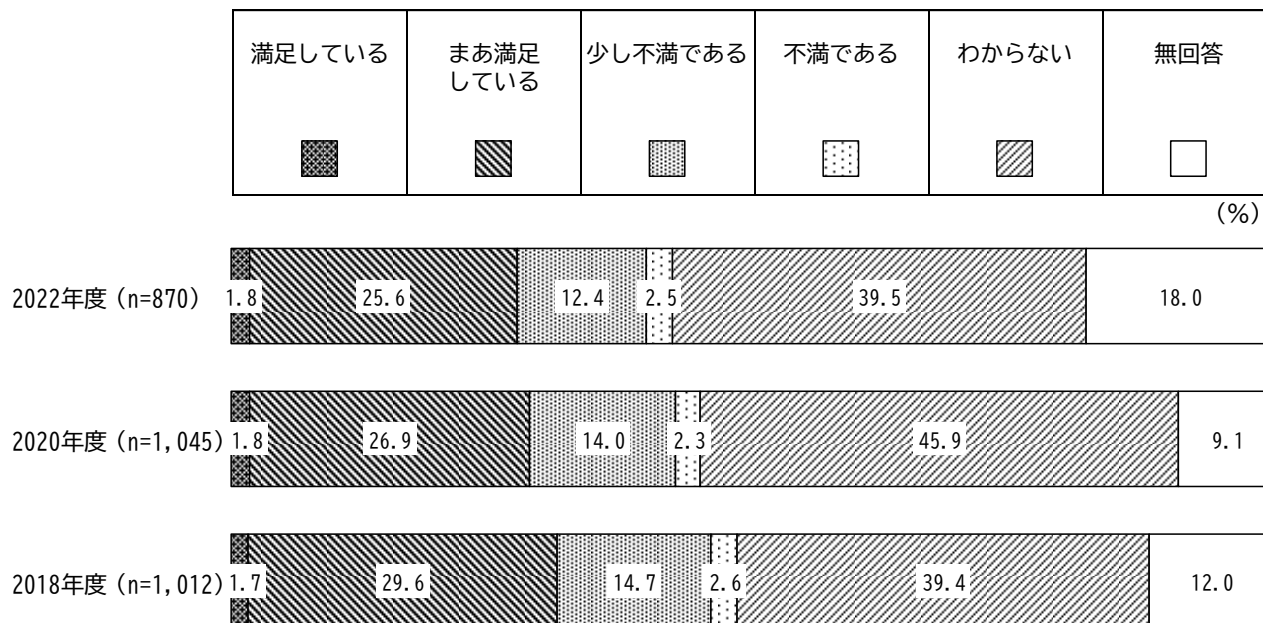
「(7) 市政についてよくやっていると思うもの」と「(8) 市政について今後特に力をいれてほしいもの」の2つの設問に対する回答結果を掛け合わせたグラフを見ると、「よくやっている」と「今後特に力をいれてほしい」の割合が高いのは(図右上)、「自然や緑の保全」、「道路、公園、広場の美化・清掃」、「河川の整備」、「主要な駅周辺の再開発」、「公園の整備や維持管理」、「道路・歩道の整備」、「病院、診療所の整備や救急医療体制の整備」の7項目であった。

また、「よくやっている」の割合が低く、「今後特に力をいれてほしい」の割合が高いのは(図左上)、「防犯対策」、「防災・減災対策」、「子どものための施策」、「高齢者のための施策」、「交通安全対策」、「バスなどの交通網の整備」、「地域の問題が解決できるような区役所機能の強化」、「小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策」の8項目であった。

(9) 市の施策や事業の総合満足度

問8 川崎市が進めている施策や事業について、どの程度満足していますか。(○は1つだけ)

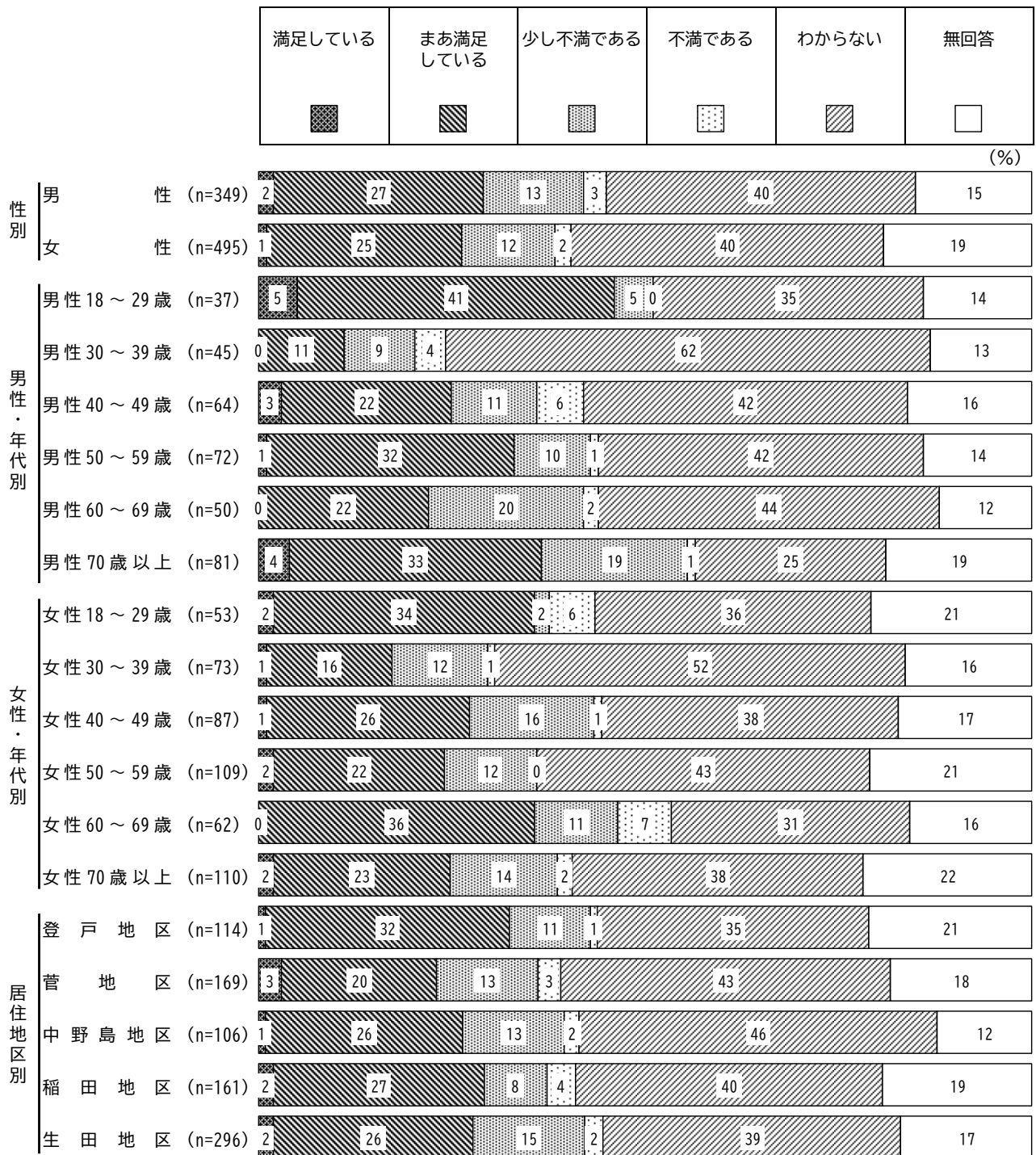
図表9-1 市の施策や事業の総合満足度



「市の施策や事業の総合満足度」について聞いたところ、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』は、27.4%となった。

2018年度、2020年度と比較して、微減となった。

図表 9-2 市の施策や事業の総合満足度(性別・性年代別・居住地区別)



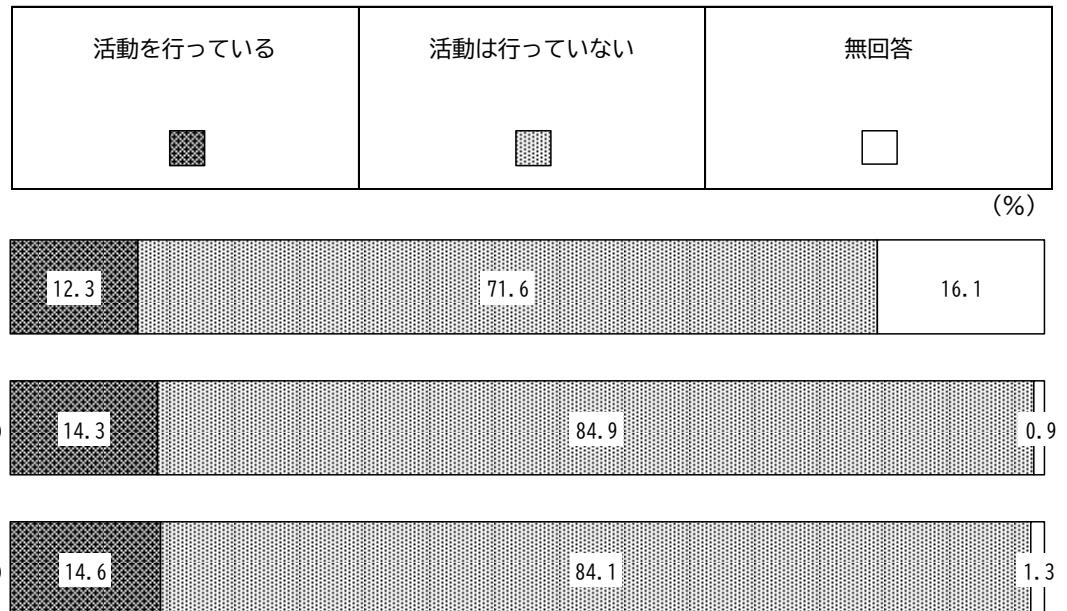
性年代別で見ると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』の割合は、男性 18～29 歳が 46%と最も高い結果となった。

## 2 市政への参加、地域でのボランティア活動などについて

### (10) 地域活動の状況

問9 地域のボランティア活動、サークル活動などを行っていますか。(○は1つだけ)

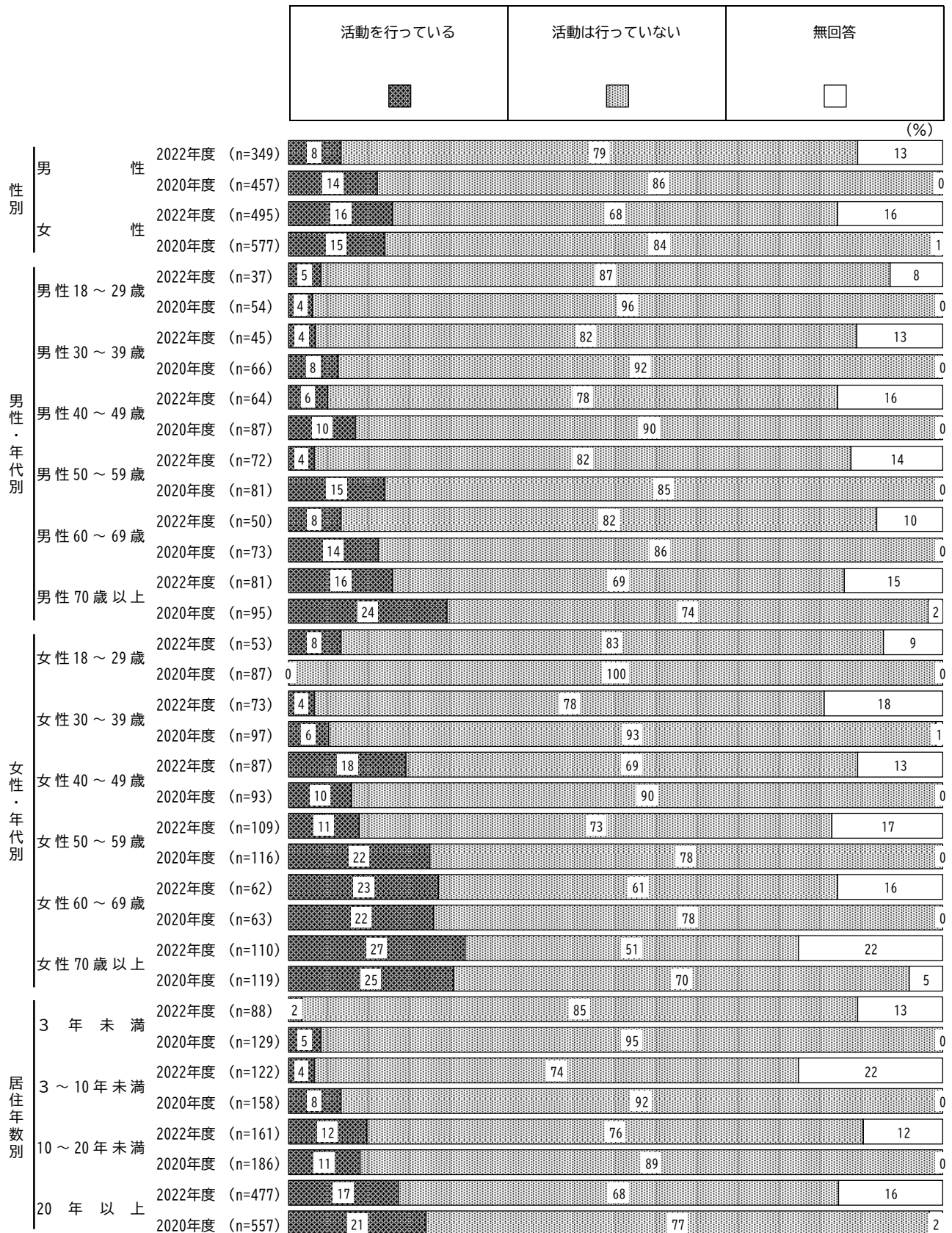
図表10-1 地域活動の状況



「地域活動の状況」について聞いたところ、「活動を行っている」は12.3%で、2020年度と比較して微減の結果となった。



図表 10-2 地域活動の状況（性別・性年代別・居住年数別）

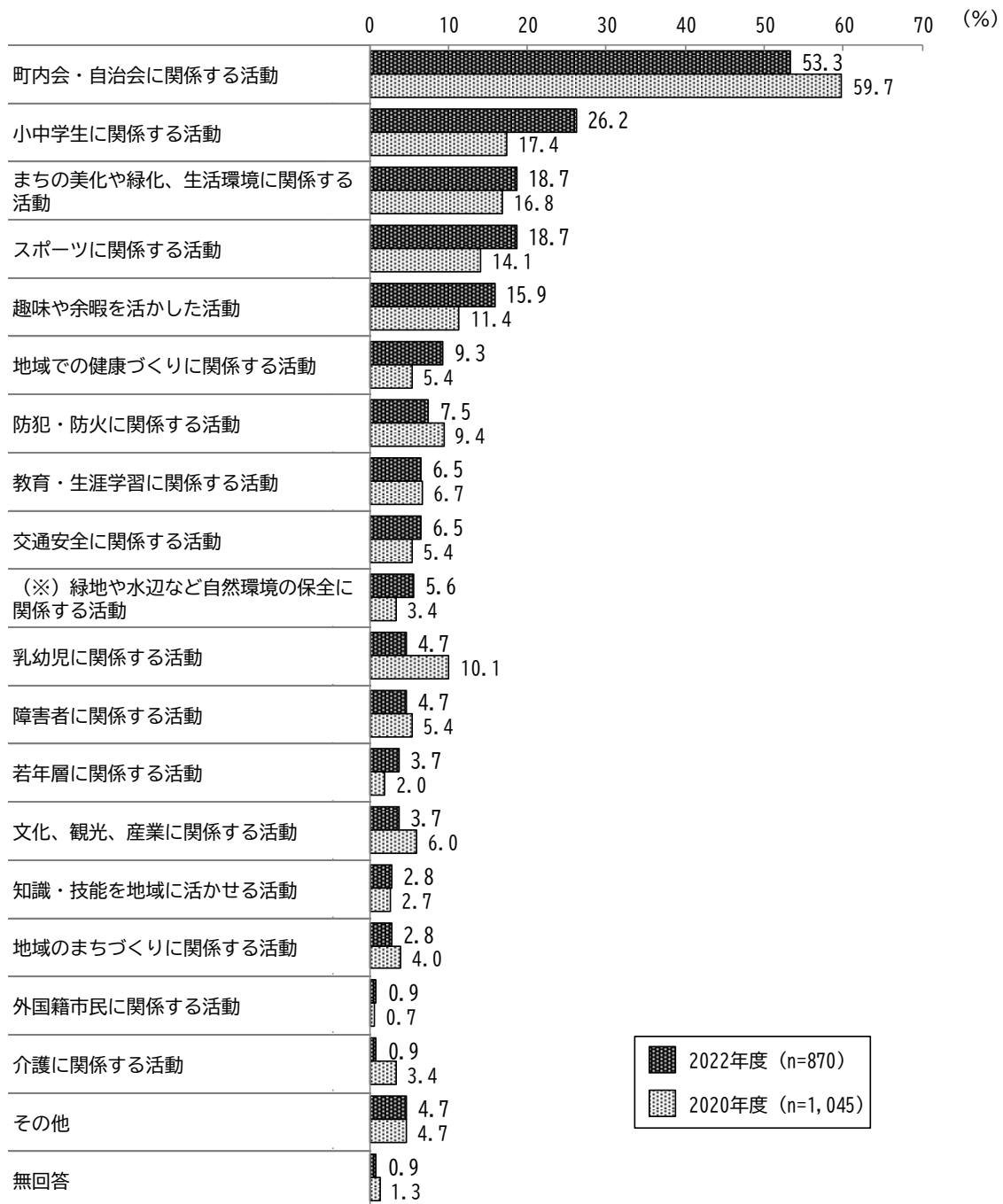


性年代別で見ると、「活動を行っている」人の割合は、男女とも 70 歳以上で高くなっている。また、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなっている。

(11) 行っている地域活動の分野

問9-2 地域で活動している団体（グループや個人の活動も含む）の活動分野をお選びください。  
（あてはまるものすべてに○）

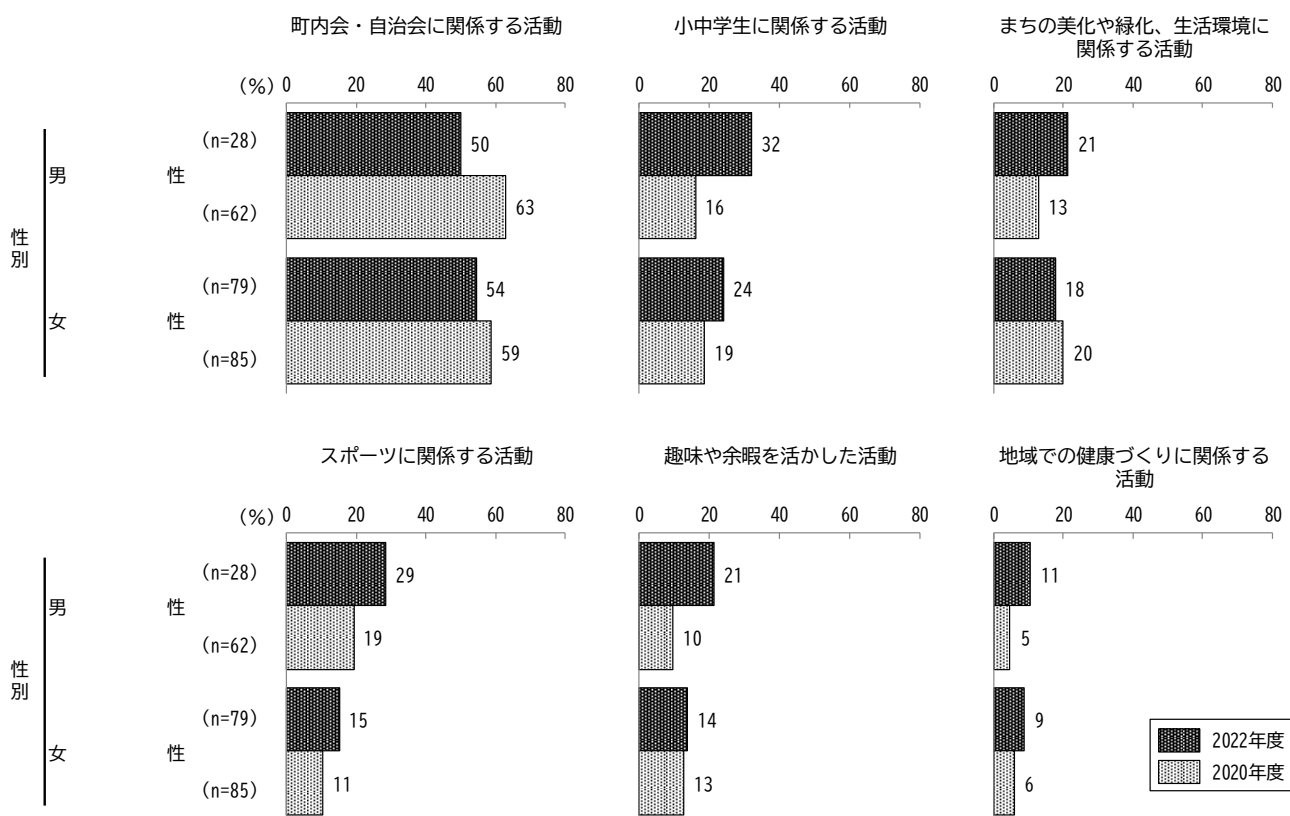
図表 11-1 行っている地域活動の分野



※「緑地や水辺など自然環境の保全に関する活動」は2020年度では「環境保全に関する活動」として聴取

「(10) 地域活動の状況」で「活動を行っている」と回答した人に、「行っている地域活動の分野」について聞いたところ、「町内会・自治会に関する活動」(53.3%)が最も高く、次いで「小中学生に関する活動」(26.2%)、「まちの美化や緑化、生活環境に関する活動」「スポーツに関する活動」(ともに18.7%)の順となった。

図表 1 1 - 2 行っている地域活動の分野(性別) <上位 6 項目>



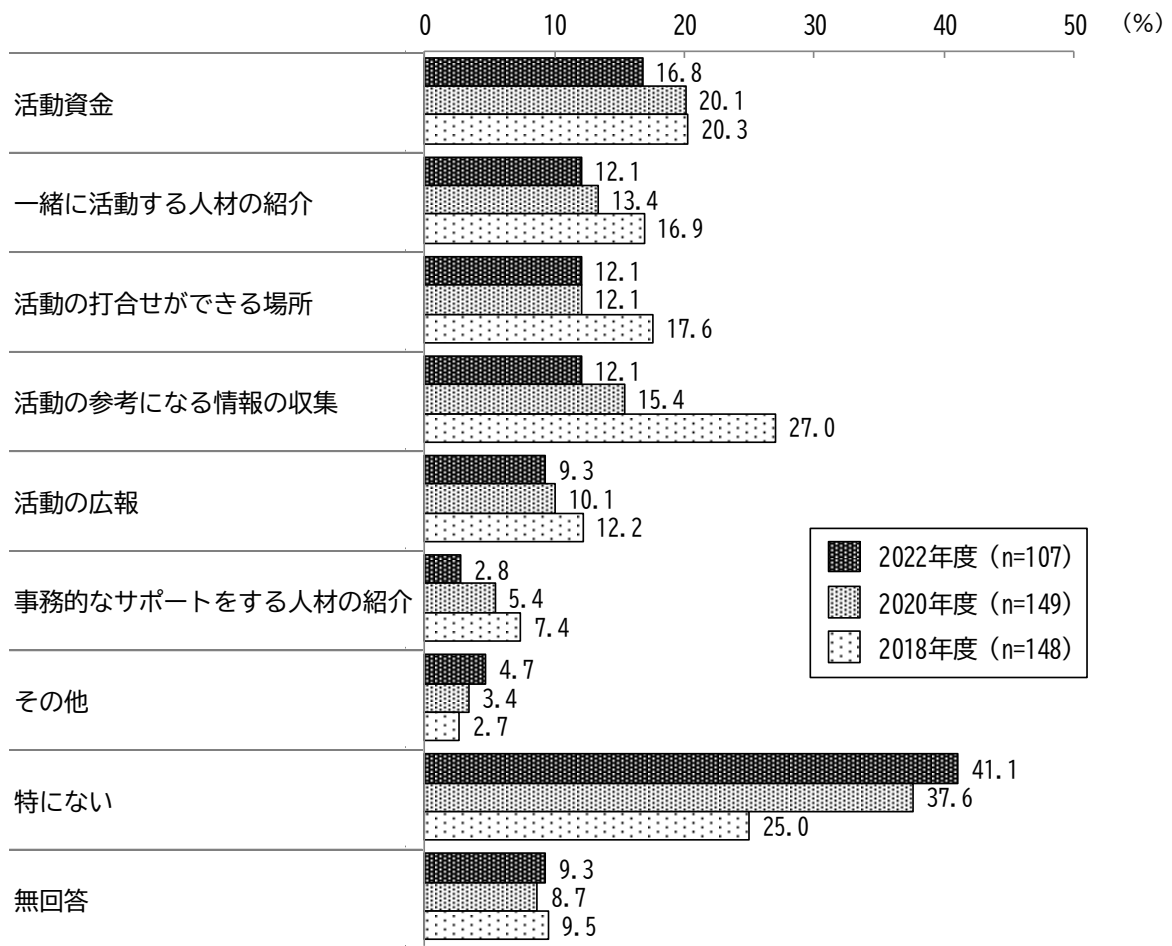
性別で見ると、「スポーツに関する活動」は男性が女性より 14 ポイント高い結果となり、「町内会・自治会に関する活動」は女性が男性より 4 ポイント高い結果となった。

2020 年度と比較すると、男性は「小中学生に関する活動」が 16 ポイント、趣味や余暇を活かした活動が 11 ポイント、「スポーツに関する活動」が 10 ポイント、「まちの美化や緑化、生活環境に関する活動」が 8 ポイント高い結果となり、「町内会・自治会に関する活動」は 13 ポイント低い結果となった。

(12) 地域活動をする上で支援を受けたいと思うもの

問9-3 地域で活動する上で支援を受けたいと思うものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

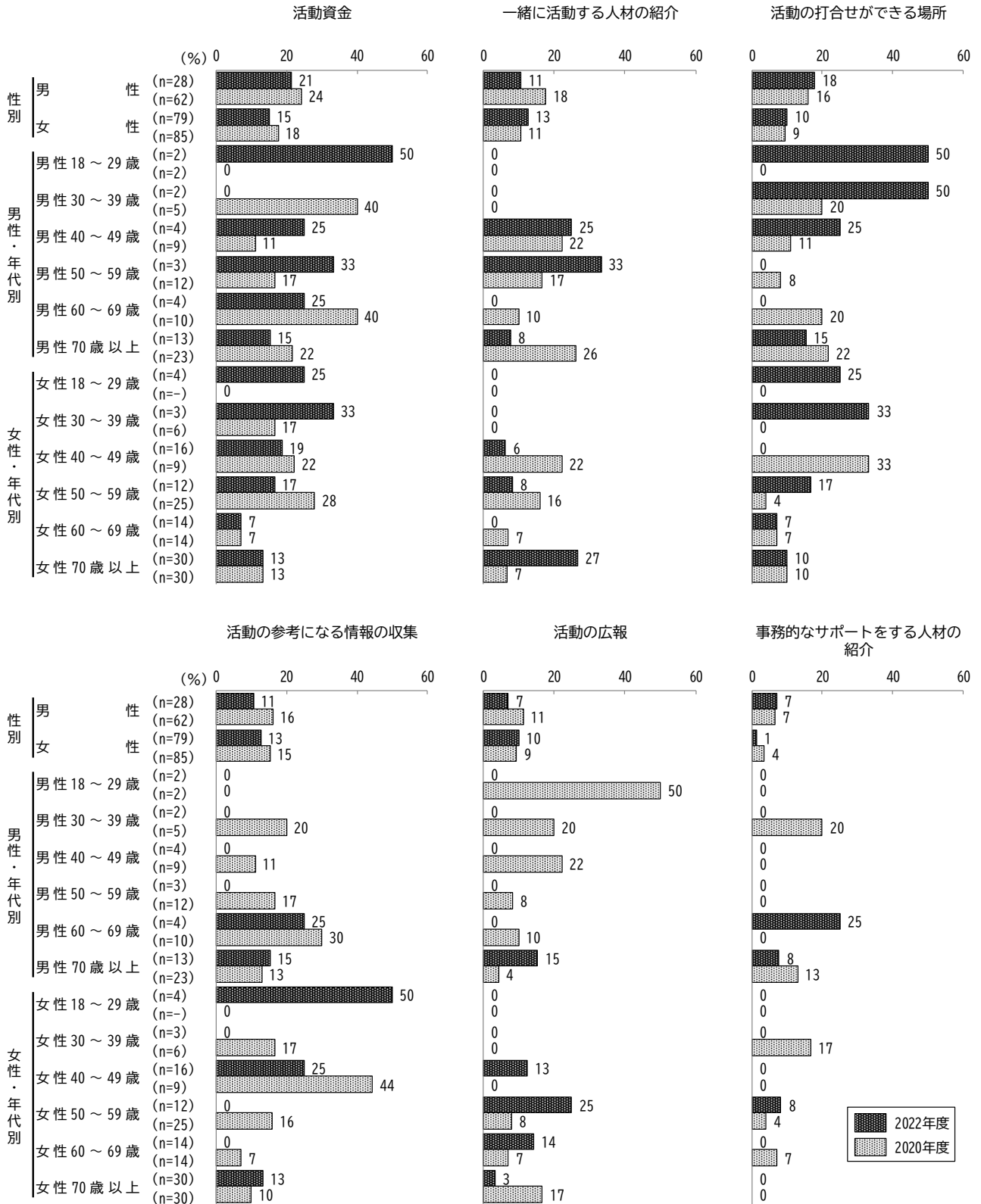
図表12-1 地域活動をする上で支援を受けたいと思うもの



「(10) 地域活動の状況」で「活動を行っている」と回答した人に、「地域活動をする上で支援を受けたいと思うもの」について聞いたところ、「活動資金」(16.8%)が最も高く、次いで「一緒に活動する人材の紹介」「活動の打合せができる場所」「活動の参考になる情報の収集」(ともに 12.1%)、「活動の広報」(9.3%)の順となった。

また、「特にない」は(41.1%)と全体の4割以上の割合となった。

図表 12-2 地域活動をする上で支援を受けたいと思うもの(性別・性年代別)










性別で見ると、「活動の打合せができる場所」は男性が女性より 8 ポイント高い結果となった。

2020 年度と比較すると、「一緒に活動する人材の紹介」は女性 70 歳以上で 20 ポイント上昇する結果となった。

(13) 地域活動を行っていない理由

問9-4 地域でのボランティア活動などを行っていない理由をお選びください。(○は1つだけ)

図表 13-1 地域活動を行っていない理由

仕事や子育て、 介護などで忙しく 時間がない・合 わないため	地域で活動する きっかけがない ため	地域での活動に 関心がないため	地域での付き合い がわずらわしい ため	健康や体力に自 信がないため	その他	無回答
						

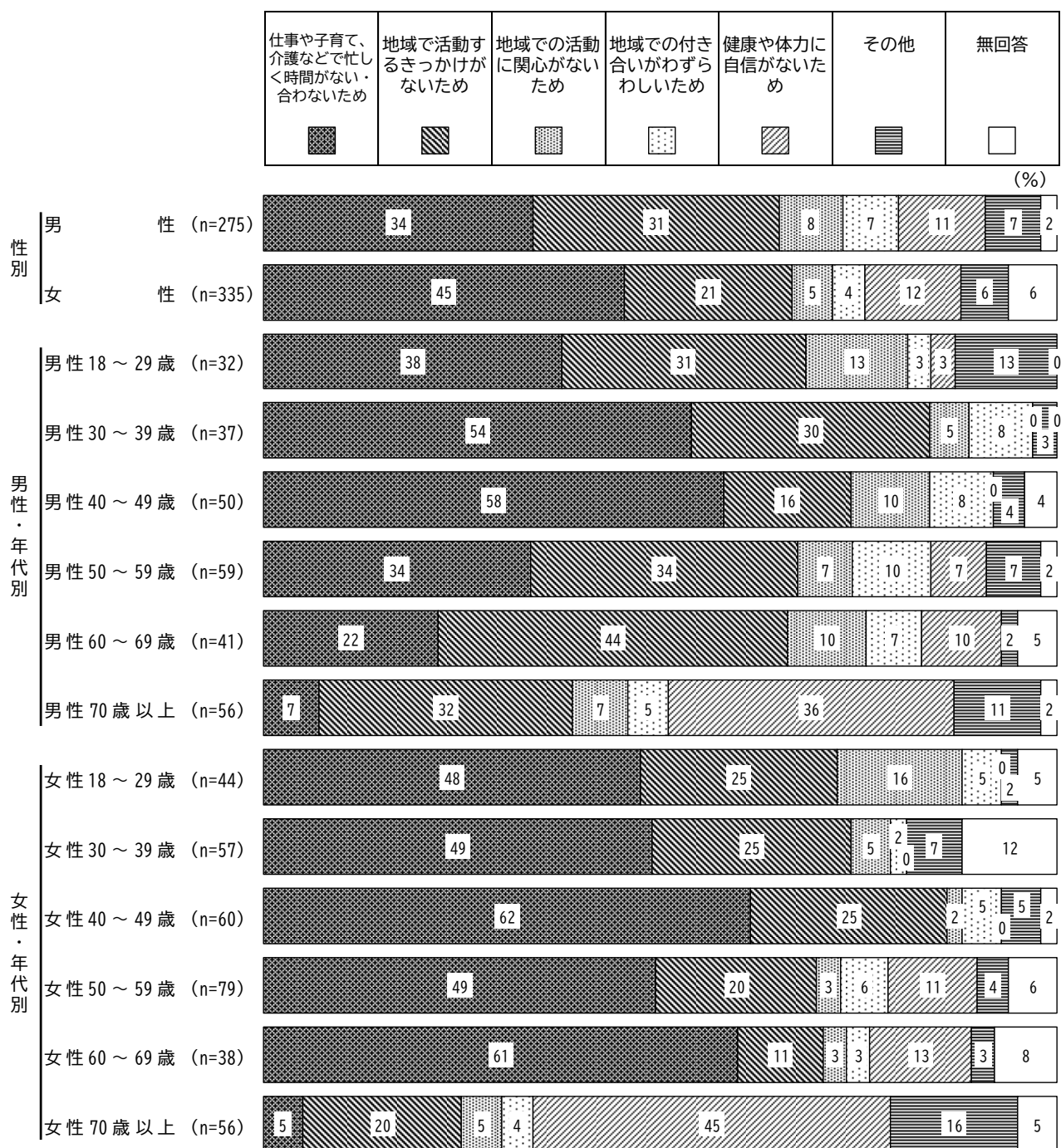
(%)

2022年度 (n=623)



「(10) 地域活動の状況」で「活動は行っていない」と回答した人に、「地域活動を行っていない理由」について聞いたところ、「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため」(40.3%)が最も高く、次いで「地域で活動するきっかけがないため」(25.8%)、「健康や体力に自信がないため」(10.9%)の順となった。

図表 1 3 - 2 地域活動を行っていない理由(性別・性年代別)



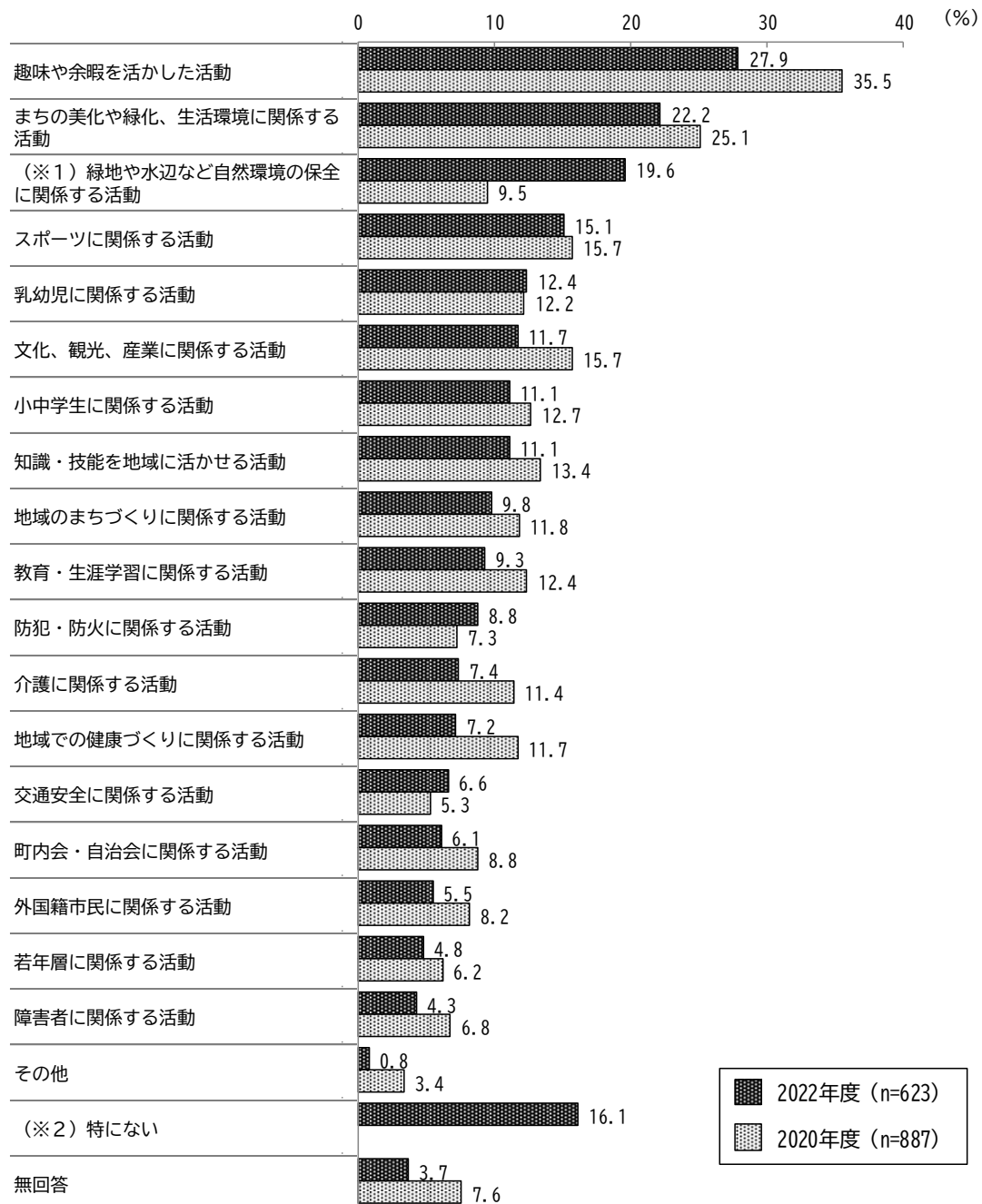
性別で見ると、「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため」は女性が男性より 11 ポイント高い結果となった。

性年代別で見ると、「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため」は女性 40～49 歳 (62%)、女性 60～69 歳 (61%) で 60%を超える高い結果となった。

(14) 地域活動への関心分野

問9-5 地域でのボランティア活動などを行うとした場合、どのような分野に関心がありますか。次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。(番号は3つまで)

図表 14-1 地域活動への関心分野



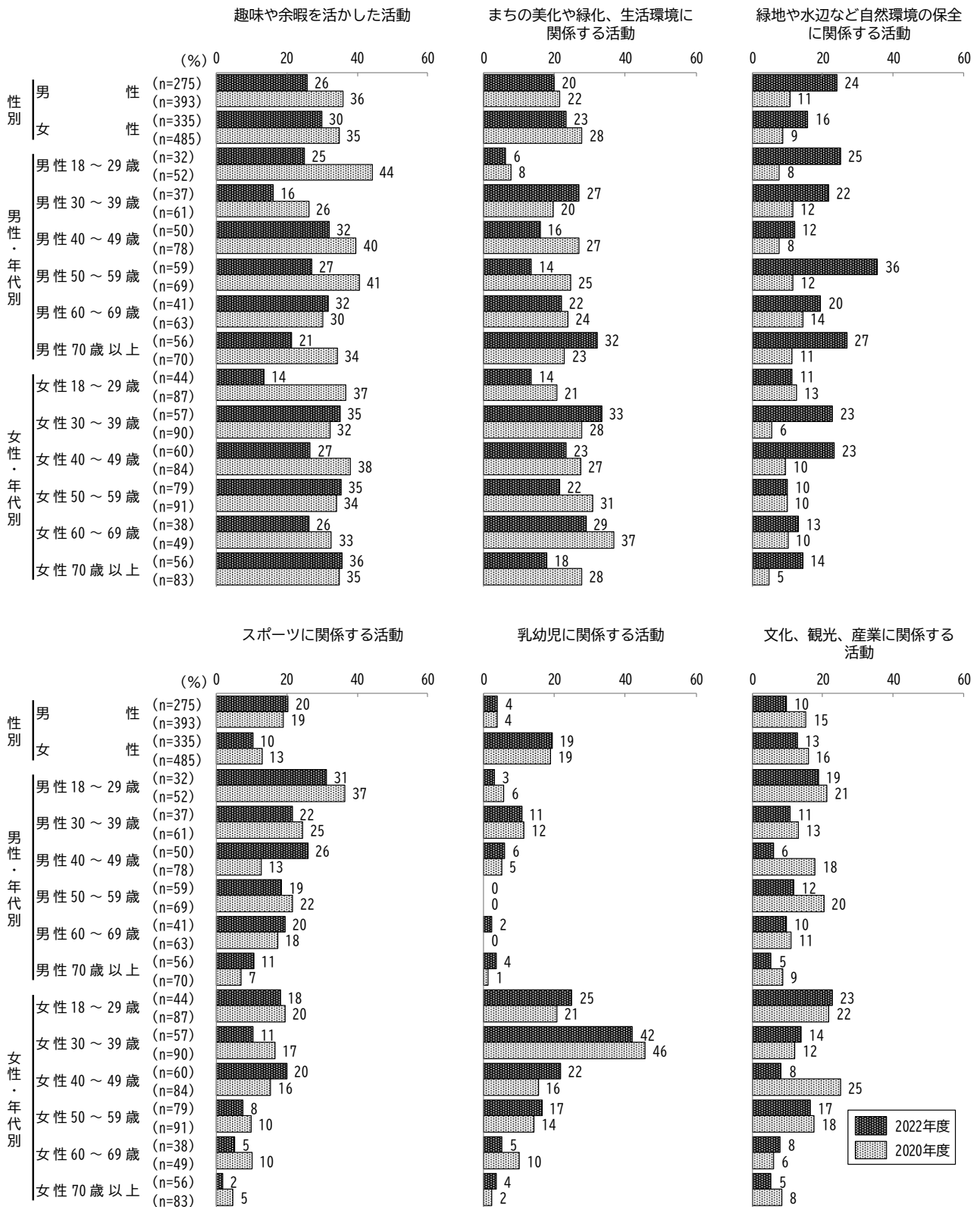
※1 「緑地や水辺など自然環境の保全に関する活動」は2020年度では「環境保全に関する活動」として聴取

※2 2022年度からの新規項目

「(10) 地域活動の状況」で「活動は行っていない」と回答した人に、「地域活動への関心分野」について聞いたところ、「趣味や余暇を活かした活動」(27.9%)が最も高く、次いで「まちの美化や緑化、生活環境に関する活動」(22.2%)、「緑地や水辺など自然環境の保全に関する活動」(19.6%)、「スポーツに関する活動」(15.1%)の順となった。



図表 1 4 - 2 地域活動への関心分野(性別・性年代別) <上位 6 項目>



性別で見ると、「スポーツに関する活動」は男性が女性より 10 ポイント、「乳幼児に関する活動」は女性が男性より 15 ポイント高い結果となった。

性年代別で見ると、「乳幼児に関する活動」は女性 30～39 歳で 40%を超え、「緑地や水辺など自然環境の保全に関する活動」は男性 50～59 歳で 30%を超える高い結果となった。

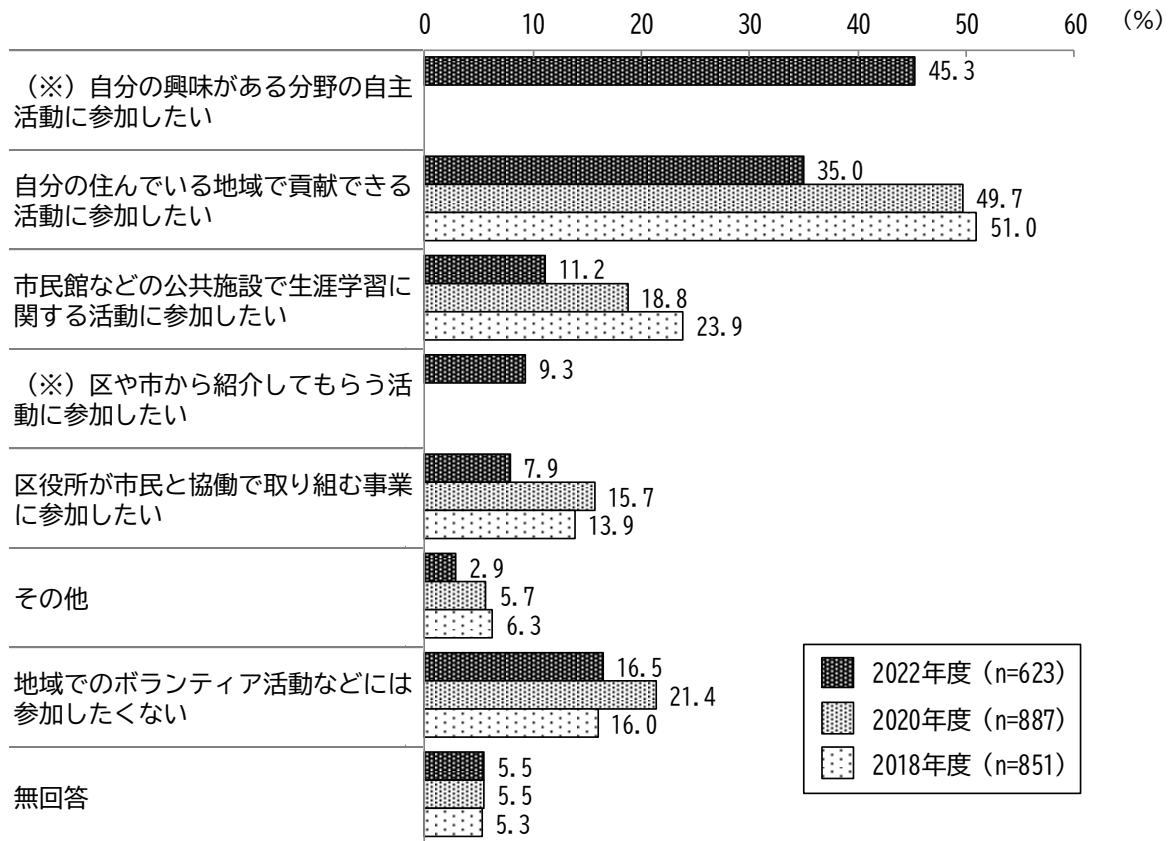
(15) 地域活動への取組意向

問9-6 地域でのボランティア活動などを行うとした場合、どのような活動に参加したいですか。

(あてはまるものすべてに○)

\*2020年、2018年度は「地域でのボランティア活動などを行う場合、どのようなかたちで地域で活動をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)」と聴取

図表15-1 地域活動への取組意向

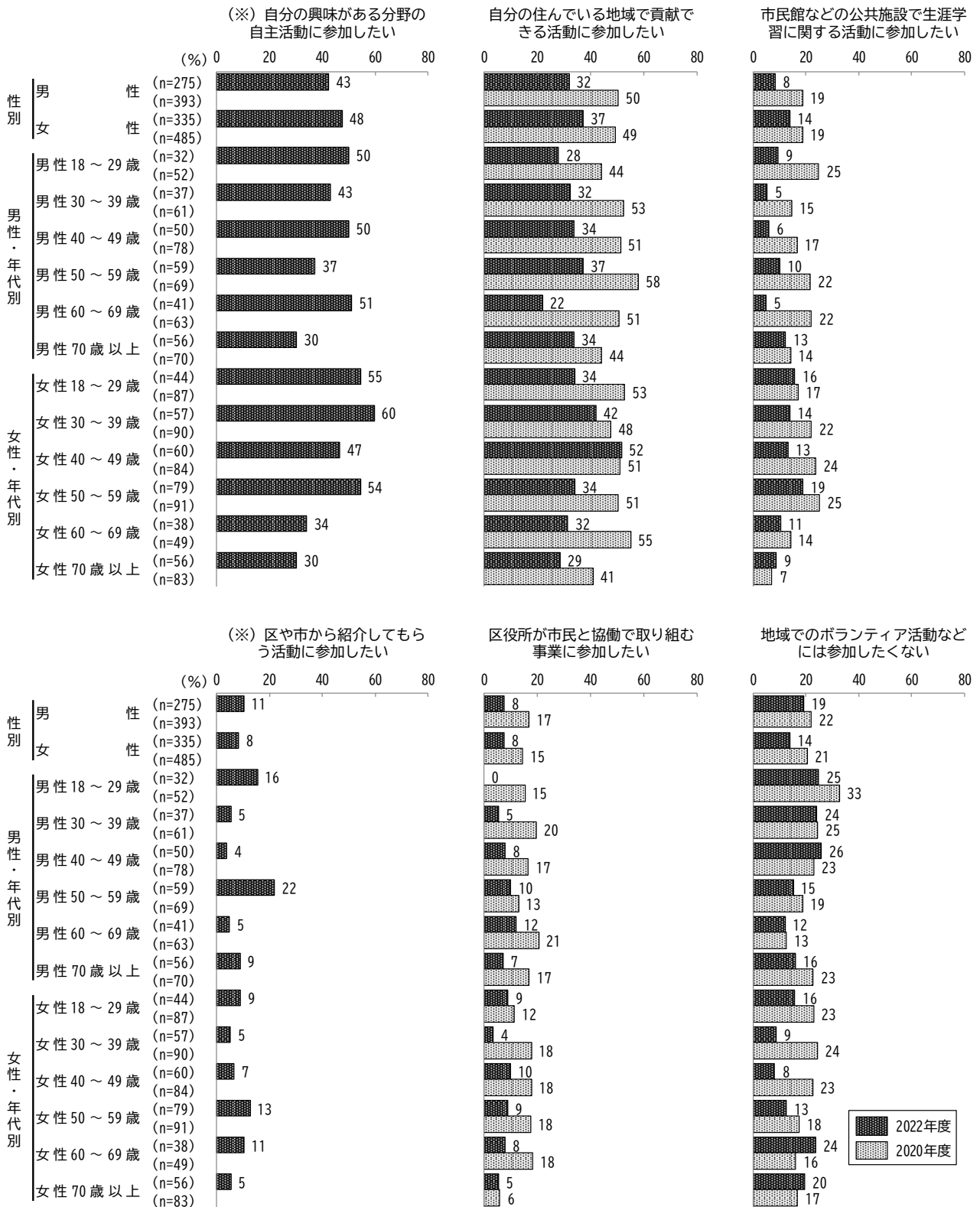


※ 2022年度からの新規項目

「(10) 地域活動の状況」で「活動は行っていない」と回答した人に、「地域活動への取組意向」について聞いたところ、「自分の興味がある分野の自主活動に参加したい」(45.3%)が最も高く、次いで「自分の住んでいる地域で貢献できる活動に参加したい」(35.0%)、「市民館などの公共施設で生涯学習に関する活動に参加したい」(11.2%)、「区や市から紹介してもらう活動に参加したい」(9.3%)の順となった。

図表 15-2 地域活動への取組意向(性別・性年代別)

(※) 2022 年度からの新規項目

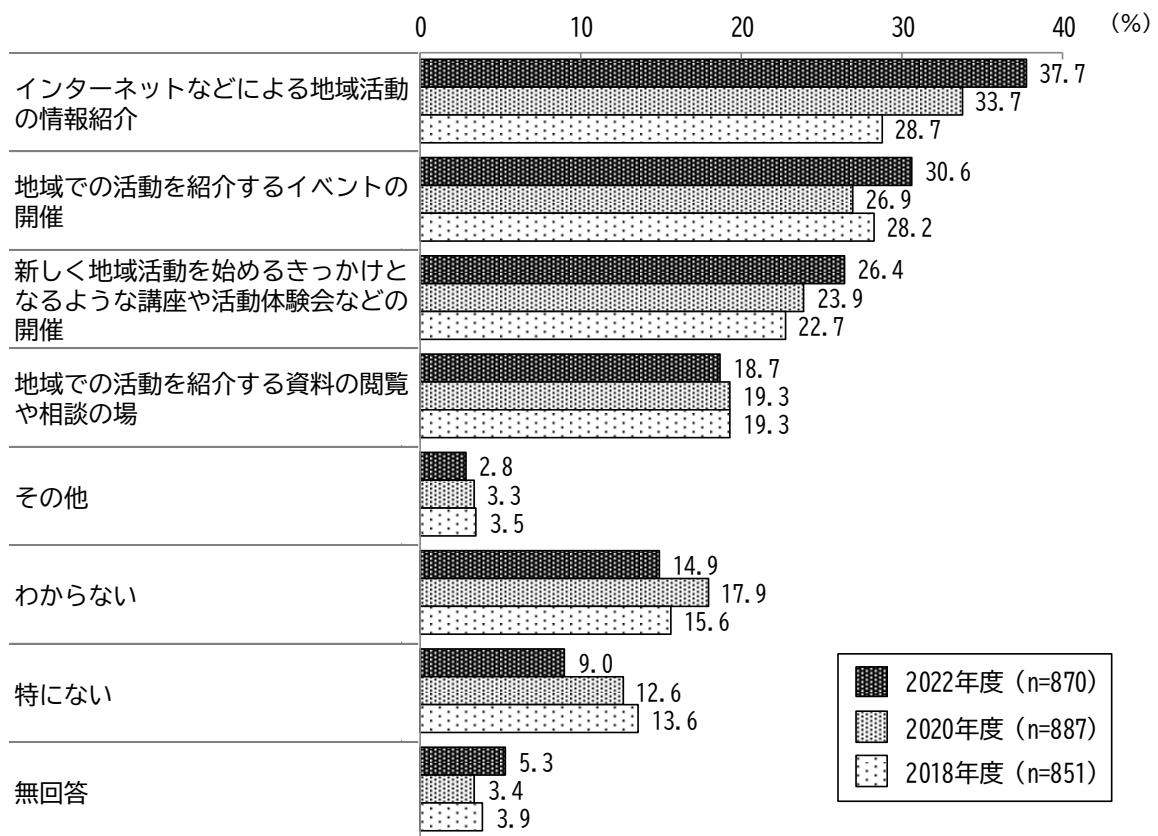


性年代別で見ると、「自分の興味がある分野の自主活動に参加したい」と回答した人は女性 30～39 歳で 60%と最も高い結果となった。

(16) 地域活動を始めするために必要な機会や場

問9-7 地域でのボランティア活動などを始めるきっかけとして、どのような機会や場があることが効果的だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

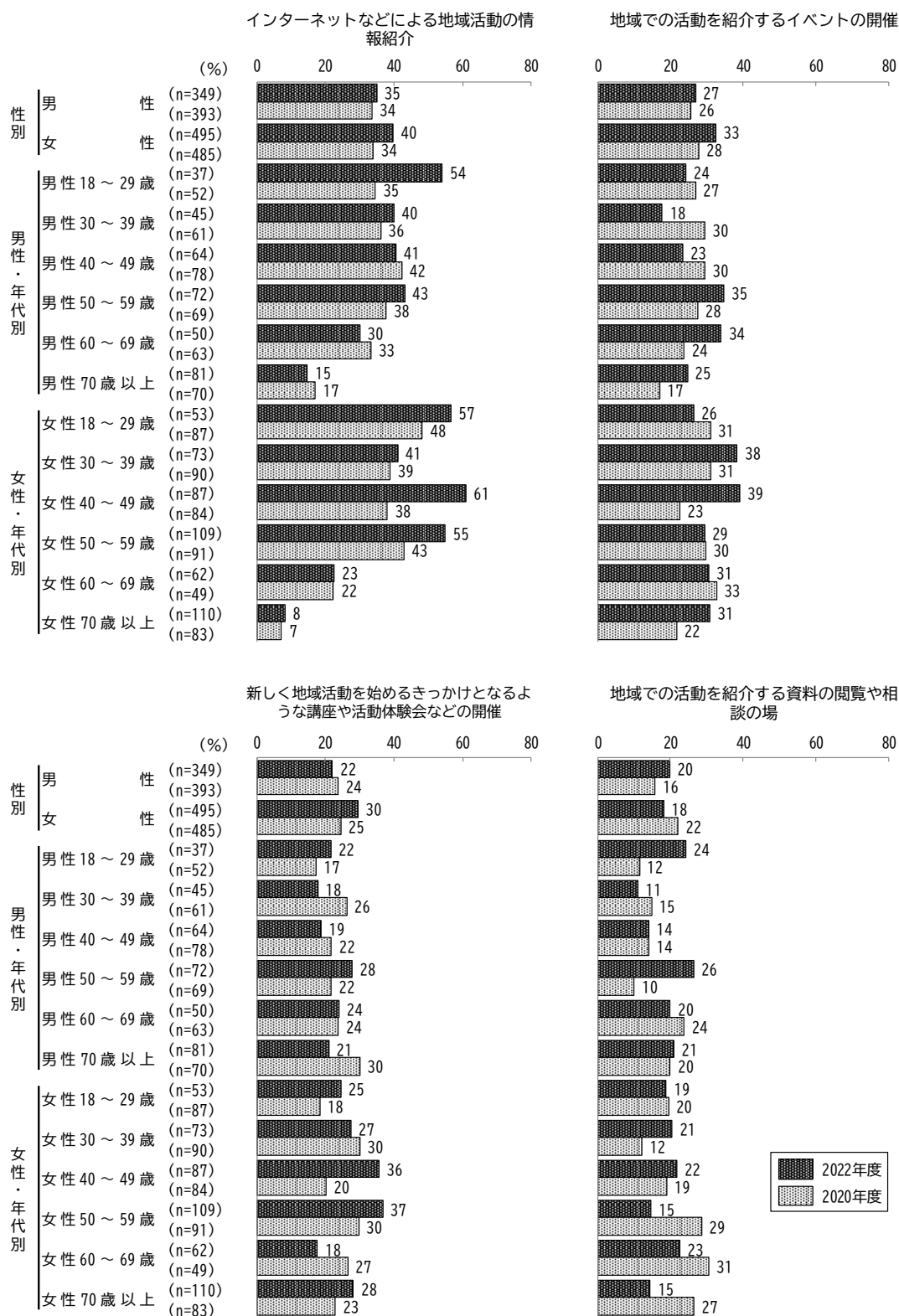
図表16-1 地域活動を始めするために必要な機会や場



「地域活動を始めするために必要な機会や場」について聞いたところ、「インターネットなどによる地域活動の情報紹介」(37.7%)が最も高く、次いで「地域での活動を紹介するイベントの開催」(30.6%)、「新しく地域活動を始めきっかけとなるような講座や活動体験会などの開催」(26.4%)、「地域での活動を紹介する資料の閲覧や相談の場」(18.7%)の順となった。

2020年度と比較して、上位3項目の順位は変わらない結果となった。

図表 16-2 地域活動を始めするために必要な機会や場(性別・性年代別)



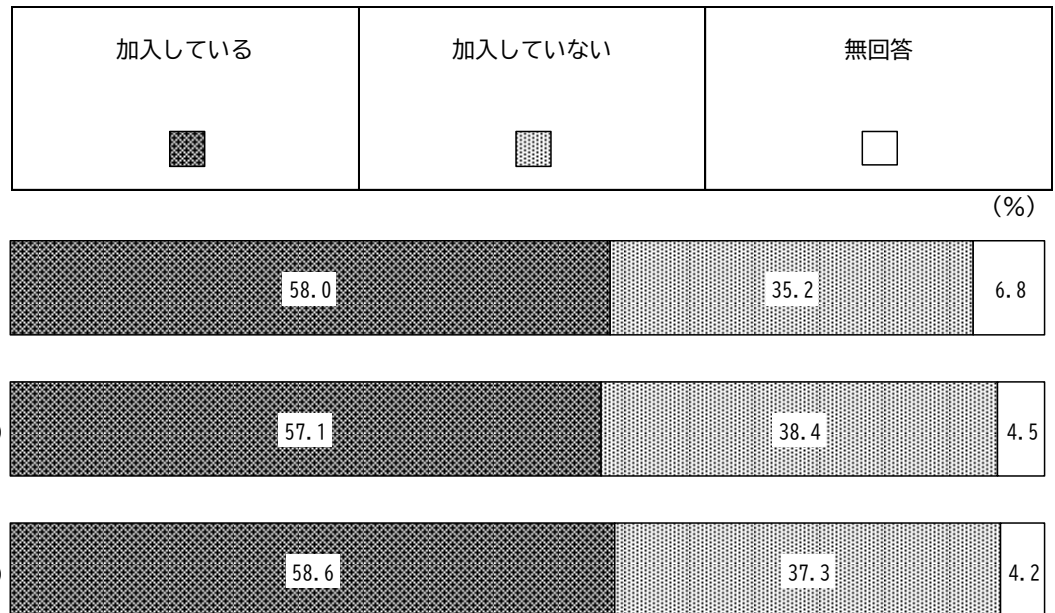
性年代別で見ると、「インターネットなどによる地域活動の情報紹介」は女性 40～49 歳で 60%を超える高い結果となった。

2020 年度と比較すると、「インターネットなどによる地域活動の情報紹介」は男性 18～29 歳で 19 ポイント、女性 40～49 歳で 23 ポイント上昇する結果となった。

( 1 7 ) 町内会・自治会への加入状況

問 1 0 町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

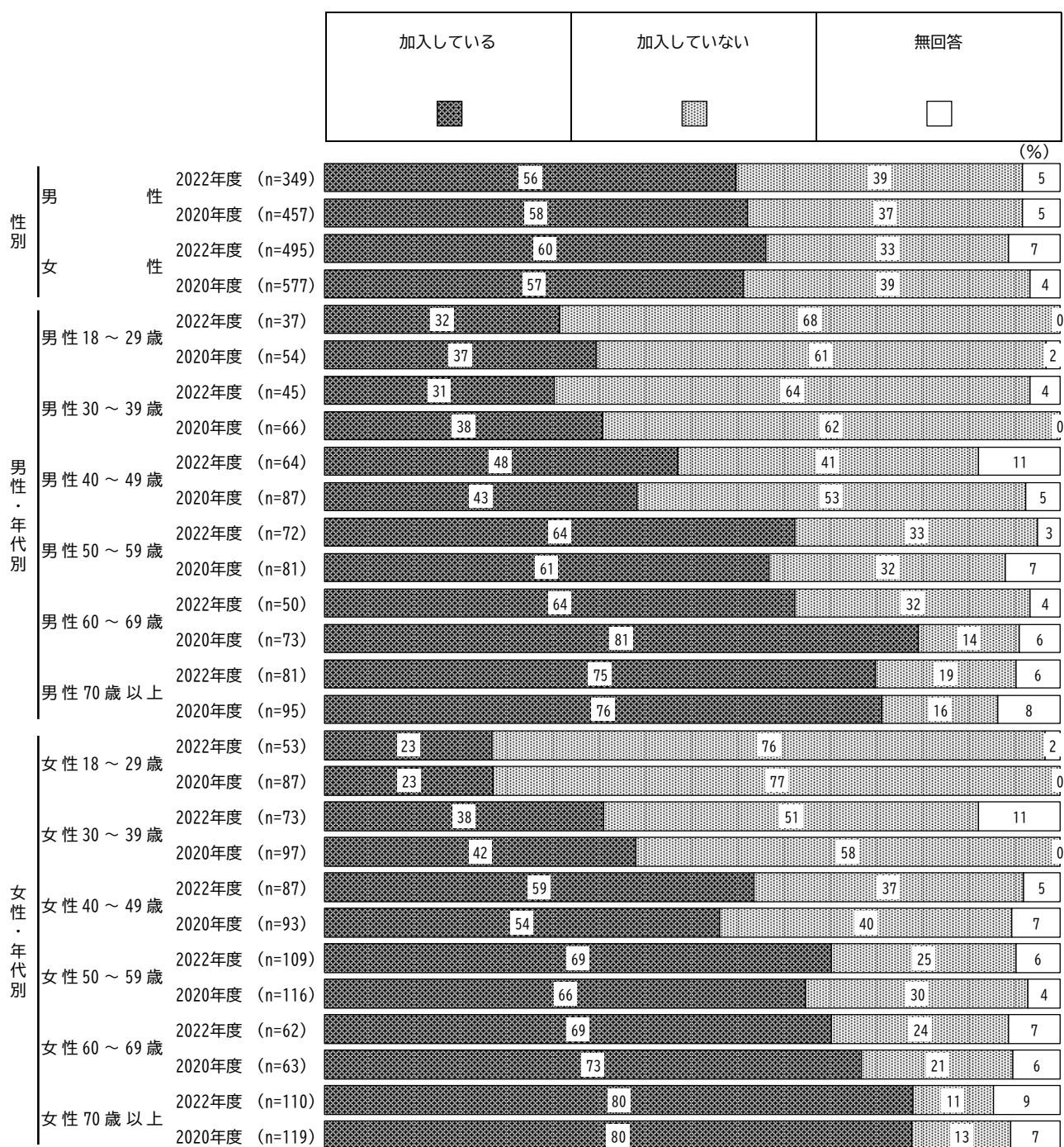
図表 1 7 - 1 町内会・自治会への加入状況



「町内会・自治会への加入状況」について聞いたところ、「加入している」(58.0%)、「加入していない」(35.2%)となっている。

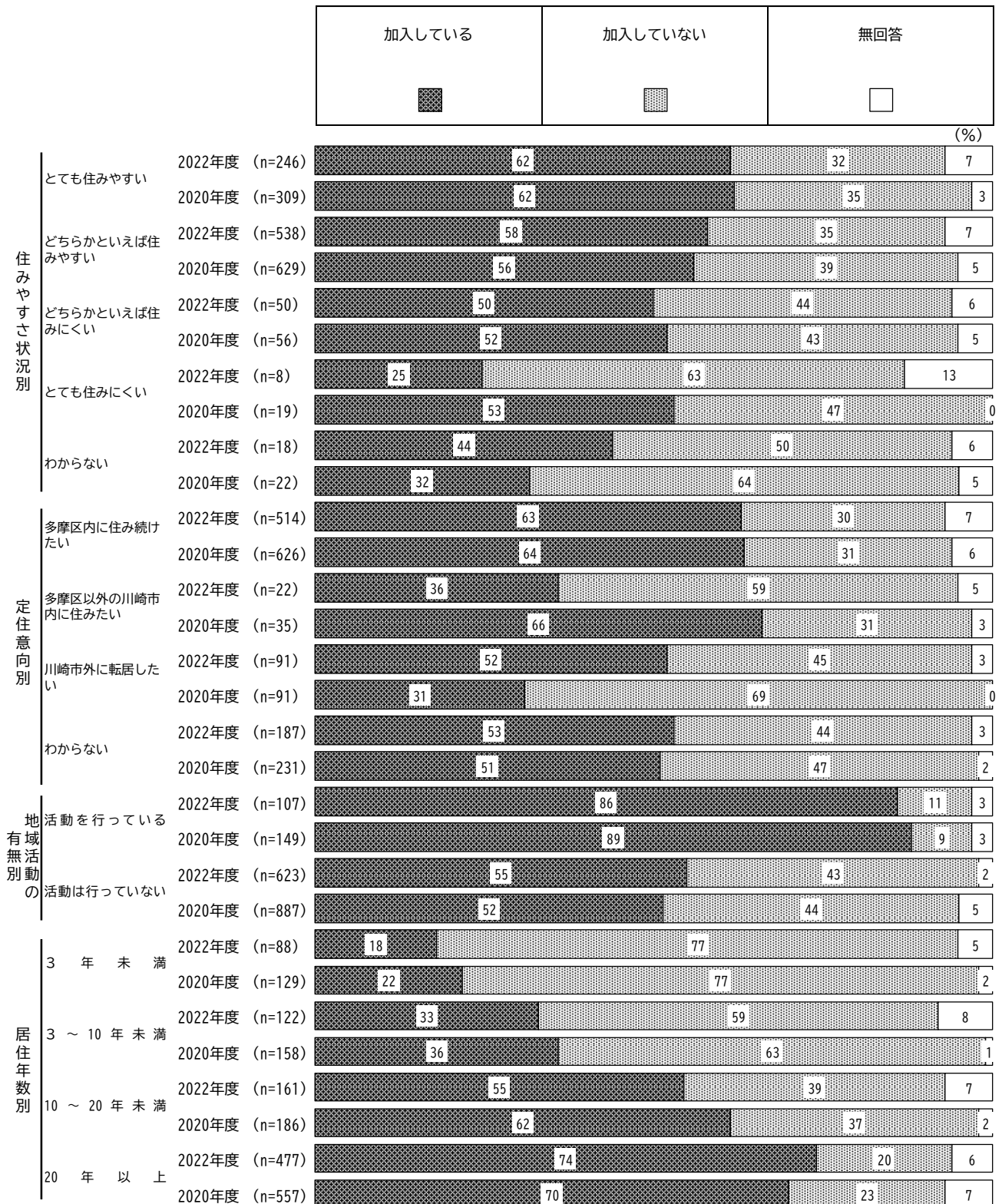
2020年度、2018年度の結果と比較すると、大きな差はみられない。

図表 17-2 町内会・自治会への加入状況(性別・性年代別)



性年代別で見ると、「加入している」は女性 70 歳以上で 80%と最も高い結果となった。また、男性 60～69 歳で 17 ポイント減少する結果となった。

図表 17-3 町内会・自治会への加入状況  
(住みやすさ状況別・定住意向別・地域活動の有無別・居住年数別)



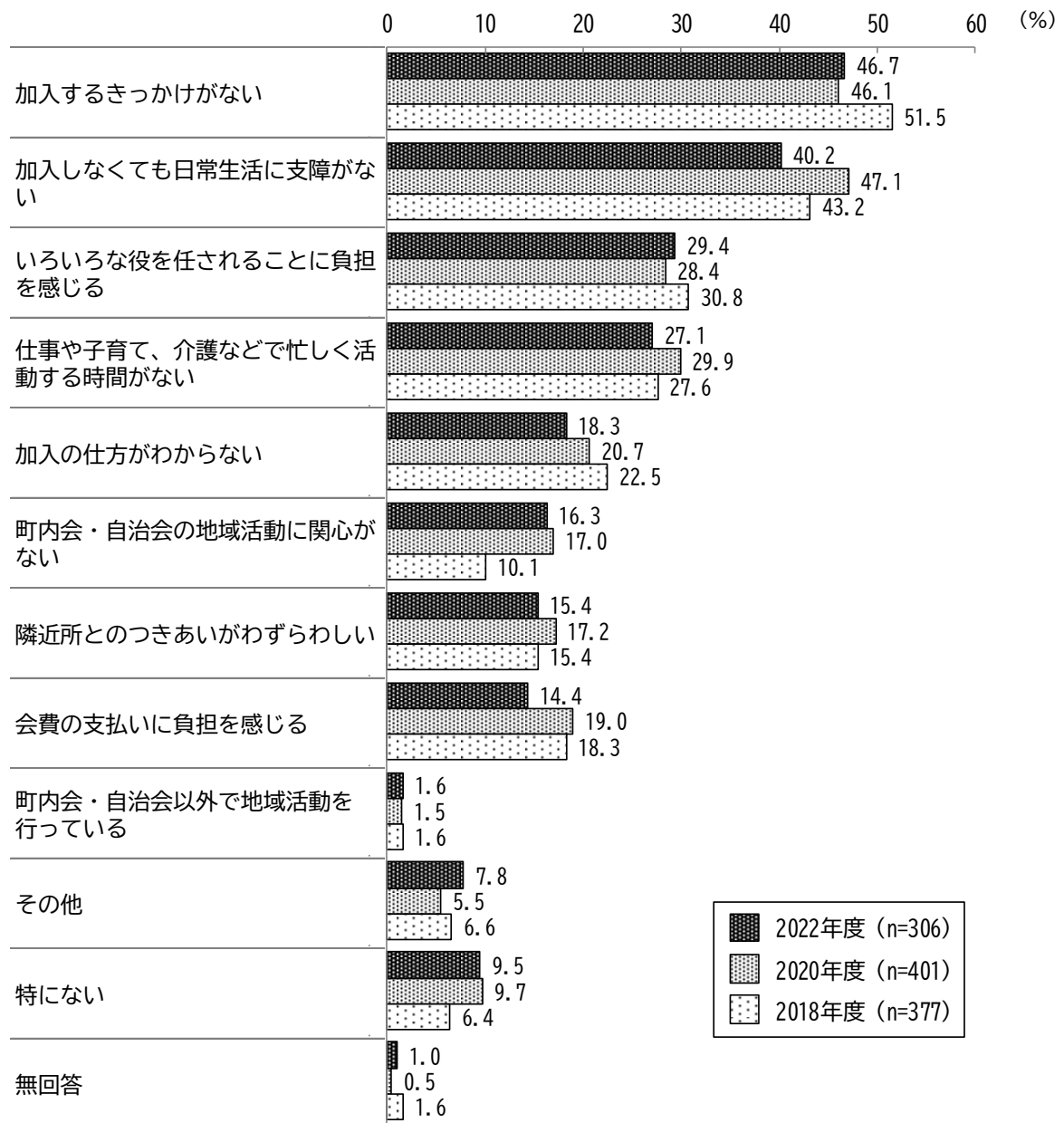
居住年数別で見ると、2020年度と同様に居住年数が長いほど「加入している」人の割合が高い傾向となった。



(18) 町内会・自治会に加入していない理由

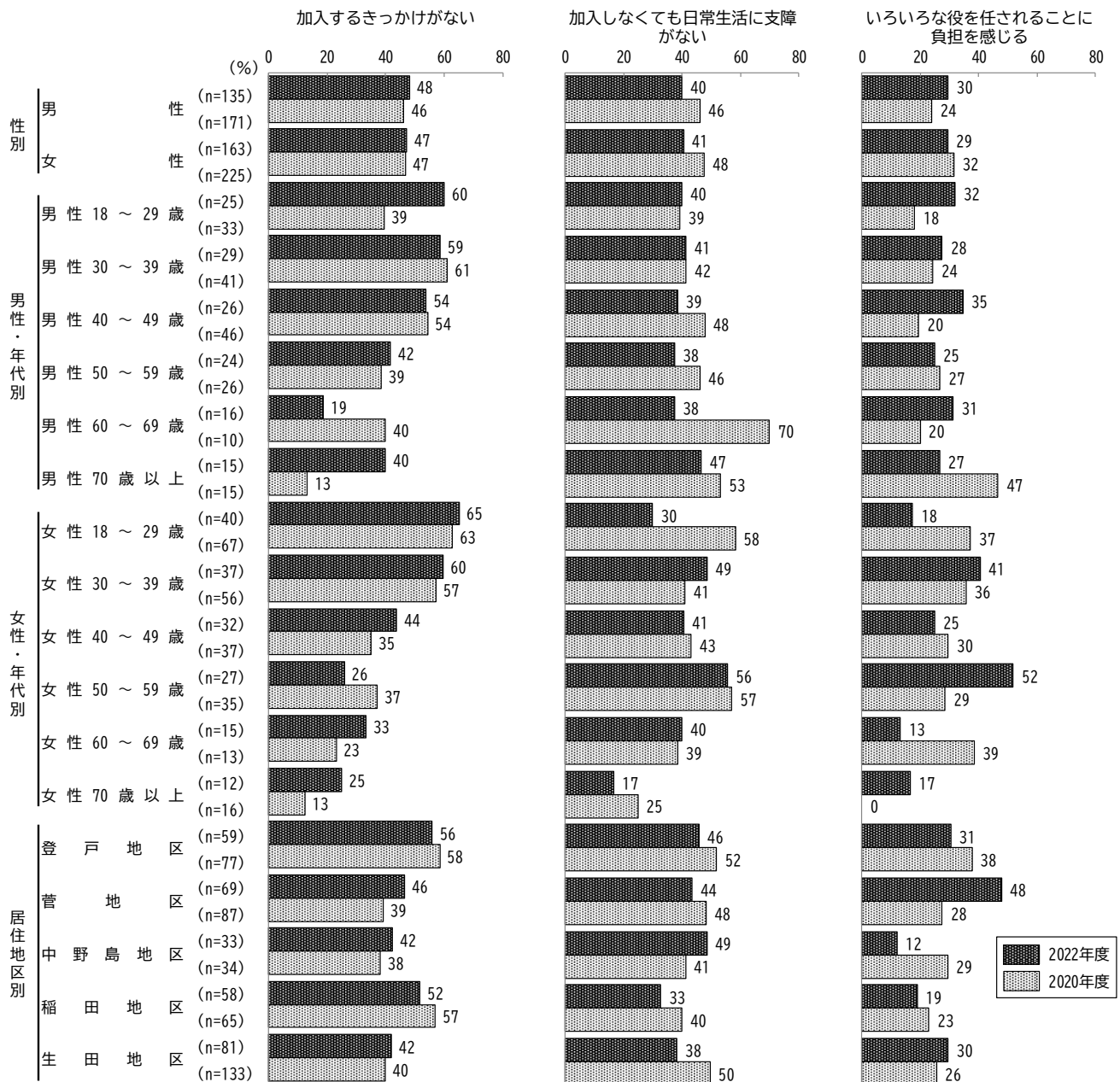
問10-2 町内会・自治会に加入していない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

図表18-1 町内会・自治会に加入していない理由



「(17) 町内会・自治会への加入状況」で「加入していない」と回答した人に、「町内会・自治会に加入していない理由」について聞いたところ、「加入するきっかけがない」(46.7%)が最も高く、次いで「加入しなくても日常生活に支障がない」(40.2%)、「いろいろな役を任されることに負担を感じる」(29.4%)、「仕事や子育て、介護などで忙しく活動する時間がない」(27.1%)の順となった。

図表 18-2 町内会・自治会に加入していない理由(性別・性年代別・居住地区別)＜上位3項目＞



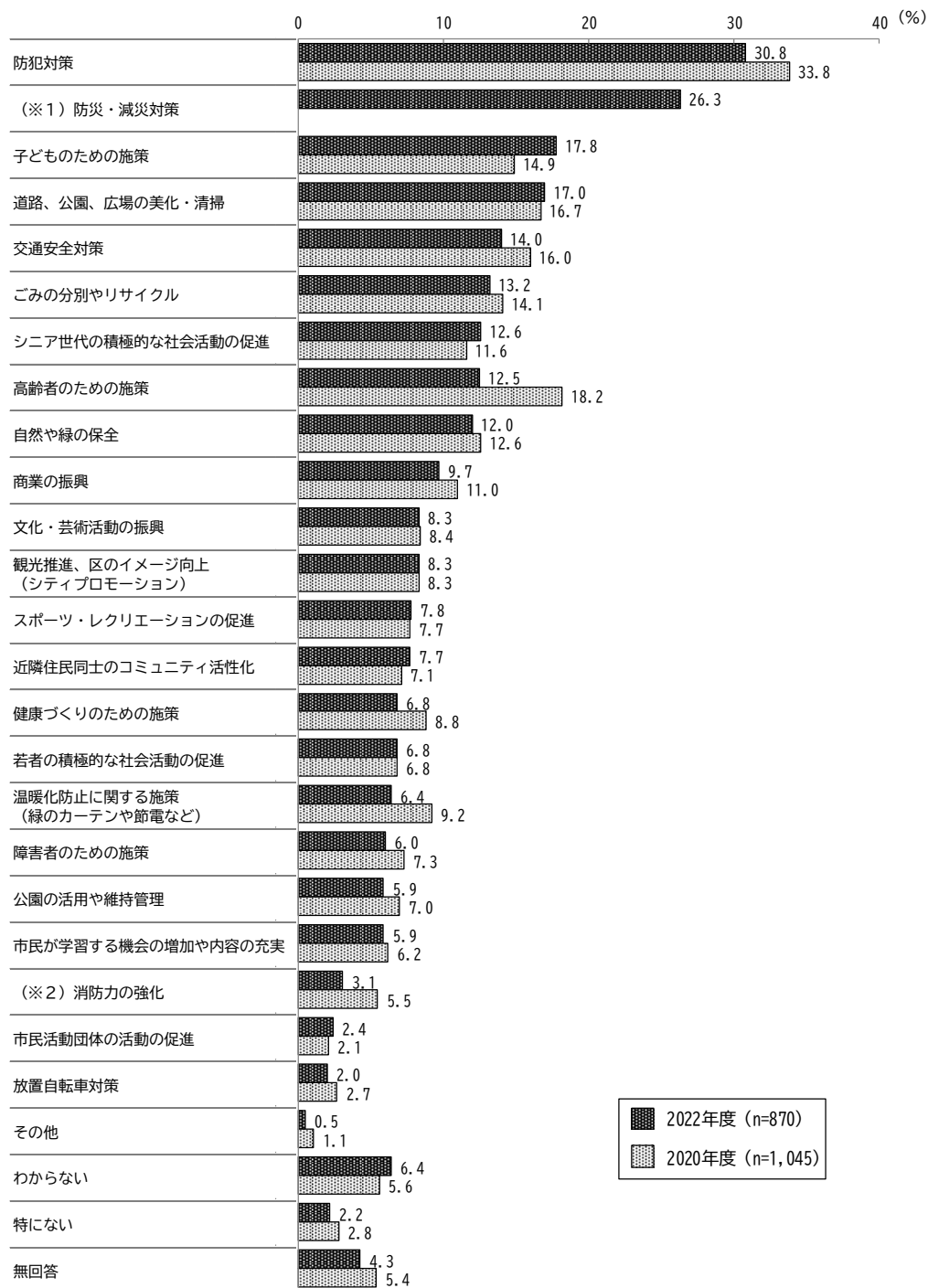
性年代別で見ると、「加入するきっかけがない」は男性 18～29 歳、女性 18～29 歳、女性 30～39 歳で 60%を超え他の年代より高い結果となった。

居住地区別で見ると、「加入するきっかけがない」は登戸地区と稲田地区で 50%を超え、「いろいろな役を任されることに負担を感じる」は菅地区が 40%を超え、他の居住地区よりも高い結果となった。

(19) 区民と行政が協働して取り組んだ方が効果的だと思うもの

問11 区民（NPOや市民活動団体などを含む）と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うものは何ですか。次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は3つまで）

図表19-1 区民と行政が協働して取り組んだ方が効果的だと思うもの



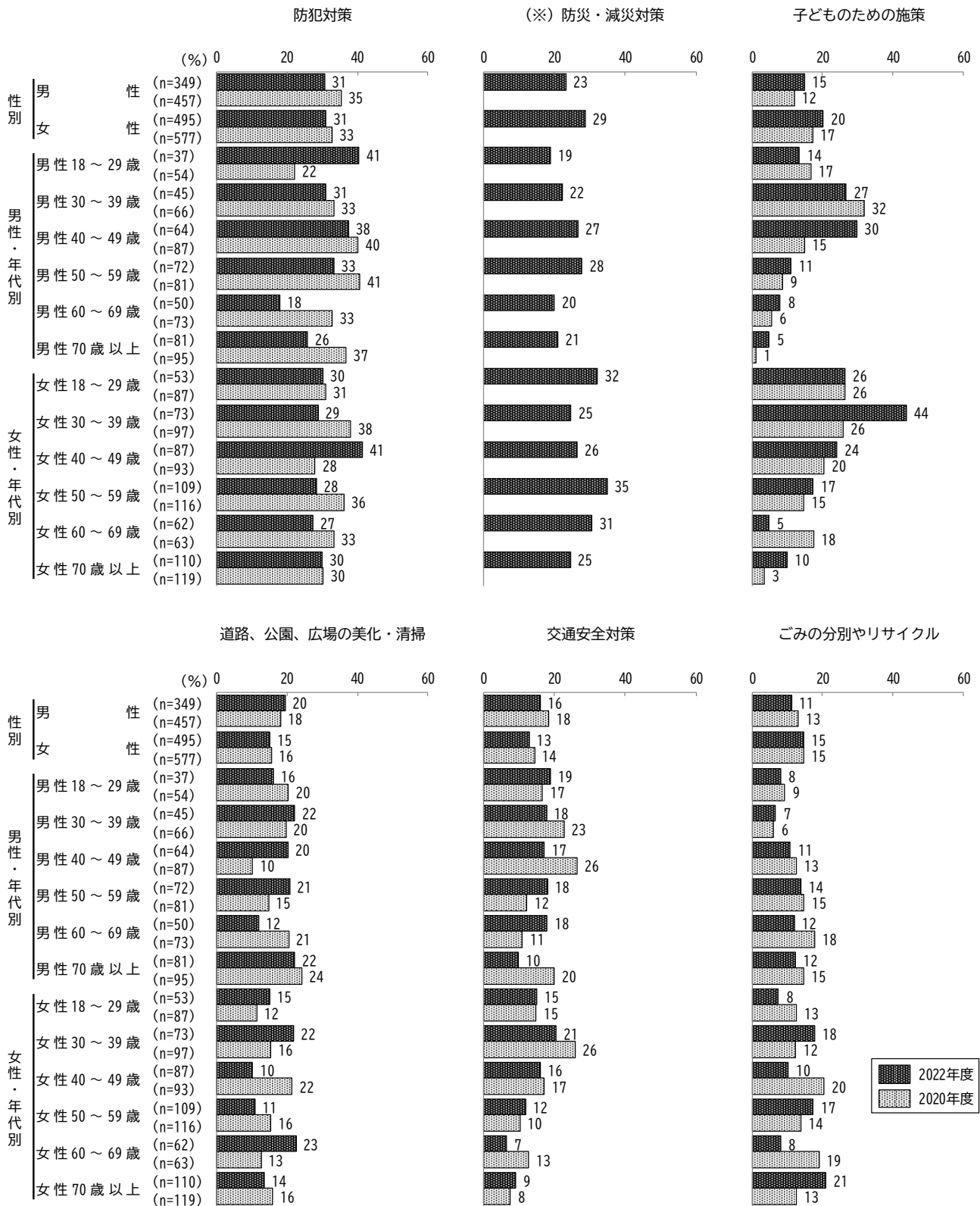
※1 2022年度からの新規項目

※2 「消防力の強化」は2020年度では「消防力の強化や防災対策」として聴取

「区民と行政が協働して取り組んだ方が効果的だと思うもの」について聞いたところ、「防犯対策」(30.8%)が最も高く、次いで「防災・減災対策」(26.3%)、「子どものための施策」(17.8%)、「道路、公園、広場の美化・清掃」(17.0%)の順となった。

図表 19-2 区民と行政が協働して取り組んだ方が効果的だと思うもの  
(性別・性年代別) <上位6項目>

(※) 2022年度からの新規項目



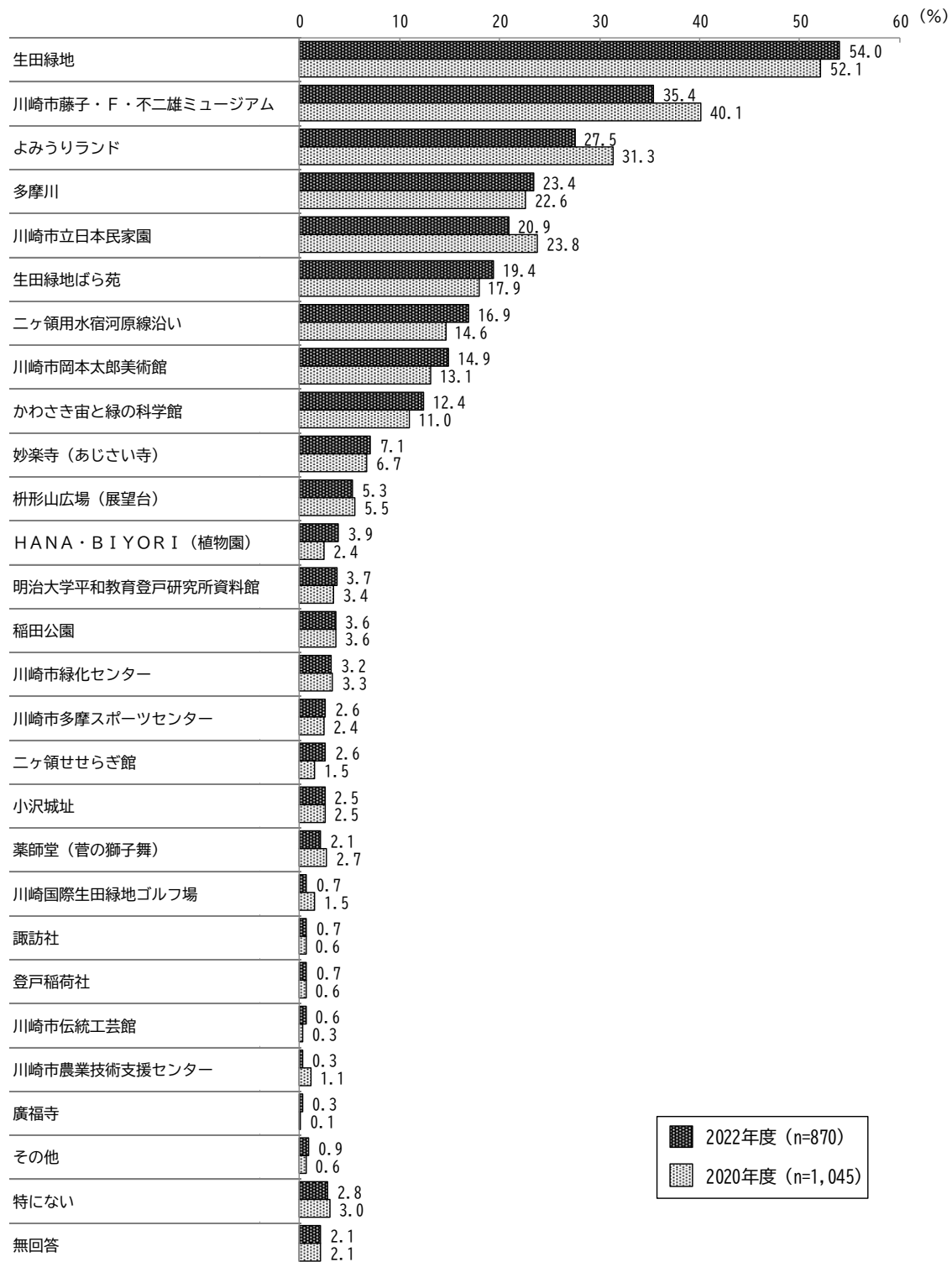
性年代別で見ると、「子どものための施策」は女性 30～39 歳で 40%を超える高い結果となった。

### 3 区役所が推進する主な取組について

#### (20) 多摩区の見どころ

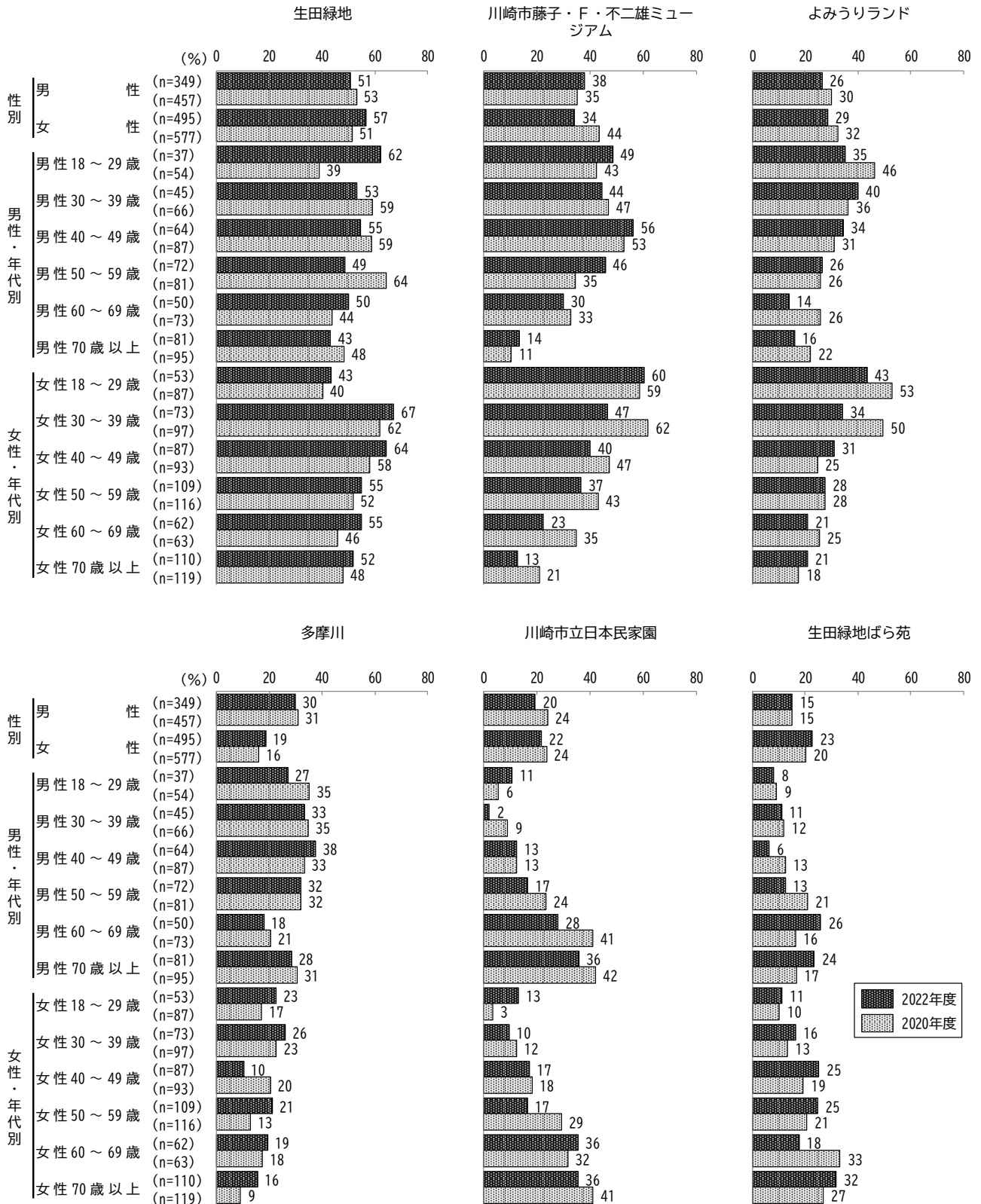
問12 多摩区内のどの見所を他人に薦めたいと思いますか。次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。(番号は3つまで)

図表20-1 多摩区の見どころ



「多摩区の見どころ」について聞いたところ、「生田緑地」(54.0%)が最も高く、次いで「川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム」(35.4%)、「よみうりランド」(27.5%)、「多摩川」(23.4%)の順となった。

図表 20-2 多摩区の見どころ(性別・性年代別) <上位6項目>



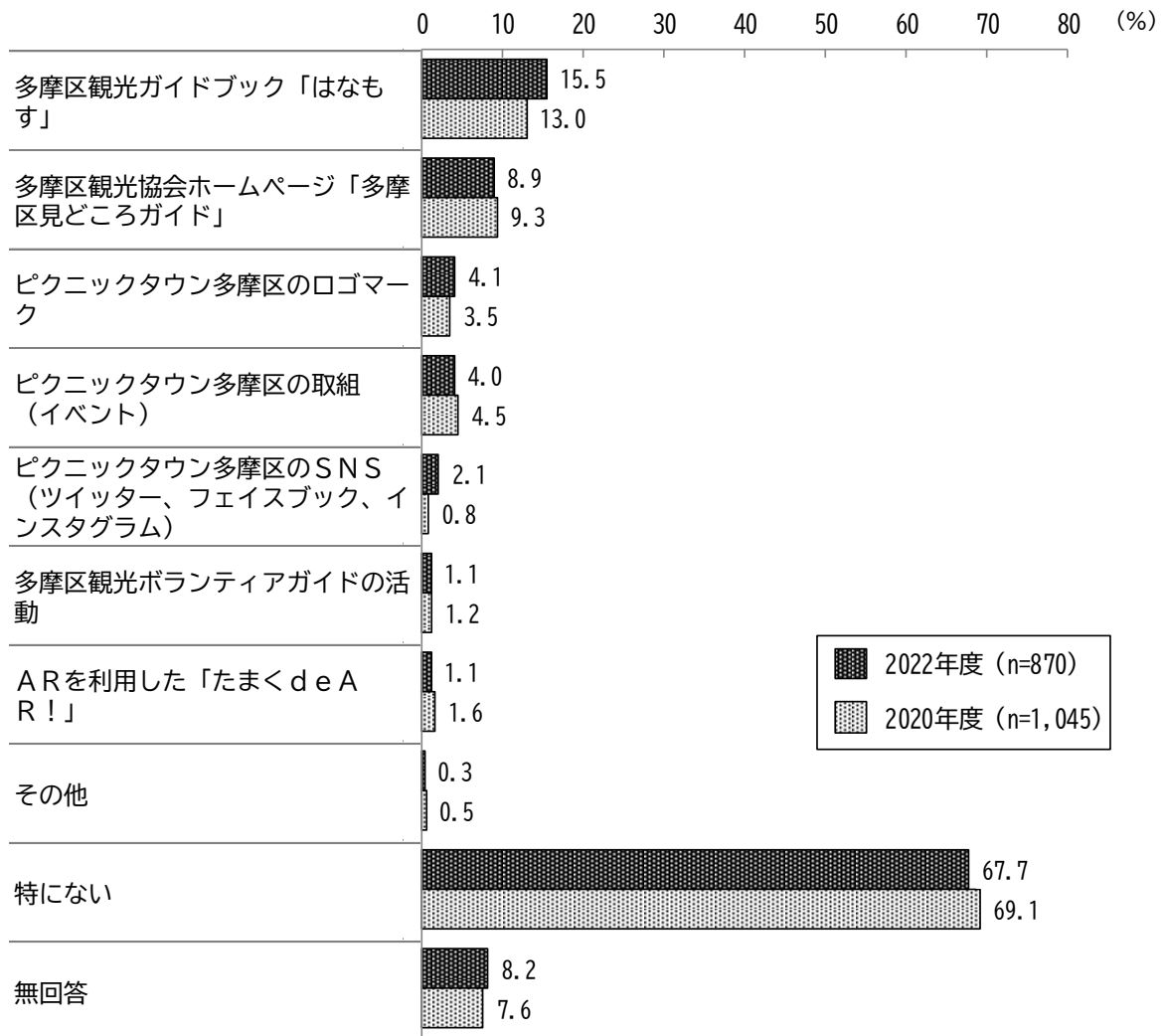
性別で見ると、「多摩川」は男性が女性より 11 ポイント、「生田緑地ばら苑」は女性が男性より 8 ポイント高い結果となった。

性年代別で見ると、「川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム」は女性 18～29 歳で 60%と高い結果となった。

(21) 区の観光振興やイメージ、地域ブランド向上を目指す取組の認知状況

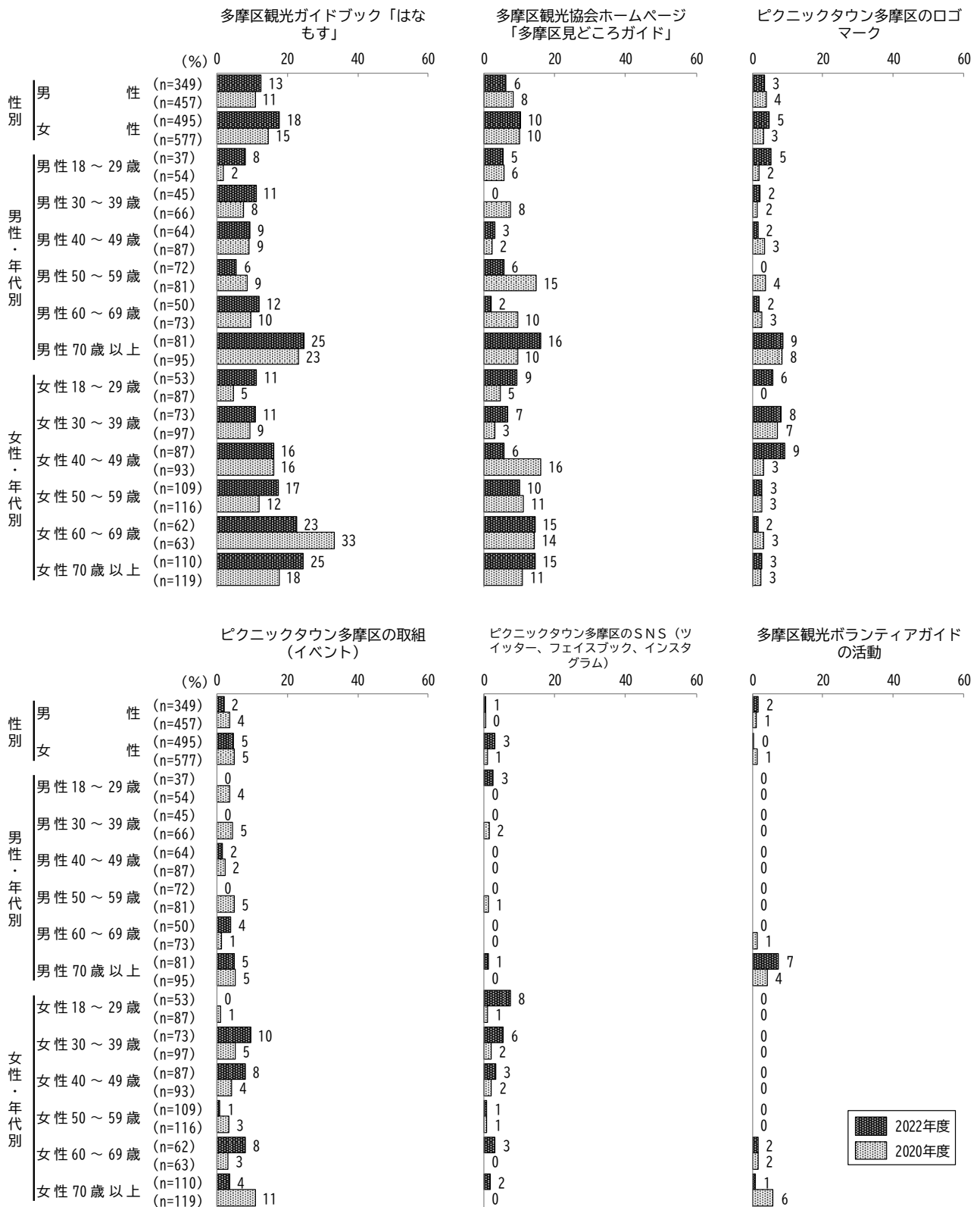
問13 多摩区では、豊かな自然環境や魅力的な地域資源を活用し、区の観光振興やイメージ、地域ブランド力の向上を目指す取組を行っています。次の中であなたが知っているもの、見たことのあるものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

図表 21-1 区の観光振興やイメージ、地域ブランド向上を目指す取組の認知状況



「区の観光振興やイメージ、地域ブランド向上を目指す取組の認知状況」について聞いたところ、「特にない」（67.7%）が最も高い結果となった。知っているもの、見たことのあるもので見ると、「多摩区観光ガイドブック『はなもす』」（15.5%）が最も高く、次いで「多摩区観光協会ホームページ『多摩区見どころガイド』」（8.9%）の順となった。

図表 2 1 - 2 区の観光振興やイメージ、地域ブランド向上を目指す取組の認知状況  
(性別・性年代別) <上位 6 項目>



性年代別で見ると、「多摩区観光ガイドブック『はなもす』」は男性 70 歳以上、女性 60～69 歳、女性 70 歳以上で 20%を超える高い結果となった。

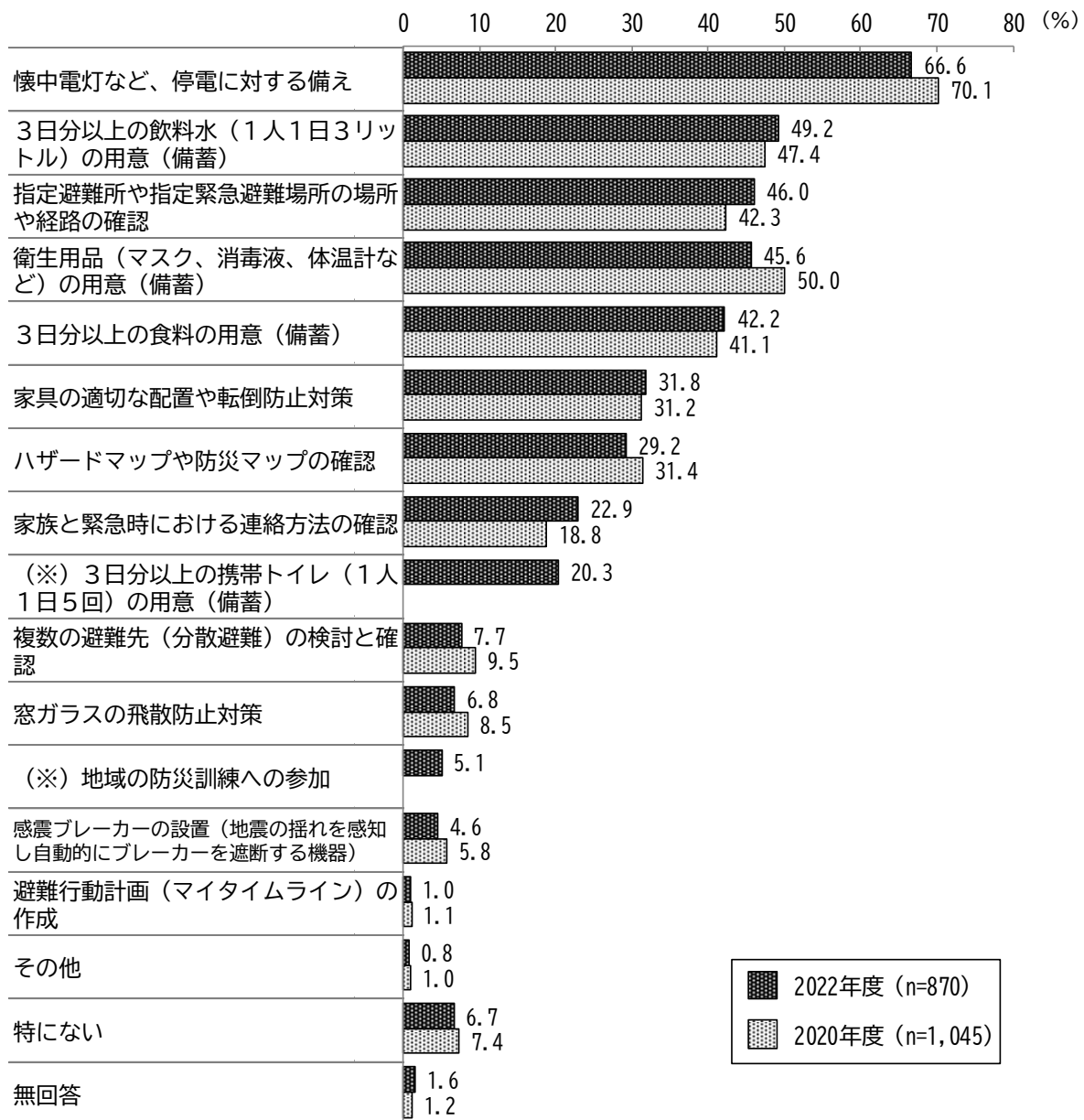


(22) 地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組

問14 地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

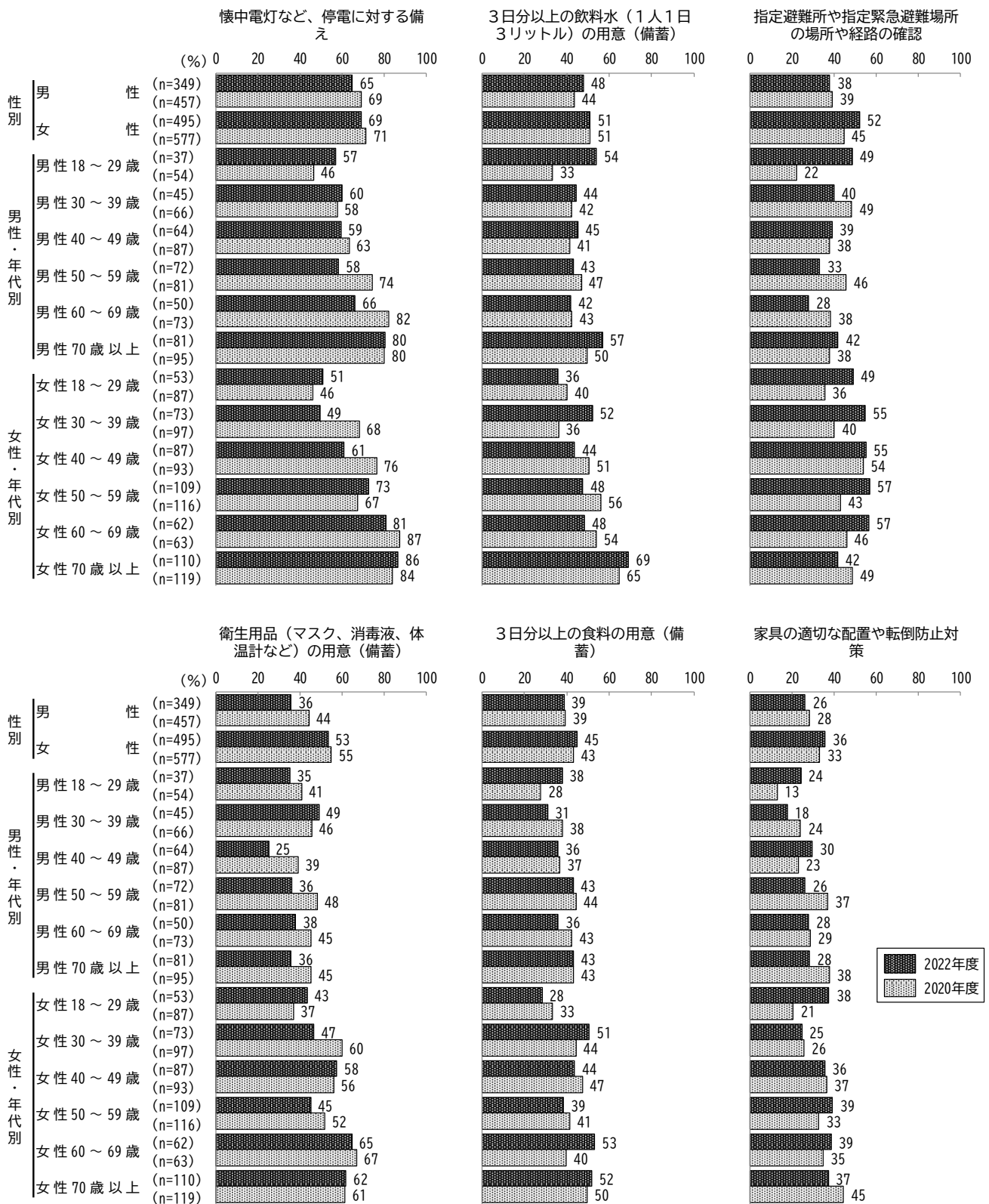
図表 2 2 - 1 地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組



※ 2022年度からの新規項目

「地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組」について聞いたところ、「懐中電灯など、停電に対する備え」(66.6%)が最も高く、次いで「3日分以上の飲料水(1人1日3リットル)の用意(備蓄)」(49.2%)、「指定避難所や指定緊急避難場所の場所や経路の確認」(46.0%)、「衛生用品(マスク、消毒液、体温計など)の用意(備蓄)」(45.6%)の順となった。

図表 2 2 - 2 区の地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組  
(性別・性年代別) <上位 6 項目>

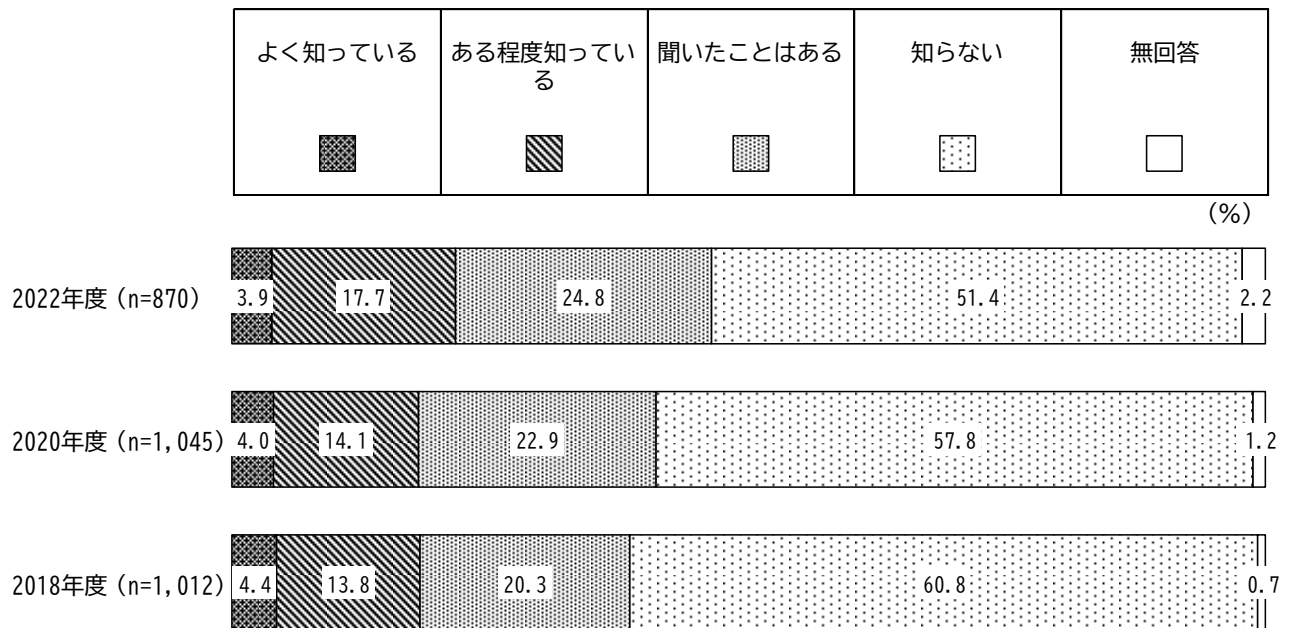


性別で見ると、「衛生用品（マスク、消毒液、体温計など）の用意（備蓄）」は女性が男性より 17 ポイント高い結果となった。

(23)「地域包括ケアシステム」の認知状況

問15 誰もが住み慣れた地域や場所で安心して暮らし続けるため、医療、看護、介護、福祉・生活支援が切れ目なく一体的に提供される仕組みと地域づくりの取組である「地域包括ケアシステム」を知っていますか。(〇は1つだけ)

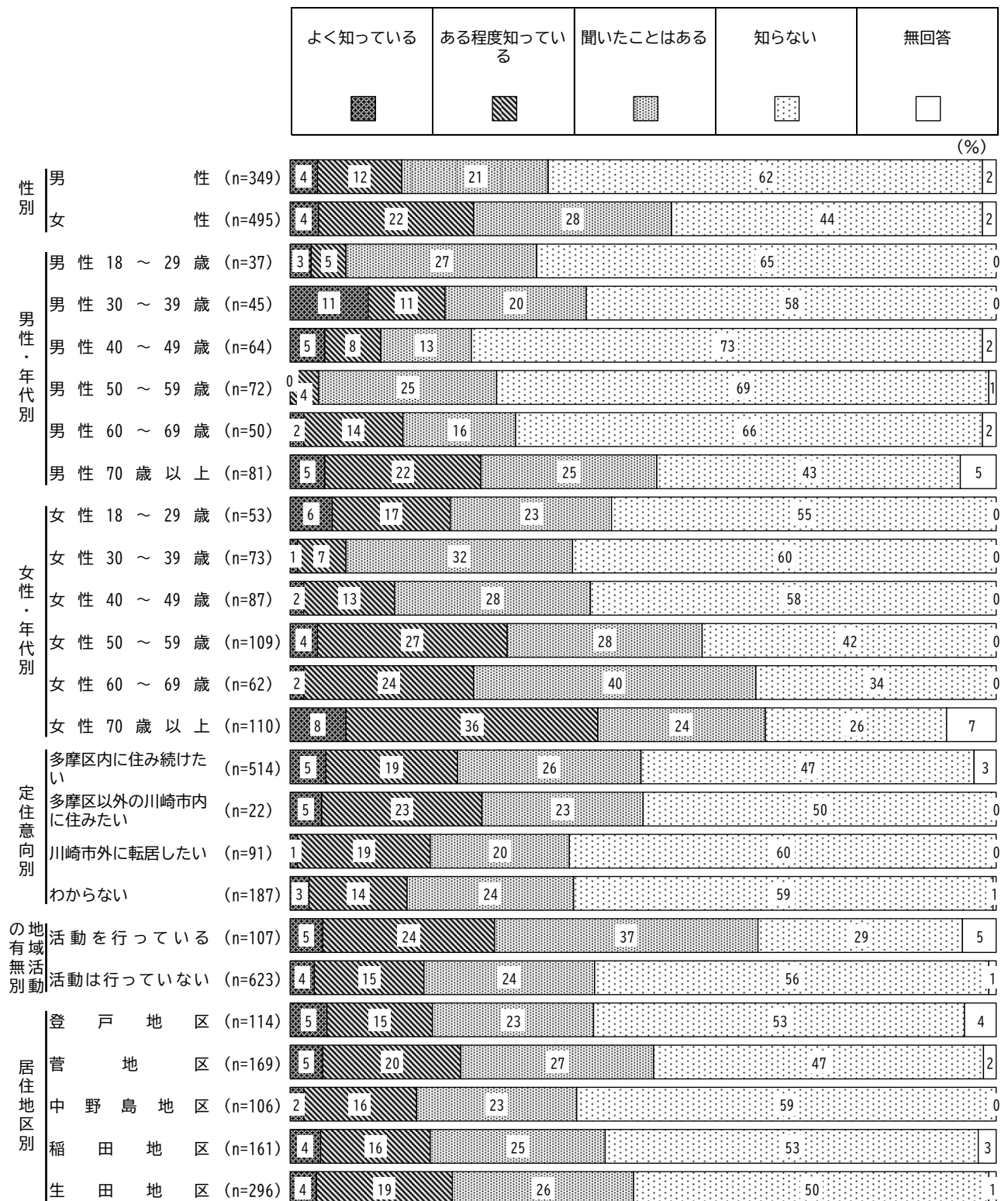
図表23-1 「地域包括ケアシステム」の認知状況



「『地域包括ケアシステム』の認知状況」について聞いたところ、「知らない」(51.4%)が最も高く、次いで「聞いたことはある」(24.8%)、「ある程度知っている」(17.7%)、「よく知っている」(3.9%)の順となった。

「よく知っている」「ある程度知っている」「聞いたことはある」を合わせた『聞いたことがある計』(46.4%)は、2020年度と比較して5.4ポイント上昇する結果となった。

図表 2 3 - 2 「地域包括ケアシステム」の認知状況  
(性別・性年代別・定住意向別・地域活動の有無別・居住地区別)

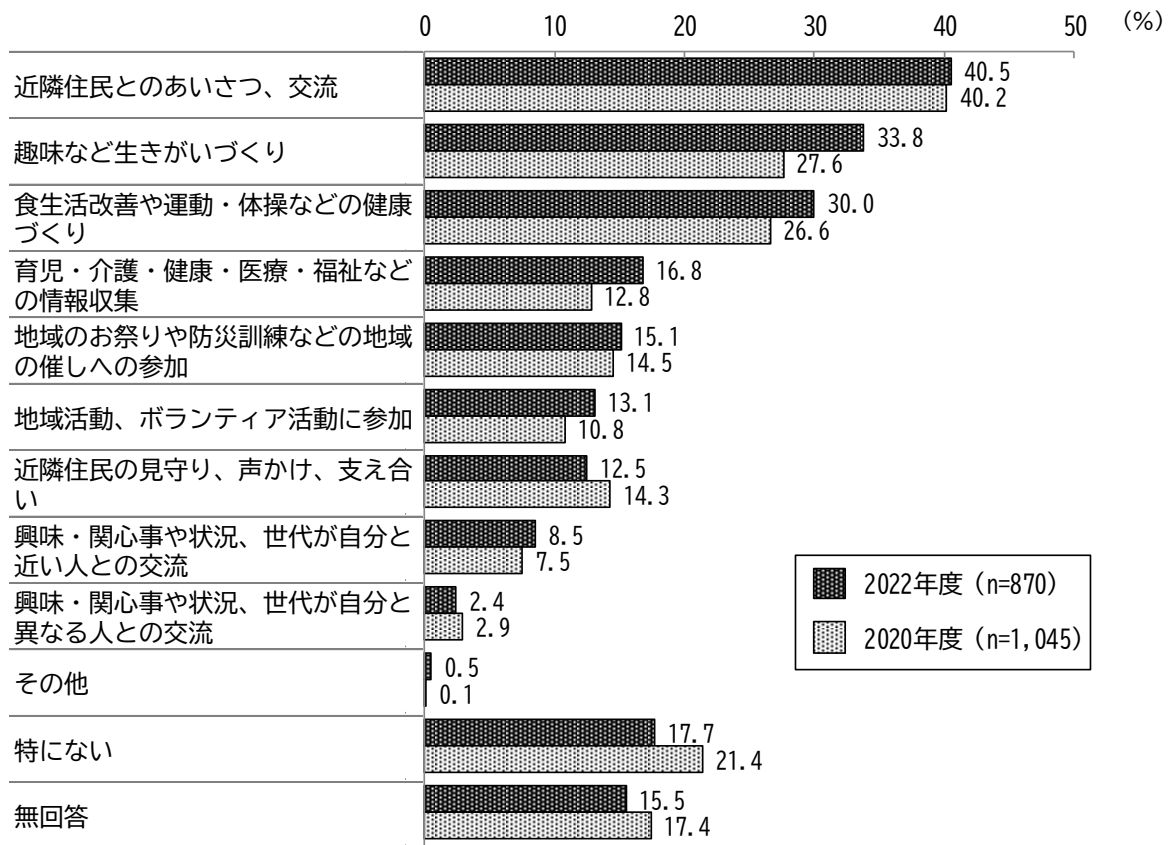


性年代別で見ると、「よく知っている」「ある程度知っている」「聞いたことはある」を合わせた『聞いたことがある計』は男性 70 歳以上、女性 50 歳以上で 50%を超え、ほかの性年代と比べて高い結果となった。

(24)「地域包括ケアシステム」における自助・互助の活動状況

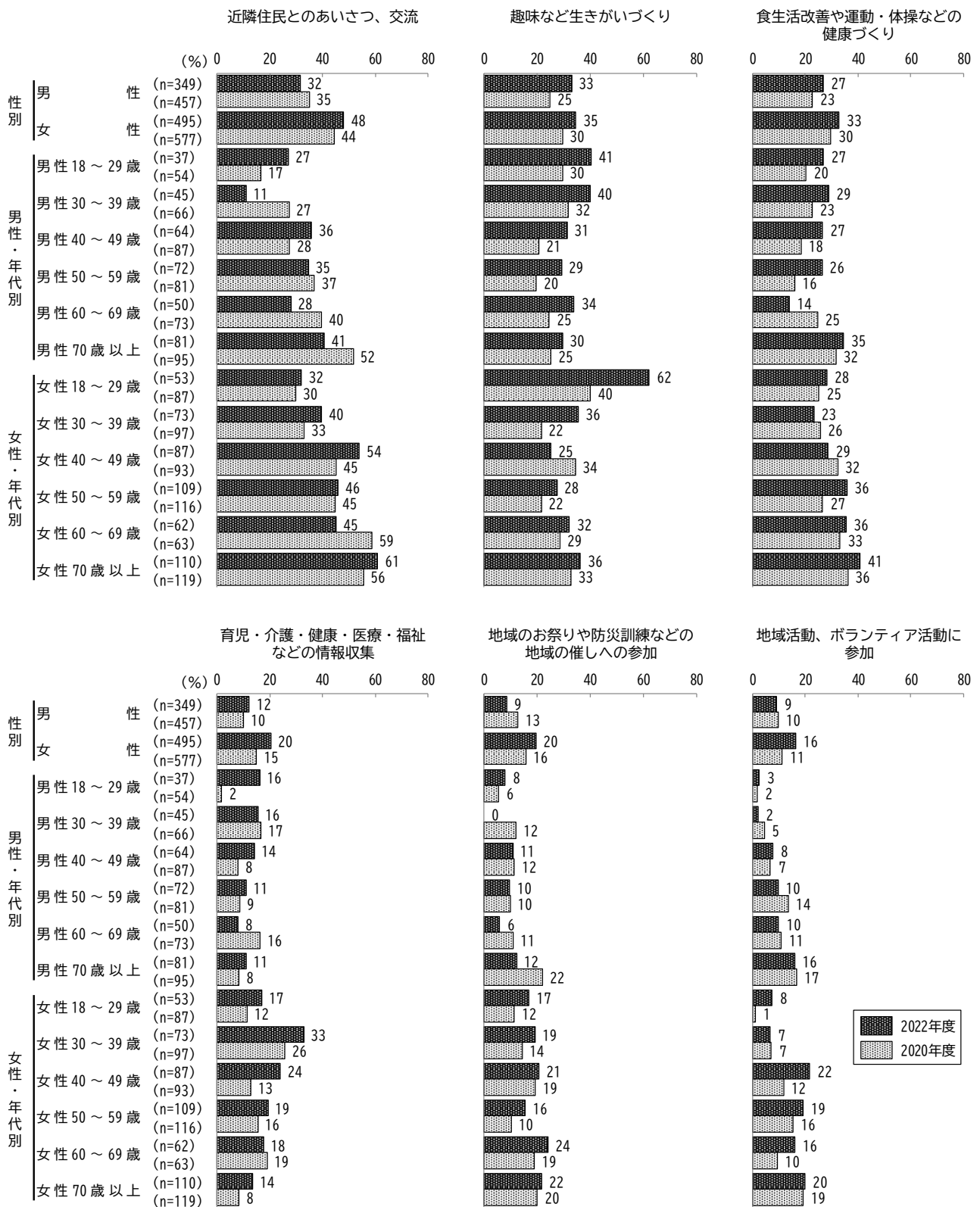
問16 地域包括ケアシステムにおいて一人ひとりに期待される行動として、自助（生きがいきづくり・健康づくりなど）、互助（地域の交流・支え合いなど）がありますが、あなたは次のような行動をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

図表24-1 「地域包括ケアシステム」における自助・互助の活動状況



「『地域包括ケアシステム』における自助・互助の活動状況」について聞いたところ、「近隣住民とのあいさつ、交流」(40.5%)が最も高く、次いで「趣味など生きがいきづくり」(33.8%)、「食生活改善や運動・体操などの健康づくり」(30.0%)、「育児・介護・健康・医療・福祉などの情報収集」(16.8%)の順となった。

図表 2 4 - 2 「地域包括ケアシステム」における自助・互助の活動状況  
(性別・性年代別) <上位 6 項目>

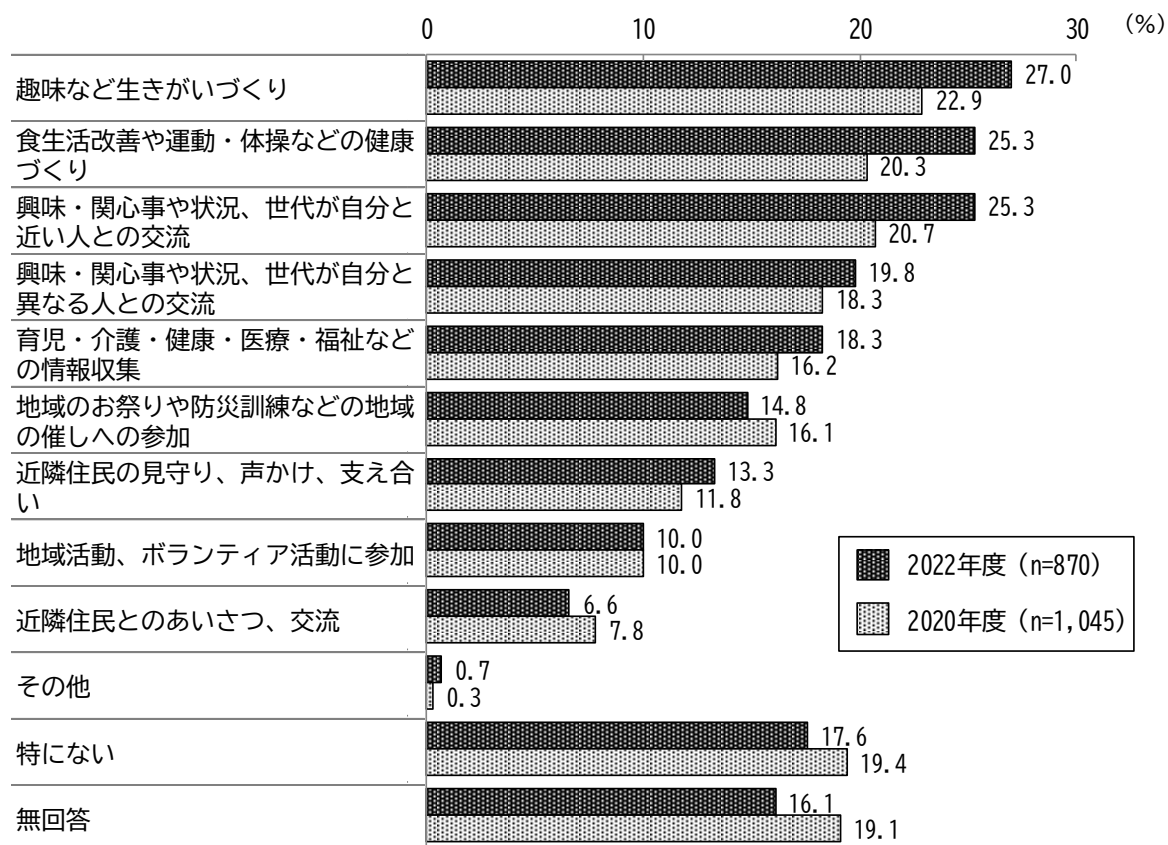


性別で見ると、「近隣住民とのあいさつ、交流」は女性が男性より 16 ポイント高い結果となった。  
性年代別で見ると、「趣味など生きがいがづくり」は女性 18～29 歳で 60%を超える高い結果となった。

(25)「地域包括ケアシステム」における自助・互助として行ってみたい活動内容

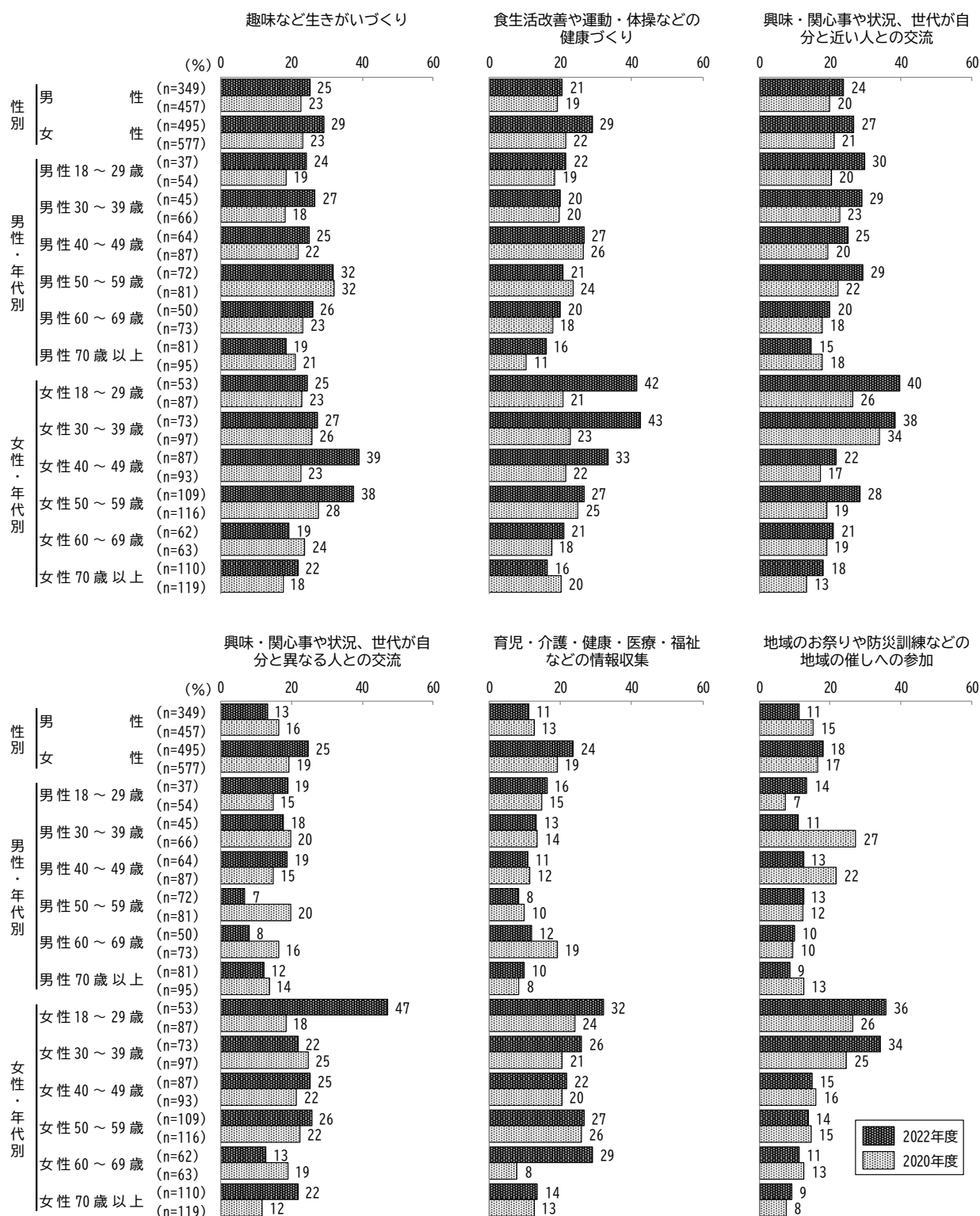
問17 また、してみたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表25-1 「地域包括ケアシステム」における自助・互助として行ってみたい活動内容



「『地域包括ケアシステム』における自助・互助として行ってみたい活動内容」について聞いたところ、「趣味など生きがいづくり」(27.0%)が最も高く、次いで「食生活改善や運動・体操などの健康づくり」「興味・関心事や状況、世代が自分と近い人との交流」(ともに 25.3%)、「興味・関心事や状況、世代が自分と異なる人との交流」(19.8%)の順となった。

図表 25-2 「地域包括ケアシステム」における自助・互助として行ってみたい活動内容  
(性別・性年代別) <上位6項目>



性別で見ると、「育児・介護・健康・医療・福祉などの情報収集」は女性が男性より13ポイント高い結果となった。

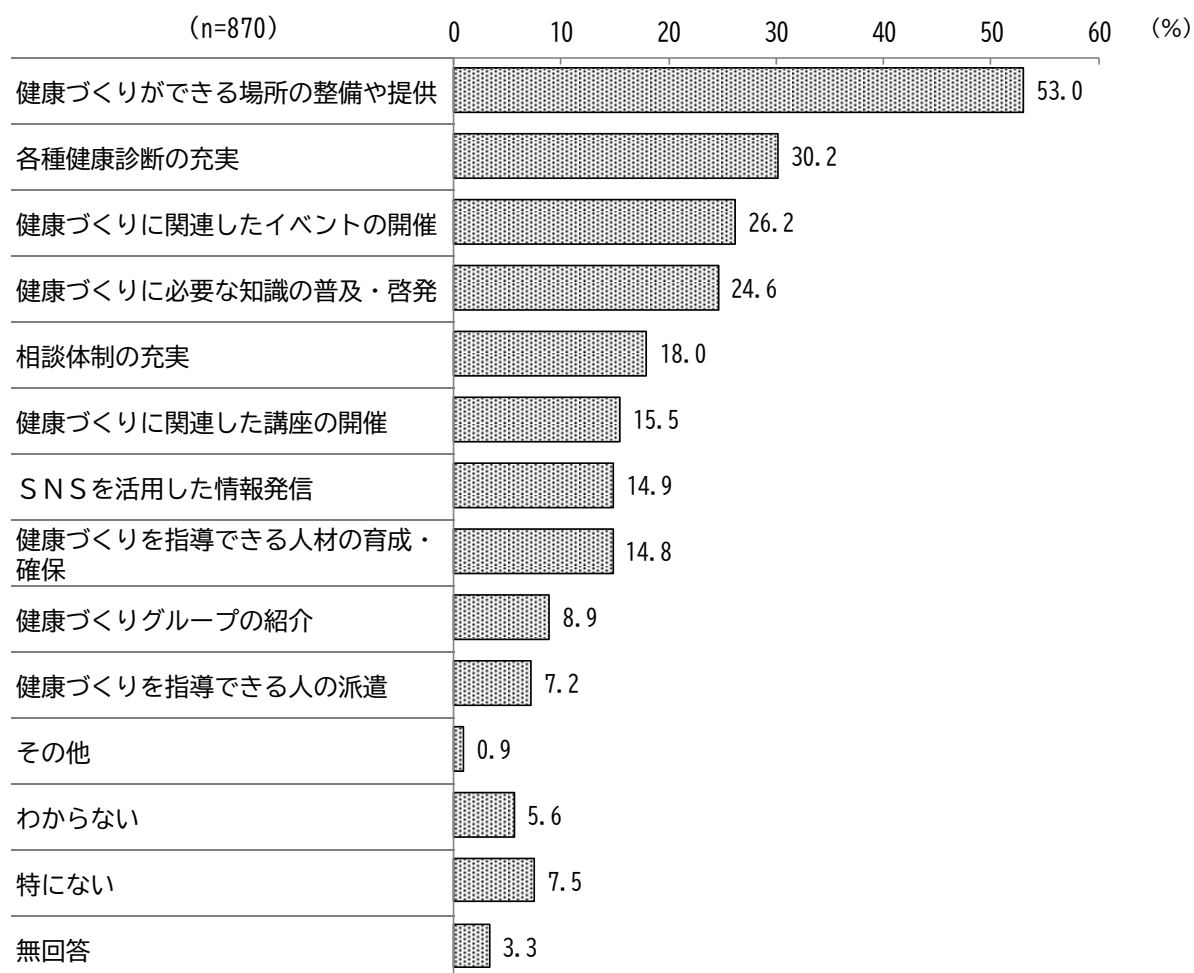
性年代別で見ると、「興味・関心事や状況、世代が自分と異なる人との交流」は女性18～29歳で40%を超える高い結果となった。



(26) 健康づくり推進のため、重要だと思う取組

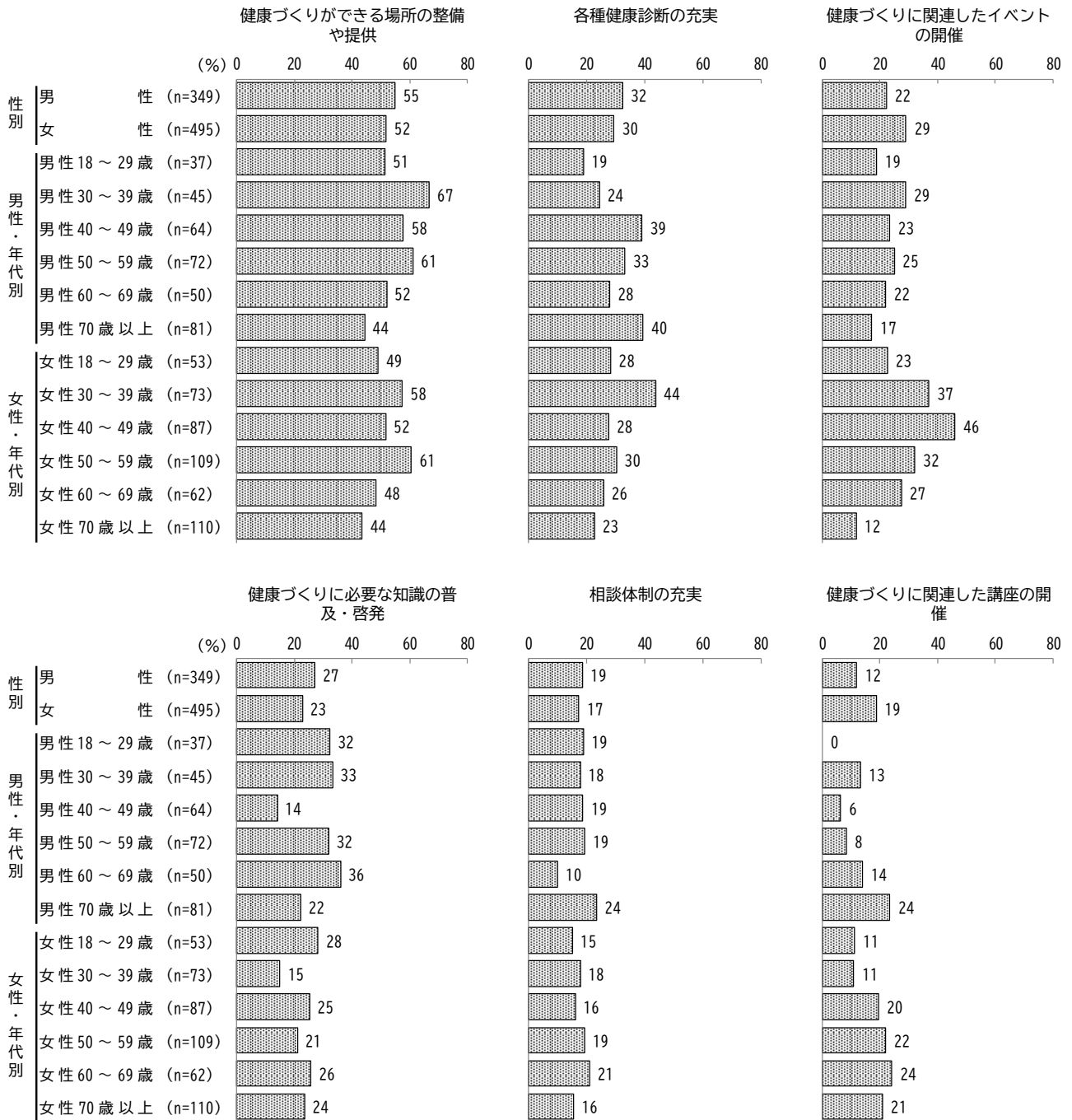
問18 自助（生きがいづくり・健康づくりなど）の取組についてお伺いします。区民の健康づくりを推進するために、どのような取組が重要だと思いますか。次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は3つまで）

図表26-1 健康づくり推進のため、重要だと思う取組



「健康づくり推進のため、重要だと思う取組」について聞いたところ、「健康づくりができる場所の整備や提供」(53.0%)が最も高く、次いで「各種健康診断の充実」(30.2%)、「健康づくりに関連したイベントの開催」(26.2%)、「健康づくりに必要な知識の普及・啓発」(24.6%)の順となった。

図表 2 6 - 2 健康づくり推進のため、重要だと思う取組（性別・性年代別）＜上位 6 項目＞



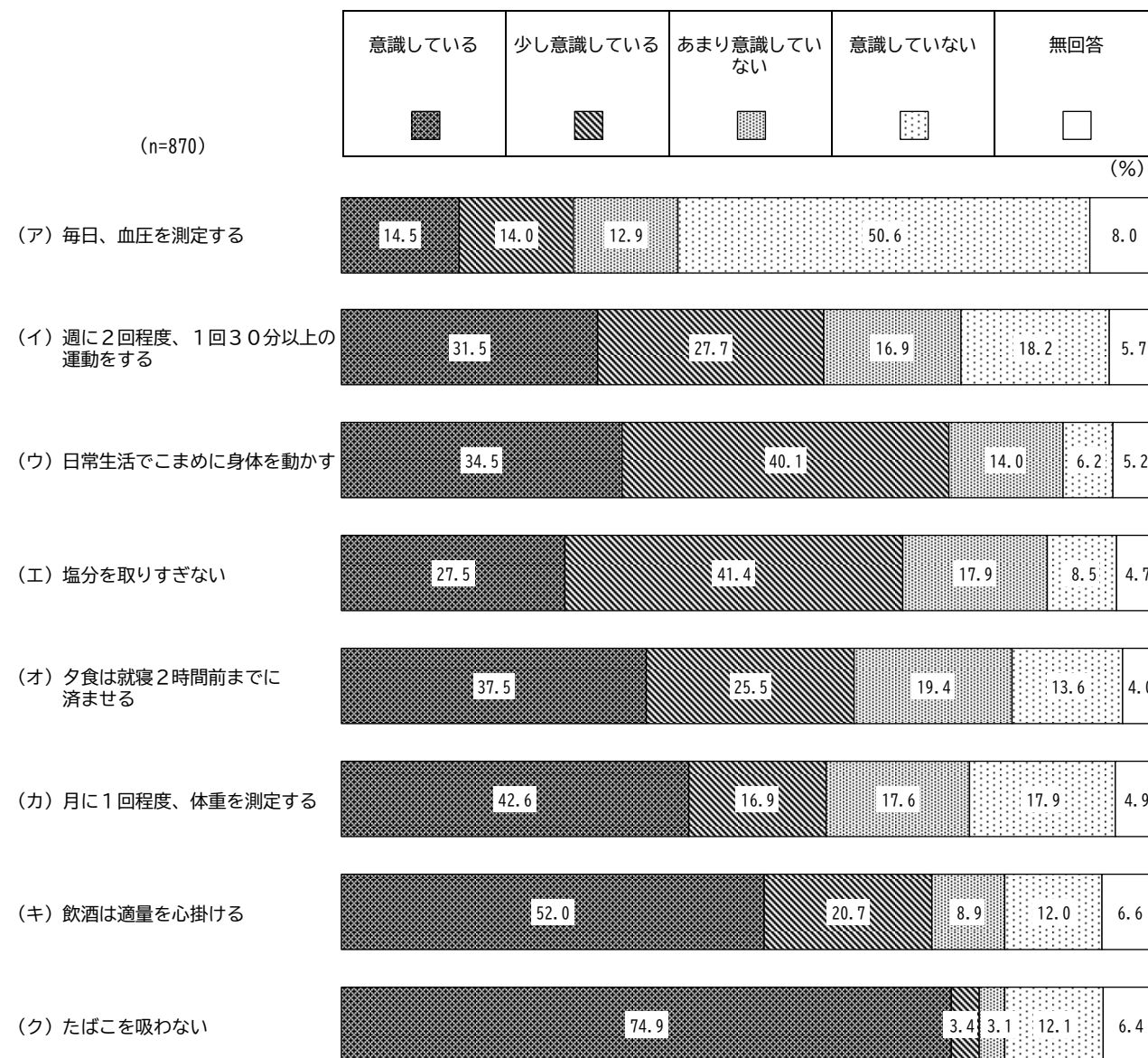
性別で見ると、「健康づくりに関連したイベントの開催」「健康づくりに関連した講座の開催」は女性が男性より 7 ポイント高い結果となった。

性年代別で見ると、「健康づくりに関連したイベントの開催」は女性 40～49 歳で 40%を超える高い結果となった。

(27) 日々の健康づくりとして意識していること

問19 あなたは日々の健康づくりとして、次にあげる項目についてどの程度意識していますか。  
(○はそれぞれ1つつ)

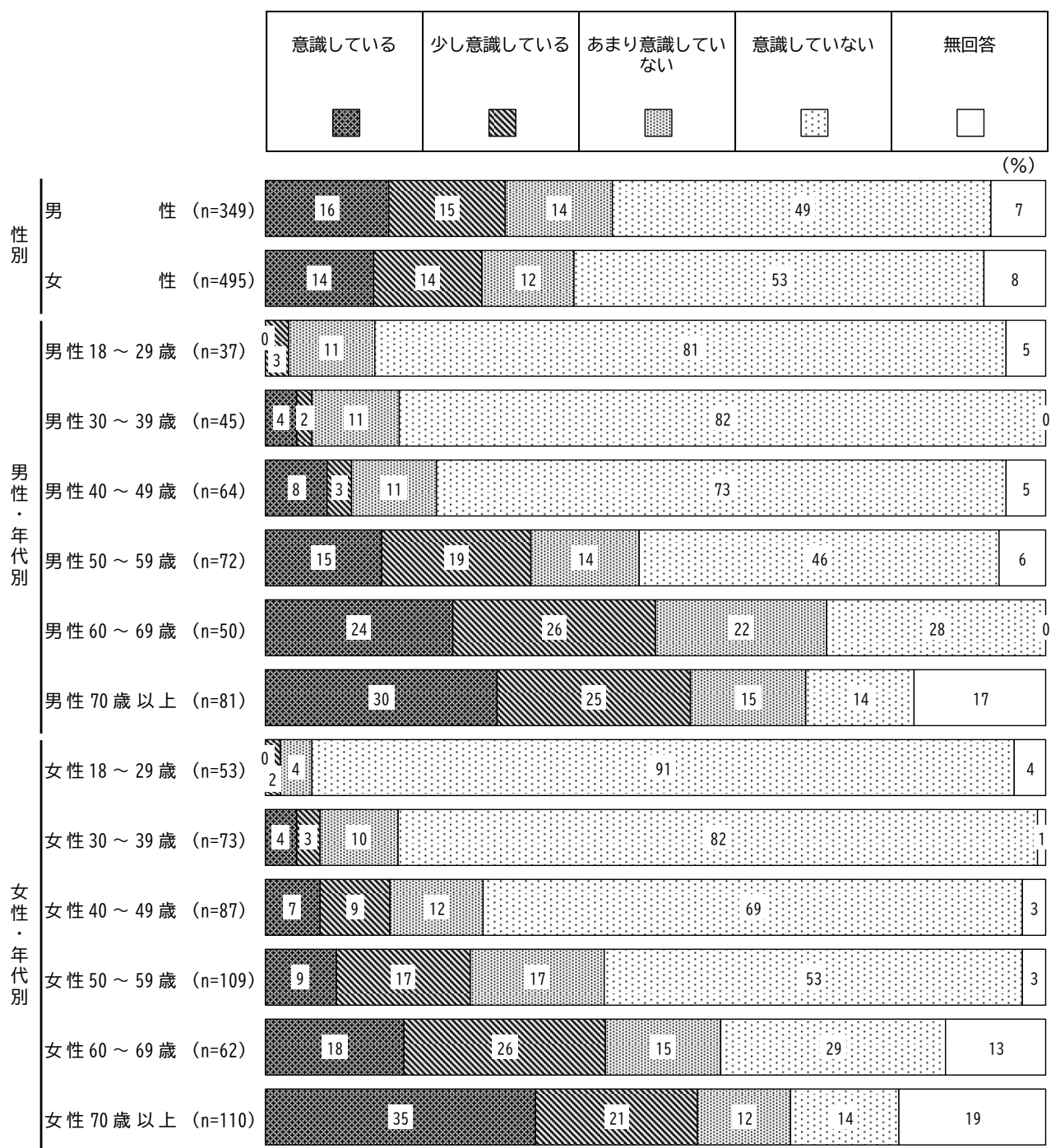
図表27-1 日々の健康づくりとして意識していること



「日々の健康づくりとして意識していること」について聞いたところ、「意識している」と「少し意識している」を合わせた『意識している計』で、「たばこを吸わない」(78.3%)が最も高い結果となった。

図表 27-2 日々の健康づくりとして意識していること（性別・性年代別）

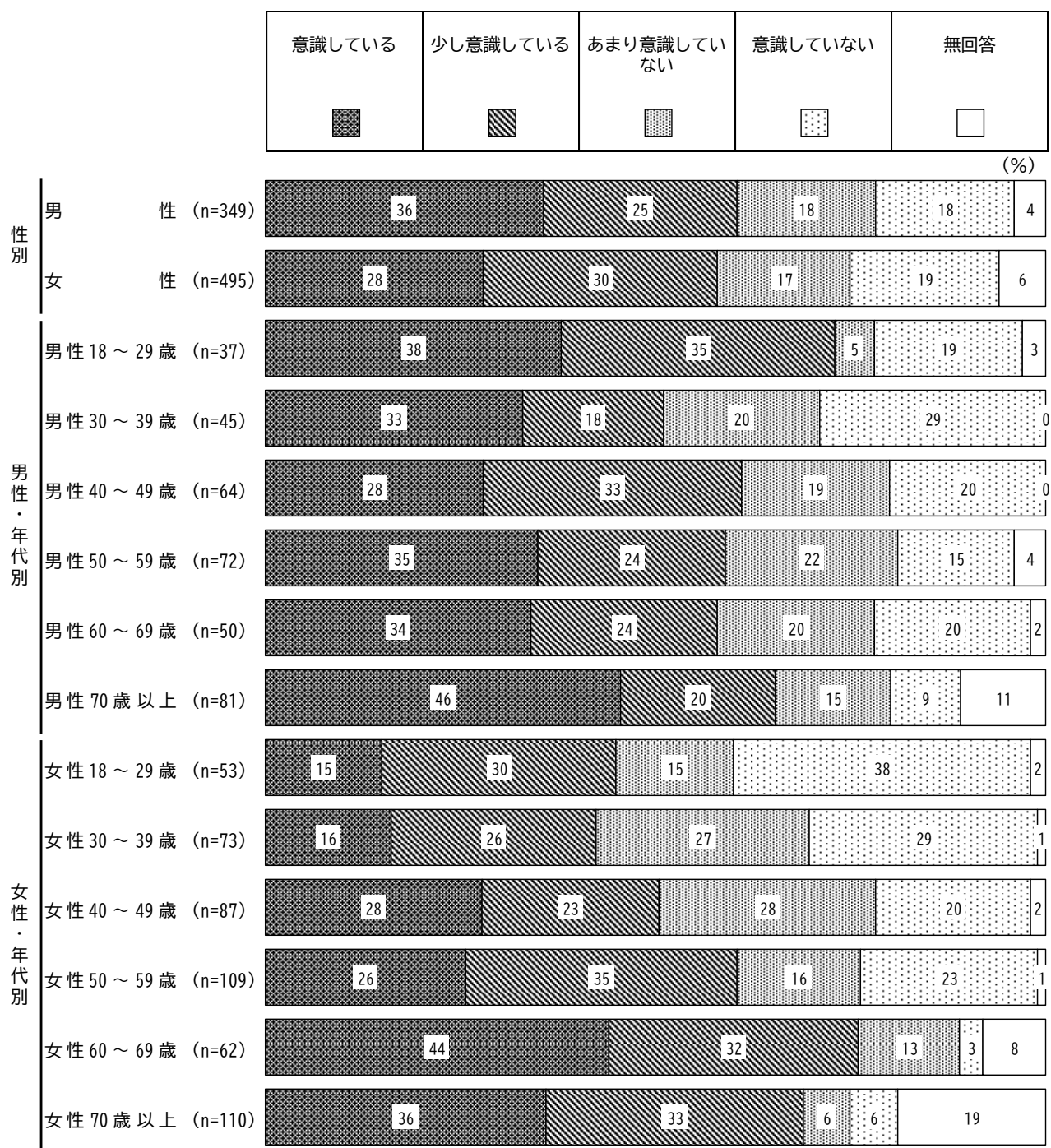
問 19. (ア) 毎日、血圧を測定する



性年代別で見ると、「毎日、血圧を測定する」では、「意識している」と「少し意識している」を合わせた『意識している計』で、男女とも年代が上がるほど高くなる傾向となった。

図表 27-3 日々の健康づくりとして意識していること（性別・性年代別）

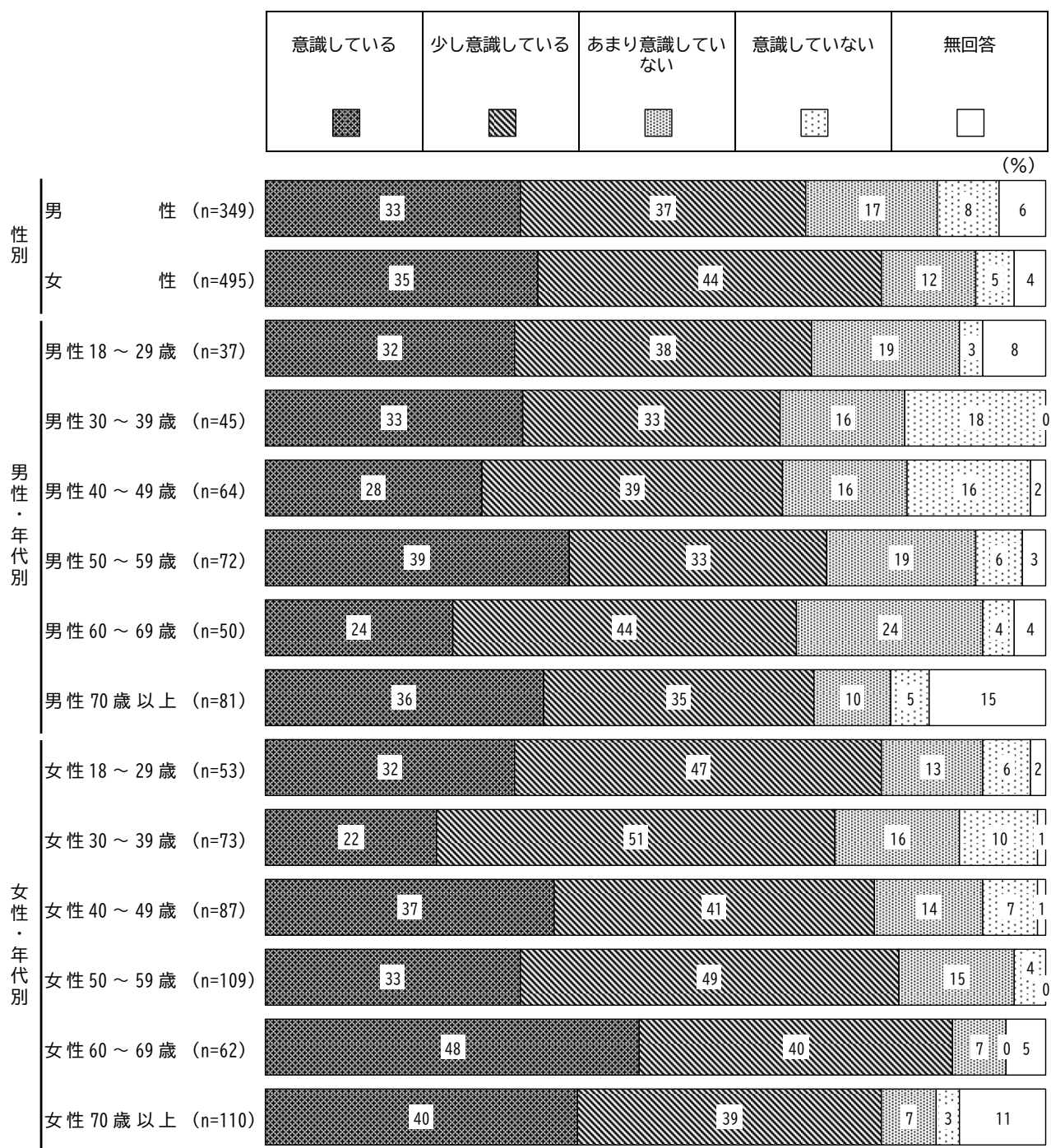
問 19. (イ) 週に 2 回程度、1 回 30 分以上の運動をする



性年代別で見ると、「週に 2 回程度、1 回 30 分以上の運動をする」では、「意識している」と「少し意識している」を合わせた『意識している計』で、男性 18～29 歳、女性 60～69 歳で 70%を超える高い結果となった。

図表 27-4 日々の健康づくりとして意識していること（性別・性年代別）

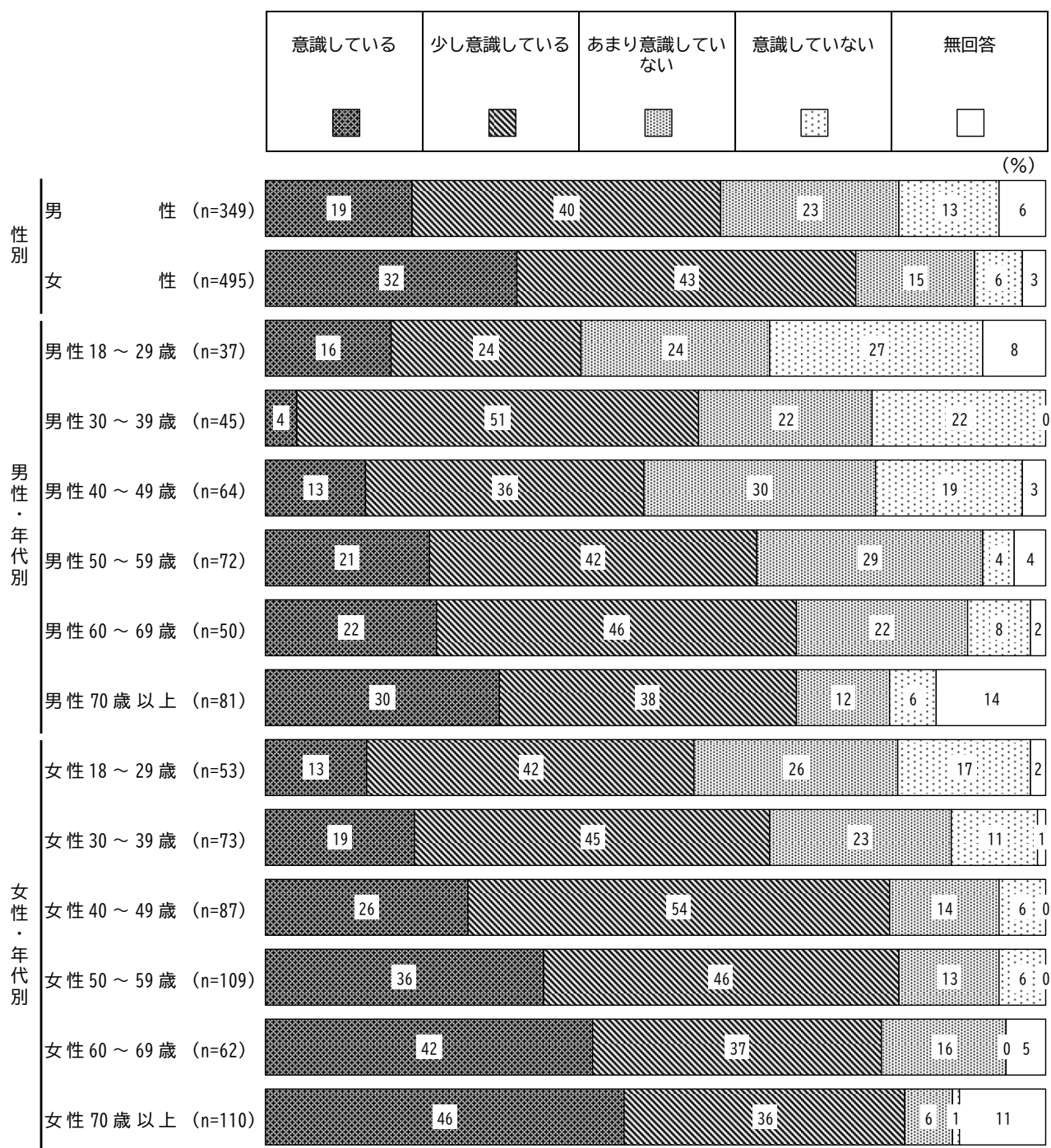
問 19. （ウ）日常生活でこまめに身体を動かす



性年代別で見ると、「日常生活でこまめに身体を動かす」では、「意識している」と「少し意識している」を合わせた『意識している計』で、女性 50～59 歳、女性 60～69 歳で 80%を超える高い結果となった。

図表 27-5 日々の健康づくりとして意識していること(性別・性年代別)

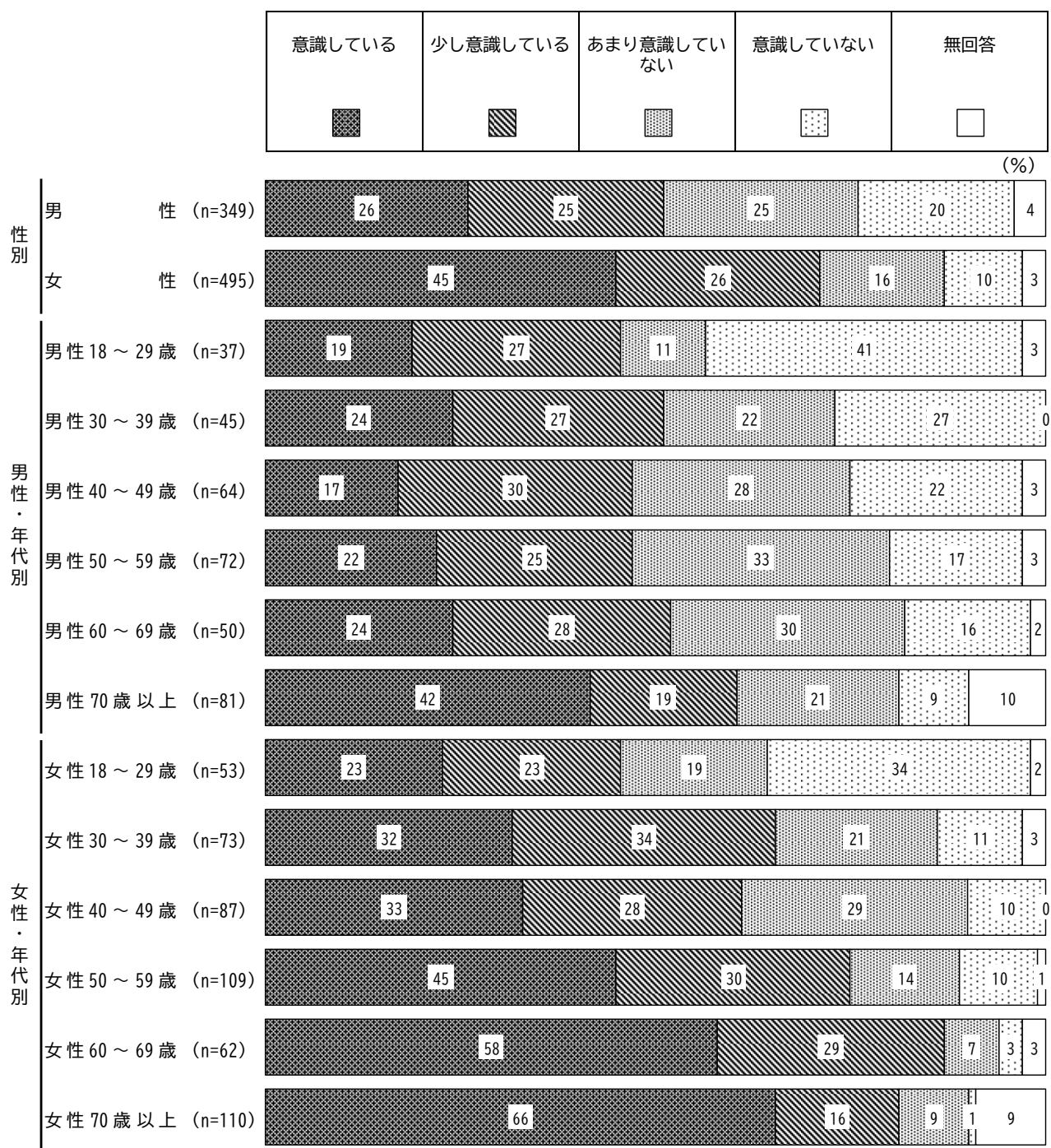
問19. (エ) 塩分を取りすぎない



性年代別で見ると、「塩分を取りすぎない」では、「意識している」と「少し意識している」を合わせた『意識している計』で、女性 50～59 歳、女性 70 歳以上で 80%を超える高い結果となった。

図表 27-6 日々の健康づくりとして意識していること（性別・性年代別）

問 19. （オ）夕食は就寝 2 時間前までに済ませる

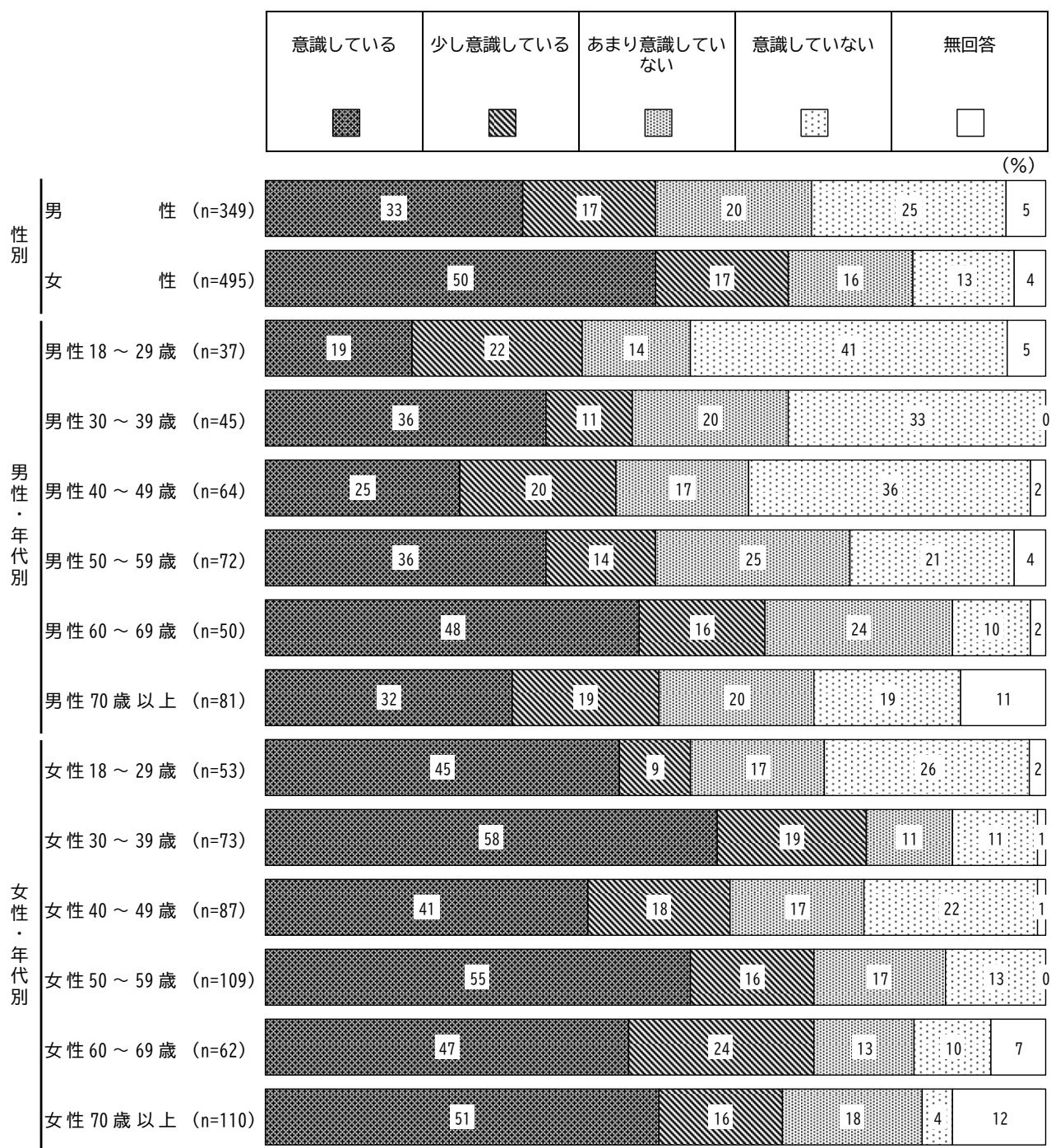


性年代別で見ると、「夕食は就寝 2 時間前までに済ませる」では、「意識している」と「少し意識している」を合わせた『意識している計』で、女性 60～69 歳、女性 70 歳以上で 80%を超える高い結果となった。



図表 27-7 日々の健康づくりとして意識していること（性別・性年代別）

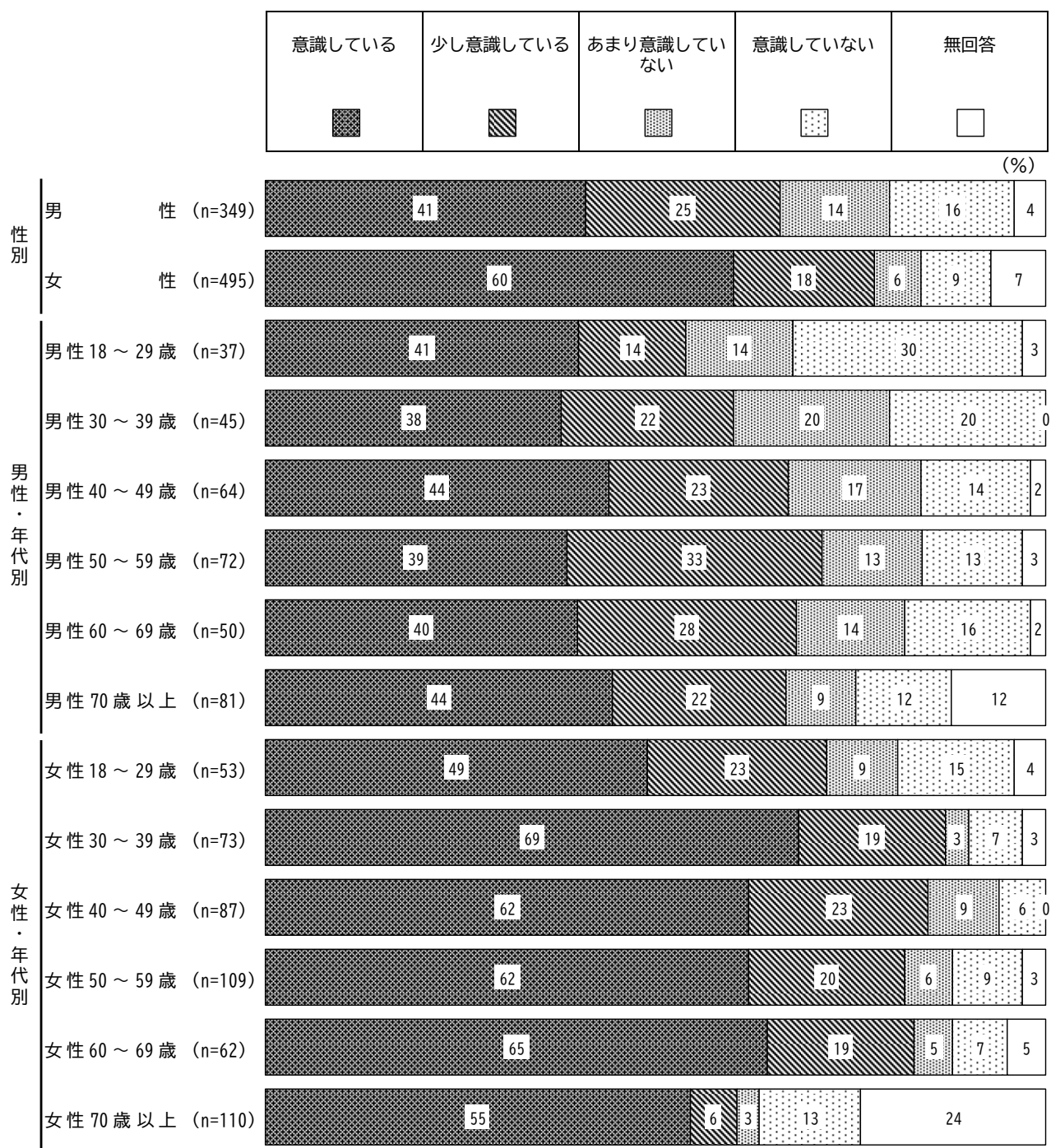
問 19. （カ）月に 1 回程度、体重を測定する



性年代別で見ると、「月に 1 回程度、体重を測定する」では、「意識している」と「少し意識している」を合わせた『意識している計』で、女性 30～39 歳、女性 50～59 歳、女性 60～69 歳で 70%を超える高い結果となった。

図表 27-8 日々の健康づくりとして意識していること（性別・性年代別）

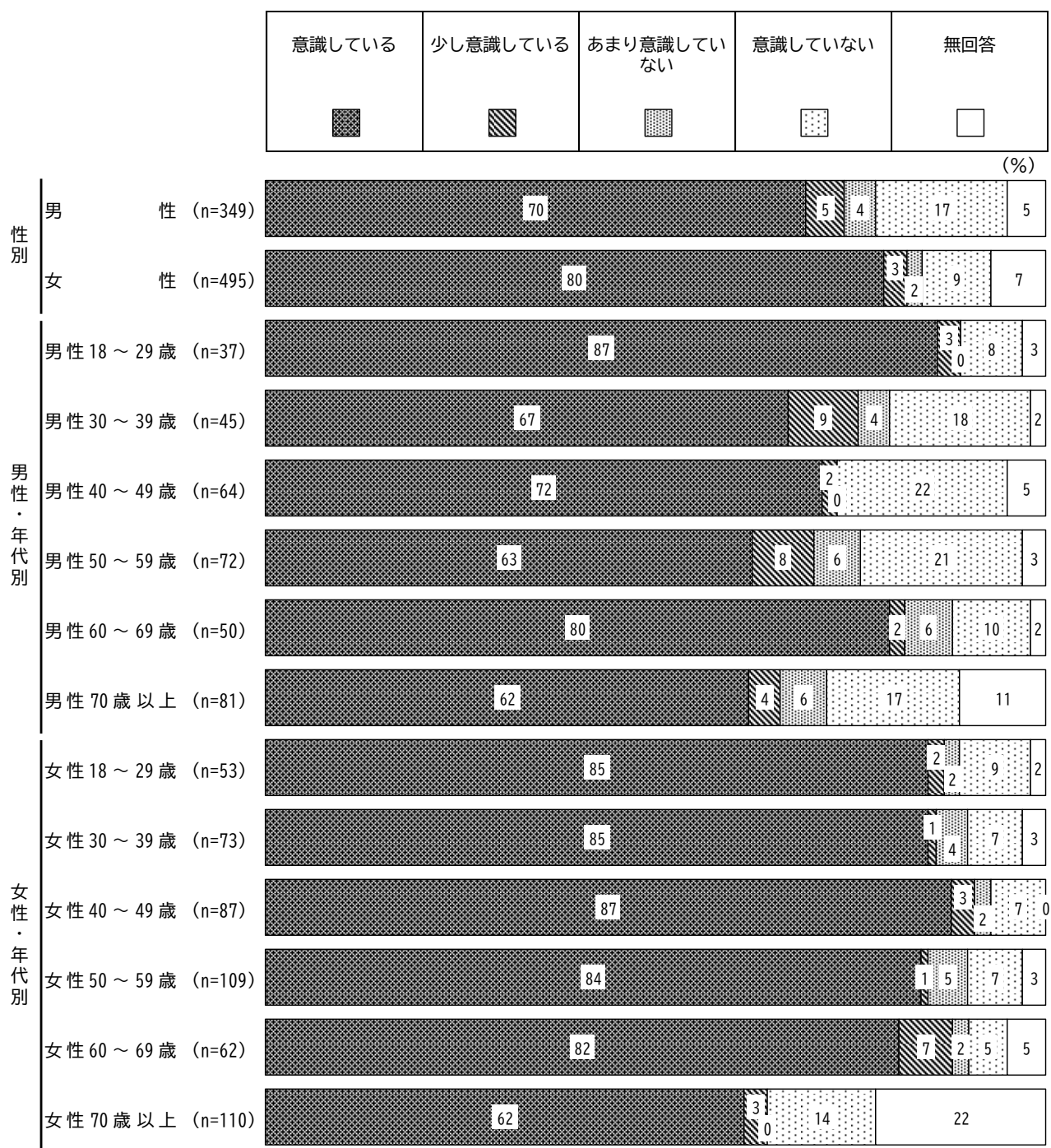
問 19. (キ) 飲酒は適量を心掛ける



性年代別で見ると、「飲酒は適量を心掛ける」では、「意識している」と「少し意識している」を合わせた『意識している計』で、女性は 70 歳以上を除いて、どの年代でも 70%を超える高い結果となった。

図表 27-9 日々の健康づくりとして意識していること（性別・性年代別）

問 19. (ク) たばこを吸わない

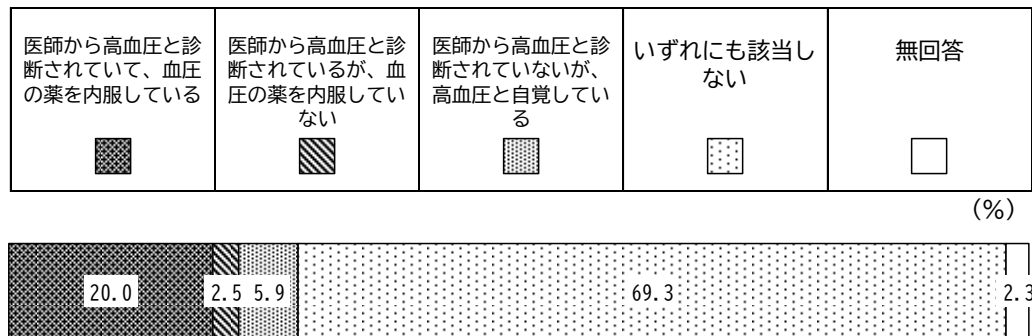


性年代別で見ると、「たばこを吸わない」では、「意識している」で、どの性年代でも 60%を超える高い結果となった。

(28) 高血圧に関する健康状態

問20 多摩区では、健康の維持増進のため、高血圧予防の取組を推進しています。あなたの現在の健康状態について教えてください。(○は1つだけ)

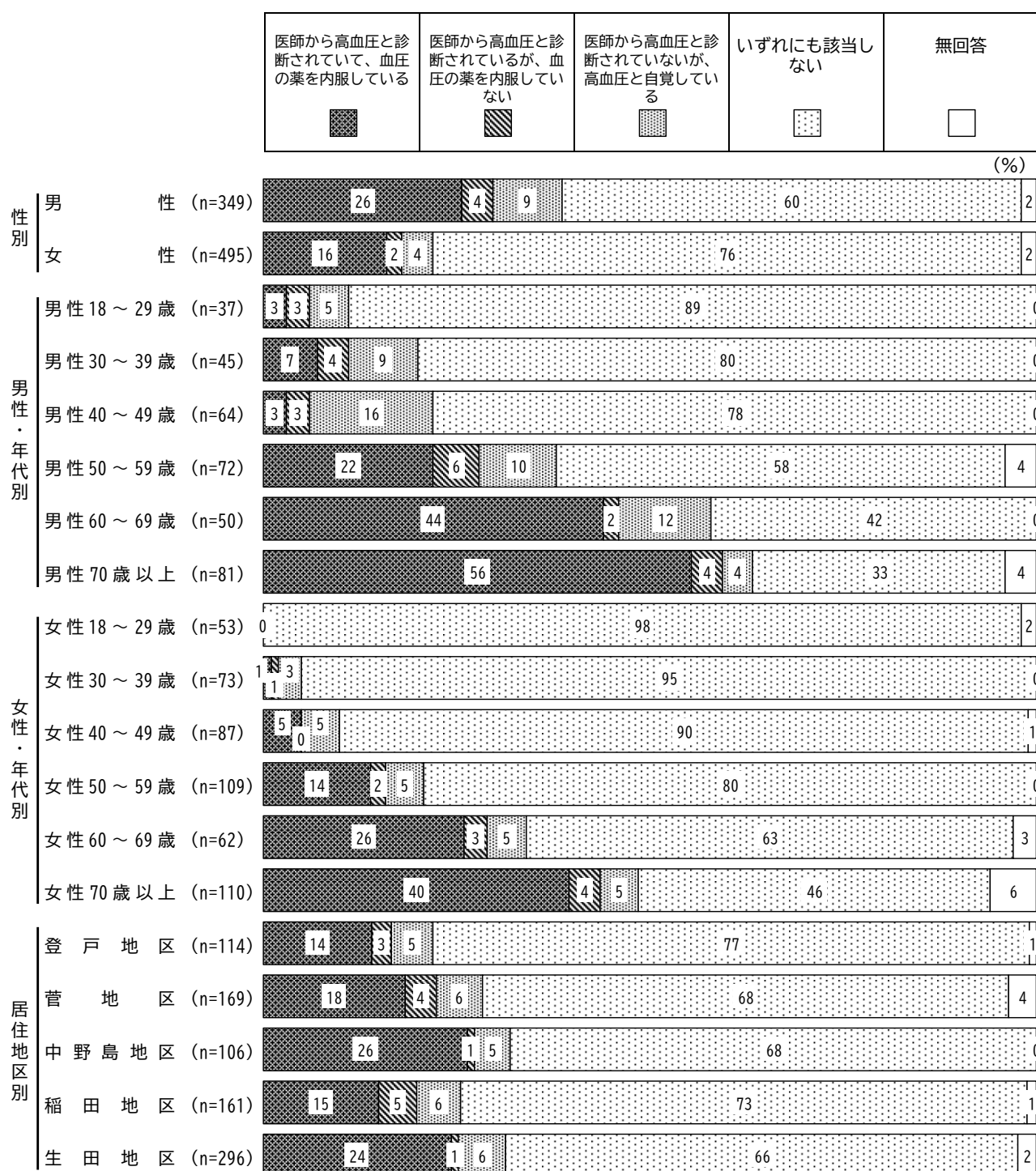
図表28-1 高血圧に関する健康状態



2022年度 (n=870)

「高血圧に関する健康状態」について聞いたところ、「いずれにも該当しない」(69.3%)が最も高く、次いで「医師から高血圧と診断されていて、血圧の薬を内服している」(20.0%)、「医師から高血圧と診断されていないが、高血圧と自覚している」(5.9%)、「医師から高血圧と診断されているが、血圧の薬を内服していない」(2.5%)の順となった。

図表 2 8 - 2 高血圧に関する健康状態(性別・性年代別)



性別で見ると、「医師から高血圧と診断されていて、血圧の薬を内服している」は男性が女性より 10 ポイント高い結果となった。

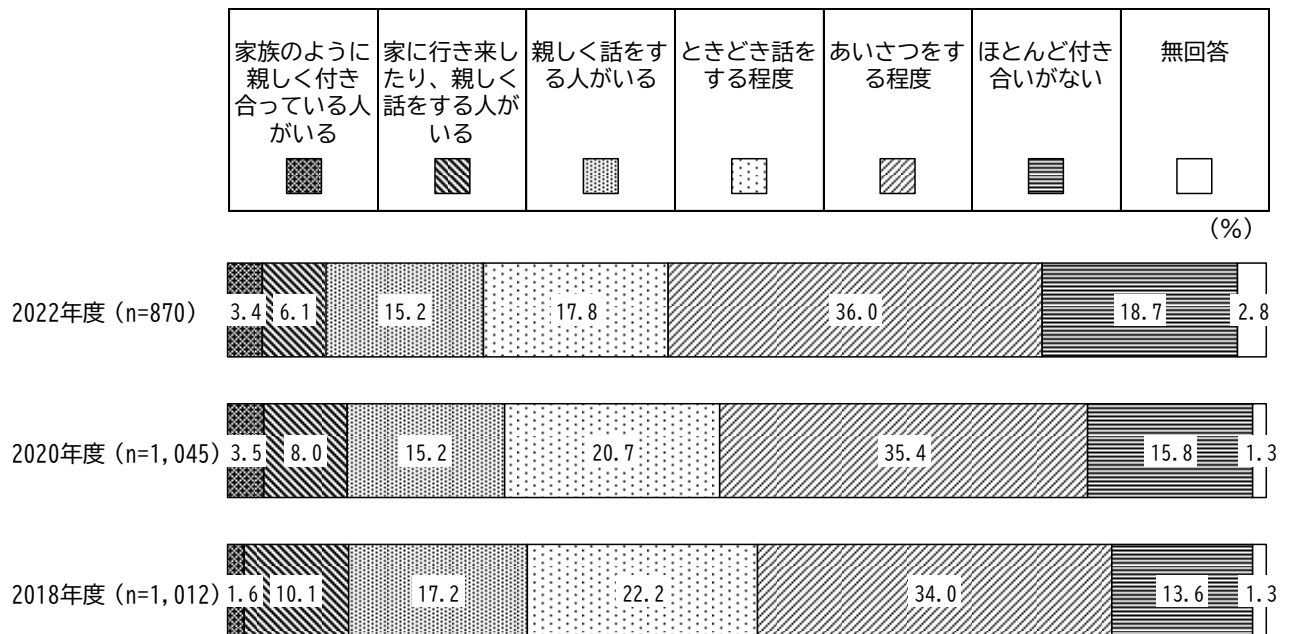
性年代別で見ると、「医師から高血圧と診断されていて、血圧の薬を内服している」は男性 70 歳以上で 50%を超える高い結果となった。

居住地区別で見ると、「医師から高血圧と診断されていて、血圧の薬を内服している」は中野島地区、生田地区で他の地区より高い結果となった。

(29) 近所付き合いの程度

問21 互助（地域の交流・支え合いなど）の取組についてお伺いします。あなたの近所付き合いは以下のどれにあてはまりますか。（○は1つだけ）

図表 29-1 近所付き合いの程度

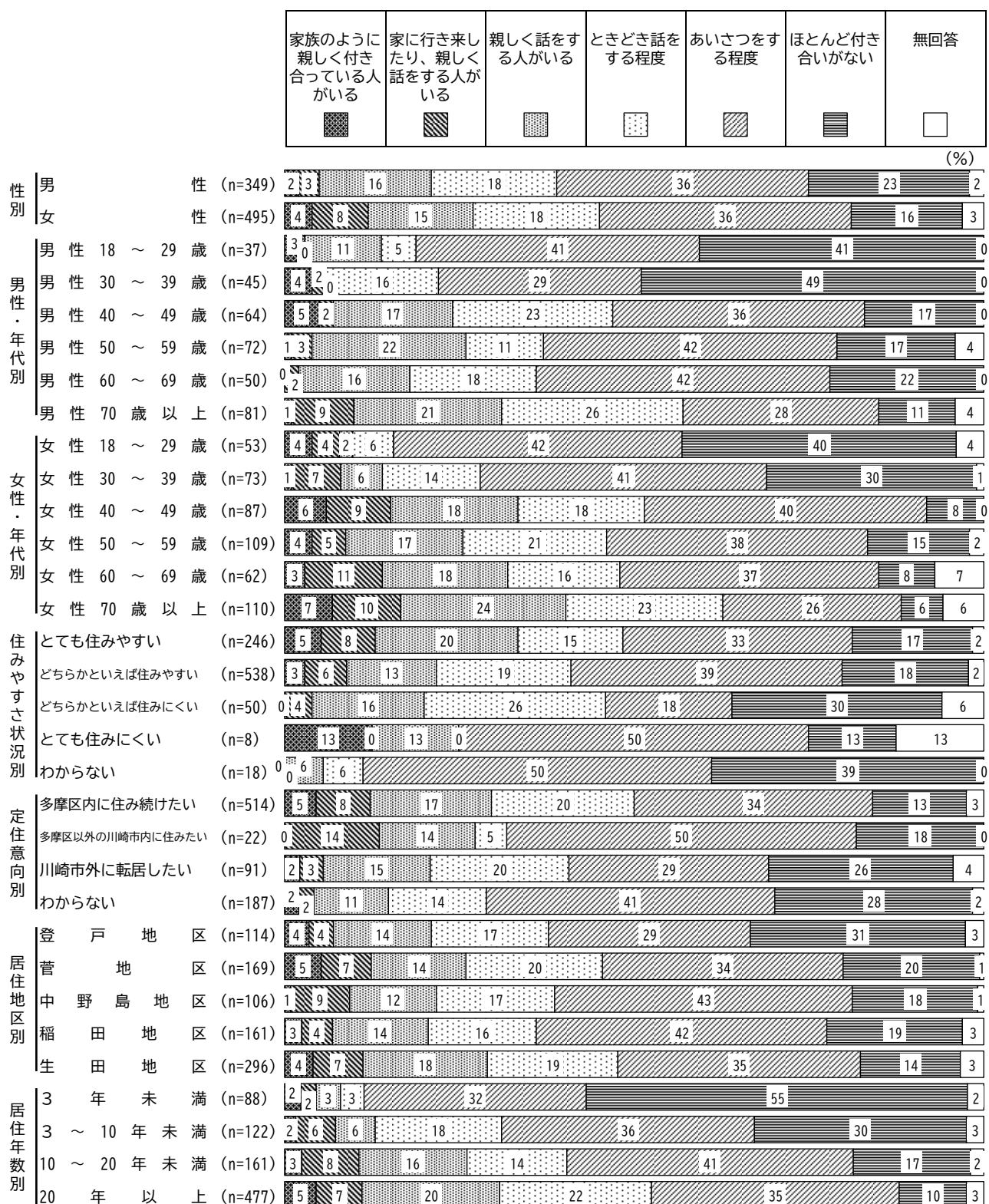


「近所付き合いの程度」について聞いたところ、「あいさつをする程度」(36.0%)が最も高く、次いで「ほとんど付き合いがない」(18.7%)、「ときどき話をする程度」(17.8%)の順となった。

「家に行き来したり、親しく話をする人がいる」「ときどき話をする程度」は減少傾向となっている。

図表 29-2 近所付き合いの程度

(性別・性年代別・住みやすさ状況別・定住意向別・居住地区別・居住年数別)

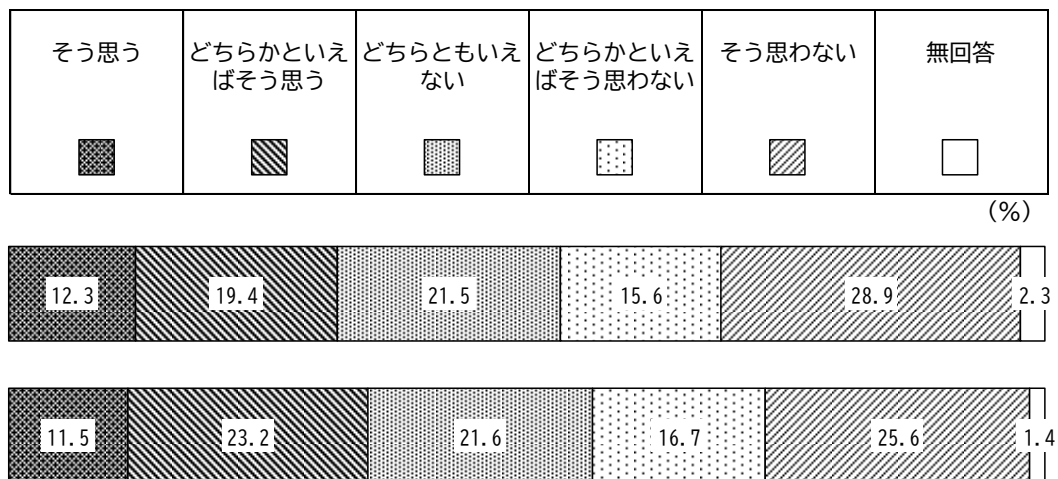


性年代別で見ると、「ほとんど付き合いがない」は男性 18～29 歳、男性 30～39 歳で 40%を超える高い結果となった。また、居住年数が短いほど割合が高い傾向となった。

(30) 自分と世代が異なる人との付き合いの状況

問22 日頃の生活で自分と世代が異なる人との付き合いが多いですか。(○は1つだけ)

図表30-1 自分と世代が異なる人との付き合いの状況

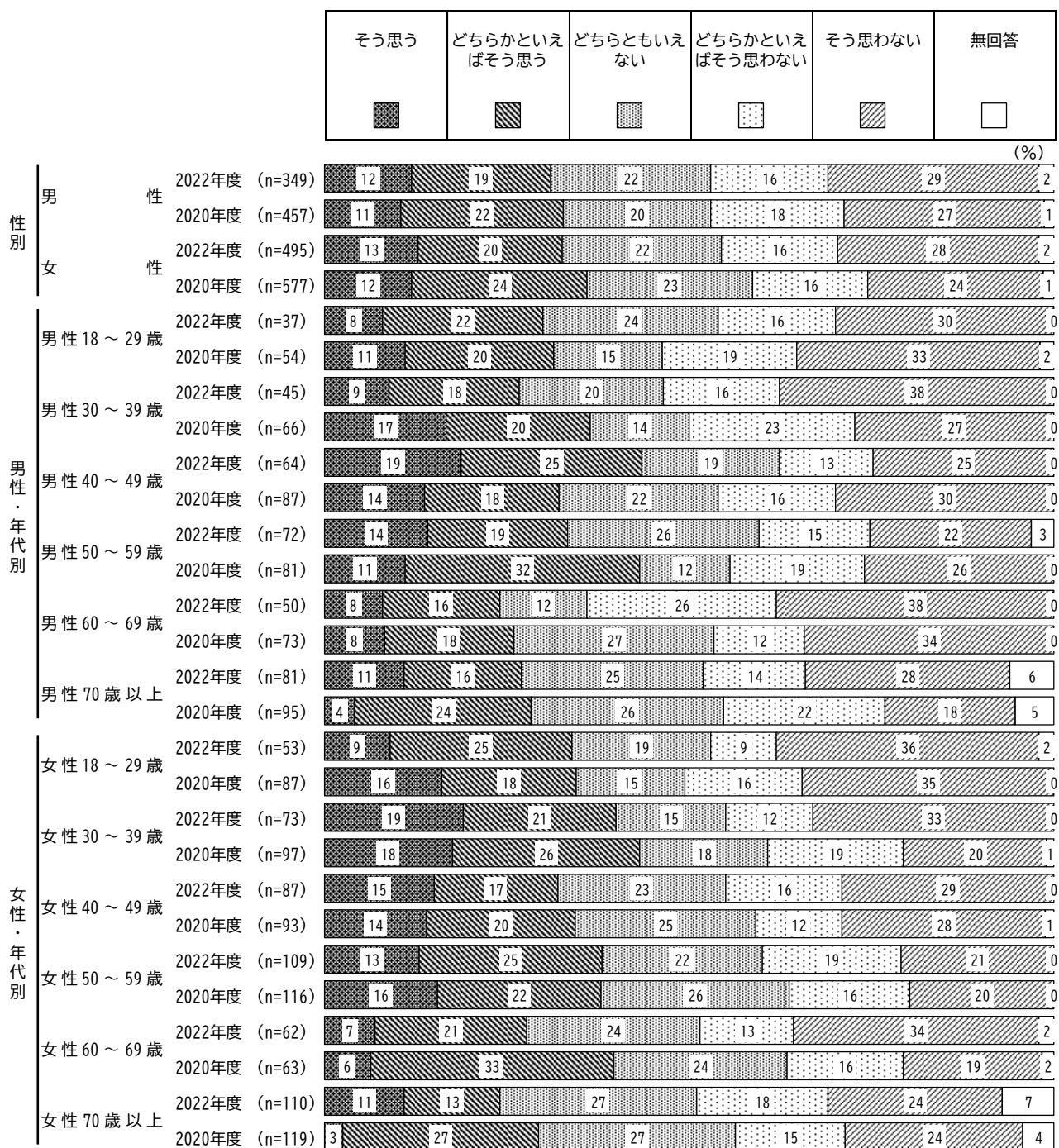


「自分と世代が異なる人との付き合いの状況」について聞いたところ、「そう思わない」(28.9%)が最も高く、次いで「どちらともいえない」(21.5%)、「どちらかといえばそう思う」(19.4%)の順となった。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』(31.7%)は、2020年度より3.0ポイント低い結果となった。



図表 30-2 自分と世代が異なる人との付き合いの状況(性別・性年代別)

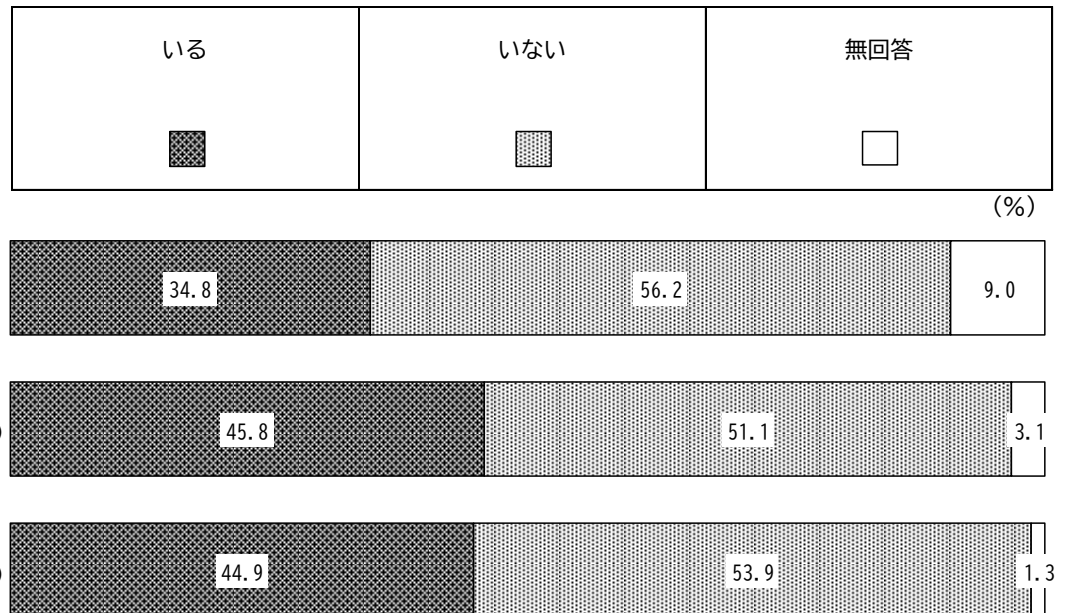


性年代別で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』は男性 40～49 歳で 40%を超える高い結果となった。

(3 1) 近所に手助けを頼める人の有無

問23 困ったとき、近所にちょっとした手助けを頼める人はいますか。(○は1つだけ)

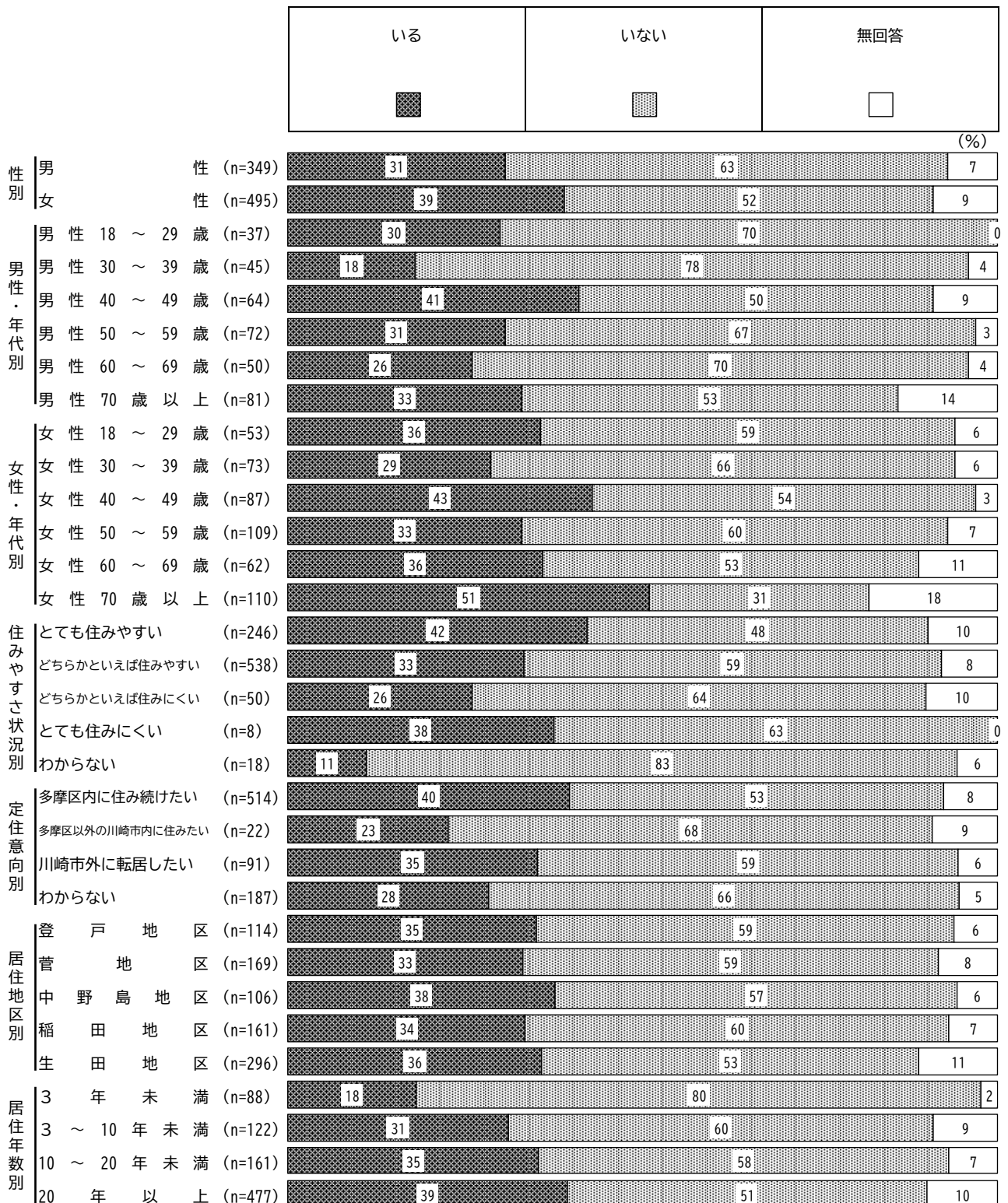
図表 3 1 - 1 近所に手助けを頼める人の有無



「近所に手助けを頼める人の有無」について聞いたところ、「いない」が56.2%、「いる」が34.8%となった。

「いる」は、2020年度より11.0ポイント低い結果となった。

図表 3 1 - 2 近所に手助けを頼める人の有無  
(性別・性年代別・住みやすさ状況別・定住意向別・居住地区別・居住年数別)

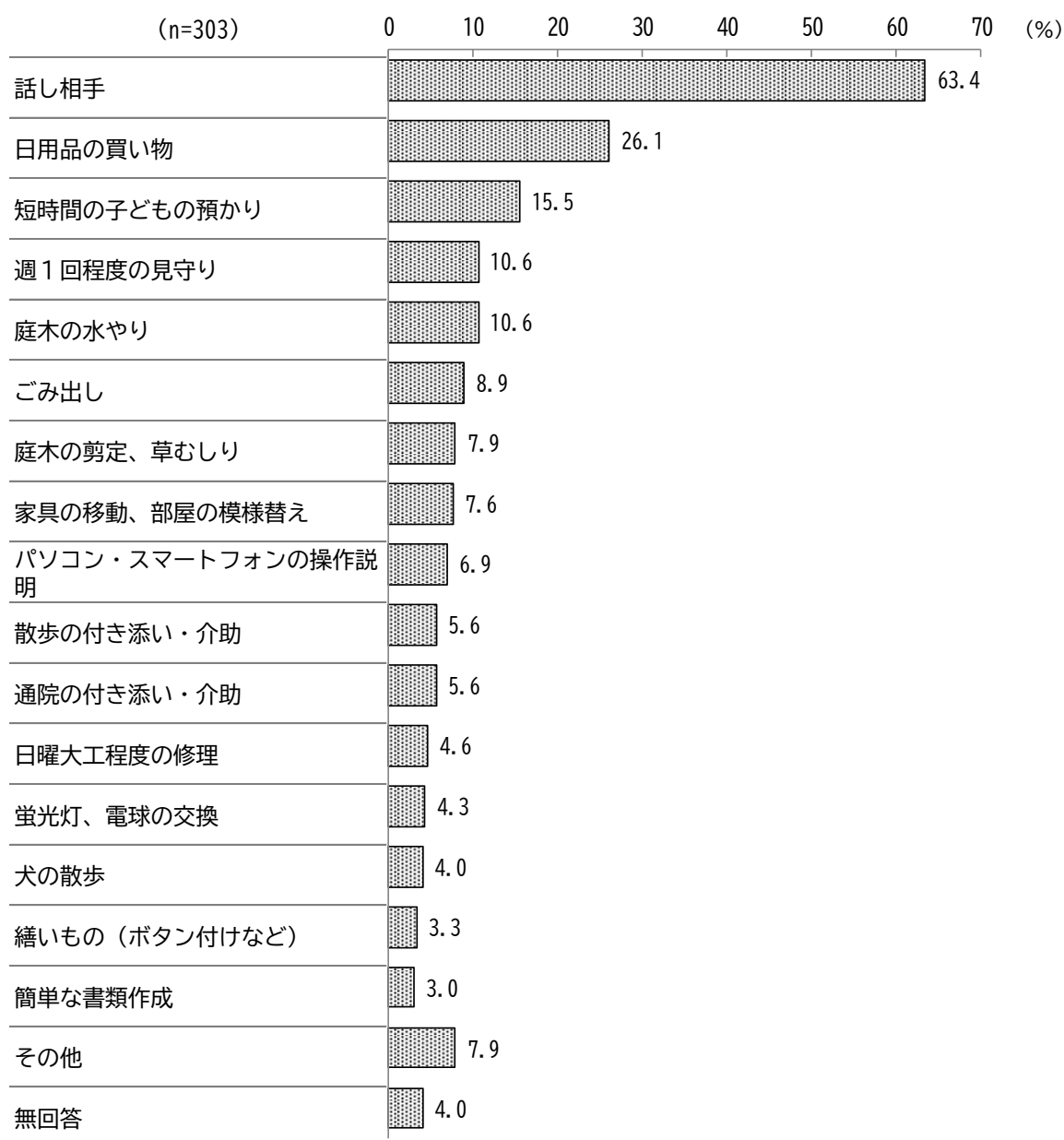


性年代別で見ると、「いる」は女性 70 歳以上が 50%を超える高い結果となった。また、居住年数が長いほど割合が高い傾向となった。

### （３２）近所に手助けを頼めると思うこと

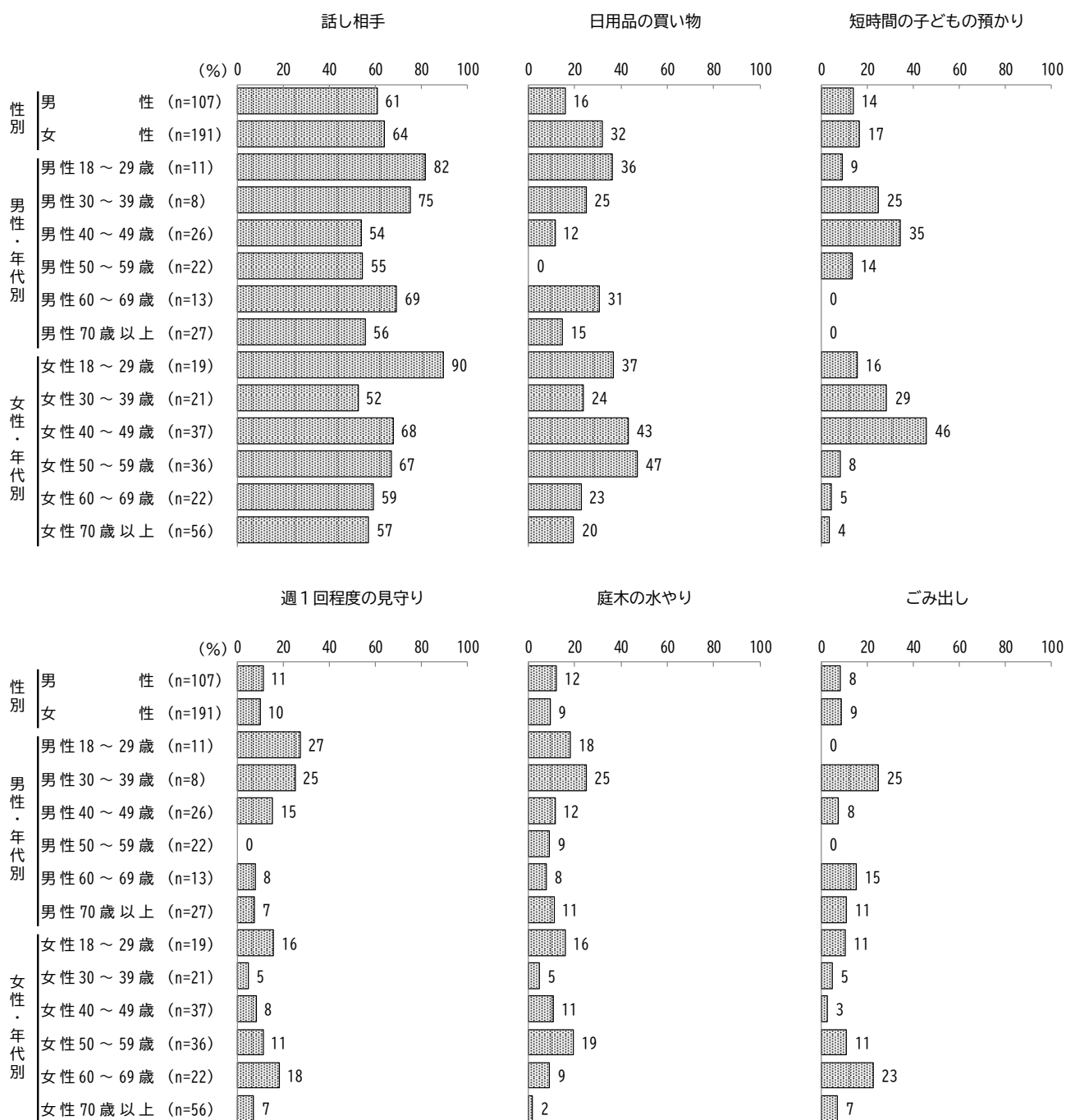
問24 近所の人にちょっとした手助けとして、どのようなことを頼むことができますか。  
（あてはまるものすべてに○）

図表３２－１ 近所に手助けを頼めると思うこと



「近所に手助けを頼めると思うこと」について聞いたところ、「話し相手」（63.4%）が最も高く、次いで「日用品の買い物」（26.1%）、「短時間の子どもの預かり」（15.5%）、「週１回程度の見守り」「庭木の水やり」（ともに 10.6%）の順となった。

図表 3 2 - 2 近所に手助けを頼めると思うこと(性別・性年代別) <上位 6 項目>



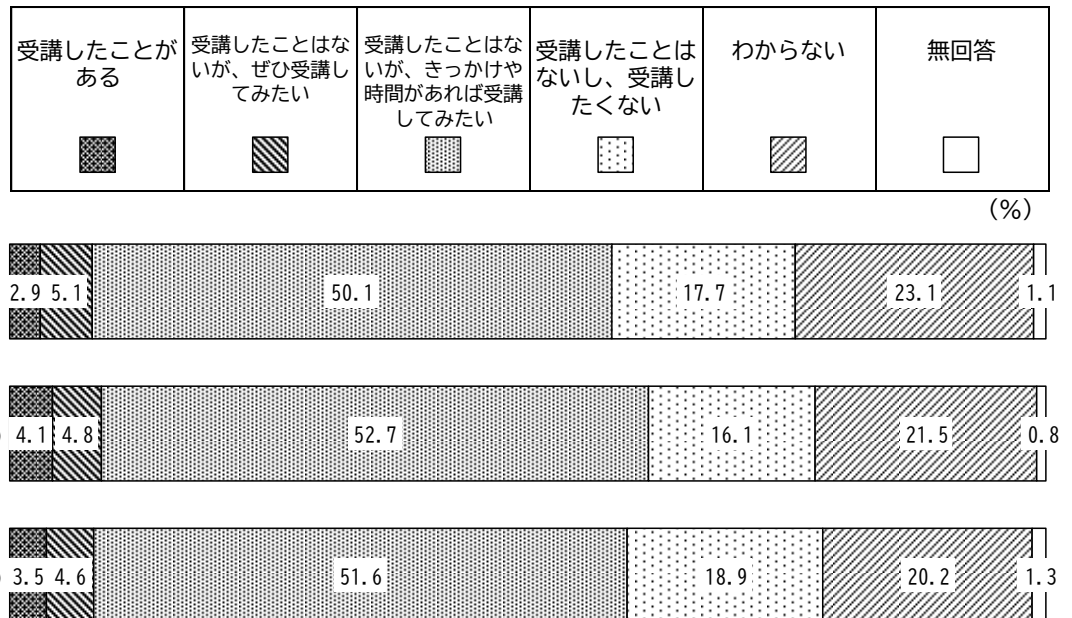
性別で見ると、「日用品の買い物」は男性より女性が 16 ポイント高い結果となった。

性年代別で見ると、「話し相手」は女性 18～29 歳で 90%と最も高い結果となった。

(33)「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向

問25 多摩区役所では、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を見守るために、認知症サポーター養成講座を行っています。この講座を受講したことがありますか。また、受講したいと思いますか。(〇は1つだけ)

図表 33-1 「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向

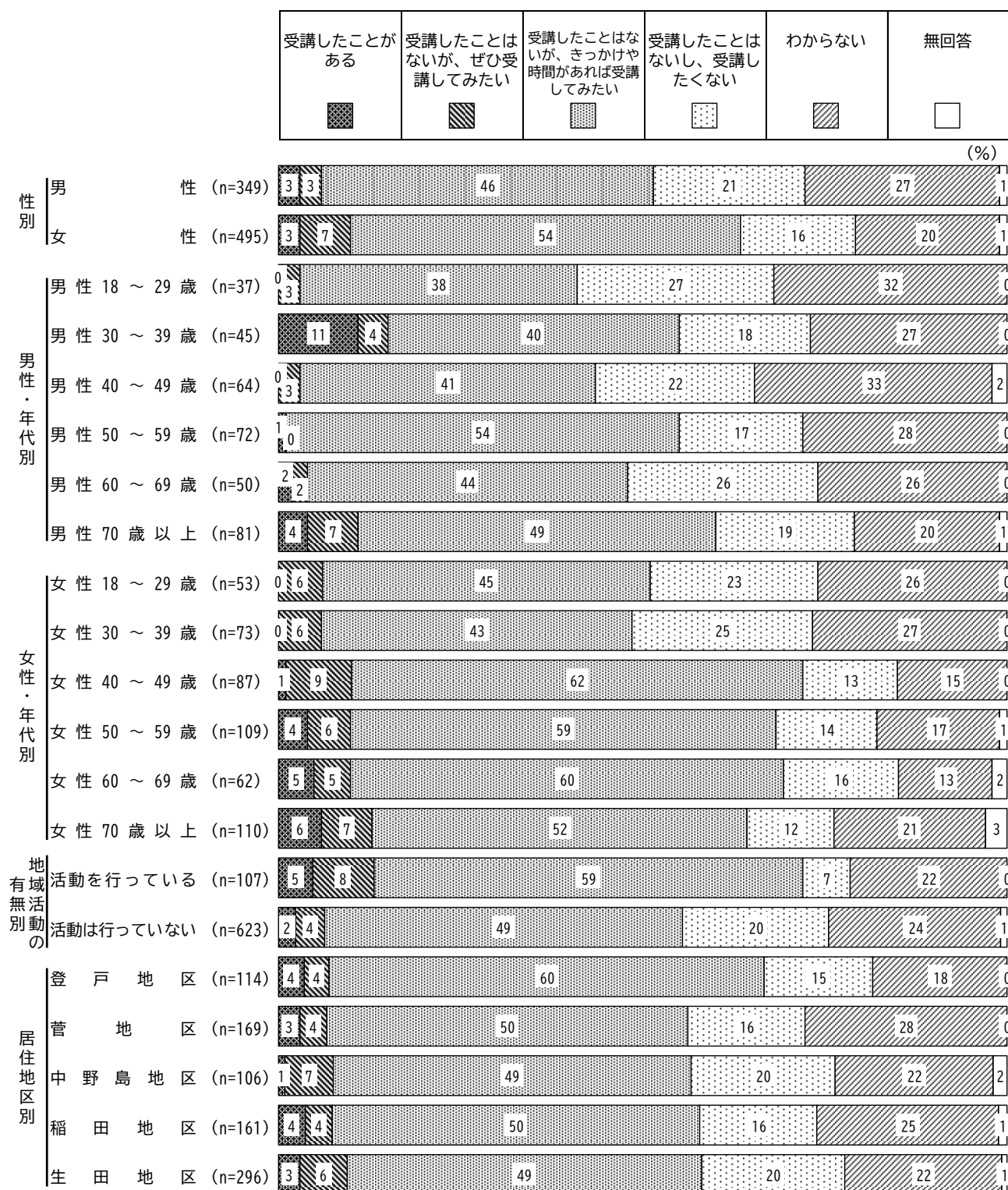


「『認知症サポーター養成講座』の受講経験と受講意向」について聞いたところ、「受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい」(50.1%)が最も高く、次いで「わからない」(23.1%)、「受講したことはないし、受講したくない」(17.7%)の順となった。

2020年度と比較して、ほぼ同様の傾向となった。

図表 3 3 - 2 「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向

(性別・性年代別・地域活動の有無別・居住地区別)

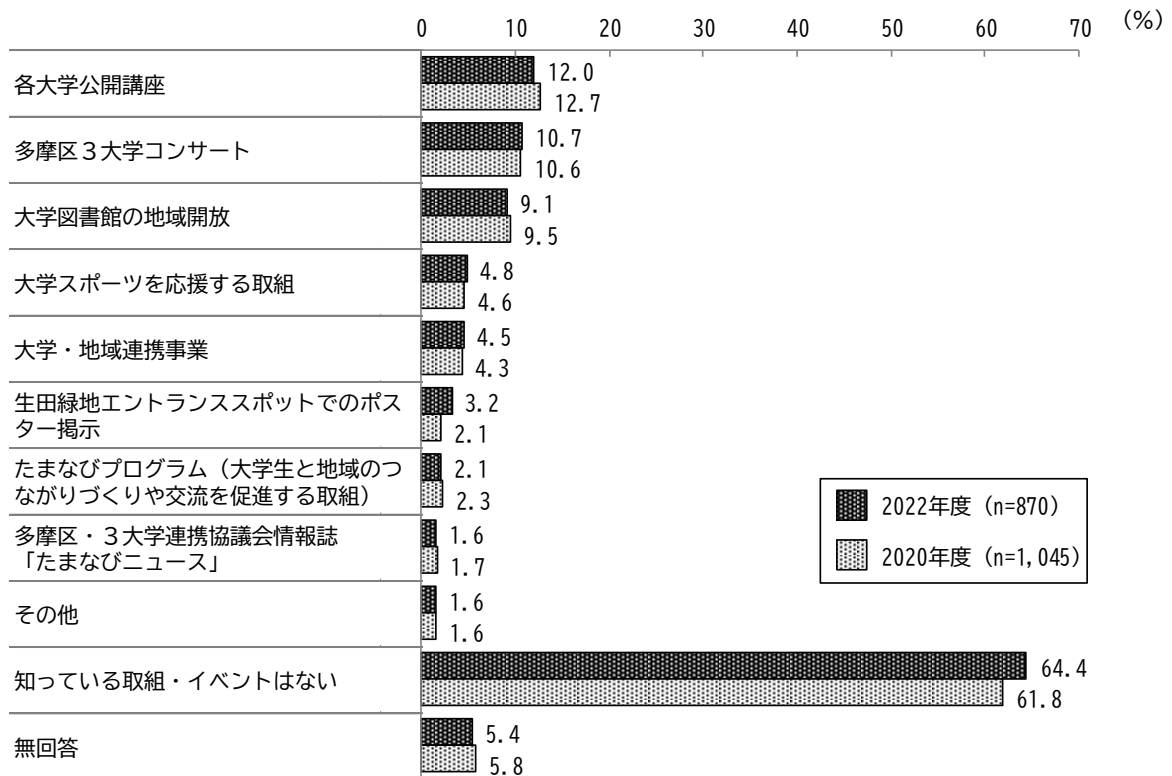


性年代別で見ると、「受講したことがある」「受講したことはないが、ぜひ受講してみたい」「受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい」を合わせた『受講したい計』は、女性 40～49 歳が 70% を超え、他の性年代よりも高い結果となった。

(34) 知っている3大学関連イベント

問26 多摩区とゆかりのある専修、明治、日本女子の3つの大学の持つ知的資源や多彩な人材を活用したさまざまな取組を通して、大学と地域社会との交流連携を深めてきました。あなたが知っている大学・大学生が関連したイベントや取組などがありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表34-1 知っている3大学関連イベント

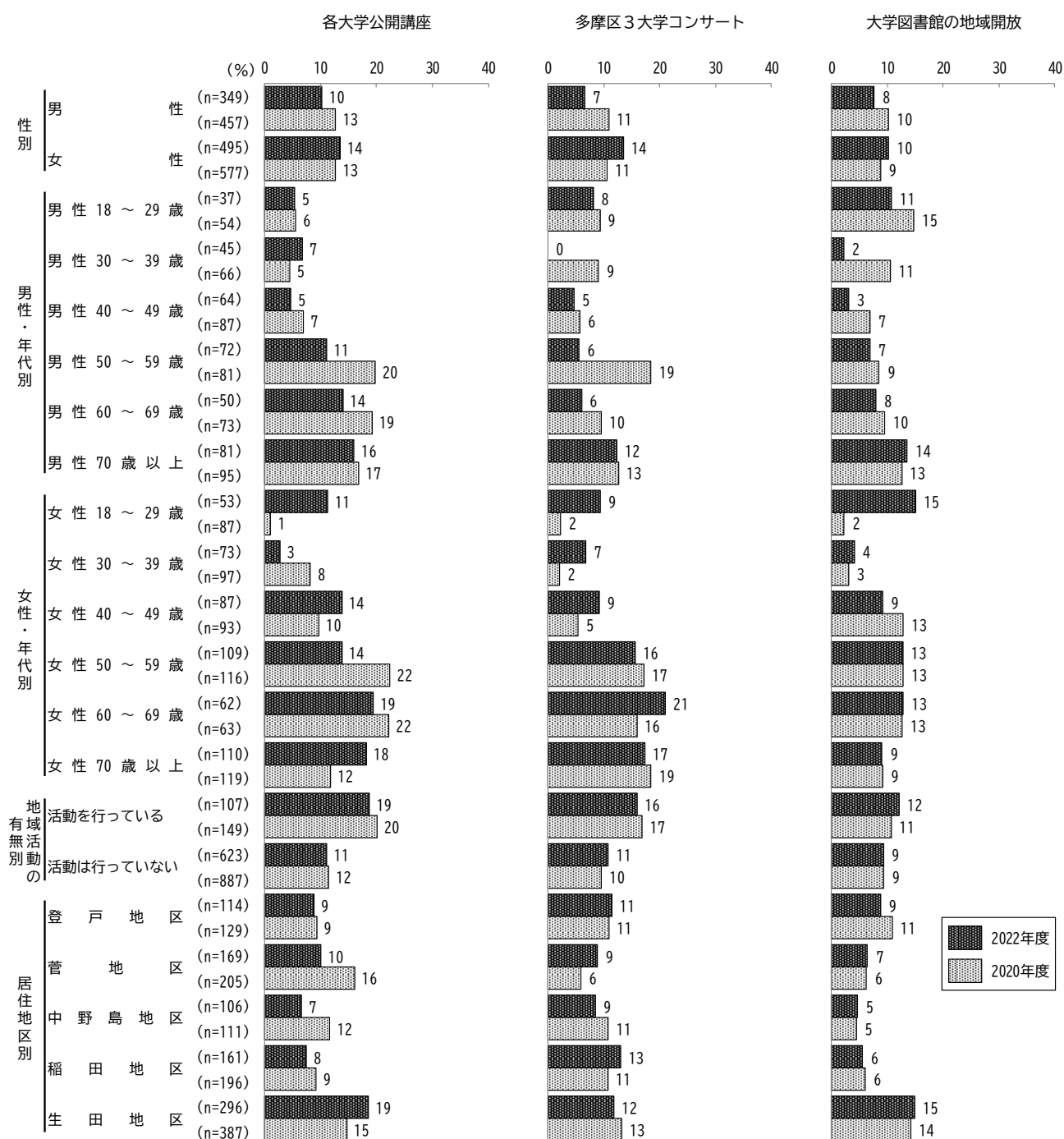


「知っている3大学関連イベント」について聞いたところ、「知っている取組・イベントはない」が64.4%と最も高い結果となった。

知っているイベントで見ると、「各大学公開講座」(12.0%)、「多摩区3大学コンサート」(10.7%)、「大学図書館の地域開放」(9.1%)の順となった。

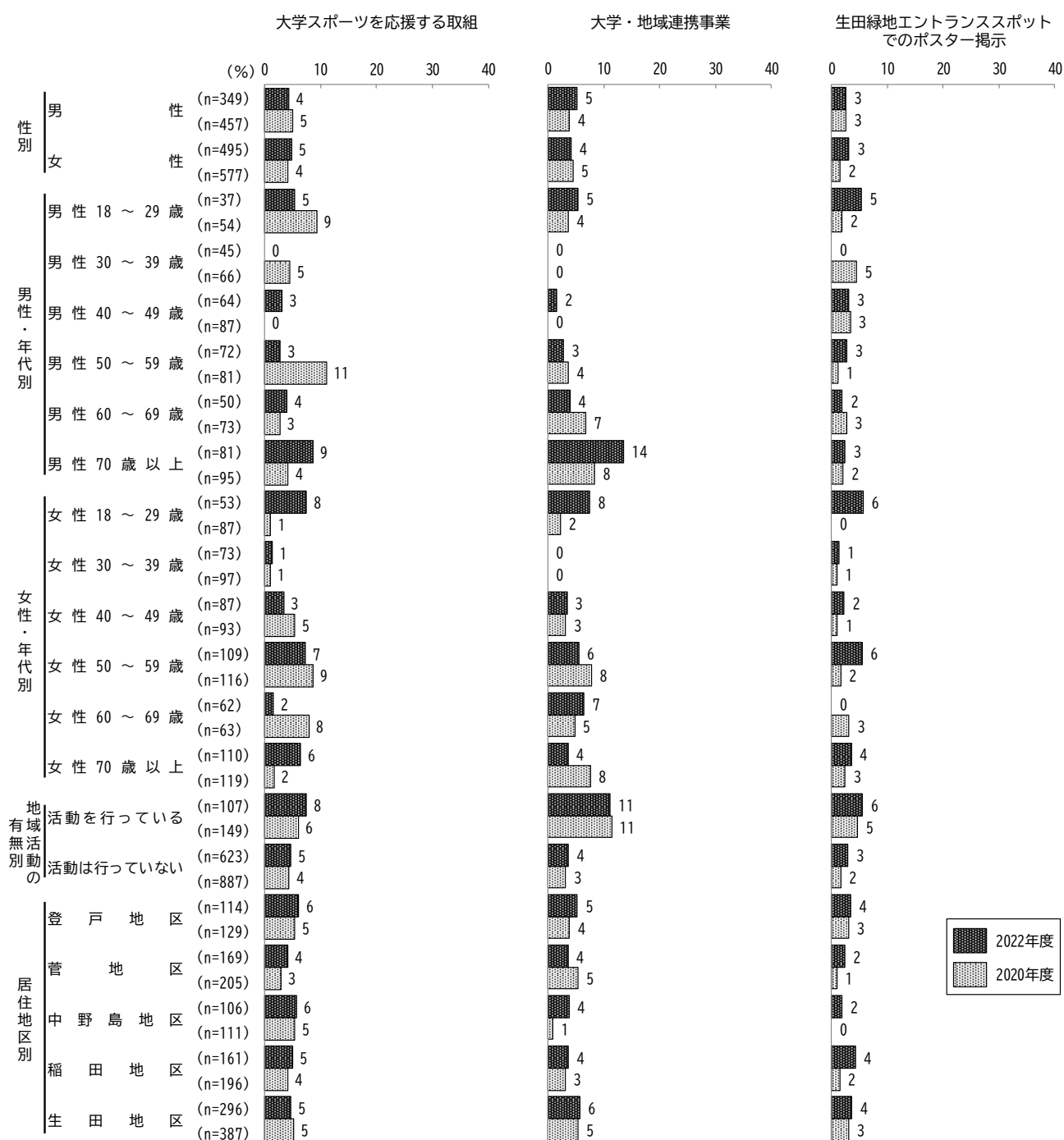


図表 3 4 - 2 知っている 3 大学関連イベント①  
(性別・性年代別・地域活動の有無別・居住地区別) <上位 6 項目>



性年代別で見ると、「多摩区 3 大学コンサート」は女性 60~69 歳で 20%を超え、他の性年代より高い結果となった。また、居住地区別で見ると、「大学図書館の地域開放」は生田地区で他の居住地区より高い結果となった。

図表 3 4 - 3 知っている 3 大学関連イベント②  
(性別・性年代別・地域活動の有無別・居住地区別) <上位 6 項目>



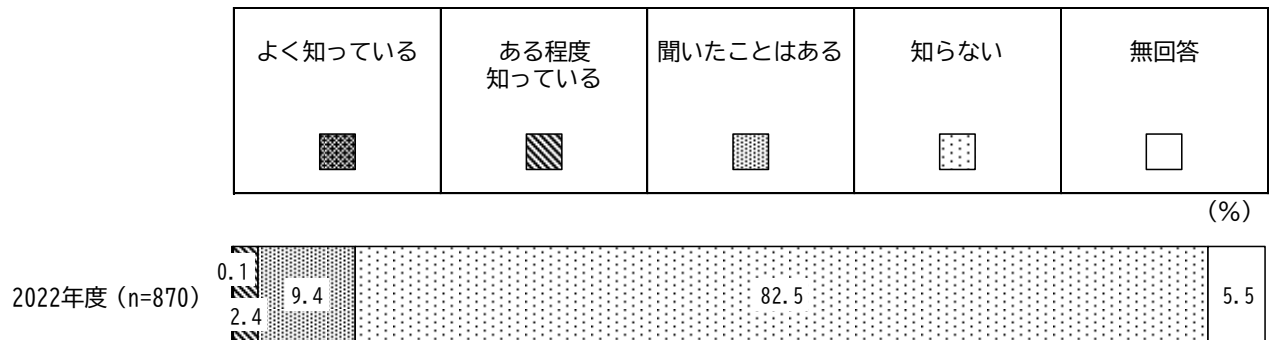
性年代別で見ると、「大学・地域連携事業」は男性 70 歳以上で 14%を超え、他の性年代より高い結果となった。

(35)「多摩区ソーシャルデザインセンター」の認知度

問27 市が策定した「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組として、地域の活動などの下支えや補完をしながら、区の特성에応じた支援策を実施するために、多摩区役所1階に区民主体で開設された「多摩区ソーシャルデザインセンター」を知っていますか。

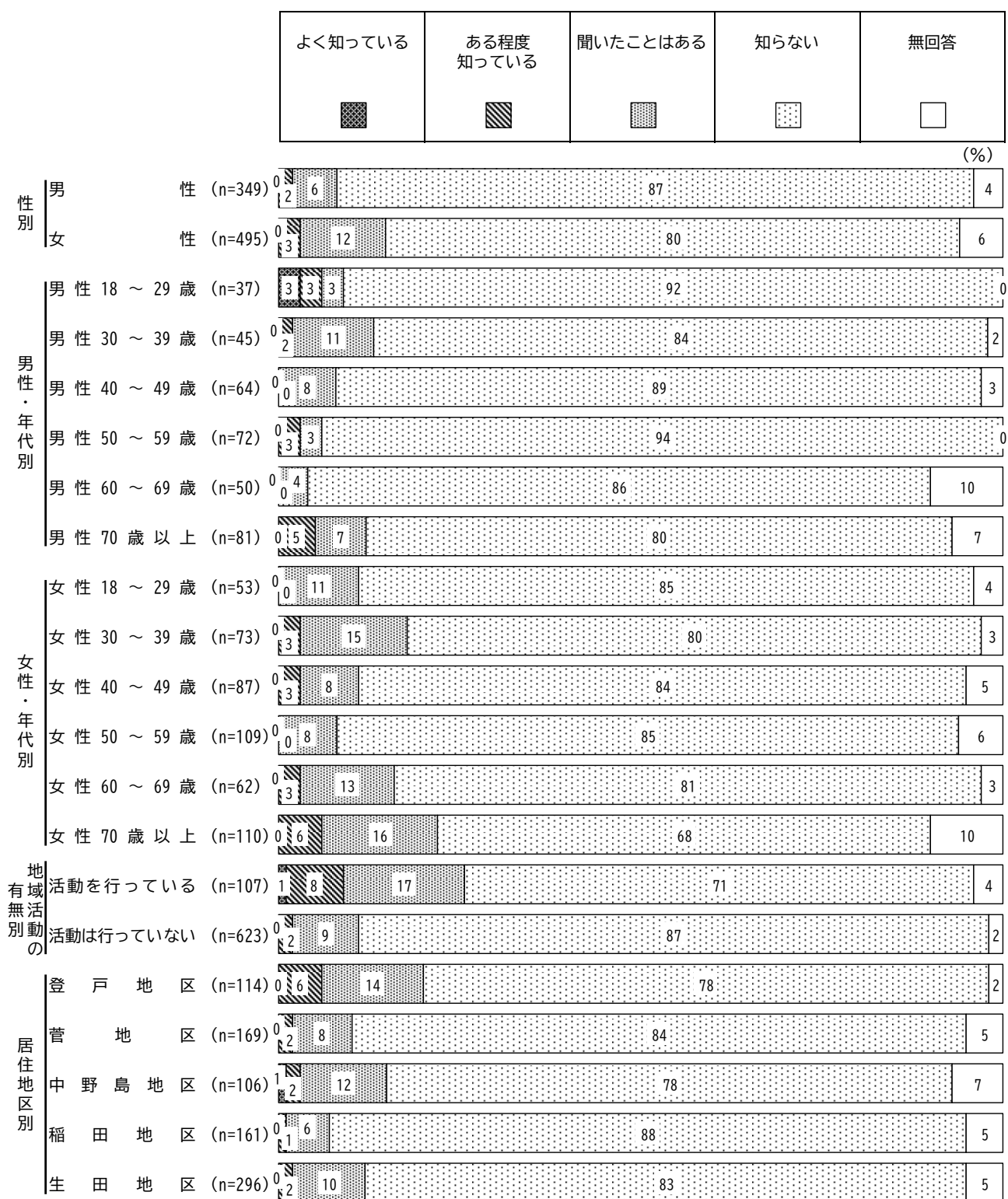
(○は1つだけ)

図表35-1 「多摩区ソーシャルデザインセンター」の認知度



「『多摩区ソーシャルデザインセンター』の認知度」について聞いたところ、「知らない」が82.5%と最も高い結果となった。また、「よく知っている」「ある程度知っている」「聞いたことはある」を合わせた『聞いたことがある計』は11.9%となった。

図表 35-2 「多摩区ソーシャルデザインセンター」の認知度(性別・性年代別)



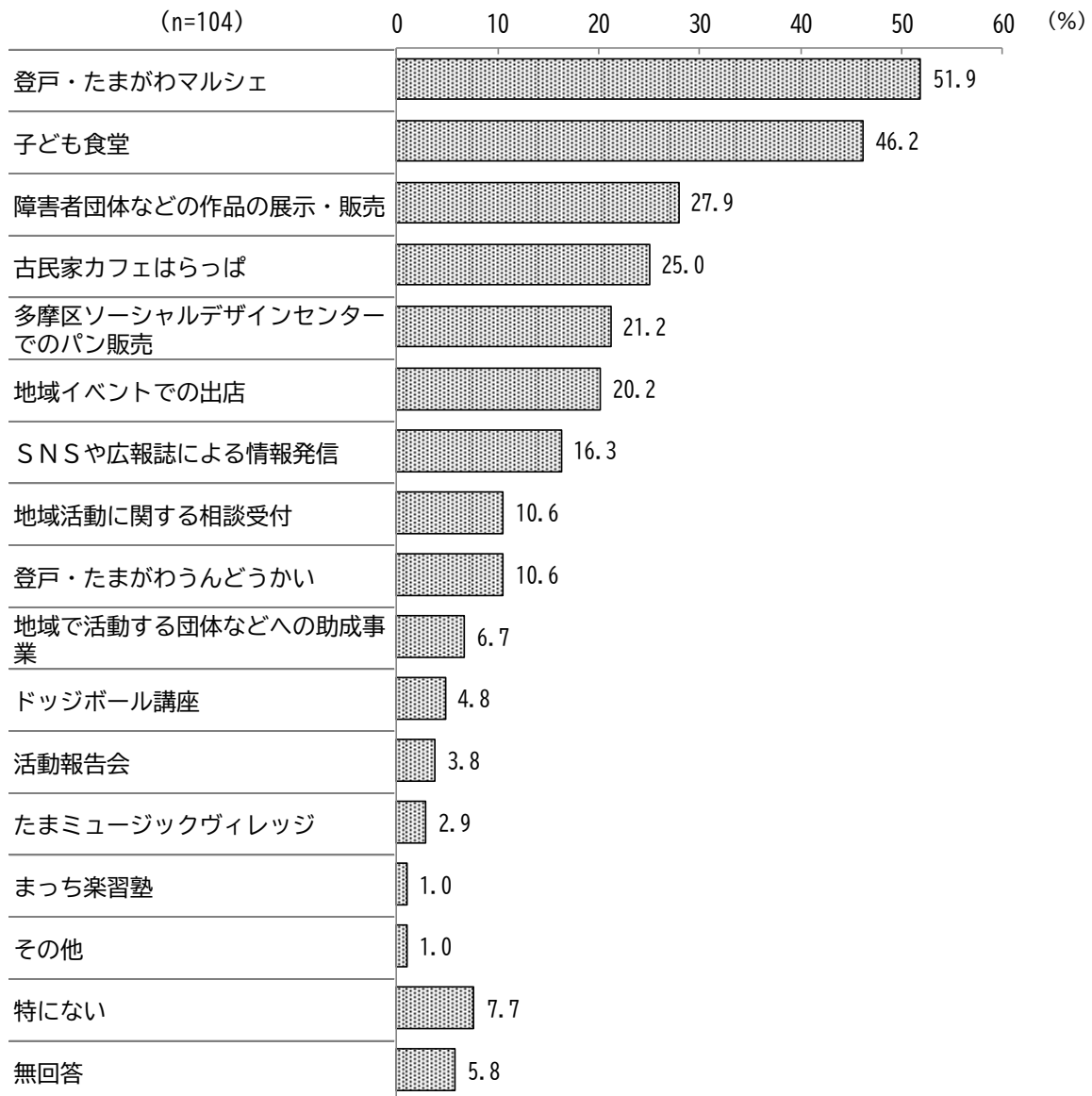
性別で見ると、「よく知っている」「ある程度知っている」「聞いたことはある」を合わせた『聞いたことがある計』は男性より女性が6ポイント高い結果となった。

(36)「多摩区ソーシャルデザインセンター」の取組の認知度

問28 多摩区ソーシャルデザインセンターの取組で知っているものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

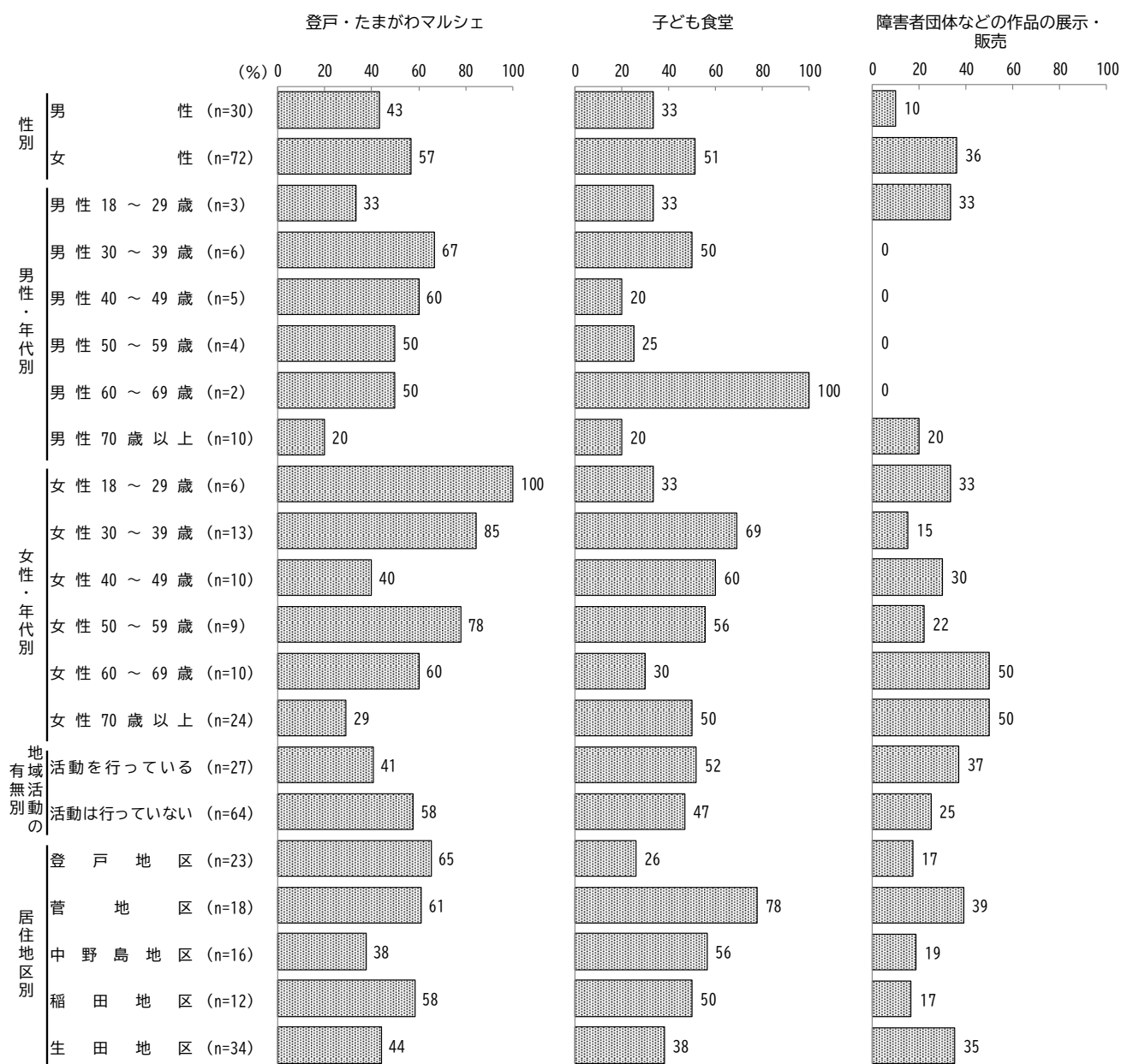
図表36-1 「多摩区ソーシャルデザインセンター」の取組の認知度



「『多摩区ソーシャルデザインセンター』の取組の認知度」について聞いたところ、「登戸・たまがわマルシェ」(51.9%)が最も高く、次いで「子ども食堂」(46.2%)、「障害者団体などの作品の展示・販売」(27.9%)、「古民家カフェはらっぱ」(25.0%)の順となった。

図表 3 6 - 2 「多摩区ソーシャルデザインセンター」の取組の認知度①

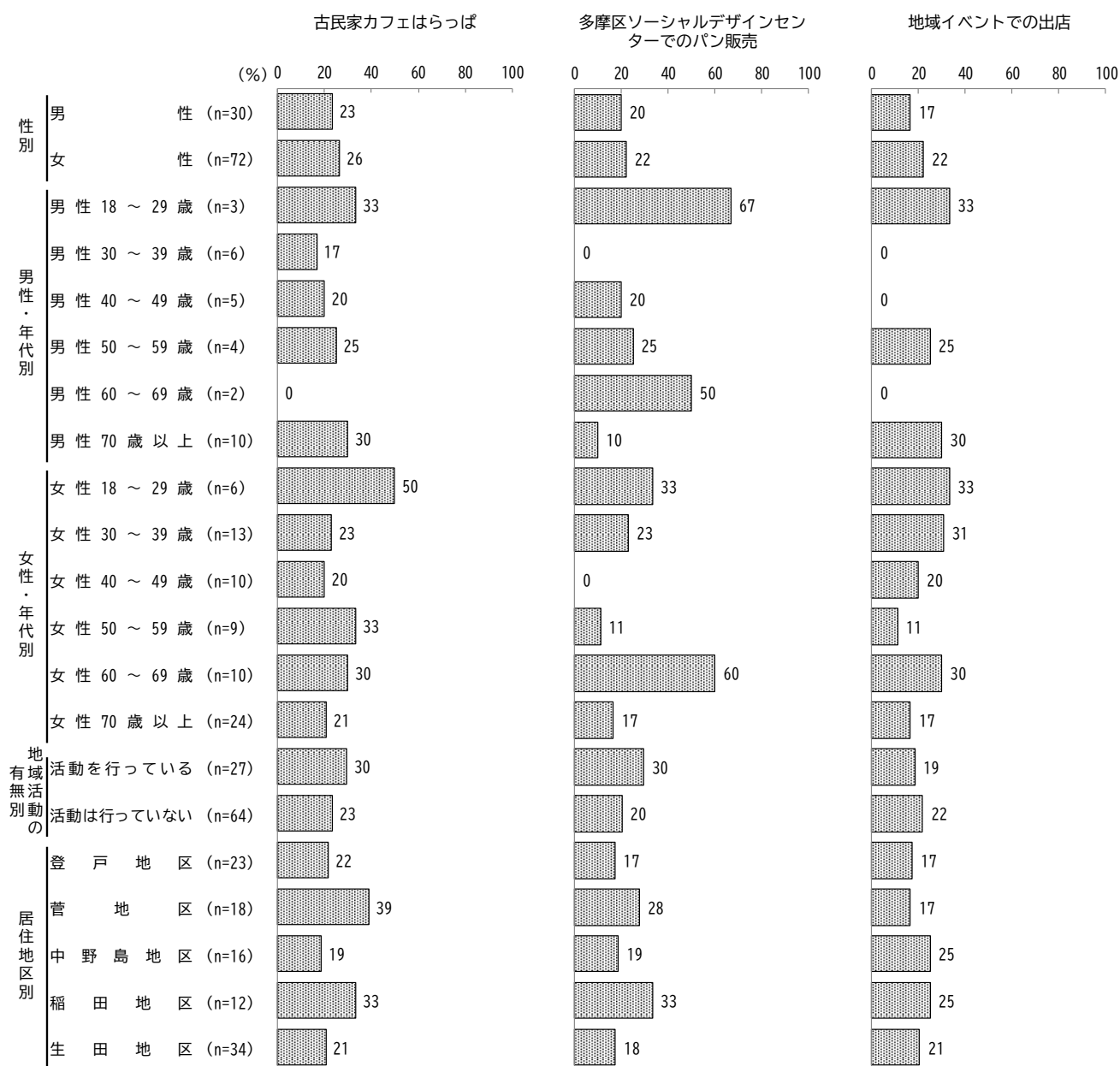
(性別・性年代別)＜上位 6 項目＞



性別で見ると、「障害者団体などの作品の展示・販売」は男性より女性が 26 ポイント高い結果となった。

図表 3 6 - 3 「多摩区ソーシャルデザインセンター」の取組の認知度②

(性別・性年代別)＜上位 6 項目＞

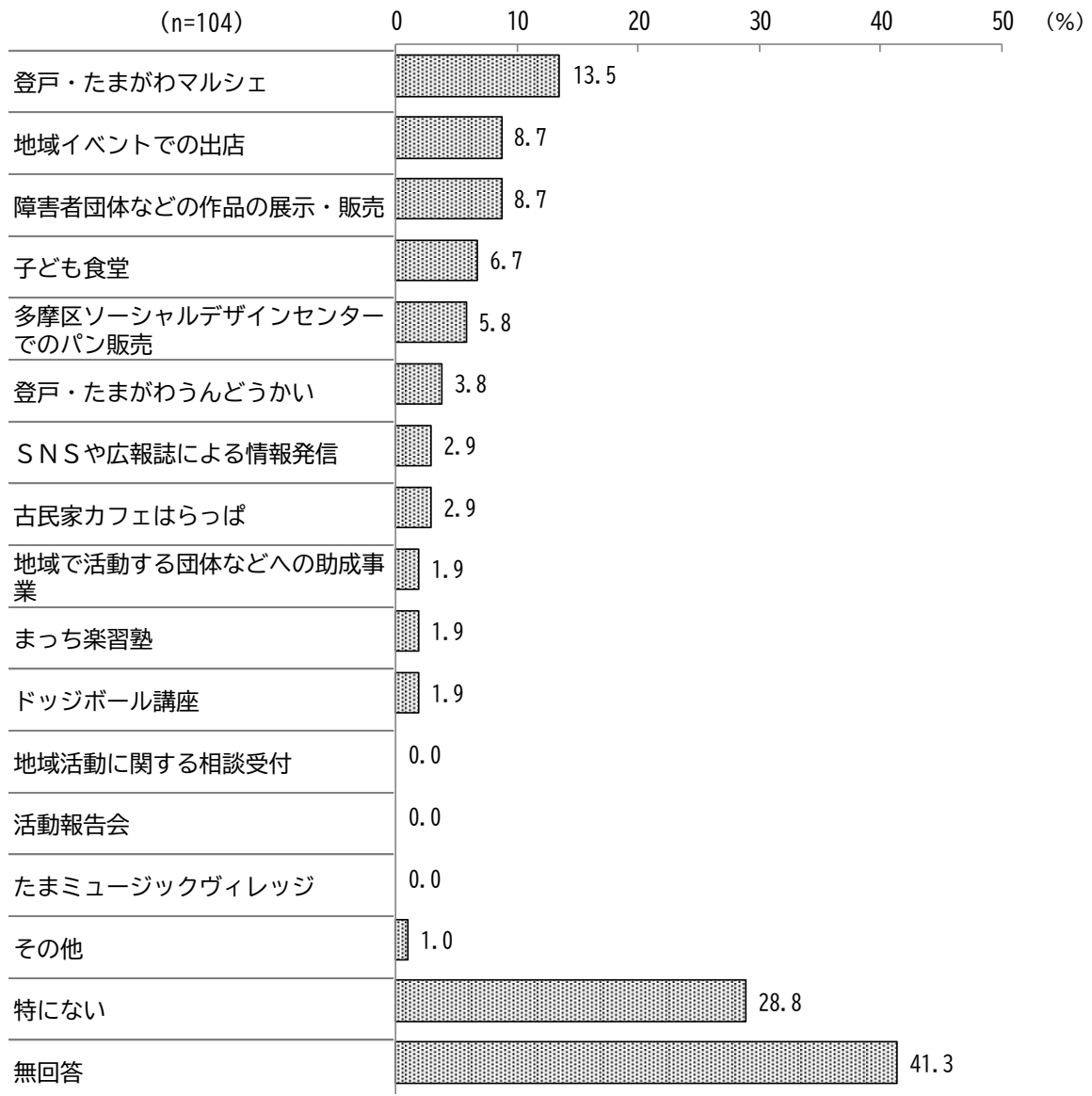


性別で見ると、「地域イベントでの出店」は男性より女性が 5 ポイント高い結果となった。

(37)「多摩区ソーシャルデザインセンター」の取組の利用・参加経験

問29 利用、参加したことがある取組はありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表37-1 「多摩区ソーシャルデザインセンター」の取組の利用・参加経験

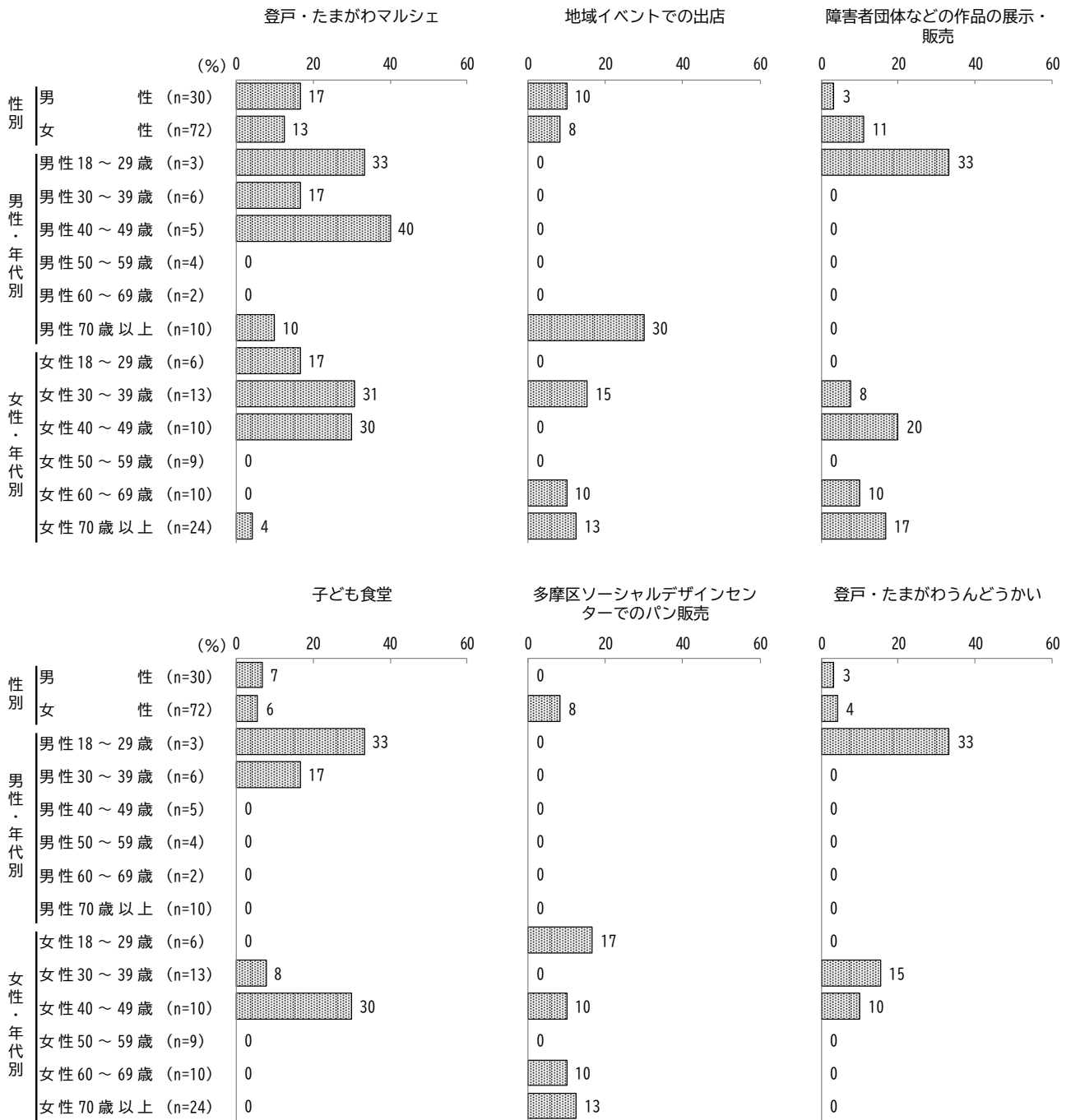


「『多摩区ソーシャルデザインセンター』の取組の利用・参加経験」について聞いたところ、「特にない」が28.8%と最も高い結果となった。

利用、参加したことがある取組で見ると、「登戸・たまがわマルシェ」(13.5%)が最も高く、次いで「地域イベントでの出店」「障害者団体などの作品の展示・販売」(ともに8.7%)の順となった。



図表 3 7 - 2 「多摩区ソーシャルデザインセンター」の取組の利用・参加経験  
(性別・性年代別) <上位 6 項目>

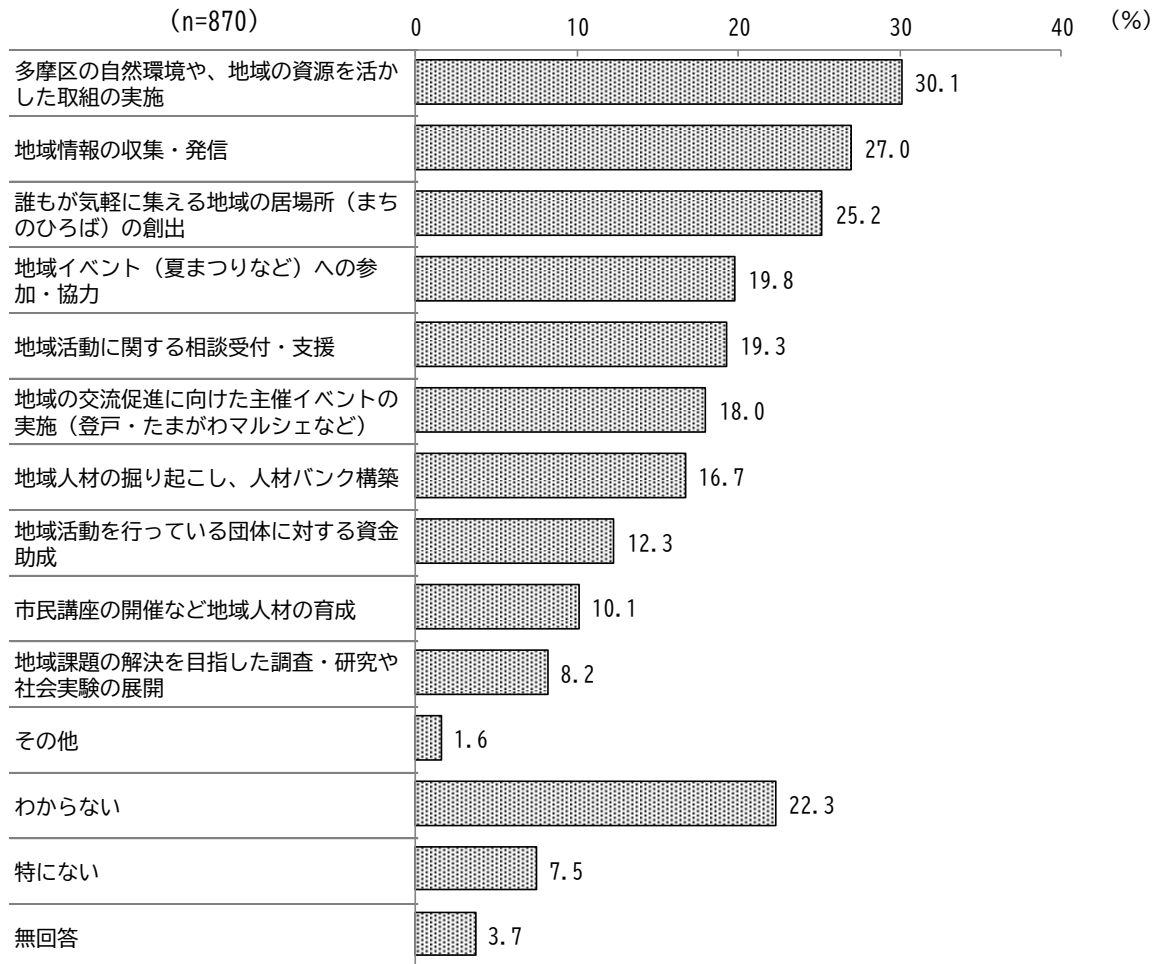


性別で見ると、「障害者団体などの作品の展示・販売」は男性より女性が 8 ポイント高い結果となった。

(38) 多摩区におけるソーシャルデザインセンターが力を入れて取り組むべきこと

問30 多摩区におけるソーシャルデザインセンターが力を入れて取り組むべきと思うものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）

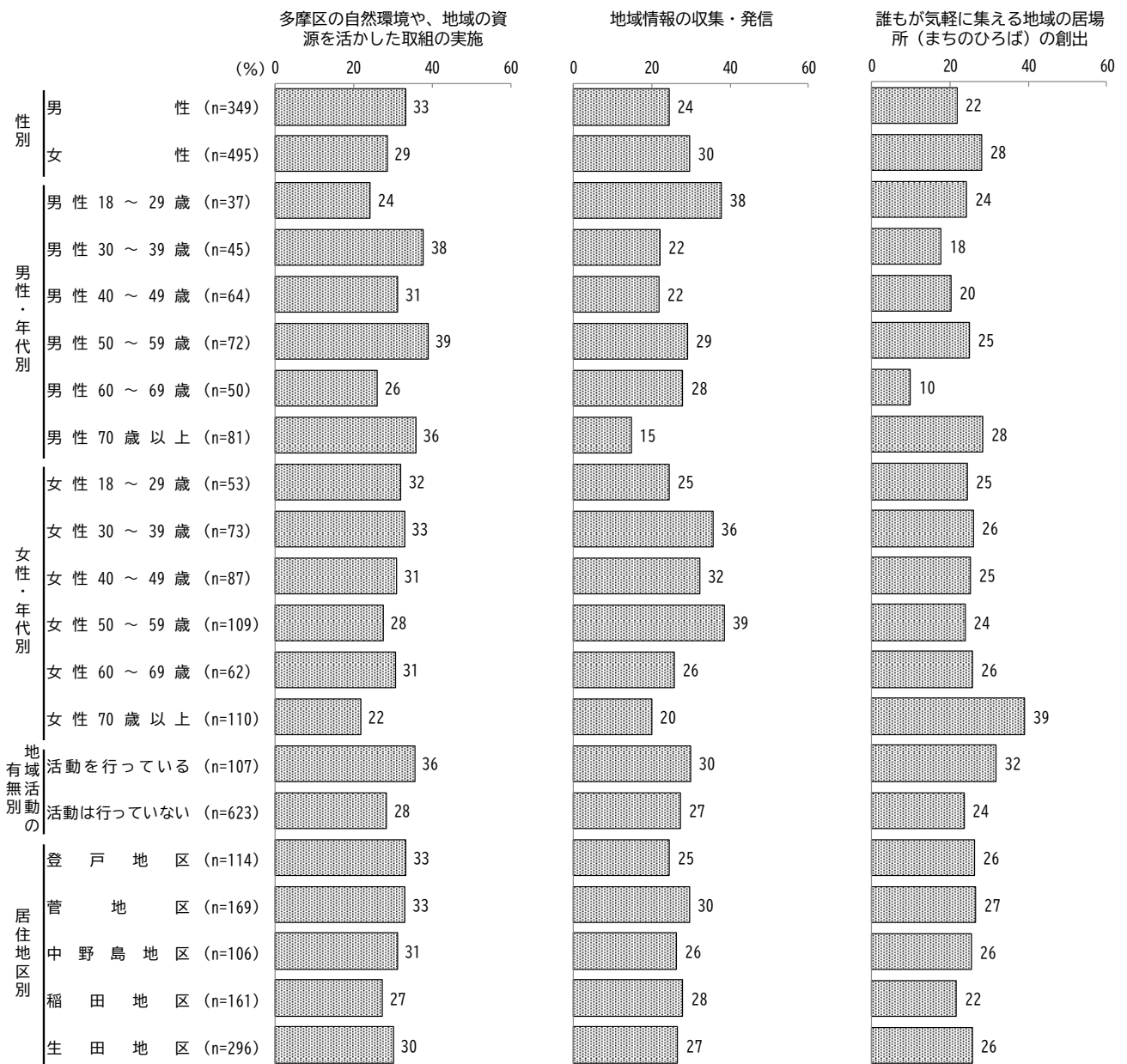
図表38-1 多摩区におけるソーシャルデザインセンターが力を入れて取り組むべきこと



「多摩区におけるソーシャルデザインセンターが力を入れて取り組むべきこと」について聞いたところ、「多摩区の自然環境や、地域の資源を活かした取組の実施」(30.1%)が最も高く、次いで「地域情報の収集・発信」(27.0%)、「誰もが気軽に集える地域の居場所（まちのひろば）の創出」(25.2%)の順となった。

図表 3 8 - 2 多摩区におけるソーシャルデザインセンターが力を入れて取り組むべきこと①

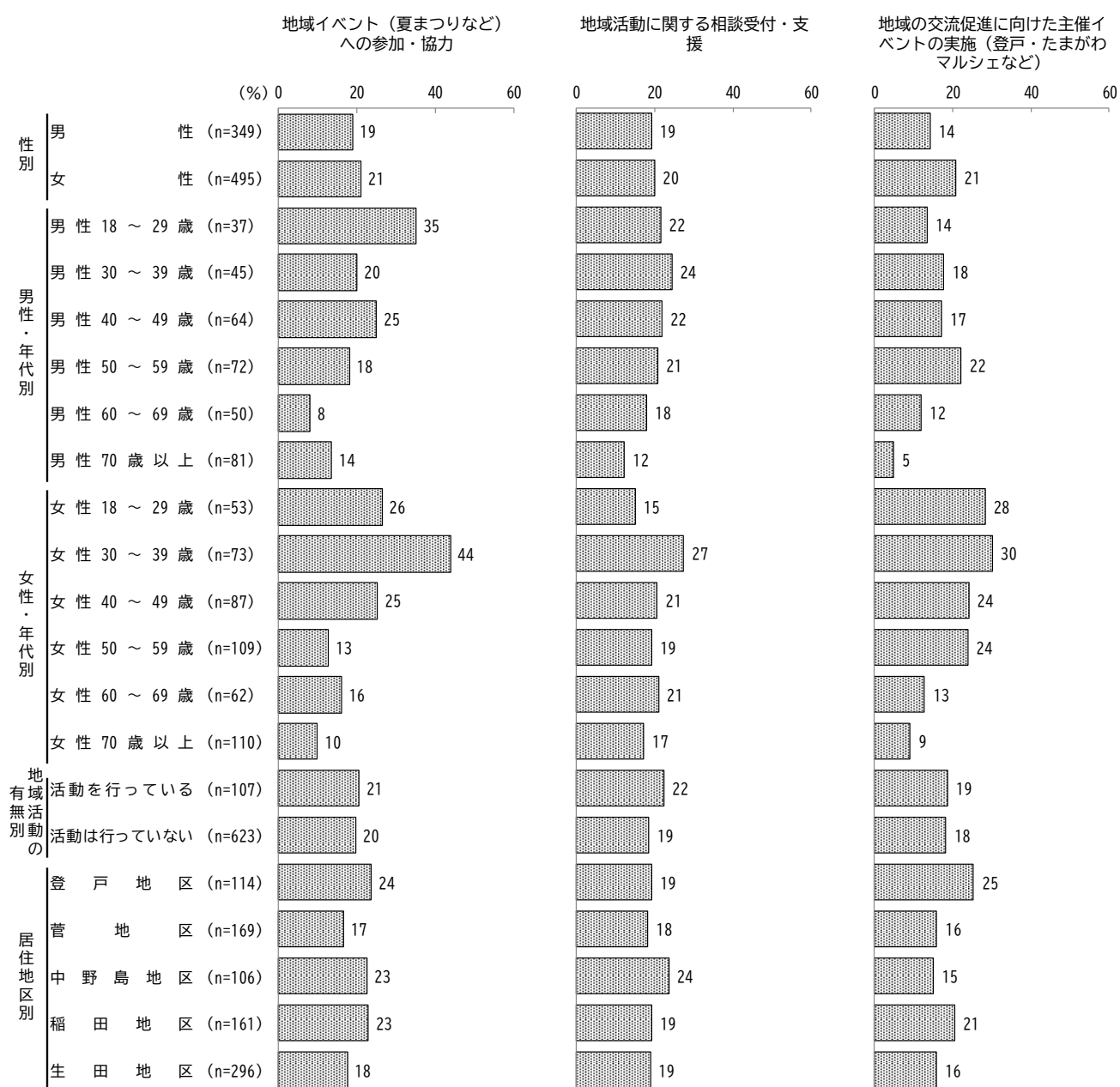
(性別・性年代別) <上位 6 項目>



性別で見ると、「多摩区の自然環境や、地域の資源を活かした取組の実施」は女性より男性が 4 ポイント、「誰もが気軽に集える地域の居場所 (まちのひろば) の創出」は男性より女性が 6 ポイント高い結果となった。

図表 38-3 多摩区におけるソーシャルデザインセンターが力を入れて取り組むべきこと②

(性別・性年代別)＜上位6項目＞



性年代別で見ると、「地域イベント（夏まつりなど）への参加・協力」は女性 30～39 歳 (44%) が最も高くなっている。

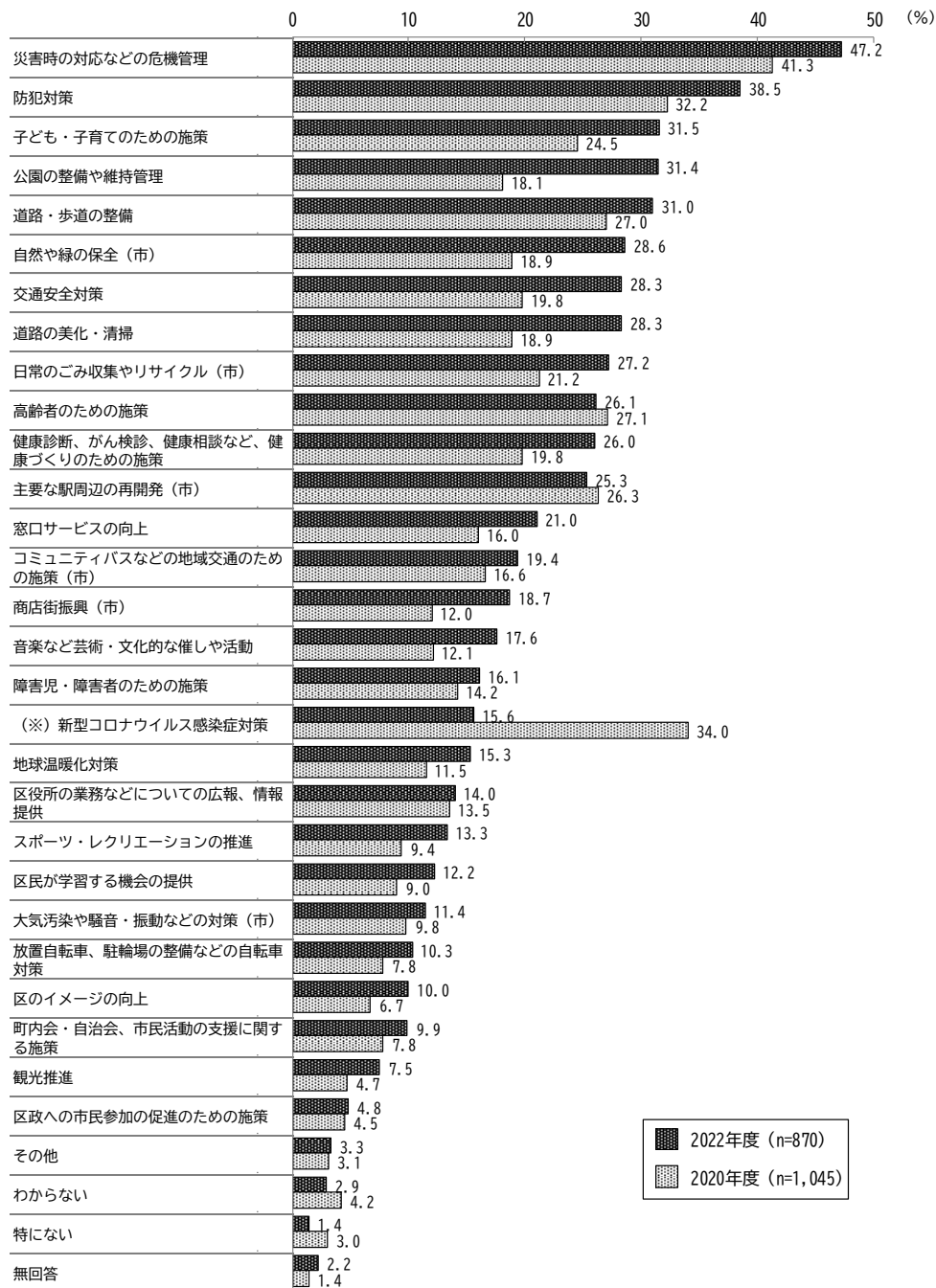
### (39) 区役所が力を入れて取り組むべき施策

問31 区民に身近な区役所が特に力を入れてほしい区の事業はどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

\*項目の後ろに(市)とあるのは、現時点で主に市役所を中心として進めているもの

図表39-1 区役所が力を入れて取り組むべき施策

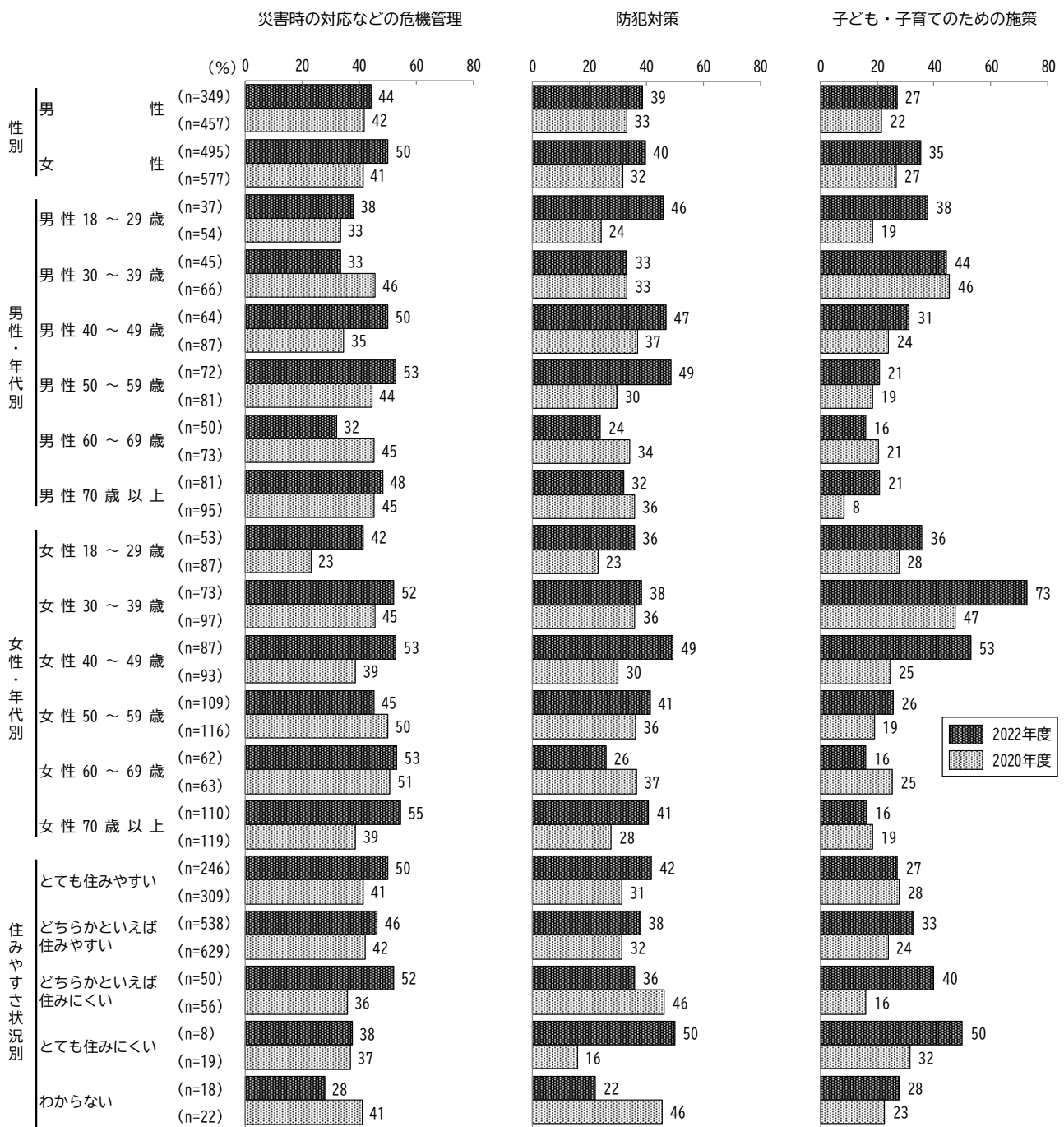


※ 「新型コロナウイルス感染症対策」は2020年度では「新型コロナウイルス感染症対策として市政だよりなどによる情報発信や区内施設の安全管理」として聴取

「区役所が力を入れて取り組むべき施策」について聞いたところ、「災害時の対応などの危機管理」(47.2%)が最も高く、次いで「防犯対策」(38.5%)、「子ども・子育てのための施策」(31.5%)の順となった。2020年度と比較すると「新型コロナウイルス感染症対策」は18.4ポイント減少する結果となった。

図表 3 9 - 2 区役所が力を入れて取り組むべき施策①

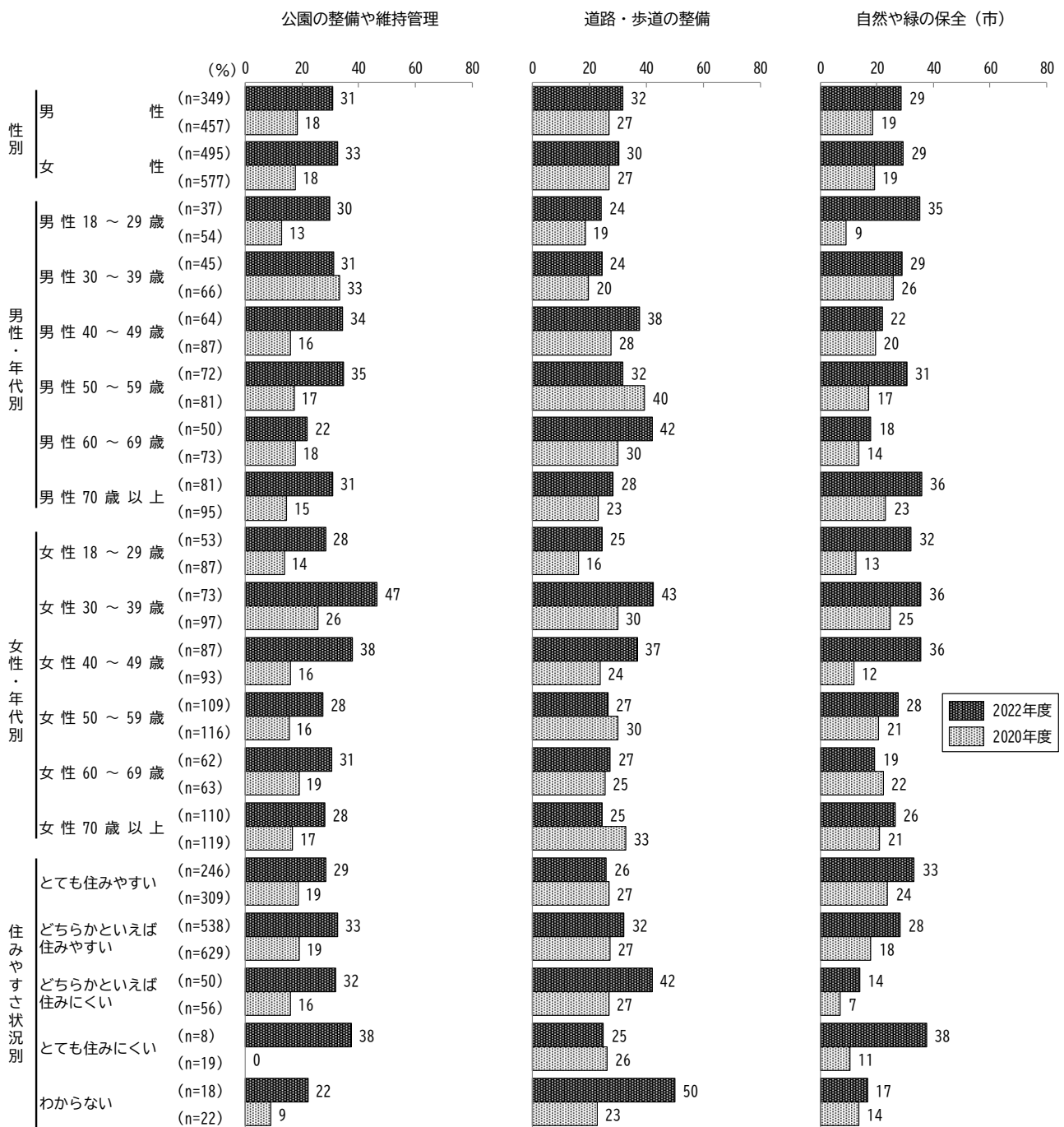
(性別・性年代別・住みやすさ状況別) <上位 9 項目>



性年代別で見ると、「子ども・子育てのための施策」は女性 30～39 歳が 70%を超えて他の性年代より高い結果となった。また、住みやすさ状況別で見ると、「子ども・子育てのための施策」はとても住みにくいが最も高く、他よりも 10 ポイント高い結果となった。

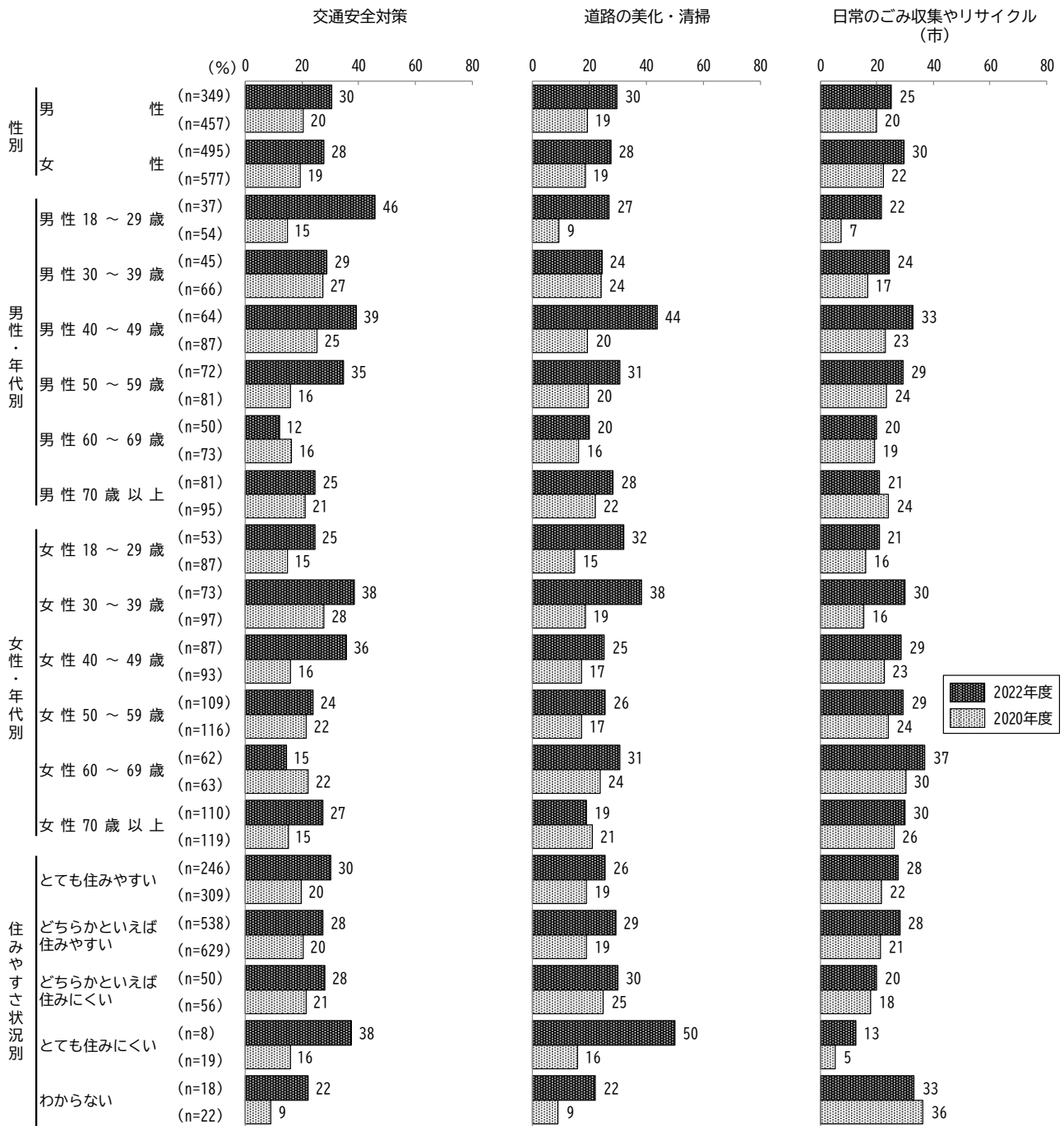
図表 3 9 - 3 区役所が力を入れて取り組むべき施策②

(性別・性年代別・住みやすさ状況別) <上位 9 項目>



性年代別で見ると、「公園の整備や維持管理」は女性 30～39 歳が 47%で他の性年代より高い結果となった。また、住みやすさ状況別で見ると、「自然や緑の保全(市)」はとても住みにくいが 38%で他よりも高い結果となった。

図表 3 9 - 4 区役所が力を入れて取り組むべき施策③  
(性別・性年代別・住みやすさ状況別) <上位 9 項目>



性年代別で見ると、「交通安全対策」は男性 18~29 歳、「道路の美化・清掃」は男性 40~49 歳が 40% を超えて他の性年代より高い結果となった。また、住みやすさ状況別で見ると、「道路の美化・清掃」は とても住みにくい が 50% で他よりも高い結果となった。



## IV. 調查票



## 多摩区民意識アンケート調査への御協力について (お願い)

日頃から、多摩区の行政に御理解、御協力をいただき誠にありがとうございます。

多摩区役所では、区民の皆様が日頃多摩区について感じていることや、地域でのボランティア活動などに関する意識などについてお聞きし、今後の取組の基礎資料とすることを目的として、区民意識アンケートを実施しております。

今回の調査にあたり、調査対象者として、多摩区内にお住まいの2,000人の皆様を、満18歳以上の方から統計的な方法（外国人を含む住民基本台帳から無作為抽出）で選ばせていただきました。突然のお願いで大変恐れ入りますが、本調査の趣旨を御理解いただき、ぜひとも調査に御協力くださいますようお願いいたします。

◆この調査は、行政上の基礎資料として活用します。他の目的に使用することは決してありません。

◆この調査は無記名調査です。あなたのお名前や住所を書いていただく必要はありません。

◆この調査の結果は、すべてコンピューターで一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いられますので、個々のお答えの調査内容や皆様の個人情報が入り込まれることは一切ありません。

◎回答は、アンケートをお送りしたお名前前の御本人がお答えください。なお御本人のお体が不自由など回答に支障がある場合、どなたかが御本人の意見を聞いて、御本人の意思を代筆いただく形のみ有効とさせていただきます。

◎御本人が最期不在などで回答できない場合は、御回答いただく必要はありません。

◎お答えは、当てはまる答えの番号を○で囲んでいただくか、番号を御記入いただけます。○の数は、各問の指示に従ってください。「その他」に当てはまる場合は、（ ）内に具体的にその内容を記入してください。

◎各問のお答えについては、あなたが日頃感じていることをありのままにお答えください。

◎アンケートの結果は、多摩区のホームページなどでお知らせいたします。

令和4年9月

多摩区長 藤井 智弘

御記入が完了したら、本調査票を同封の返信用封筒に入れて

**令和4年10月11日(火)までに**

(切手不要) お近くのポストへ投函してください。

◆本調査について、不明な点がありましたら、調査担当課までお問い合わせください。  
なお、多摩区のホームページにもお知らせを掲載しています。

<http://www.city.kawasaki.jp/tama/>



調査担当課 多摩区役所まちづくり推進部企画課  
〒214-8570 川崎市多摩区登戸1775番地1  
電話 : 044-935-3147  
FAX : 044-935-3391  
メール : 71kikaku@city.kawasaki.jp

## ■ 生活環境の満足度について

あなたが住まいの多摩区について、日頃感じていることなどについてお伺いします。

問1 多摩区の長所・魅力などと思っているものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公共交通の利便性がよい
2. 買い物や銀行、病院など日常生活の利便性がよい
3. 教育・文化環境がよい
4. 住環境がよい
5. 治安や風紀がよい
6. 自然環境がよい
7. その他 ( )

問2 あなたにとって多摩区はどの程度住みやすいですか。(○は1つだけ)

1. とても住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい
4. とても住みにくい
5. わからない

問3 多摩区に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 多摩区内に住み続けたい → 次ページ問4へ
2. 多摩区以外の川崎市内に住みたい → 問3-2へ
3. 川崎市外に転居したい → 問3-2へ
4. わからない → 次ページ問4へ

☞ 問3で「2. 多摩区以外の川崎市内に住みたい」「3. 川崎市外に転居したい」のいずれかに答えた方にお伺いします。

問3-2 その理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤・通学が不便だから
2. 買い物や通学が不便だから
3. 住宅事情がよくないから  
(家賃が高い、家が狭いなど)
4. 住環境がよくないから  
(日照、騒音、治安など)
5. 医療環境がよくないから
6. 保育環境がよくないから
7. 介護環境がよくないから
8. 子どもの教育のため
9. その他 ( )

☞ 全員の方へお伺いします。

問 4 あなたにとって多摩区は、以下の項目に関してどの程度あてはまりますか。  
(○は各項目で1つだけ)

	非常に当てはまる	当てはまる	どちらともいえない	当てはまらない	まったくあてはまらない
回答例	⇒ 1	⇒ (2)	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(ア) 多摩区に愛着を持っている	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(イ) 多摩区の細部まで熟知している	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(ウ) 多摩区に誇りを持っている	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(エ) 多摩区について自慢したいことがいくつもある	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(オ) 自分は多摩区に貢献している	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5

問 5 多摩区的生活環境についてお伺いします。次にあげる項目についてどの程度満足していますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	満足している	まあ満足している	少し不満である	不満である	わからない
回答例	⇒ 1	⇒ (2)	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(ア) 地震・火災・風水害などの災害に対する安心感	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(イ) 風紀上・防犯上の安心感	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(ウ) 交通事故・危険物からの安心感	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(エ) 空気が自然のきれいさ	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(オ) 家の周りの静けさ	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(カ) 公園や緑の豊かさ	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(キ) 通勤・通学の便利さ	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(ク) 買い物の便利さ	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(ケ) 病院や診療所までの距離	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(コ) 休日、夜間などの救急医療体制の充実度	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(サ) 市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5
(シ) 市や区の窓口サービス	⇒ 1	⇒ 2	⇒ 3	⇒ 4	⇒ 5

問 6 川崎市政について総合的にお伺いします。次にあげる施策の中で、よくやっていると思われるものは、どれですか。(あてはまるものすべてに○)

問 7 今後特に力を入れてほしいとお考えのものは、どれですか。  
(あてはまるものすべてに○)

回答例	問 6 よくやっている と思うもの	問 7 今後特に力を入 れてほしいもの
1. 海外姉妹都市との国際交流事業	1	1
2. 行財政改革	2	2
3. 市や区の仕事などについての情報提供	(3)	3
4. 防災・減災対策	4	4
5. 市政への市民参加の促進のための施策	5	5
6. 地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	6	6
7. 防犯対策	7	7
8. 交通安全対策	8	8
9. 美術館、各種ホールなど文化施設の整備	9	9
10. 映画祭、国際会議など文化的な催しや活動	10	10
11. 女性の活躍推進のための施策	11	11
12. 中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	(12)	12
13. 観光推進、都市イメージの向上 (シティアプロモーション)	13	13
14. 道路、公園、広場の美化・清掃	14	14
15. 緑化推進社会に向けた取組	15	15
16. 大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	16	16
17. 日常のごみ収集やリサイクル	(17)	17
18. 子どものための施策	18	18
19. 高齢者のための施策	19	19
20. 障害者のための施策	20	20
21. 病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	21	21
22. 健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	22	22
23. 新型コロナウイルス感染症対策	23	23
24. 市営住宅の建設・整備	24	24
25. 主要な駅周辺の再開発	25	25
26. 公園の整備や維持管理	26	26
27. 自然や緑の保全	27	27
28. 河川の整備	(28)	28
29. 道路・歩道の整備	29	29
30. 放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	30	30
31. 市民が親しむことのできる港湾の整備	31	31
32. 水道水の安定供給	32	32
33. 下水道の整備	33	33
34. バスなどの交通網の整備	34	34
35. 消防力の強化	35	35
36. 市民が学習する機会や施設の整備	36	36
37. スポーツ・レクリエーションの施設整備	37	37
38. 小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	(38)	38
39. わからない	39	39
40. 特になし	40	40

問 8 川崎市が進めている施策や事業について、どの程度満足していますか。(○は1つだけ)

1. 満足している      3. 少し不満である      5. わからない  
2. まあ満足している      4. 不満である

■ 市政への参加、地域でのボランティア活動などについて

町内会・自治会や市民活動団体での取組など、あなたの地域でのボランティア活動などへの参加状況や考え方についてお伺いします。

問9 地域でのボランティア活動、サークル活動などを行っていますか。

(〇は1つだけ)

1. 活動を行っている → 問9-2へ  
2. 活動は行っていない → 次ページ問9-4へ

☆ 問9で「1. 活動を行っている」と答えた方にお伺いします。

問9-2 地域で活動している団体（グループや個人の活動も含む）の活動分野をお選びください。  
(あてはまるものすべてに〇)

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 町内会・自治会に関する活動   | 11. 介護に関する活動             |
| 2. 乳幼児に関する活動       | 12. 障害者に関する活動            |
| 3. 小中学生に関する活動      | 13. 地域での健康づくりに関する活動      |
| 4. 若年層に関する活動       | 14. まちの美化や緑化、生活環境に関する活動  |
| 5. 外国籍市民に関する活動     | 15. 文化、観光、産業に関する活動       |
| 6. 知識・技能を地域に活かせる活動 | 16. スポーツに関する活動           |
| 7. 教育・生涯学習に関する活動   | 17. 趣味や余暇を活かした活動         |
| 8. 地域のまちづくりに関する活動  | 18. 緑地や水辺など自然環境の保全に関する活動 |
| 9. 防犯・防火に関する活動     | 19. その他 ( )              |
| 10. 交通安全に関する活動     |                          |

☆ 引き続き、問9で「1. 活動を行っている」と答えた方にお伺いします。

問9-3 地域で活動する上で支援を受けたいと思うものはありますか。  
(あてはまるものすべてに〇)

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1. 一緒に活動する人材の紹介     | 5. 活動の参考になる情報の収集 |
| 2. 事務的なサポートをする人材の紹介 | 6. 活動の広報         |
| 3. 活動の打合せができる場所     | 7. その他 ( )       |
| 4. 活動資金             | 8. 特にない          |

→ 回答後、6ページの間9-7へ

☆ 4ページ問9で「2. 活動は行っていない」と答えた方にお伺いします。

問9-4 地域でのボランティア活動などを行っていない理由をお選びください。

(〇は1つだけ)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため |
| 2. 地域で活動するきっかけがないため            |
| 3. 地域での活動に関心がないため              |
| 4. 地域での付き合いがわずらわしいため           |
| 5. 健康や体力に自信がないため               |
| 6. その他 ( )                     |

☆ 引き続き、4ページ問9で「2. 活動は行っていない」と答えた方にお伺いします。

問9-5 地域でのボランティア活動などを行うとした場合、どのような分野に関心がありますか。  
次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。  
(番号は3つまで)

1. 町内会・自治会に関する活動

2. 乳幼児に関する活動

3. 小中学生に関する活動

4. 若年層に関する活動

5. 外国籍市民に関する活動

6. 知識・技能を地域に活かせる活動

7. 教育・生涯学習に関する活動

8. 地域のまちづくりに関する活動

9. 防犯・防火に関する活動

10. 交通安全に関する活動

11. 介護に関する活動

12. 障害者に関する活動

13. 地域での健康づくりに関する活動

14. まちの美化や緑化、生活環境に関する活動

15. 文化、観光、産業に関する活動

16. スポーツに関する活動

17. 趣味や余暇を活かした活動

18. 緑地や水辺など自然環境の保全に関する活動

19. その他 ( )

20. 特にない

下の枠内に番号を  
1つずつ、3つまで  
記入してください。



☞ 引き続き、4ページ問9で「2. 活動は行っていない」と答えた方にお伺いします。

問9-6 地域でのボランティア活動などを行うとした場合、どのような活動に参加したいですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 自分の住んでいる地域で貢献できる活動に参加したい    |
| 2. 市民館などの公共施設で生涯学習に関する活動に参加したい |
| 3. 区役所が市民と協働で取り組む事業に参加したい      |
| 4. 自分の興味がある分野の自主活動に参加したい       |
| 5. 区や市から紹介してもらった活動に参加したい       |
| 6. その他 ( )                     |
| 7. 地域でのボランティア活動などには参加したくない     |

☞ 全員の方へお伺いします。

問9-7 地域でのボランティア活動などを始めるきっかけとして、どのような機会や場があることが効果的だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 新しく地域活動始めるきっかけとなるような講座や活動体験会などの開催 |
| 2. 地域での活動を紹介するイベントの開催                |
| 3. 地域での活動を紹介する資料の閲覧や相談の場             |
| 4. インターネットなどによる地域活動の情報紹介             |
| 5. その他 ( )                           |
| 6. わからない                             |
| 7. 特にない                              |

問10 町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 加入している  | → 次ページ問11へ |
| 2. 加入していない | → 問10-2へ   |

☞ 問10で「2. 加入していない」と答えた方にお伺いします。

問10-2 町内会・自治会に加入していない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- |                             |                         |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 加入するきっかけがない              | 7. 町内会・自治会の地域活動に関心がない   |
| 2. 加入しなくても日常生活に支障がない        | 8. 隣近所とのつきあいがわずらわしい     |
| 3. 仕事や子育て、介護などで忙しく活動する時間がない | 9. 町内会・自治会以外で地域活動を行っている |
| 4. 加入の仕方がわからない              | 10. その他 ( )             |
| 5. 会費の支払いに負担を感じる            | 11. 特にない                |
| 6. いろいろな役を任されることに負担を感じる     |                         |

☞ 全員の方へお伺いします。

問11 区民（NPOや市民活動団体などを含む）と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うものは何ですか。次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。(番号は3つまで)

1. 防犯対策	<div>下の枠内に番号を1つつつ、3つまで記入してください。</div> <div>↑</div> <div><div></div><div></div><div></div></div>
2. 交通安全対策	
3. 防災・減災対策	
4. 消防力の強化	
5. 文化・芸術活動の振興	
6. 商業の振興	
7. 観光推進、区のイメージ向上（シティプロモーション）	
8. 道路、公園、広場の美化・清掃	
9. 公園の活用や維持管理	
10. 自然や緑の保全	
11. 温暖化防止に関する施策（緑のカーテンや節電など）	
12. ごみの分別やリサイクル	
13. 子どものための施策	
14. 高齢者のための施策	
15. 障害者のための施策	
16. 健康づくりのための施策	
17. 放置自転車対策	
18. 市民が学習する機会の増加や内容の充実	
19. スポーツ・レクリエーションの促進	
20. シニア世代の積極的な社会活動の促進	
21. 若者の積極的な社会活動の促進	
22. 近隣住民同士のコミュニティ活性化	
23. 市民活動団体の活動の促進	
24. その他 ( )	
25. わからない	
26. 特にない	



■ 区役所が推進する主な取組について

地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりについてお伺いします。

問12 多摩区内のどの見所を他人に薦めたいと思いますか。次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。(番号は3つまで)

1. 生田緑地	15. 諏訪社
2. 生田緑地ばら苑	16. 多摩川
3. 稲田公園	17. ニヶ領せせらぎ館
4. 小沢城址	18. ニヶ領用水宿河原線沿い
5. 川崎国際生田緑地ゴルフ場	19. 登戸稲荷社
6. 川崎市岡本太郎美術館	20. 枳形山広場(展望台)
7. 川崎市多摩スポーツセンター	21. 明治大学平和教育
8. 川崎市伝統工芸館	22. 登戸研究所資料館
9. 川崎市立日本民家園	23. 妙楽寺(あじさい寺)
10. 川崎市農業技術支援センター	24. 薬師堂(菅の獅子舞)
11. 川崎市 藤子・F・不二雄 ミュージアム	25. よみうりランド
12. 川崎市緑化センター	26. HANA・BIYORI (植物園)
13. かわさき宙と緑の科学館	27. その他 ( )
14. 廣福寺	28. 特にない

下の枠内に番号を1つずつ、3つまで記入してください。

問13 多摩区では、豊かな自然環境や魅力的な地域資源を活用し、区の観光振興やイメージ、地域ブランド力の向上を目指す取組を行っています。次の中であなたが知っているもの、見たことのあるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ピクニックタウン多摩区の取組(イベント)	※イラスト①
2. ピクニックタウン多摩区のロゴマーク(※イラスト②)	※イラスト②
3. ピクニックタウン多摩区のSNS(ツイッター、フェイスブック、インスタグラム)	
4. 多摩区観光協会ホームページ「多摩区見どころガイド」	
5. 多摩区観光ガイドブック「はなもす」(※イラスト③)	
6. 多摩区観光ボランティアガイドの活動	
7. ARを利用した「たまくdeAR!」(※1)	
8. その他 ( )	
9. 特にない	

※1…登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区のまちと生田緑地や岡本太郎美術館、日本民家園、かわさき宙と緑の科学館などのアクサスルートにARスポットを設置し、スマートフォンカメラで二次元コードを読み込むことで、施設のキャラクターと一緒に写真が撮れるなど、利用者に楽しみながら、まちや施設を周遊してもらう取組

災害に強く安全で安心できるまちづくりについてお伺いします。

問14 地震、風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 3日分以上の食料の用意(備蓄)
2. 3日分以上の飲料水(1人1日3リットル)の用意(備蓄)
3. 指定避難所(※1)や指定緊急避難場所(※2)の場所や経路の確認
4. 複数の避難先(分散避難)の検討と確認
5. 家具の適切な配置や転倒防止対策
6. 窓ガラスの飛散防止対策
7. 懐中電灯など、停電に対する備え
8. 3日分以上の携帯トイレ(1人1日5回)の用意(備蓄)
9. 衛生用品(マスク、消毒液、消毒液、体温計など)の用意(備蓄)
10. 地震ブレーカーの設置(地震の揺れを感じし自動的にブレーカーを遮断する機器)
11. 家族と緊急時における連絡方法の確認
12. ハザードマップや防災マップの作成
13. 避難行動計画(マイタイムライン)の作成
14. 地域の防災訓練への参加
15. その他 ( )
16. 特にない

※1…災害の影響により自宅に住めなくなったりした場合などに、避難生活を送る場所

※2…切迫した災害の危険から一時的に逃れるための場所

すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりについてお伺いします。

問15 誰もが住み慣れた地域や場所で安心して暮らし続けるため、医療、看護、介護、福祉・生活支援が切れ目なく一体的に提供される仕組みと地域づくりの取組である「地域包括ケアシステム」を知っていますか。(○は1つだけ)

1. よく知っている

2. ある程度知っている

3. 聞いたことはある

4. 知らない

問16 地域包括ケアシステムにおいて一人ひとりに期待される行動として、自助（生きがいづくり・健康づくりなど）、互助（地域の交流・支え合いなど）がありますが、あなたは次のような行動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

問17 また、してみたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

回答例	問16 している	問17 してみたい
1. 趣味など生きがいづくり	1	1
2. 食生活改善や運動・体操などの健康づくり	2	2
3. 育児・介護・健康・医療・福祉などの情報収集	③	3
4. 地域のお祭りや防災訓練などの地域の催しへの参加	4	4
5. 近隣住民とのあいさつ、交流	5	5
6. 近隣住民の見守り、声かけ、支え合い	6	6
7. 地域活動、ボランティア活動に参加(例：町内会・自治会、まちの清掃活動、PTA、趣味や特技を活かした活動など)	⑦	7
8. 興味・関心事や状況、世代が自分と近い人との交流(例：子育てサークル、高齢者サロン、趣味のサークルなど)	8	8
9. 興味・関心事や状況、世代が自分と異なる人との交流(例：高齢者と子どもの昔遊び教室、外国にルーツを持つ住民との交流など)	9	9
10. その他( )	10	10
11. 特になし	11	11

問18 自助（生きがいづくり・健康づくりなど）の取組についてお伺いします。  
区民の健康づくりを推進するために、どのような取組が重要だと思いますか。  
次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。  
(番号は3つまで)

1. 健康づくりができる場所の整備や提供

2. 健康づくりに必要な知識の普及・啓発

3. 各種健康診断の充実

4. SNSを活用した情報発信

5. 相談体制の充実

6. 健康づくりを指導できる人材の育成・確保

7. 健康づくりグループの紹介

8. 健康づくりを指導できる人の派遣

9. 健康づくりに関連したイベントの開催

10. 健康づくりに関連した講座の開催

11. その他( )

12. わからない

13. 特になし

下の枠内に番号を1つつ、3つまで記入してください。

問19 あなたは日々の健康づくりとして、次にあげる項目についてどの程度意識していますか。  
(○はそれぞれ1つつ)

回答例	意識している	少し意識している	あまり意識していない	意識していない
(ア) 毎日、血圧を測定する	1	②	3	4
(イ) 週に2回程度、1回30分以上の運動をする	1	2	3	4
(ウ) 日常生活でこまめに身体を動かす	1	2	3	4
(エ) 塩分を取りすぎない	1	2	3	4
(オ) 夕食は就寝2時間前までに済ませる	1	2	3	4
(カ) 月に1回程度、体重を測定する	1	2	3	4
(キ) 飲酒は適量を心掛ける	1	2	3	4
(ク) たばこを吸わない	1	2	3	4



問20 多摩区では、健康の維持増進のため、高血圧予防の取組を推進しています。  
あなたの現在の健康状態について教えてください。(○は1つだけ)

1. 医師から高血圧と診断されていて、血圧の薬を内服している
2. 医師から高血圧と診断されているが、血圧の薬を内服していない
3. 医師から高血圧と診断されていないが、高血圧と自覚している
4. 1～3いずれにも該当しない

問21 互助（地域の交流・支え合いなど）の取組についてお伺いします。  
あなたの近所付き合いは以下のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

1. 家族のように親しく付き合っている人がいる
2. 家に行き来したり、親しく話をする人がいる
3. 親しく話をする人がいる
4. ときどき話をする程度
5. あいさつをする程度
6. ほとんど付き合いがない

問22 日頃の生活で自分と世代が異なる人との付き合いが多いですか。(○は1つだけ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問23 困ったとき、近所にちよっとした手助けを頼める人はいませんか。(○は1つだけ)

1. いる
2. いない

☆ 問23で「1. いる」と答えた方にお伺いします。

問24 近所の人にとよっとした手助けとして、どのようなことを頼むことができますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 話し相手
2. 週1回程度の見守り
3. 散歩の付き添い・介助
4. 通院の付き添い・介助
5. 日用品の買い物
6. 庭木の水やり
7. 庭木の剪定、草むしり
8. 日曜大工程度の修理
9. 家具の移動、部屋の模様替え
10. 蛍光灯、電球の交換
11. 縫いもの（ボタン付けなど）
12. 犬の散歩
13. ごみ出し
14. パソコン・スマートフォン操作の説明
15. 簡単な書類作成
16. 短時間の子どもの預かり
17. その他（ ）

☆ 全員の方へお伺いします。

問25 多摩区役所では、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を見守るために、認知症サポーター養成講座を行っています。この講座を受講したことがありますか。また、受講したいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 受講したことがある
2. 受講したことはないが、ぜひ受講してみたい
3. 受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい
4. 受講したことはないし、受講したくない
5. わからない

市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりについてお伺いします。

問26 多摩区とゆかりのある専修、明治、日本女子の3つの大学の持つ知的資源や多彩な人材を活用したさまざまな取組を通して、大学と地域社会との交流連携を深めてきました。  
あなたが知っている大学・大生が関連したイベントや取組などがありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 多摩区3大学コンサート
  2. 大学図書館の地域開放
  3. 大学・地域連携事業
  4. 生田緑地イベントランス
  5. スポットでのポスター掲示
  6. 大学スポーツを応援する取組
  7. 多摩区・3大学連携協議会情報誌「たまなびニュース」
  8. たまなびプログラム（大学生と地域のつながりがづくりや交流を促進する取組）
  9. その他（ ）
  10. 知っている取組・イベントはない
- (例：箱根駅伝出場校への応援メッセージ募集など)

問27 市が策定した「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組として、地域の活動などの下支えや補完をしながら、区の特性に応じた支援策を実施するために、多摩区役所1階に区民主体で開設された「多摩区ソーシャルデザインセンター」(※1)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. 聞いたことはある
4. 知らない

※1…多摩区ソーシャルデザインセンター

区民中心の運営主体のもと、地域の人やモノをつなげ、新たな価値を生み出す中間支援の活動のほか、地域活動に関する情報発信や、「壁戸・たまがわマルシェ」、「子ども食堂」などの多世代が交流する場の創出、地域団体からの相談受付や運営支援などを行っています。

☞ 問27で「1. よく知っている」「2. ある程度知っている」「3. 聞いたことはある」のいずれかに答えた方にお伺いします。

問28 多摩区ソーシャルデザインセンターの取組で知っているものはありませんか。

(あてはまるものすべてに○)

問29 利用、参加したことのある取組はありますか。(あてはまるものすべてに○)

回答例	問28 知っている取組	問29 利用、参加したこと がある取組
1. 地域活動に関する相談受付	1	1
2. SNSや広報誌による情報発信	2	2
3. 地域で活動する団体などへの助成事業	3	3
4. 登戸・たまがわマルシェ	4	4
5. 活動報告会	5	5
6. 地域イベントでの出店	6	6
7. 子ども食堂	7	7
8. まっち楽習塾	8	8
9. 古民家カフェはらっぱ	9	9
10. 多摩区ソーシャルデザインセンター でのパン販売	10	10
11. 登戸・たまがわうんどうかい	11	11
12. 障害者団体などの作品の展示・販売	12	12
13. たまミュージックヴィレッジ	13	13
14. ドッジボール講座	14	14
15. その他 ( )	15	15
16. 特になし	16	16

☞ 全員の方へお伺いします。

問30 多摩区におけるソーシャルデザインセンターが力を入れて取り組むべきと思うものを  
お選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域活動に関する相談受付・支援	
2. 地域活動を行っている団体に対する資金助成	
3. 地域人材の掘り起こし、人材バンク構築	
4. 地域情報の収集・発信	
5. 地域の交流促進に向けた主催イベントの実施 (登戸・たまがわマルシェなど)	
6. 地域イベント (夏まつりなど) への参加・協力	
7. 市民講座の開催など地域人材の育成	
8. 誰もが気軽に集える地域の居場所 (まちのひろば) の創出	
9. 地域課題の解決を目指した調査・研究や社会実験の展開	
10. 多摩区の自然環境や、地域の資源を活かした取組の実施	
11. その他 ( )	
12. わからない	
13. 特になし	

14

区役所が力を入れて取り組むべき施策についてお伺いします。

問31 区民に身近な区役所が特に力を入れてほしい区の事業はどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

※項目の後ろに (市) とあるものは、現時点で主に市役所を中心として進めているもの

1. 区役所の業務などについての広報、情報提供	
2. 区政への市民参加の促進のための施策	
3. 町内会・自治会、市民活動の支援に関する施策	
4. 災害時の対応などの危機管理	
5. 防犯対策	
6. 交通安全対策	
7. 音楽など芸術・文化的な催しや活動	
8. 商店街振興 (市)	
9. 観光推進	
10. 区のイメージの向上	
11. 窓口サービスの向上	
12. 道路の美化・清掃	
13. 公園の整備や維持管理	
14. 自然や緑の保全 (市)	
15. 地球温暖化対策	
16. 大気汚染や騒音・振動などの対策 (市)	
17. 日常のごみ収集やリサイクル (市)	
18. 子ども・子育てのための施策	
19. 高齢者のための施策	
20. 障害児・障害者のための施策	
21. 健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	
22. 新型コロナウイルス感染症対策	
23. 主要な駅周辺の再開発 (市)	
24. 道路・歩道の整備	
25. 放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	
26. コミュニティバスなどの地域交通のための施策 (市)	
27. 区民が学習する機会の提供	
28. スポーツ・レクリエーションの推進	
29. その他 ( )	
30. わからない	
31. 特になし	

15

■ あなた自身のことについて

このアンケートの統計分析に必要なため、次の項目についてお伺いします。

問32 あなたの性別をお聞かせください。(○は1つだけ)

1. 男性                      2. 女性                      3. 選べない・答えたくない

問33 あなたの年齢をお聞かせください。(○は1つだけ)

1. 18～19歳                      6. 40～44歳                      11. 65～69歳  
2. 20～24歳                      7. 45～49歳                      12. 70～74歳  
3. 25～29歳                      8. 50～54歳                      13. 75歳以上  
4. 30～34歳                      9. 55～59歳  
5. 35～39歳                      10. 60～64歳

問34 あなた現在の職業をお聞かせください。(○は1つだけ)

- |  |   |
|--|---|
| 1. 自営業<br>2. 家族従業員 (家業手伝い)<br>3. 勤め (全日)<br>4. 勤め (パートタイム) | 5. 内職<br>6. 主婦・主夫 (家事専業)<br>7. 学生<br>8. 無職 (収入が年金のみの方を含む)<br>9. その他 ( ) |
|--|---|
- 間34-2へ                      → 次ページ問35へ

☆ 問34で「1. 自営業」「2. 家族従業員 (家業手伝い)」「3. 勤め (全日)」「4. 勤め (パートタイム)」のいずれかに答えた方にお伺いします。

問34-2 お仕事の内容を具体的に聞かせください。(○は1つだけ)

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| 自営業、家族従業員の方<br>(1～3の中から選びください)  | 勤め (全日/パートタイム)の方<br>(4～8の中から選びください)                          |
| 1. 農林漁業<br>2. 商工サービス業<br>3. 自由業 | 4. 経営・管理職<br>5. 専門・技術職<br>6. 事務職<br>7. 技能・労務職<br>8. 販売・サービス職 |

☆ 全員の方へお伺いします。

問35 お勤め先または通学先はどちらですか。(○は1つだけ)

1. 川崎市内 (多摩区)                      5. 東京都 (23区内)  
2. 川崎市内 (多摩区以外)                      6. 東京都 (23区以外)  
3. 横浜市                      7. その他 ( )  
4. 神奈川県内 (川崎市・横浜市内以外)                      8. 通勤・通学していない

問36 あなたのお住まいをお聞かせください。(○は1つだけ)

1. 生田 1～3丁目                      10. 菅 1～6丁目                      19. 東三田 2丁目  
2. 生田 4～8丁目                      11. 堰 1～3丁目                      20. 布田  
3. 宿河原 1～7丁目                      12. 中野島                      21. 枅形 1～7丁目  
4. 菅稲田堤 1～3丁目                      13. 中野島 1～6丁目                      22. 栗谷 1～4丁目  
5. 菅北浦 1～5丁目                      14. 長尾 1～7丁目                      23. 寺尾台 1～2丁目  
6. 菅城下                      15. 登戸                      24. 長沢 1～4丁目  
7. 菅仙谷 1～4丁目                      16. 登戸新町                      25. 西生田 1～5丁目  
8. 菅野戸呂                      17. 東生田 1～4丁目                      26. 三田 1～5丁目  
9. 菅馬場 1～4丁目                      18. 東三田 1、3丁目                      27. 南生田 1～8丁目

問37 あなたのお住まい (住居) は次のどれにあたりですか。(○は1つだけ)

1. 持ち家 (一戸建て)                      5. 借家 (アパート・間借・下宿)  
2. 持ち家 (マンション・団地)                      6. 社宅・寮・公務員社宅  
3. 借家 (一戸建て)                      7. その他 ( )  
4. 借家 (マンション・団地・公営住宅)

問38 現在、同居している方は何人ですか。御自分を含めた人数を ( ) 内に御記入ください。また、ひとり暮らし以外の方は、同居している方すべてに○をつけてください。あなたからみた続柄でお答えください。

- |                              |           |               |
|------------------------------|-----------|---------------|
| 同居している方の人数 (御自分を含む)・・・ ( ) 人 |           |               |
| 同居している方 (ひとり暮らし以外の方)         | 1. 夫      | 7. 兄弟、姉妹      |
|                              | 2. 妻      | 8. 孫          |
|                              | 3. 父      | 9. 父母の親 (祖父母) |
|                              | 4. 母      | 10. 配偶者の兄弟、姉妹 |
|                              | 5. 子ども    | 11. 配偶者の父母の親  |
|                              | 6. 配偶者の父母 | 12. その他 ( )   |

問39 お子さんをお持ちの方にお伺いします。どの年代のお子さんがいらっしゃいますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 就学前	3. 中学生	5. 大学生
2. 小学生	4. 高校生	6. この年代ではない

問40 日頃最寄り駅までどのような交通手段を御利用になりますか。(○は1つだけ)

1. 徒歩	3. バイク (原付含む)	5. 自動車 (送迎含む)
2. 自転車	4. バス	

問41 あなたは多摩区に住んで何年になりますか。(○は1つだけ)

1. 3 年未満	3. 10～20年未満
2. 3 ～10年未満	4. 20年以上

問42 多摩区役所からのお知らせや情報をどのような手段で入手していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 市政だより
2. 区 (市) のホームページ
3. 町内会・自治会の回覧板
4. SNS (ツイッター、フェイスブックなど)
5. 地域の掲示板
6. 新聞記事
7. 地域情報紙 (タウンニュースなど)
8. 区役所など公共施設に設置されたポスター・パンフレット類
9. 電話や区役所などの窓口での問い合わせ
10. その他 ( )
11. 特に多摩区役所からのお知らせや情報は入手していない

以上でアンケートは終了です。御協力いただき誠にありがとうございました。  
御記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒 (切手不要) に入れて  
令和 4 年 1 0 月 1 1 日 (火) までに御投函ください。

御記入がお済みの調査票は、印のところで三つ折りにして、封筒に入れてください。

※お名前・御住所の御記入は不要です。  
※切手は貼らずにそのままポストへ投函してください。

令和4年度  
多摩区区民意識アンケート調査  
報 告 書

発 行 令和5年（2023）2月

調査主体 川崎市多摩区役所

まちづくり推進部 企画課

〒214-8570 神奈川県川崎市多摩区登戸 1775-1  
044-935-3140

調査実施 株式会社 CCN グループ

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-7-4